昭和十七年度出版書籍目錄

目次

一、皇室……（三七九）
(1)皇室……（三七九）
(2)國體……（三八一）
二、哲學・宗教……（三八三）
(1)哲學……（三八三）
(2)倫理心理……（三九一）
(3)宗教……（四〇〇）
(4)教育……（四〇四）
三、歷史・地誌……（四一〇）
(1)歷史……（四一〇）
(2)傳記……（四一三）
(3)地誌……（四一七）
(4)紀行……（四一八）
四、國家・社會……（四二〇）
(1)國家……（四二〇）
(2)政治……（四二三）
(3)法律……（四二七）
(4)國防・軍事……（四二八）
(5)社會……（四三〇）
(6)統計……（四三一）
五、經濟……（四三二）
(1)財政・金融……（四三二）
(2)產業……（四三五）
(3)交通・通信……（四三八）
六、理學……（四三九）
(1)自然科學一般……（四三九）
(2)數學……（四三九）
(3)天文・氣象……（四三九）
(4)物理學……（四三九）
(5)化學……（四三九）
(6)地質・鑛物・地理……（四四〇）
(7)生物學……（四四一）
七、農學・農業……（四四四）
(1)農學……（四四四）
(2)農業……（四四四）
(3)林業……（四四六）
(4)畜產業……（四四六）
(5)水產業……（四四七）
八、工學・工業……（四四八）
(1)土木・建築……（四四八）
(2)機械・氣……（四四九）
(3)電氣……（四五〇）
(4)船舶・航空……（四五一）
(5)造兵・冶金……（四五二）
(6)採鑛……（四五二）
(7)化學工業……（四五三）
(8)雜工業……（四五三）
九、醫學・藥學……（四五六）
(1)醫學……（四五六）
(2)藥學……（四五七）
(3)衛生……（四五七）
(4)通俗療法……（四五七）
十、文學……（四五九）
(1)文學研究……（四五九）
(2)小說・戲曲……（四六七）
(3)詩・歌……（四六九）
(4)隨筆・記錄……（四七二）
(5)娛樂讀物……（四七五）
十一、語學……（四七七）
(1)語學一般……（四七七）
(2)國語・國字……（四七八）
(3)外國語・辭典……（四七九）
十二、藝術……（四八二）
(1)藝術一般……（四八二）
(2)美術……（四八三）
(3)音樂……（四八四）
(4)工藝……（四八五）
(5)演劇・映畫……（四八五）
十三、厚生……（四八七）
(1)家事……（四八七）
(2)技藝……（四八九）
(3)運動……（四九〇）
(4)娛樂……（四九二）
十四、少國民……（四九五）
(1)讀物……（四九五）
(2)繪本……（五〇九）
十五、學習參考書……（五〇九）
十六、總記……（五一〇）

（備考）

▲本目錄の分類は日本出版會に於て制定し常用せられつゝある分類に據つたものである。

▲各目の配列順は各分類部に毎名の五十音順によつた。

▲本目錄には昭和十七年度中目配漏ひ新刊書（十七年一月號―十二月號）出版書及版權及び昭和十七年度中内務省納本目錄所載永久保存指定書の全部を收めた。卽ち一般書店扱ひと非賣とに不拘昭和十七年度中に出版せられたる新刊書籍は稍と調羅せられてある譯である。

▲但し中等程度以下の學校專用教科書は除外してある。

▲また豫約配本は別にその總目錄を掲げてある爲更に玆にその全部を再掲する煩を避け、新刊豫約本の本年度最初の配本（全集等の總括名）一册のみを掲げ豫約本として合計何册發行せられたるかを明かにした。

▲劍形は人五B六の二種に止め、それ以上及びそれ以下を大形小形の二種に大別し更に製本版外は除外とした。

一、皇室

(1)皇室

著者	書名	形	頁數	定價	發行所
嘉悦　基猪	仰ぐ大詔輝く勅諭	四	八	四〇	小林川流堂
藤樫　準二	仰ぐ御光	四	四二	四、〇〇	大道書房
補永　茂助	天照大神の神學的研究	四	六四	二、八〇	明世堂
中澤亟天編	惟神の礎	四	四六	三、五〇	紀元二千六百年奉祝會
鐘沼　保世	伊勢大神宮の話	四	三三	五〇	堀書店
中山朝之助	伊勢大神宮物語	四	三三	二、五〇	堀書店
近藤勘治郎	越後佐渡に於ける順德天皇聖蹟誌	四	四二	一	新潟縣教育會
石川善治編	大御心（寫眞集）	四	五三	三〇	文化時報社出版部
鈴木　厚	和（護國の大師）宮様	四	三六	二、〇〇	大和書店
山田　無文	龜山天皇御事蹟	四	八三	一、五〇	立命館出版部
柴田　實	淵生君平の山陵志（ラジオ新書）	四	二九	一、五〇	日本放送協會出版協會
相磯　貞三	記紀萬葉に於ける御歷代の聖業	四	六二	二、五〇	厚生閣
井上哲次郎	教育勅語衍義（明）	四	四九	五、五〇	廣文堂書店
小野　正康	教育勅語虔攷　上卷	四	五三	二、五〇	啟傍書房
中島武謹編	北白川宮永久王殿下	四	二五	一、四〇	清水書房
重森　三郎	京都皇居の御庭園	四	三二	一、四〇	晃文社
大石兵太郎	君主の神的權威	四	二九	一、五〇	積善館
片山　太郎	軍人勅語集（陸軍省報道部撰盧溝橋事件日記）	四	二八	二〇	松悅堂
出雲路敬和	軍人勅諭謹釋	四	三四	二〇	櫻橋書院
須藤　滋編	軍人勅諭勅語・戰陣訓	四	四八	一〇	明正堂
里見　岸雄	軍人勅諭入門	四	四二	五〇	錦正社
齋藤　市平	軍人勅諭早わかり	四	四四	三五	尚兵館
小池・大岩	高岳親王の御事蹟	四	六	一	日本南方協會
多田　正知	皇國詔勅謹解（改訂史學叢書）	四	二三	二五	金城書房
奥野　高廣	皇室御經濟史の研究	四	五四	六、八〇	啟傍書房
野尻　一郎	皇室の儀制と敬語	四	二五	二、五〇	新光閣
松岡　貞信	後醍醐天皇と船上山	四	一四	一五	鳥取松岡貞信
後鳥羽天皇之御聖蹟		四	一	一	水原岩太郎
水原岩太郎					

國民精神文化研究所編　後奈良天皇宸記　㊥　一三　非賣品　國民精神文化研究所　石井周作　崇徳天皇御記　㊥　三九　二、八〇　建設社

安達大壽計　御歴代詔勅謹解　㊥　二七八　一、三〇　松山房　亘理章三郎　聖訓と日本精神　㊥　三二　二、五〇　金港堂

小瀧操子纂　昭憲皇太后御歌謹解　㊥　三六八　一、八〇　桑文社　河村正太郎　青年學徒の心得置くべき詔勅謹解　㊥　九六　並　三五　伊藤文信堂

渡邊幾治郎　昭憲皇太后宮の御坤徳　㊥　二七〇　三、〇〇　東洋書館　明治天皇聖徳奉讃會編　大詔奉戴日國民讀本　㊥　三〇　並　一五　明治天皇聖徳奉讃會

奥田慈應　承詔必謹　㊥　一九六　一、三〇　其中堂　森岡常藏　宣戰詔書のお話　㊥　四〇　二〇　東亞時代協會

森清人　詔勅と御製　㊥　七〇五　八、五〇　慶文堂書店　朝日新聞社編　宣戰の大詔謹解　㊥　二五　三五　朝日新聞社

修養團謹編　詔勅と御製　新偉人傳全集　九　㊥　七六　五〇　修養團　德富猪一郎謹解　宣戰の大詔謹解　㊥　二〇九　並　二〇　東日大毎新聞社

高嶋米峰　聖徳太子　㊥　二九〇　一、八〇　潮文閣　亘理章三郎　宣戰の大詔謹釋　㊥　三二　並　一、二〇　健文社

高桐順矢郎　聖徳太子御傳叢書　㊥　五三　六、八〇　金尾文淵堂　望月信雄　宣戰の大詔を正しく奉戴すべし　㊥　七　一　精神科學研究所

望月信亨

坂本太郎他　聖徳太子全集　㊥　七三〇　並　八、〇〇　龍吟社　小山和雄　宣戰の大詔を奉戴すべし　㊥　七　一　精神科學研究所

日本放送協會編　聖徳太子の三經義疏　ラジオ新書　㊥　一五六　五〇　日本放送出版協會　亘理章三郎　宣戰の大詔と肇國の大精神　㊥　三六七　三、八〇　藤井書店

平泉澄　順徳天皇を仰ぎ奉る　㊥　五七　一　水無瀬神宮　吉田知要　大詔を奉戴して　㊥　二七　並　五〇　湯川弘文社

水原堯榮　眞如親王御傳　㊥　一三〇　一、八〇　金尾文淵堂　塚本勝義　大東亞戰爭宣戰詔書謹解　㊥　五二　並　三五　西東社

小島光枝　神皇御記錄（第一、二卷）　㊥　—　—　小島光枝　岡井愼吾閲　牛田信編　大東亞戰爭宣戰の詔書謹解　㊥　三　並　五〇　ふたら書房

宮井義雄　神武天皇　㊥　二七〇　二、一〇　ふたら書房　向井竹三郎　關根文之助　大東亞戰爭宣戰の大詔謹解　㊥　二三　並　一、二〇　起山房

向井竹三郎　物式天皇御即位ノ詔勅及ビ神武天皇ノ御製ニ關スル研究　㊥　五七　二、一〇　—　向井竹三郎　島田民治　東亞戰爭宣戰の大詔謹解　㊥　四　並　一〇　東文堂書店

奈良島知堂　大東亞戰爭　大詔の精神と開戰のわけ　㊥　一〇　並　三五　平路社　松田謹　金重明　天皇御製　㊥　一四三　並　三五　日本青年教育會出版部

福手久隆　大東亞宣戰大詔謹解　㊥　三三　並　一〇　昭和報國圖書出版社　小瀧淳　明治天皇御製一日一訓　㊥　五九一　並　二、〇〇　天泉社

小林杖吉　對米英戰　大詔謹解　㊥　二六　並　六〇　田中誠光堂　高橋茂　明治天皇御製謹解　國民訓　㊥　二四　二、〇〇　敎學書房

佐々木一雄　對米英宣戰　大詔謹解　㊥　一八〇　五〇　武揚堂　福田寛　明治天皇と靜寛院宮　㊥　二五五　—　恢弘會

牧野靖史　對米英宣戰大詔謹解　㊥　八二　並　二〇　國造社出版部　渡邊幾治郎　明治天皇の聖徳　政治　㊥　二九八　三、五〇　千倉書房

加藤忠一郎　對米英宣戰の詔書謹解　並國民必讀宣戰詔書謹解　㊥　三〇　三〇　河内書店　渡邊幾治郎　明治天皇の聖徳　總論　㊥　四二〇　三、八〇　千倉書房

聖訓普及會編　對米英宣戰ノ大詔　㊥　二三五　三五　八光社　渡邊茂雄纂　明治天皇　㊥　四二〇　二、五〇　高山書院

出雲路通次郎　對米英宣戰ノ大詔　櫻橋廣壽第一期　㊥　四〇五　四、五〇　櫻橋書院　龍野定一　歴代御製と御聖徳　㊥　—　三、〇〇　日本文化研究會

島田民治　大詔謹解　㊥　一六二　並　二五　東文堂書店　三浦藤作　歴代詔勅全集　（續約）　㊥　二八　二、八〇　河出書房

武田祐吉　勅語勅諭謹解　解釋附戰陣訓　㊥　一六二　二、〇〇　明世堂　紀元二千六百年奉祝會　二六〇〇年奉祝會支部　和歌山縣聖蹟調査資料　㊥　三六　—　和歌山縣支部

華國紀傳　㊥　二五三　帝室制度史　㊥　六六三　八、〇〇　（ラルド社）

帝國學士院編　帝室制度（續約）　㊥　—　—　國民精神文化研究所

國民精神文化研究所編　天聽集　㊥　—　—　國民精神文化研究所

渡邊峻　大詔謹解　米英二對スル宣戰　㊥　一四　五　富文館

岡田稔　宣戰ノ詔書謹解　米國及ビ英國ニ對スル宣戰ノ詔書　㊥　三五　一〇　正文館

三浦藤作　宣戰ノ詔書　要義　米國及英國ニ對スル宣戰ノ詔書謹解　㊥　二九　並　五〇　東洋圖書株式合資會社

森本健吉　萬葉皇室歌人　日本文學者評傳全集　㊥　二九八　一、八〇　青梧堂

(2) 國體（皇室論、日本國體論）

今泉定助　御國體の實相　㊥　五七　三五　直靈出版社

里見岸雄　國體學入門　㊥　三八　二、〇〇　錦正社

河野省三　國體觀念の史的研究　㊥　三五上　三、〇〇　日本電報通信社

淺尾市之助　國體思想史概說　㊥　三五〇　二、五〇　錦正社

小林　健三	國體思想史論	合	三九	三、〇〇	國民評論社
志水　義隆	國體と思想國防	民	二六七	一、〇〇	清水書房
河野　省三	國體と日本精神	民	三四	二、三〇	青年教育普及會
里見　岸雄	國體法の研究（増訂）	合	二九八	三、〇〇	錦正社
野村　八良	國體論	合	一九七	三、〇〇	文明社
高窪喜八郎	御神威御發現と神國日本の眞相	合	一九九	—	高窪喜八郎
里見　岸雄	實踐國體學（日本學叢書1 十七憲法の思想史的解釋）	民	三四	二、〇〇	錦正社
井上　右近		民	四三四	三、〇〇	丁子屋書店
山本信哉編	神道要典　國體篇	民	五七九	五、〇〇	博文館
宇田　尙	世界指導原理としての皇道（紀元二千六百年奉賛會編纂）	合	六四	四	東洋思潮研究所
	肇國の御精神（皇國精神總叢書第一輯）	民	二九三	一、三〇	皇國青年教育協會
内田　正已	天皇の仰瞻と機關說の厳	民	一四一	三五	興學會
大串兎代夫	日本國家論	民	二九三	一、八〇	講談社
染谷　忠助	日本國體と其使命　巻二	民	七九	一、〇〇	横井製絃所
白柳　秀湖	日本民族論	民	五四〇	三、八〇	千倉書房
大西　友太	我が國の國體	合	三六六	三、八〇	講談社

二、哲學・宗教

(1) 哲學

著者	書名	判	頁	定價	發行所
中河　與一	愛の意味	民	二六六	二、〇〇	錦城出版社
佐久間佑生	新しき英雄の風丰	民	二六三	二、〇〇	揚子江社
田邊耕一郎	新らしき國民文化（新代叢書）	創	二一二	八〇	育生社弘道閣
酒枝　義旗	新しき人の出現	民	一九二	二、八〇	第一公論社
岩崎　勉譯	アリストテレス　形而上學	合	六五〇	六、五〇	理想社
姉崎正治譯（ショーペンハウエル）	意志と現識としての世界（前篇第五巻）	合	二五三	五〇	改造社
姉崎正治譯（ショーペンハウエル）	意志と現識としての世界（後篇第五巻）	合	三一〇	五〇	改造社
佐々木能理男　曾見恒男共譯	意志の勝利	民	一〇四	四五	青山書院
上田　義文	維識說の三概念	合	七五	—	日本教學研究所
渡邊　一夫他八氏譯（ヴァレリー全集7）	精神について　その一	合	三六	三、五〇	筑摩書房
クローチエ	ヴィコの哲學	民	二七六	二、五〇	東京堂
青木　巖譯（水戸學叢書）	繼のき	民	三〇	一、八〇	光書房
西村　文則	も	民	三〇	一、八〇	三教書院
辻　直四郎	ラジャバニシャッド	合	二九	五〇	日本放送出版協會
利根川東洋生	みの哲學	合	三〇	二、八〇	理想社
プラトン　山本光雄譯	日本的世界觀の論理	合	三〇	三、三〇	近藤書店
熊崎　健翁	エウチユデモス（爭論に就いて　歌話的對話篇）	民	九五	一、〇〇	五聖閣出版局
安藤　州一	易學奥秘	合	七六	—	神祇院指導課
串田　孫一	王政復古の指導精神	合	二七七	二、〇〇	敞文館
ワトソン　吉倉範光譯	王陽明の解脫觀（哲學問題論叢近世篇2）	民	二四八	二、〇〇	理想社
三木　清	科學と洞察	民	二六〇	一、五〇	三省堂
森　信三	學問と人生	民	三〇三	二、一〇	中央公論社
三宅　清	學問方法論	合	三六	三、〇〇	古今書院
荷田　春滿（校本賀茂眞淵全集　思想篇上）	改造社	合	六六	六、五〇	畝傍書房
山本　憲編（校本賀茂眞淵全集　思想篇下）	青山書院	合	七九	三、〇〇	弘文堂書房
山本　憲編	日本教學研究所	合	七五	三、〇〇	弘文堂書房
内野熊一郎	漢初經書學の研究	合	七四六	三、〇〇	清水書店
長與　善郎	韓非子（東洋思想叢書）	合	二三二	一、八〇	日本評論社
山本政喜譯（エルネスチ・デイムネ著）	考へる技術	民	二九五	一、八〇	三教書院

武田良三	技術的世界	岡	二七	三五〇	國際書房	望月隆伏
三木清	技術哲學	岩	九三	一、六〇	岩波書店	大月隆伏
麻生義輝	近世日本哲學史	岩	三五二	四、三〇	近藤書店	高須芳次郎
實藤惠秀編	近代支那文化叢書 日本 勤皇に歸一し奉る	叢	九二	二、六〇	光風館	中柴末純
木島一光	皇學叢書	叢	九二	五〇	日本思想研究會	河野省三
常本憲雄	空觀の日本的研究 哲學	岩	三九四	三、八〇	第一書房	長野朗
植田清次	經驗的世界 經驗の哲學への序說	岩	三九五	三、〇〇	同文館	大浦英皇民
藤平武雄	形而上學序論	叢	三九〇	二、〇〇	三笠書房	吉田松陰講
ジャック・マリタン 吉滿義彥譯	形而上學	叢	三九二	三、八〇	甲鳥書林	廣瀨豐譯註
棒俊雄	現代人生論	叢	三七	一、六〇	教材社	松村吉助
他四氏	現代と世界觀	叢	一天	八〇	育生社弘道閣	五經提綱 上卷 講義別記
大江精志郎	現代文化の哲學的反省	叢	三〇	二、一〇	今日の問題社	築瀨一雄
船山信一	國維思想叢書 支那思想史 改訂版	叢	九〇	八、〇〇	人生道場	山田孝雄
平原北堂	日本武學大系	叢	三〇	二、六〇	天晨堂	井上豐
加藤盛一編	定本孝經啓蒙	叢	三〇	二、六〇	吉敷郡國民學校教風會	國學論叢
船本恒一	皇國精神講義	叢	—	二、〇〇	平凡社	安井素彥
小林一郎	皇國精神講座	叢	四〇五	二、八〇	西田直二郎	飯倉繼太郎
木村俊夫	古典巡禮	岡	三四	一、八〇	刀江書院	國家目的と文化の問題
倉野憲司	古典と上代精神	叢	三七	三、五〇	至文堂	竹内芳衛
エルンスト・ベルトラム 豐永清之譯	言葉の自由に就いて	叢	一九	二、五〇	文林堂双魚房	國家と世界觀
古志太郎	日本思想叢書 佐藤信淵思想錄	叢	二九	一、六〇	教材社	竹内照夫
佐藤信淵	日本武學大系	叢	三五	六、〇〇	岩波書店	秋
日本武學研究所編	佐藤信淵武學集 上	叢	三四	一、九〇	弘文堂書房	大西貞治
野崎廣義	懺悔としての哲學	叢	三四	二、五〇	教材社	純日本思想の哲學
ジョセフ・ジャストロウ 浩輔譯	思索の技術	叢	三五	二、五〇	無雙原理講究所	小西茂也譯
櫻澤如一	自然科學の最後 新しき世界觀の誕生	叢	三五	二、五〇	東世社	ジョオペン ハウエルとニイチェ
奥郁正雄	思想國防	叢	二九	二、五〇	河出書房	藤野渉譯
清水幾太郎	思想の展開	叢	二七	一、八〇	眞宗公道會	ヴィールヘルム・ヴント 房内寺成譯
寺田彌吉	四大イデオロギーか二大イデオロギーか	叢	三五	五〇	酒井書房	古谷綱武
田代秀德	實踐の哲學的基礎	叢	四九	二、八〇	大學書林	女性
スパース 田代秀德譯註	實存哲學	岡	五五	三〇	清水書房	人格 序說 精神醫學の基礎的及結論としての
猪狩史山	支那賢哲錄	叢	三六	二、〇〇	富山房	神國日本
馮柿村友峻譯	支那古代哲學史	叢	八六	三、三〇	同文社	高橋キヨ子
齋伯守	支那哲學史	岡	三七	三、三〇	同文社	加藤玄智
石田幹之助	支那文化論攻	叢	四九	三、五〇	生活社	神國民の知と行
ティーチェル・ハルバート 關壽麿譯	社會學的方法の規準	叢	三三	二、三〇	創元社	新時代の世界觀
北村澤吉	儒學概論	岡	二六	二、〇〇	森北書店	佐藤慶二
オットマン・シルベルベルン 大野有翼譯	シュパン歷史哲學 下卷	叢	六二	二、五〇	東亞書房	時代社
竹内照夫	春秋	叢	二四	一、六〇	日本評論社	愛宕書房
大西貞治	純日本思想の哲學	叢	四八	四、五〇	至文堂	精神衛生學會
アラン 小西茂也譯	情念について	叢	三五	一、八〇	白水社	第一書房
ジンメル 藤野渉譯	ショオペン ハウエルとニイチェ	叢	三七	八〇	岩波書店	ダレース會
ヴィールヘルム・ヴント 房内寺成譯	諸國民とその哲學	叢	三九	三、二〇	大智書房	錦正社
古谷綱武	女性・生活・文化	叢	三二	一、六〇	時代社	同文館
土井正德	人格 精神醫學の基礎的及結論としての	叢	四三	二、〇〇	精神衛生學會	目黒書店
小泉八雲 戸川秋骨譯	神國日本	叢	七七	一、五〇	第一書房	
高橋キヨ子	神國日本の天界の經倫	叢	二六	一、〇〇	ダレース會	
加藤玄智	神國民の知と行	叢	三二	二、五〇	錦正社	
佐藤慶二	新時代の世界觀	叢	三七	二、三〇	同文館	

一、八〇	潮文閣	一、六〇	孔子・人とその哲學	叢	六六	
二、五〇	新民書房	二、五〇	孔子の新研究	叢	三八	
二、五〇	二見書房	二、五〇	皇道を語る	叢	三三	
二、〇〇	宮越太陽堂	二、〇〇	皇道世界觀	叢	三九	
二、八〇	博報堂	二、八〇	皇道の研究	叢	三五	
一、三〇	大和書店	一、三〇	皇民の書	叢	三九	
一、九〇	三享書房	一、九〇	孟餘話	岡	五四	
六五	東京武藏野書院	六五	講義別記			
一、〇〇	道會事務所	一、〇〇	上卷 講義之部	叢	三四	
一、五〇	加藤中道館	一、五〇	國學入門	叢	三八	
二、五〇	歆傍書房	二、五〇	國學の本義	叢	三七	
一、六〇	八雲書林	一、六〇	八雲叢林叢書	叢	四八	
四、八〇	神田書房	四、八〇	國學概論	叢	三五	
一、八〇	白馬書房	一、八〇	國學概論	叢	三七	
二、〇〇	白馬書房	二、〇〇	國史に於ける永遠の思想	叢	八五	
二、〇〇	日黒書店	二、〇〇				

長谷川鐵平　人性　現代生活講書　四六　三五七　二、〇〇　白揚社
正木昊　人生斷章　菊　三〇八　一、〇〇　長崎書店
室伏高信　新青年の書　四六　三二九　二、三〇　育生社弘道閣
濱嘉明　人性論　菊　一五六　一、四〇　東洋政治學會出版部
赤木健介　人生論　増補訂正版　四六　三三五　二、〇〇　白揚社
土田杏村　新世界觀講座　一　菊　二九三　二、〇〇　旺文社
旺文社出版局編　新世界觀講座　二　菊　二八〇　二、〇〇　旺文社
保科孝一（日本女子大學）・風早八十二（東京帝大）・西村陽吉・新明正道（京城帝大）・井手虎雄（神戸商大）・外五氏　新世界觀輯系十　新世界觀の人種的基礎　四六　四一七　三、二〇　栗田書店
増田榮　人類の宿命　久遠への意志　四六　三三七　二、二〇　光明思想普及會
由良哲次　新論理學講義　菊　二五〇　二、七〇　日本思想研究會
ラプルース・エイエール　中村通介譯　性格論　下卷　四六　二五三　一、二〇　郵船海運報國會
澁川敬應　生死觀の日本的性格　菊　二六　一、〇〇　—

武者小路實篤　人生論　菊　三四　一、三〇　甲鳥書林
三木清　續哲學ノート　四六　二六九　一、七〇　河出書房
谷川徹三　續東洋と西洋　四六　三六八　二、八〇　近藤書店
フウグスチヌス高橋純夫譯　ソリロキア　私との對話　菊　三六八　二、四〇　筑摩書房
ニコラ・ハルトマン高橋敬視譯　存在論の基礎附け　菊　四六〇　三、八〇　山口書店
バーネット原部宏・マイヤー部譯　大思想家　四六　三三二　二、三〇　創元社
大串兎代夫　大東亞の思想　日本文化叢書　四六　二九七　二、〇〇　日本社
大東亞文化協會編　大東亞文化の建設　文化叢書18　菊　三九　二、〇〇　白揚社
佐藤清勝　大東亞文化の世界性　増補　菊　二八七　二、五〇　東京文理大學會
堀秀彥譯編　智慧の言葉　四六　三二七　二、〇〇　敎材社
三木清　智識哲學　四六　三一三　二、〇〇　小山書店
本莊可宗　知性と人間觀　四六　三一三　一、八〇　萬里閣
伊與田圓止　知的生活　四六　一一〇　五〇　同文館
小野庵保義　地方に生きる　田舍哲學記　四六　二〇〇　一、二〇　成史書院
岩下壯一　中世哲學思想史研究　菊　四五六　四、〇〇　岩波書店
富野敬邦　諦念者ゲーテ　四六　二三九　二、〇〇　大東出版社

渡邊一夫他二氏譯　ダカルト選集6　省簡（下）　菊　四五六　三、〇〇　創元社
桑木巖翼　哲學概論　四六　四六六　三、二〇　早稻田大學出版部
桑木巖翼　哲學史入門　上卷　四六　三一〇　二、〇〇　今日の問題社
カール・フォレンダー　廣島定吉譯　哲學と社會　四六　二九五　二、〇〇　創元社
エクス・シェーラ　寺島實仁譯　哲學的世界觀　大阪叢書　四六　二九六　三、〇〇　文進堂
宮島眞一　哲學と生活　四六　一九五　一、六〇　大京堂
笹子修三　哲學の初門　四六　三三八　八〇　大京堂
桑木巖翼　哲學の立場　菊　二一〇　一、一〇　中央公論社
藤平武雄　哲學へ　の出發　現代叢書16　四六　三一一　二、〇〇　三笠書房
東京文理大學哲學會　哲學論叢　第八輯　菊　一五六　二、〇〇　河出書房
栗山理一校訂　天狗藝術論　菊　一四　五〇　春陽堂書店
勇吉下程　天道と人道　二宮尊德の哲學　菊　二四三　二、三〇　岩波書店
ベルトラム外村完二譯　獨逸的形姿　菊　四七八　三、八〇　白水社
高楠順次郎　東西思潮と日本　四六　三〇八　一、五〇　第一書房
マッソン・ウルセル大島豐譯　東西哲學の比較研究　四六　二四三　一、八〇　第一書房
小柳司氣太　東洋思想の研究　菊　六四六　五、五〇　森北書店
東洋大學編輯會出版部編　東洋大學論纂　一　菊　三三九　一、二〇　東洋大學國會出版部

宮島　眞一　東洋哲學史綱要　圓　四八三
宮濱　睦夫　東洋哲學の根本問題　會　五五九
アダムス・ベック　陶山　務　東洋哲學夜話　圓　二八三
田村　德治　東洋文化と西洋文化への構想　圓　三三
山下　英吉　獨創論　圓　一八八
日獨文化協會譯編　獨逸政治大學叢書　ナチス獨逸哲學大觀　圓　三三
紀平　正美　なるほどの哲學　會　一六六
紀平　正美　なるほどの論理學　會　二四
紀平　正美　なるほどの論理學　會　二八
阿部六郎譯　ニイチェ選集　第八卷　圓　三九六
ダニエル・アレグイ　野上　巖　ニーチェ傳　下　會　三九九
瀧澤　克己　西田哲學の根本問題　圓　二四
ライゼガング　若井林一譯　二十世紀の獨逸哲學　圓　三五六
吉村正一郎　日常の論理　圓　三六
日佛會館編　日佛文化　新第八輯　圓　四四
寺田彌吉　日本學序說　圓　四三

三、三五　文進堂
四、〇〇　目黒書店
一、三五　第一書房
一、八〇　同文館
一、三〇　日本文化研究所
一、七〇　實業之日本社
二、〇〇　啟傷書房
二、三〇　創元社
改造社
一、三五　刀江書院
四、〇〇　洛陽書院
一、八〇　築摩書房
一、八〇　春秋社
四、〇〇　日佛會館

松原　致遠　日本教學の特性　圓　四二
石井　周作　日本古代思想研究　會　三五二
小澤　榮一　日本思想史研究　日本古典學の傳統　圓　三四五
清原　貞雄　日本思想史　大觀日本文化叢書　圓　三五〇
高須芳次郎　日本思想讀本　圓　四四
高須芳次郎　日本精神　會　三三五
日本精神と新聞　圓　三六五
大倉邦彥　日本精神通義　會　三六二
安岡　正篤　日本精神通義　會　三六二
大倉邦彥　日本精神の具體性　圓　四八
鹿子木員信　日本精神の哲學　圓　二六
小野寺龍夫　日本精神入門　新日本精神哲學の世界觀　皇國精神叢書三　圓　三六八
日本精神の顯現　皇國精神叢書二　圓　三六八
北晉吉編　日本精神の闡明　圓　二九〇
大島豐編　日本的人生觀　圓　三九
日本哲學序說　會　三六八

二、三五　興教書院
二、八〇　建設社
二、三〇　ふたら書房
一、八〇　地人書館
二、三五　嚶々堂
三、二五　啟傷書房　ぐろりあそさえて
二、八〇　大東出版社
二、八〇　日本青年館
三　目黒書店
一、〇〇　文川堂書房
二、〇〇　八元社
一、三五　皇國青年教育協會
一、八〇　大理書房
二、〇〇　文憲堂
二、〇〇　同文書院

伊藤　證信　日本哲學入門　會　二九八
綠屋　致遠　日本に於ける神の意義　全人の道　圓　二三
三枝　博音　日本の思想文化　增補改訂　圓　二六
井澤弘他六氏　日本の理想　圓　一四
國際文化振興會編　日本文化研究　紀元二千六百年國際學術會議文集　會　一七
大島　正廣　日本文化の國民性　圓　三三
久松　潛一　日本文化の特質　圓　七三
星野　弘一　「日本民族の哲學序說」を糺彈す　圓　一〇
青野　尊晃　日本よ日本人よ　圓　三〇〇
カール・フォルレンダー　廣島定吉譯　入門哲學史　下卷　圓　三五
佐藤　清勝　人間界の哲學　會　三三
コール・フ　久保勘三郎譯　人間主義と浪漫主義　圓　三五〇
川上　清吉　葉隱の哲人　石田一鼎　圓　三五
エーレ・ブトルウ　森有　正譯　パスカル　哲學叢書　圓　三六
田村　行泰　八次元一字の大思想家　圓の發知識と城特者　續編　會　三五
吉村　貞司　悲劇の系譜　圓　二五

三、〇〇　山喜房佛書林
一、三五　丁子屋書店
一、三五　第一書房
一、〇〇　國民評論社
一、三五　國際文化振興會
一、八〇　春秋社
四、〇〇　目黒書店
—　皇國運動聯盟
二、三五　丸山舍書店
一、〇〇　今日の問題社
三、〇〇　豐國社
二、二〇　櫻井書店
一、三五　霞關書房
二、三五　創元社
—　田村行泰家

伊藤　重　表現されぬ一つの人間學　世界　圓　二九
クロル　テイウス　大野俊一譯　大泉　孝譯　ブルンナ　ロベルトシンチンゲル　肥後　和男　他三氏　金子武藏編　別冊附錄　ベルグソン哲學　中卷
ストロフスキー　土居寬之　森有正譯　創元選書89　フランス文化論　圓　四二七
武田文庫　佛蘭西モラリスト　圓　三五九
哲學概論　會　二九八
文化の省察　會　二九八
哲學文化論講座2　文化の諸相　圓　三七
獨文（ドイツ）學（ゲル）法の哲學　解題その他　會　四四五
一、五〇　同文館
一、三五　啟傷書房
三、二〇　建設社
一、〇〇　弘文堂書房
三、八〇　福村書店
一、八〇　弘文堂書房
二、三五　刀江書院
一、〇〇　岩波書店
二、八〇　建設社

安部　光槌　ベルグソン哲學　中卷　圓　三五
二、〇〇　白馬書房

高橋里美	包攝論理學	岩	二八三	豐川昇譯	理想社	二、八〇
包攝論理學		岩	二八三	ユーベルヴェーク大哲學史	十九世紀及現代篇一	岩	二八〇
内野熊一郎	論理學	東洋思想叢書	四九	山田準	陽明學精義	東	四一一	二、〇〇	金鈴社
井手虎雄	科學論理學にとつて	岩	二八三	栗栖安一	解說吉田松陰遺文集	岩	四三〇	二、八〇	撰書堂
星野不敬學說を駁す		岩	四九	玖村敏雄	吉田松陰の思想と教育	岩	四三〇	三、二〇	岩波書店
前田本齋宮女御集及解說		岩	—	吉田所廣泰	流行思想批判	東	九	—	精神科學研究所
育德財團編				田所廣泰	理念の形成	東	四一一	二、五〇	紀元社
カール・ヤスペルス	マックス・ウェーバー的	獨逸的精神	東	二一七	ローゼンベルク	秋田雨雀・高橋義孝譯				
森昭譯	水戸學辭典	岩	二八四	山根薫	探究	科學文化叢書17	東	二九九	一、五〇	新紀元社
水戸學大系別冊		岩	二八四	ブランデス	黎明期の思想家	青春社思想選書	東	三〇三	二、〇〇	文光堂
高須芳次郎	水戸學大系別冊	大東名著選20	水戸學の人々	東	三三五	宮原晃一郎譯				
湯村榮一	民族的世界觀の研究	岩	四六六	レオナルド・ダ・ヴインチ論考	岩	三一〇	三、一〇	春秋社松柏館
高坂正顯	民族の哲學	東	三〇九	佐藤正彰	歷史主義哲學の根本問題	岩	二三五	一、八〇	岩波書店
濱川敬應	無我の日本的把握	岩	五七	岸本昌雄	老子を現代に生かす	岩	二三五	二、三〇	六盟館
花野富藏	ラジオ新書	日本精神	一二〇	谷口雅春	老子道講話	東	二三三	一、八〇	光明思想普及會
木村助之	モラエスの日本精神	朋	一二〇	伊福部隆彥	今日の問題社	二、〇〇	丁子屋書店
山鹿素行研究		東	二九五	秋澤修二	勞働の理念	岩	二三五	三、〇〇	大東出版社
和田健爾	山鹿素行信念の書	東	三一八	玖田・高橋・義孝譯						
山鹿素行の精神	東	三一三	山根薫	探究	科學文化叢書17	東	二九九	一、五〇	新紀元社
廣瀨豐	山鹿素行全集	岩	五〇〇	ブランデス	黎明期の思想家	青春社思想選書	東	三〇三	三、〇〇	文光堂
和田健爾	山鹿素行の精神	東	三一三	宮原晃一郎譯						
元野義勝譯	ハーザとヒンツ有効なる思索	欧羅巴社現代新書	東	二九五	佐藤正彰	レオナルド・ダ・ヴインチ論考	岩	三一〇	三、一〇	築摩書房
高橋里美	包攝論理學	岩	二八三	豐川昇譯	理想社	二、八〇	岩波書店
内野熊一郎	論理學	東洋思想叢書	四九	ユーベルヴェーク大哲學史	十九世紀及現代篇一	岩	二八〇	二、〇〇	金鈴社
井手虎雄	科學論理學にとつて	岩	二八三	山田準	陽明學精義	東	四一一	二、八〇	撰書堂
星野不敬學說を駁す		岩	四九	栗栖安一	解說吉田松陰遺文集	岩	四三〇	三、二〇	岩波書店
育德財團編				玖村敏雄	吉田松陰の思想と教育	岩	四三〇	三、二〇	岩波書店
カール・ヤスペルス	マックス・ウェーバー的	獨逸的精神	東	二一七	田所廣泰	流行思想批判	東	九	—	精神科學研究所
森昭譯	水戸學辭典	岩	二八四	ローゼンベルク	秋田雨雀・高橋義孝譯					
水戸學大系別冊		岩	二八四	田所廣泰	理念の形成	東	四一一	二、五〇	紀元社
高須芳次郎	水戸學大系別冊	大東名著選20	水戸學の人々	東	三三五	山根薫	探究	科學文化叢書17	東	二九九	一、五〇	新紀元社
湯村榮一	民族的世界觀の研究	岩	四六六	ブランデス	黎明期の思想家	青春社思想選書	東	三〇三	三、〇〇	文光堂
高坂正顯	民族の哲學	東	三〇九	宮原晃一郎譯						
濱川敬應	無我の日本的把握	岩	五七	レオナルド・ダ・ヴインチ論考	岩	三一〇	三、一〇	築摩書房
花野富藏	ラジオ新書	日本精神	一二〇	佐藤正彰	歷史主義哲學の根本問題	岩	二三五	一、八〇	岩波書店
モラエスの日本精神	朋	一二〇	岸本昌雄	老子を現代に生かす	岩	二三五	二、三〇	六盟館
木村助之	山鹿素行研究	東	二九五	谷口雅春	老子道講話	東	二三三	一、八〇	光明思想普及會
和田健爾	山鹿素行信念の書	東	三一八	伊福部隆彥	今日の問題社	二、〇〇	丁子屋書店
山鹿素行の精神	東	三一三	秋澤修二	勞働の理念	岩	二三五	三、〇〇	大東出版社
廣瀨豐	山鹿素行全集	岩	五〇〇	玖田・高橋・義孝譯						
和田健爾	山鹿素行の精神	東	三一三	山根薫	探究	科學文化叢書17	東	二九九	一、五〇	新紀元社
ハーザとヒンツ	欧羅巴社現代新書	有効なる思索	東	二九五	ブランデス	黎明期の思想家	青春社思想選書	東	三〇三	三、〇〇	文光堂
元野義勝譯				宮原晃一郎譯						
永野芳夫	論理學	岩	二九八	濱野清作・中央會編	日本勤勞道德	一隅を照す	東	公	四〇	目黒書店
中村克己	論理學科學論理學にとつて	岩	二八三	ポール・リシャル	大川周明譯	永遠の智慧	東	二三五	三、〇〇	生活文化研究會
舟山信一	論理と現實	東	二八〇	永井健夫	今日の教養書選刊	人間は歩む	東	四一〇	一、八〇	佛教公論社
弘津正二	若き哲學徒の手記	東	三〇八	谷口雅春	拜み合ふ心	東	四六四	三、〇〇	光明思想普及會
アンドレ・モーロア	私の生活技術	東	二九五	細川武子	夫と妻	東	二六六	三、〇〇	主婦之友社
内藤濯譯	私の世界觀	東	三三三	島影盟	已を知る	東	二三二	一、五〇	教材社
正親含英	我等の日本精神	岩	一〇四	前田偉男	親心子心	東	二六四	一、五〇	第一公論社
增本光				大湊賛雄	省みつつ往く	東	二六六	三、〇〇	櫻花學園出版部
Arthur Waley	The Originality of Japanese Civilization		一九	額田晉	科學的に見た人生觀	東	二三	一、〇〇	北光書房
(2) 倫理				山口徹勝	人間錬成抜く力	東	二四九	一、五〇	天泉社
松波治郎	愛國の熱情と武士道	東	四六三	稻垣國三郎	義公論語	東	二四五	三、〇〇	八光社
前川傳二編	味へ!!比較せよ東西格言と俚諺	東	一六	森吉左衛門	教授參考日本勤勞叢書	臣民の道精義	公	三三	三、五〇	健文社
市原善之助	新しき日の家庭訓	東	二六八	椎尾辨匡	業務の神聖	東	八三	四〇	目黒書店
新居格	新しき倫理	東	三〇九	O・ルズモアー元野義勝譯	教養の企劃	東	二九	一、六〇	昭和書房
樺俊雄	新しき倫理のために	東	三三三	小口優	教養への道 上卷	東	四六四	三、五〇	モダン日本社
畑米吉	生きて行く道	東	二四四						
杉謙二	新皇軍之武運長久	岩	—						

杉原三郎　勤勞者技術讀本　圖　卷　一、三五　日本産業報國新聞社
城寶榮　勤勞と家庭愛　圖　二九三　一、八〇　愛亞書房
清家正　勤勞の精神　圖　二三五　五〇　同文館
勤勞者教育中央會編纂　勤勞の哲理　日本勤勞叢書　圖　八五　四五　目黒書店
小池顯後　下された生活　圖　一七五　七〇　興教書院
高橋村國　乃かゞみ　圖　一三三　二、三五　養正時報社
竹内芳衛　敬老の科學　圖　三三五　一、八〇　天理時報社
阿部靜枝　結婚の幸福　圖　三三二　一、三〇　宮越太陽堂
教材社編　現代修養論　圖　二九八　一、八〇　教材社
古谷綱武　現代母性學　圖　二四八　一、三〇　東京學藝社
高野佐三郎　劍の氣魄　圖　二八　一、八〇　協同公社
加藤明堂　興亞國民の修養　圖　五九三　三、〇〇　國民教育普及會
竹下匡三　光輝ある大東亞戰を如何に記念すべきか　—　—　—　竹下匡三
野口光　皇孝一體論　—　一〇〇　—　體驗ノ日本社
前田若尾　皇國女鑑　圖　三五〇　三、〇〇　明治書院
山田謙吉　皇國女性教養講座　圖　三六　一、三五　早稻田圖書出版

中野八十八　皇國青年の使命　圖　二七　一、三五　清水書房
深作安文　興國の倫理　圖　三〇〇　三、〇〇　目黒書店
佐野惠作　公式新國民儀禮　圖　二八八　一、三五　三省堂
友田宜剛　精撰孝子物語　圖　四二　二、四〇　國民教育普及會
清水英範　皇道歸一と精神統一法　圖　二九八　一、八〇　會通社
石田宗義　實踐親心子ごころ　圖　三三二　一、八〇　昭林堂書店
竹内浦次　孝道讀本　圖　二七　一、〇〇　受驗研究社
相良守次　行動と生活環境　教養文庫　圖　二三二　一、三五　弘文堂
小瀧操子　孝貞物語　圖　三七　一、三五　龍文舍
石丸梧平　幸福の意味　圖　二八　一、三五　宮越太陽堂
三村起一　鐵魂　青年新書　圖　九　五　目黒書店
清家正　民魂　青年新書　圖　一〇三　四五　目黒書店
德田浩淳　皇民の錬成　圖　二一二　一、三五　三松堂
深作安文　公民倫理概論　圖　四三二　一、三五　天泉社
大日本農道協會編　國體の本義と農道　圖　一九　一、三五　南光書院
高橋史光　聖將遺訓　國民教育　圖　三五　一、八〇　拳文館
—　—　—　—　—　帝國書籍協會

西晉一郎　國民道德講話　種蒔哲學叢書七　圖　三七　一、〇〇　藤井書店
宮島眞一　國民道德と倫理學　圖　三〇五　二、八〇　東洋圖書株式會社
佐藤得二　國民的教養の出發　—日本地人論—　圖　三七四　三、三〇　那珂書店
山本良吉　國民の教養　圖　二六七　二、三〇　武藏高等學校
長里清　國民奉公錄　圖　二三三　一、三〇　帝國聯合通信社
村田志賀子　國民禮法　アルス文化叢書　圖　二二五　一、三〇　アルス
甫守謹吾　國民禮法　産報版　圖　二四六　五〇　金港堂
寺川圓譽　こゝろの太陽　地の卷　圖　三三三　一、三〇　興教書院
清水谷善照　心ゆたかな生活　圖　二四八　一、三五　宮越太陽堂
志水十一郎　小竹葉　圖　四七　二、三五　藤井書店
宮瀨睦夫　この母この子　圖　二九五　一、三〇　第一公論社
宮本武藏　五輪書　岩波文庫　高柳光壽校訂　圖　一〇〇　一〇　岩波書店
高良富子　これからの母。新しい母　圖　三九五　二、三〇　鮎書房
足利淨圓　坐　圖　四一〇　三、三〇　同朋舍
勤勞者教育中央會編　産業の道　日本勤勞叢書　圖　三九　二、三〇　目黒書店
竹内芳衛　師道と弟道　圖　三三　一、八〇　目黒書店

後藤三郎　師道と弟子道　圖　二七　一、八〇　金港堂
宮澤英心　時局下の生活態度　圖　二八八　二、三〇　實文館
川島次郎　實踐青年禮法　圖　九五　四五　誠教社
伊藤惠講　新實踐倫理學　圖　四二五　四、三〇　東洋圖書株式會社
山口徹實　話名將訓　圖　二三五　一、五〇　天泉社
中川日史　死に生く　圖　二八五　一、八〇　講談社
日比谷十字の婦魂　圖　二三〇　一、〇〇　大新社
加藤明堂　修養大講座　（實踐倫理）　圖　六七　三、三〇　平凡社
志村隆城　純忠論　圖　二九九　三、〇〇　第一公論社
近藤留藏　松陰主義の生活　圖　二一〇　一、五〇　松陰精神普及會本部
古谷敬二　常會の儀禮と作法　圖　四〇　一五　中央教化團體聯合會
柏木庫治　勝利の日の丸　圖　三七七　一、三〇　博多成象堂
江馬務　昭和新禮法　圖　三七七　一、三〇　日本青年文化協會
清川秀歌　吉田松陰の女訓を語る　女訓　圖　三四　二、〇〇　日本青年教育會出版部
大竹義雄　職域奉公の倫理　圖　二九八　一、八〇　帝國書籍協會

橋	樓職域奉公論	圖	三七	一、二〇	日本評論社
中村	惠職場の教育	圖	二九九	一、八〇	培進堂
坂本	豐女子國民禮法	圖會 改訂版	二五	一、三〇	東京日日新聞社
東京日日新聞大阪毎日新聞	女性新道	圖	二四四	一、三〇	東京日日新聞社
前波	仲子女性と友情	圖	二六〇	一、八〇	帝國女子教育會
河崎	顯了人格修養の道	圖	二三一	八〇	白馬書房
石川	謙心學と現代生活	ラジオ新書 圖	一六四	五〇	日本放送出版協會
磯邊	實心學入門	圖	四四三	二、八〇	教育圖書株式會社
宮本又次他	心學	講座、六冊 會	二八三	三、〇〇	雄山閣
德川	義親新國民禮法	讀本新書 圖	一三二	四〇	目黒書店
矢野	貫城新商業道德	學生文庫 會	二三三	五〇	研究社
中村	精新生活の道標	圖	二一	五〇	同文館
谷口	雅春人生の勝利者	圖	五七	三、一〇	光明思想普及會
中野	善英人生戰場	圖	二三四	一、八〇	青年書房
岡本かの子	人生讀本	圖	二五五	一、八〇	大東出版社
中野	赳子	圖	二八	一、五〇	藤谷景文館
日本青年教育會	臣道實踐 皇道讀本	會	一九六	八〇	日本青年教育會
森川	謙二臣道實話 戰ふ人々	圖	二〇五	一、三〇	愛亞書房
竹内	浦次臣道讀本	會	二四七	一、五〇	培進堂
横上若太郎註	精解臣民の道	圖	一四六	二、〇〇	一生堂書店
岡田	稔解註臣民の道	圖	一二三	三〇	谷口正文館
德本	正俊臣民の道解義	圖	二一四	八〇	芳文堂
孫田	秀春原房孝臣民の道解說大成	會	二九六	三、〇〇	大明堂
山田	眞雄詳解臣民の道修練	會	二三四	二〇	受驗研究社
三浦	藤作臣民の道精解	會	二九八	三、八〇	東洋圖書株式會社
高山林太郎	臣民の道精解	圖	四四三	一、八〇	湯川弘文社
紀平	正美臣民の道通義	會	二九二	二、五〇	皇國青年教育協會
志水	義暲臣民の道の實踐 教學新書	圖	九二	三〇	目黒書店
石井	滿婦人文化叢書新女性訓	圖	二四六	一、八〇	時代社
奥	むめお新女性の道	圖	二三三	一、二〇	金鈴社
大倉邦彥監修	行業書1活行	會	二三四	八〇	躬行會

島	影盟 生活の情熱 われら豊かに生きん	圖	三五	一、三〇	目黒書店
古谷	綱武 今日の教養準備24 生活の精神	圖	二六六	一、八〇	日本文化研究會
飯島	幡司世紀の窓	圖	二八二	一、八〇	富士書店
谷口	雅春靜思集	圖	四五三	三、七〇	軍事教育研究會
賀川	豐彥聖淨と歡喜	圖	一三三	四五	國民教育普及會
高良	富子青春の女性	圖	二六八	三五	友松堂
小松	郁雄聖戰母心	圖	二六八	一、六〇	清正堂書房
上澤	謙二青少年のために偉人を自分に活かせ	圖	二五六	一、〇〇	現實處
竹内	幸一青少年用武道精神 上・下	圖	九〇	一、五〇	嚴々堂
嘉悅	基猶青年工員とその修養	圖	二三二	三〇	青山書院
藤谷	保青年時局讀本	圖	二四九	一、三〇	有光社
日比谷與志雄	青年魂	圖	二七二	一、五〇	政教社
小澤	恒一青年と教養	圖	二六七	一、五〇	中央教化團體聯合會
增谷	文雄青年の人生觀	圖	二一〇	五〇	弘道館
伊與田圓止	靜の行 青年の信念	圖	二一九	一、三〇	泰光堂
石田外茂一		圖	二三五	一、二〇	聖紀書房
石門	心學小觀	圖	二三四	二、一〇	目黒書店
及川儀右衛門	臣道實踐會 戰時生活訓	圖	一五五	七〇	日本文化研究會
高須芳次郎	戰時青年の進むべき道	圖	二三三	一、八〇	富士書店
岡田	久司戰陣訓と日本精神	圖	四七	二、四〇	研究會
友田	宜剛「戰陣訓」の詠歌解說	圖	七〇	四五	國民教育普及會
倉田	義一戰陣訓の手引 特に青少年の爲に	圖	七二	三五	友松堂
石黒	大介戰塵餘話	圖	二一三	一、八〇	清正堂書房
品川	義介戰鬪的人間訓 —押切る力—	圖	二三三	一、〇〇	現實處
石丸	梧平創造人生讀本	圖	二六八	一、五〇	嚴々堂
滿井	佐吉庶力論	圖	九六	三〇	青山書院
中柴	末純大皇戰の民 青年讀本	圖	二三三	一、三〇	有光社
頭山	滿翁講評大西郷遺訓	圖	二三七	一、八〇	政教社
加藤	咄堂大詔奉戴と國民の誓	圖	一〇八	五〇	中央教化團體聯合會
大倉	邦彥大東亞建設と教養	講義の書 圖	三八	一、八〇	弘道館
山口	愛川大東亞青年訓	圖	二一〇	一、〇〇	泰光堂
室伏高信編		圖	三五	一、〇〇	聖紀書房

手島　雄二　大東亞戰爭と皇民錬成　叢　二六二
高阪　太郎　大東亞戰爭と青年學徒の道　叢　二四九
山本　敏雄　大東亞戰爭と我等の任務　叢　四八
豐原　龍淵　大東亞戰に輝く美談　叢　九五
有馬　秀雄　沸る神國精神　叢　二六一
伊藤千代藏　たくましき母　叢　六三
多田　鼎　一道　多田鼎集第三卷　道　錬　叢　四五
小川　格　現代青年叢書　魂の錬成　叢　二六八
大串兎代夫　日本文化新書　民のこころ　叢　六五
柳田　國男　女性叢書　小さき者の聲　叢　二一〇
松原　致遠　超日月光　第三　叢　二四一
陸都　次華　勅諭與令對照　戰陣訓　詳解　叢　一八六
坂本　猛猪　圖解　一般禮法講話　叢　三三
紀平　正美　日本勤勞叢書　つとめの意識　叢　一〇五
林　直人　敵前上陸と日本精神　叢　三三九
石黒　大介　天心洞雜記　還曆之卷　叢　三三六

行元　自忍　改訂　日本道德學　叢　二九〇
平戸喜太郎　日本の青少年　必ず勝ち抜け　叢　三五五
大野　靜之　謹著　日本の道　叢　四〇六
大日本歷史研究會編　日本武士道　叢　四一四
奈良任教編　日本婦人のかゞみ　叢　一四六
平田　華藏　日本婦道の教育　叢　二〇四
志賀　匡　日本歸德の書　叢　三〇九
宇田　尙　日本倫理概論　叢　四二三
下地　惠常　日本倫理學史　叢　三五三
岸本　芳雄　日本倫理史綱　叢　二五四
下程　勇吉　二宮尊德　現實と實踐　叢　三九六
田中　智學　人間改造法　叢　三三五
秦　賢助　農民魂　叢　二八三
山崎　延吉　農民魂　叢　二三〇
山本常朝述　田代陣基編　大木陽堂校訂　山本常朝述　田代陣基編　大木陽堂編　葉隱上　葉隱中卷　叢　三三五　三三三

山本　英輔　天皇歸一の生活　叢　二三
高橋　城司　天皇陛下萬歲の意義　叢　二七
木暮浪夫譯　獨逸戰陣訓　叢　二八
柳田謙十郎　道德的精神　叢　三三
藤井　章　道理への思慕　叢　三八
秦　賢助　日・米英戰決す　青年よ起て　叢　三六
日暮　豐年　日本海洋精神　叢　三三
井乃　香樹　日本教養論　叢　三九
大石　隆基　日本主義の基調　叢　三〇
高須芳次郎　日本女性讀本　叢　三六
伏見　韶望　日本人の本領　叢　三七
鷲尾雨工　日本人百話　叢　三三
綱澤諭吉　日本臣民の覺悟　叢　九七
來間　恭　日本魂精髓　叢　三五
山中峯太郎　日本的人間　叢　二四
遠藤　元男　日本的反省　叢　三七

信念を培ふ　葉がくれ感話　叢　三九
西田長男編　葉隱講話　叢　三五一
大木　雄二　葉隱百話　叢　三四五
松波　治郎　葉隱武士道　叢　二五四
中村常一郎　葉隱武士道精義　叢　三八
山上　曹源　葉隱武士の精神　叢　三六
長谷川時雨　働くをんな　叢　二六八
加藤　咄堂　働くこゝろ　叢　二六四
小島　德彌　働く女性の力　叢　二六六
天崎　紹雄　母の勝利　叢　三二
八波　則吉　母の勝利　叢　三五
品川　義介　肚でやれ　叢　二九五
中山　盛行　肚と實踐　叢　三六
校訂者　藤田　三郎　日暮硯・野芹　叢　九六
矢野　隆亮　必勝の信念　叢　二六〇
廳生　義顯　美のある生活　叢　二六八

一、三五　巧人社
二、〇〇　有精堂
一、二〇　金鈴社
一、二〇　一路書苑
二、〇〇　拓南社
一、七〇　三友社
二、〇〇　實業之日本社
一、八〇　鶴書房
一、七〇　國民教育會出版部
一、三五　堀書店
一、三五　英進社
一、七〇　大東亞書房
一、三五　教材社
三〇　報德教育會
一、二〇　富文館
一、三五　教材社

二、八〇　嚴松堂
一、三五　長谷川書房
一、三〇　尙楠社
一、三五　新教社
四〇　明治天皇聖德奉贊會
一、二〇　刀江書院
一、八〇　大都書房
二、三五　酒井書坊
二、一〇　精神文化學會
二、〇〇　白帝社
二、一〇　弘文堂書房
一、八〇　天業民報社
一、八〇　鶴書房
一、二〇　東江堂
二、〇〇　教材社
二、〇〇　教材社

一、三五　錦城出版社
二五　實業日報社
三、〇〇　弘文堂書房
二、三五　芳文堂
一、八〇　鶴書房
三、〇〇　玉川學園出版部
一、八〇　三友社
二、三〇　日本電報通信社出版部
二、〇〇　曉々堂
二、〇〇　三邦出版社

橋本實	武士道講話	圖 三三四	一、三〇	有光社	吉地昌一編
萩原新生	武士道散華	圖 三四六	一、三五	牧書房	古川義春
井上哲次郎監	武士道全書 第一卷	合 三七八	三、三五	時代社	谷口雅春
井上哲次郎監	武士道全書 第二卷	合 三七七	三、三五	時代社	松田友吉
井上哲次郎監	武士道全書 第三卷	合 三六九	三、三五	時代社	伊福部敬子
井上哲次郎監	武士道全書 第四卷	合 三八〇	三、三五	時代社	西村虎一編
井上哲次郎監	武士道全書 第五卷	合 三七九	三、三五	時代社	亘理章三郎
井上哲次郎監	武士道全書 第六卷	合 三七七	三、三五	時代社	永井春雄
井野邊茂雄	武士道全書 第七卷	合 三九六	三、三五	時代社	大西一男
エルヴィン・ベルツ 道本清一郎訳	武士道の眞髓	圖 一八六	一、六〇	天理時報社	小倉鎌爾
井上哲次郎	武士道の本質	圖 三九	三、〇〇	八光社	白井成允
田中秀雄	武道の心理	圖 二六二	一、八〇	東宛書房	梅原眞隆
長谷川正道	物心一如	圖 三六八	三、三五	玉川學園出版部	戸川行男
豐田大雪	不滅の希望	圖 三六〇	一、七〇	興教書院	高橋福雄
本莊可宗	不惑の人生觀 新旅館訓話	圖 三三三	二、〇〇	千倉書房	松下芳男
大塚陽一	寒仕予る 散び	圖 三三四	二、〇〇	鐵道圖書株式會社	谷口雅春

福田寛	性訓	圖 三六七	一、七〇	國進社	望月圭介
國進社編輯部	文部省制定 國入禮法要項	圖 八六	三五	國進社	我が道念
高神覺昇	靖國の精神	圖 三三四	一、三〇	第一書房	榊原順次
花井勝市	翼賛的生活秩序の造影	合 三三	一、三〇	東風閣	和國日本への反省
片山正直	倫理學	合 二四四	三、三〇	理想社	教材社編
和辻哲郎	倫理學 中卷	合 五七〇	四、二〇	岩波書店	和の思索
平原北堂	倫理學概論表解	合 三三〇	三、三五	人生道場	(3) 心理
坂本貞禮	婦人文化叢書 のこゝろ	圖 二六八	一、七〇	時代社	江口渙
櫻井役禮	法讀本	合 三四〇	一、八〇	增進堂	愛情
嘉悦孝子編	禮法要項 詳解	圖 一四三	昭和出版協會	昭和出版協會	後藤岩男
大山澄太	錬成百話	圖 一四五	八〇	春陽堂	意志心理學
森德治	青少年工訓叢文庫 勞務者の職分	圖 二〇五	一、二〇	第一公論社	矢田部達郎
石川武美	わが愛する家庭	圖 三六八	一、八〇	主婦之友社	意志心理學史
水野末治	若き教師に贈る	圖 二七〇	二、四〇	明治圖書株式會社	教養文庫
三田谷啓	若き女性の問題	圖 一六七	一、七〇	同文館	迫觀念
阿部靜枝	若き女性の倫理	圖 三三四	一、七〇	萬里閣	鈴木信外

	現代心理學	合 四七〇	四、〇〇	興教書院	後藤岩男
	現代生活叢書				現代心理學と兒童研究
	(3) 心理				
愛情		圖 三五二	二、〇〇	白揚社	後藤岩男編
意志心理學		合 二六七	二、二〇	小學館	現代心理學の諸問題
意志心理學史		合 六八三	六、〇〇	培風館	
迫觀念		合 一八三	一、五〇	弘文堂	
鈴木信外	現代心理學	合 四七〇	三、八〇	河出書房	
後藤岩男		圖 三三五	二、〇〇	厚生閣	
後藤岩男編	現代心理學の諸問題	合 四〇三	四、〇〇	刀江書院	
カール・ビューラー 古武彌正譯	兒童心理	合 二〇八	二、五〇	三省堂	
元田喜代	少女群像	圖 三三八	二、八〇	平路社	
山本三郎	女學生の心理	圖 二六五	二、〇〇	前田文進堂	
小熊虎之助	心理學概論 下	合 一五〇	一、八〇	太陽堂書店	

伊藤安二　心理學研究　岡　三九〇
桂　廣介　心理學ノート　岡　三六八
吉倉範光編　青年の人格（白水社群像選書8）　岡　三七三
佐藤正義　久保良英　智能檢査定法　岡　三五四
エミール・ルドインツヒ　中岡宏夫譯　天才と性格　岡　四〇九
大塚弘譯　小川隆　ドイツ戰爭心理學　岡　二八三
K・レヴィン　林村健平　大伴茂譯　トポロギー心理學の原理　岡　四七九
愛育研究所編　乳幼兒發達檢査略說　岡　一三四
ワトソン　那須聖譯　人間は如何に行動するか（創元選書）　岡　四四四
武久勇三　夢とは何か　岡　一八九
大槻憲二　夢の分析法入門　岡　二九二

(4) 宗教

プラメプ　愛の宗教　岡　二七
木下乙市譯
三谷隆正　岬上賢造著作集（第一輯）　岡　六二
イエスキリストの人格及位置　岡　四八六
フォーサイス　上與二郎譯
山本梅市郎　家と基督教　岡　二六

敬文堂	三、五〇	啓明會	三、五〇
三省堂	二、三五	惟神大道の本義	三六
白水社	一、八〇	鈴木大拙 一眞實の世界	三三
中文館	三、三五	螢澤藍川 一日蓮主義者の生活樣式	三五
山雅房	二、三五	武者小路實篤	三三
中川書房	一、八〇	小林哲夫（オーエル・ファーサル）	一四
生活社	三、三五	鈴木朝英	三五
目黒書店	一、三〇	C・マンシャード（綜合インド研究室譯）	三七
創元社	二、三五	龍山章眞 印度佛教の話	二四
善隣社	一、三五	竹内武雄 氏子總代讀本	五〇
東京精神分析學研究所	三、〇〇	今村好太郎 永遠の基督	三七
建設社	一、三〇	上西眞澄 詠歌本記	三九
岬上賢造著作刊行會	三、三五	大谷學會 大谷大學研究年報	三八
長崎書店	二、八〇	大倉精神文化研究所編 大般講義	二六
改造社	一、三五	田村靈祥 おまかせと人生	三五
長崎書店	一、四〇	佐々木憲徳 恩一元論	三九
解說梵文觀音經刊行會	二七、〇〇	大川周明 回教概論	二四
中山文化研究所	三、三〇	回教圈	三〇
慶文堂書店	二、三〇	北隆館	三〇
冨山房	一五、〇〇	近藤書店	二、〇〇
川面凡兒先生十周年記念會	—	奉天大阪屋號書店	二、三五
鎌倉同人會	一、八〇	日本評論社	一、六〇
岩波書店	八〇	愛國新聞社	一、八〇
長崎書店	三五	綜合インド研究室	二、三五
東洋圖書	二、八〇	法藏館	二〇
大東出版社	一、六〇	明文社	三五
同文館	五〇	長崎書店	一、八〇
興教書院	五、〇〇	慶應書房	二、〇〇

櫻井匡　回教圈　マホメット傳　岡　二九一
回教教祖
回教史　岡　六四四
季刊回教事情　第四卷第三號　外務省調査部編　岡　一〇四
石原兵永　回心記　岡　三九
渡邊大濤　解說梵文觀音經　岡　四六
富士川游撰　科學と宗教　岡　四七六
北村大榮　家庭禪話　岡　二九〇
上智大學編　カトリック大辭典（二）　岡　八七四
川面義雄　川面凡兒全集　九　岡　七四
川面義雄　川面凡兒全集　十　岡　七八
相澤善三　鎌倉社寺めぐり　岡　三三
ゼ・エデルハイム　三枝義夫譯　神・信仰の生成（岩波文庫）　岡　四二
赤岩榮　神われらと偕に在す　岡　五三
丹羽保次郎　惟神の大道　岡　三四
岡本かの子　觀音經を語る　岡　二四八
柯倉諄太郎　觀音の精神　岡　一四三

三省堂	一、五〇	ウォーフィールド 奉名謙筆譯 救拯論	一九七
善隣社	六、〇〇	石島三郎 舊・新約聖書要覽	二八六
改造社	五〇	高橋虔 舊約聖書概論	三九
長崎書店	一、四〇	松谷義範 教會と權威	九六
解說梵文觀音經刊行會	二七、〇〇	森西洲 行の哲學	三三
中山文化研究所	三、三〇	キリシタン研究第一輯	二五
慶文堂書店	二、三〇	海老澤有道 切支丹史の研究	二八四
冨山房	一五、〇〇	波多野精一 基督教の起源	二五三
—	—	熊谷政喜 基督者は現代に斯く信ず	二四
鎌倉同人會	一、八〇	氣賀重躬 基督論史	二九八
岩波書店	八〇	遠山謙觀 愚禿の立場	四五
長崎書店	三五	京藏 切支丹史話	三三
高谷道男	五〇	經濟生活と基督教文化の交錯	二七
東洋圖書	二、八〇	杉榮朗 敬神崇祖の基調	二四
大東出版社	一、六〇	柄澤照覺 敬神崇祖 みそぎ行の實踐	二三
同文館	五〇	高峯了州 華嚴思想史	五三
長崎書店	一、三〇	海老澤有道 基督者は現代に斯く信ず	二四
興教書院	二、三五	氣賀重躬 基督論史	二九八
東京堂	二、三五	京藏 切支丹史話	三三
三省堂	二、三〇	經濟生活と基督教文化の交錯	二七
興教書院	四〇	杉榮朗 敬神崇祖の基調	二四
神靖館	一、〇〇	柄澤照覺 敬神崇祖 みそぎ行の實踐	二三
興教書院	五〇〇	高峯了州 華嚴思想史	五三

龍谷大學講本	華嚴法界義鏡	上	二五	三、三〇	龍谷大學出版部	田中忠雄	古佛道元	哲	一九	一、八〇	不二書店
岡野聖憲	解脫講義（上）	哲	一三	—	解脫報恩會	石島三郎	是その徹なり（十字架の神學叢書）	哲	一八	為	長崎書店
渡邊善太	現實教會の福音的認識（十字架の神學叢書）	上	二二	一、〇〇	長崎書店	平井巽	最高宗教の三大原理	哲	一五	—	東光文化研究所
バヴィンク著 湖南眞一・川添豊藏譯	現代科學と神の再發見	哲	二九	一、八〇	三光社	伊藤康安	坐禪十年	哲	三一	一、八〇	第一書房
飛騨野人	現代天路歷程	哲	二六	九〇	三光社	山田靈林	坐禪の書	哲	三五	一、三〇	第一書房
長崎次郎編	原典新約聖書	上	六三	三、〇〇	長崎書店	松谷義範	使徒行傳講解 3（十字架の神學叢書 29）	上	五七	六〇	長崎書店
福島政雄	皇國敎化の本義	哲	一〇〇	一、一〇	興敎書院	傳統先井東憲譯	支那回敎史	上	六五	三、〇〇	岡倉書房
木津無庵編	講纂維摩經	佛	三一	一、八〇	破塵閣書房	安藤德器	支那宗敎史（支那地理歷史大系 11）	哲	九二	三、〇〇	白揚社
阪口玄章	現代譯高僧論纂（ラング十訓書）	哲	三八	二、三〇	小學館	望月信亨	支那淨土敎理史	上	七七	六、〇〇	法藏館
佐藤堅司	皇道世界政策論	社	二五	五〇	日本放送出版協會	山崎宏	支那中世佛敎の展開	上	四三	三、〇〇	清水書店
組風宣揚會編	弘法大師諸弟子全集（上・中・下一組）	上	二〇〇	三、〇〇	六大新報社	鷲山第三郎	支那天主公敎會の實情	哲	三二	二、三〇	福村書店
長岡慶信	弘法大師の宗敎	哲	八七	一、一〇	大東亞公論社	日本國際協會	支那に於ける宗敎の研究	哲	二八	—	日本國際協會
岩野眞雄外	國譯一切經和漢撰述部（敎約・三冊）	上	三七	二、三〇	大東出版社	塚本善隆	支那佛敎史研究（北魏篇）	上	六九	一〇、〇〇	弘文堂書房
高木英紀	護國の神諦で	哲	三三	三〇	鬚々堂	支那民俗風景（日・八ヶ尾高堰・ヴェイル・勅使河原太郎譯）		哲	三五	一、八〇	龍吟社
南原繁	國家と宗敎	上	三五	二、三〇	岩波書店	柳田國男	石神問答（日本文化名著選第二輯）	哲	三九	一、八〇	創元社
東京帝國大學學生敎育會編	國家と佛敎	哲	二六	一、八〇	日本青年敎育會出版部	野依秀市	釋迦物語	哲	一八	八〇	佛敎思想普及協會

中岡宏夫	宗演禪師禪學精髓（高山講義 12）	哲	六四	一、五〇	高山書院	小林一郎述	聖德太子の憲法の大乘佛敎	上	一四	一、〇〇	大乘佛敎會
K・ライト著 上野隆誠譯	宗敎思想史	哲	三〇七	二、〇〇	同文館	野依秀市	淨土眞宗の根本特色	哲	八三	五〇	大日本眞宗宣傳協會
デュルケム著 古野清人譯	宗敎生活の原初形態（下）（岩波文庫）	社	三五三	六〇	岩波書店	道元禪師（加藤咄堂註）	正法眼藏申卷	哲	六六	一、〇〇	岩波書店
大友芳雄	宗敎的世界	哲	二〇七	一、二〇	傲文館	大久保道舟	正法眼藏隨聞記（禪學叢書 4・新校註解）	哲	八一	一、八〇	山喜房佛書林
藤秀璻	宗敎的表現	哲	三八	二、〇〇	興敎書院	立花俊道	校註正法眼藏隨聞記	哲	二四	一、八〇	大東出版社
宮本武之助	宗敎哲學（岡和會叢書第二輯）	哲	二五	二、三〇	長崎書店	ウォーフィールド・松谷義範譯	ジョンカルヴイン人物業蹟（十字架の神學叢書）	哲	四八	四五	長崎書店
松倉重直	宗敎に於ける日本精神の探求	哲	一三四	八〇	鳳俗社	苗代清太郎	神祇解答寶典（神祇叢書）	哲	四六	一、〇〇	神祇聯盟
大友芳雄	宗敎の話（佛敎知識講座）	佛	二三〇	六〇	大谷出版社	大倉邦彥	神祇敎育と倒練（敬神道叢書第二輯・橘廣貴著第一輯）	神	八六	五〇	明世堂
大原性實	宗敎報國	哲	三七	一、五〇	永田文昌堂	出雲路通次郎	神祇と祭祀	神	四四	四五	櫻橘書院
大洞良雲	修證義講話	哲	五二	一、八〇	大法輪閣	神祇學會編	神祇に關する制度・作法事典	神	六九	五五	光文堂
清水谷恭順	修養觀音經	佛	四〇	一、六〇	敎材社	金光憲爾	新舊對照改正神社祭式行事作法要覽	神	八三	五〇	明文社
高橋敏太郎	受洗五拾年の回顧	哲	五一	一、三〇	三光社	秋本巳太郎	信仰指針	神	二〇	五	善隣出版社（供給部）
中村獅雄	主の祈講解	哲	一五三	七〇	敎文館	山本泰次郎	信仰と人生	哲	一九七	一、二〇	長崎書店
千葉勇五郎	殉敎の使徒ペテロ研究	哲	一六〇	一、〇〇	敎文館	梅原眞隆	信仰と生活	哲	三五	一、五〇	河出書房
赤司繁太郎	純正基督敎	哲	二六	一、〇〇	實踐敎育會	龜井勝一郎	信仰について	哲	七一	二、三〇	筑摩書房
家永三郎	上代佛敎思想史（敬神史叢書）	佛	四五	五、〇〇	畝傍書房	アラン著 林桂・信三郎譯	信仰についての談話	哲	六五	二、四〇	青山出版社

中野	松堂	信仰の力	四六	二五五	三五	同文館	
眞継	雲山	信仰の光 家庭佛教十二講	四六	二五三	三五	日本佛教新聞社	
杉	紫朗他	眞宗講座（叢約、二冊）	四六	二四三	一、三五〇	眞宗典籍刊行會	
白戸	恒藏	神國日本讀本	四六	二六九	一、九〇	天泉社	
紙業出版社	編	神社參拜	菊	二〇八	一、〇〇	紙業出版社	
西嶋	東洲	神社參拜	四六	二六三	一、二五	紙業出版社	
大原	性實	眞宗教學の諸問題	四六	二四六	三、〇〇	興教書院	
鹽原	一勇	眞宗教團開展史	四六	二五九	四、〇〇	歿傍書房	
書賢	大圓	眞宗思想史	四六	二三五	三、〇〇	明治書院	
秀	諦住	眞宗の日本的性格	四六	二四〇	一、七〇	一生堂書店	
野依	秀市	人生と信仰の問答	四六	二三三	三、二〇	大日本眞宗宣傳協會	
伊藤	證信	眞正佛教學	菊	三〇七	三、九〇	同志同行社	
朝日新聞社	編	新體制國民講座（第八輯 佛教篇）	菊	一九〇	一、二〇	朝日新聞社	
田中	義能	神道概論（訂正版）	菊	二七三	三、七〇	明治書院	
山本	信哉	神道綱要	四六	二六七	二、二〇	明世堂	
淺野	明光	神道思想	四六	二三五	二、二〇	理想社	

山田孝雄述		神道思想史	四六	—	—	神祇院	
梅田	義彦	神道思想の研究	菊	三六八	三、三〇	會通社	
千家	尊建	神道隨想集	四六	二六〇	二、四〇	建設社	
江見	清風	神道說苑	菊	二六二	三、〇〇	明治書院	
宮地	直一	神道論攷 第一卷	菊	三八四	四、三〇	古今書院	
服部	如實	信の映像	四六	二七一	一、八〇	心鏡社	
村山	修一	神佛習合と日本文化（教養文庫）	四六	一九六	一、八〇	弘文堂書房	
クリスファー・ドウソン 刈田元司譯		現代カトリック文藝叢書 進歩と宗教	四六	二七四	一、八〇	甲鳥書林	
聖書協會	編	新約聖書	菊	五五四	一、三〇	日本聖書協會	
日本聖書協會	編	新約聖書 詩篇附（詩篇別譯）	四六	二四一	一、二〇	日本聖書協會	
ヒッキー		新約聖書 希英辭典	四六	二一五	三、〇〇	長崎書店	
稻葉	秀賢	親鸞 聖人（傳記知識講座）	菊	三八	三、三〇	長崎書店	
石島	三郎	概說 新約聖書神學	四六	二一七	二、三〇	大谷出版協會	
河崎	顯子	親鸞聖人の現世利益觀	四六	一九五	一、二〇	白馬書房	
唐澤富太郎		親鸞の人間觀と教育觀	四六	二九三	一、八〇	第一書房	
エミール・ベルトン 戸塚文卿譯		眞理の使徒	四六	二四四	二、〇〇	聖パウロ會	

田中千代松		神靈と人生	四六	八七	五〇	大化書院	
富士川游	撰	瑞華雜話	菊	四四四	三、三〇	中山文化研究所	
小林	健三	日本思想大系（2）加藤神道	四六	三三三	二、二〇	理想社	
照峰	馨山	捨身の白蹤	四六	二六五	一、八〇	丁子屋書店	
カール・アダム 魚都・英夫・大部譯		聖アウグスティヌスの精神的發展	四六	一四五	一、四〇	創元社	
富士川游	述	生死の問題	四六	二九七	二、〇〇	厚德書院	
賀川	豐彥	聖淨と歡喜	四六	一三三	五〇	日曜世界社	
聖書註解 日曜學校社	編輯部編	日曜學校科別教案	菊	一五一	二〇	日曜世界社	
吉村	貫練	青年と宗教	四六	三一一	一、〇〇	三省堂	
岡	邦俊	青年の宗教	四六	一二三	五〇	同文館	
坂田	光全	性靈集講義	四六	四五三	五、〇〇	高野山時報社	
江部	鴨村	世界觀人生觀	四六	二九五	一、五〇	人生創造社	
高橋	亘	絕對と深淵（ヘーゲルとキエルケゴール）	菊	三七七	三、三〇	育英書院	
江田俊雄外	譯	（叢約、一冊）	菊	三六	二、三〇	雄山閣	
山田	靈林	禪學讀本	四六	三一〇	一、五〇	第一書房	
山田	靈林	禪學夜話	四六	三一三	一、三〇	第一書房	

日種	讓山	禪宗學	菊	三九六	三、五〇	內外書房	
出口林次郎		戰勝祈願 神社參拜書（集印帖）	菊	八	一、〇〇	清正堂	
市川	白弦	禪の基本的性格	四六	二九二	五〇	同文館	
中根	環堂	禪の生活	四六	二九三	一、八〇	宮越太陽堂	
中根	環堂	禪の精神	四六	二一八	五〇	同文館	
橫關	了胤	曹洞宗宗制私解	菊	二九九	三、八〇	磨甎社	
宗典刊行會	編	曹洞宗重要法規集	四六	二四四	二、二〇	甲子莊書房	
安井	廣庵	續眞宗大系（叢約、二冊）	菊	四四〇	四、三〇	眞宗典籍刊行會	
鈴木大拙著 北川桃雄譯		續禪と日本文化（岩波新書）	四六	二六六	五〇	岩波書店	
中野	東溪	損翁禪話	四六	二三〇	二、一〇	道統社	
川瀨	光順	大乘道の實現（禁轉載現代語譯註）	四六	二五五	三、八〇	冨山房	
海老澤	亮	大東亞建設と日本基督教（時の論叢第參）	四六	二四一	一、〇〇	教文館	
湯淺	與三	大東亞戰爭の宗教的構想	四六	二二六	八〇	警醒社	
足立	喜六譯註	大唐西域求法高僧傳	四六	二七六	四、〇〇	岩波書店	
矢野	玄道	大道の知るべ	四六	二一〇	三、二〇	內外書籍株式會社	
松原	致遠	たゞ念佛して	四六	二九五	二、三〇	丁子屋書店	

松本文三郎　達磨の研究　岩波文庫　赤　三七　三、〇〇　第一書房
内村鑑三　地人論　岩波文庫　青　二六　四　岩波書店
眞鍋廣濟述　地藏尊講話　岩波　一三　一、五〇　永田文昌堂
チャールス・ベル　橋本光寶譯　西藏の喇嘛教　岩波　四五二　三、五〇　法藏館
友清歡眞　天行林　岩波　三五四　一、五〇　神道天行居
天台宗宗務本廳編　天台宗寺籍簿　岩波　二四五　一、〇〇　金剛堂
高木圓治　傳道者　岩波　三五三　一、五〇　日本聖化基督教團
秀諦住　傳道の根本問題　岩波　二三　八〇　一生堂
國民精神文化研究所　東亞宗教の課題　岩波　二三　—國民精神文化研究所ダイヤモンド社　三、八〇
堺田福太郎　東亞法秩序序說　岩波　三七　三、八〇　—民族信仰を中心として—
大久保道舟　道元の言葉　岩波　三五五　一、五〇　東峰書房
東洋大學護國會編　東洋大學論集　第二輯　岩波　三〇一　三、〇〇　東洋大學護國會
鈴木大拙　東洋的一　大東名著選44　岩波　三四三　一、五〇　大東出版社
橋本武　南方開教史話　岩波　二一〇　一、八〇　甲子社書房
中島莞爾　南方共榮圏の佛教事情　岩波　二六三　一、五〇　大東出版社
佛教研究會編　南方圏の宗教　岩波　四一七　三、五〇　第一書房
龍山章眞　南方佛教の樣態　岩波　三五二　三、九〇　弘文堂書房
伊與田圓正　南方民族の宗教　岩波　三五三　三、五〇　寶雲舍
長谷川義一　日鑑上人の教學思想　岩波　一八〇　—　妙顯寺
魚木忠一　日本基督教の精神的傳統　岩波　三三一　三、〇〇　基督教思想叢書刊行會
扉田敏明　英文日本祭祀組織の構成　岩波　一三五　三、〇〇　日本文化中央聯盟
安津素彦　英文日本祭祀の構成　岩波　一九一　一五　日本文化中央聯盟
比屋根安定　日本宗教全史　岩波　三六八　三、〇〇　教文館
比屋根安定　日本宗教全史　岩波　三七〇　三、〇〇　教文館
日本宗教全史　第四卷　近世篇　岩波　三七一　三、〇〇　教文館
比屋根安定　日本宗教全史　第五卷　現代篇　岩波　三九四　三、〇〇　教文館
かな名讀全集刊行會　日本寫經全集　（豫約一冊）　岩波　四四　三、一〇　武田墨彩堂
高橋空山　日本的行き方　岩波　二八九　一、〇〇　日本思想研究會出版部
キーン・ドナルド　外山五郎譯　人間と啓示　基督教叢書10　岩波　九三　一、一〇　長崎書店
本山桂川　日本の祭禮　岩波　三五九　三、三〇　武田墨彩堂
柳田國男　日本の祭　岩波　二六五　二、八〇　弘文堂書房
教學局編　日本の佛教　岩波　二九　—　文部省教學局
大阪毎日新聞社編　新日本佛教概論　岩波　三三七　二、三五　一生堂

日本佛教史學會編　日本佛教史學　第四號　岩波　一二三　一、三五　平樂寺書店
藤島達朗　日本佛教の話　佛教知識講座　岩波　三九　一、五〇　大谷出版協會
伊藤恵　日本文化と日本佛教　岩波　三五一　一、五〇　大東名著選43　大東出版社
北尾日大　日蓮聖人遺文金集講義　岩波　三四四　一、五〇　平樂寺書店
矢道隆家　日蓮は泣いてゐる　岩波　三五四　一、五〇　日蓮宗新聲社
日曜世界社編　日曜世界　東洋思想叢書7　岩波　一五〇　一、五〇　日曜世界社
横超慧日　涅槃　岩波　二八三　一、六〇　甲子社書房
布施浩岳　涅槃宗の研究　前篇　岩波　二六六　三、五〇　日本評論社
布施浩岳　涅槃宗の研究　後篇　岩波　二六六　五、〇〇　叢文閣
石井教道編　念佛と禪　十字架の神學叢書　岩波　一八三　一、六〇　法藏館
ハイデルベルク論爭　教義文庫　岩波　四八　五〇　長崎書店
山谷省吾　パウロ　岩波　一五九　五〇　弘文堂書房
中上義行　パウロの回心と基督教の起原　岩波　三五六　三、〇〇　教文館
鈴木大拙編　吉田紹欽　盤珪禪の研究　岩波　五三三　四、五〇　山喜房佛書林
專村優眞　般若心經　岩波　一九五　一、五〇　永田文昌堂
金子大榮　人　岩波　四七四　三、〇〇　同朋舍
アーリ・カロロ　病者への慰め　岩波　一四一　一、四五　床洗受一哲學徒の入信記
サレジオ會　東印度に於ける回教　岩波　九五　一、四五　長崎書店
ビルマ佛教徒と慣習法　岩波　三三　三、〇〇　東亞研究所
深水美義　—八紘會—　新訂版　岩波　二〇三　一、五〇　滿鐵東亞經濟調查局
武藤欽回　々教大觀　岩波　三三一　一、五〇　女子美術學校出版部
三吉朋十　比律賓の宗教と文化　十字架の神學叢書28　岩波　三五八　二、五〇　偕成社
日本評論社　三吉朋十と基督教神學　十字架の神學叢書　岩波　三五　一五〇　長崎書店
橋本鑑　日曜世界社　貧者の一燈　新訂版　人生文庫第十一輯　岩波　二〇三　一、五〇　人生社
カール・バルト　高橋勝譯　福音的稱名序說　十字架の神學叢書　岩波　九八　八〇　長崎書店
鈴木俊郎　福音と歷史　神學叢書研究叢書1　岩波　二七〇　一、七〇　日英堂書店
富士川游　富士川游著述選　譯　福音と律法　岩波　七一　四〇　中山文化研究所
富士川游　富士川游著述選　宗教的內省　岩波　四二六　二、三五　中山文化研究所
富士川游　富士川游著述選　實の道　岩波　三二六　二、三五　中山文化研究所
賀川豐彥　復活の福音　（改訂版）　岩波　二三六　一、五〇　日曜世界社
木村泰賢　佛教學入門　大東名著選34　岩波　三三三　二、三五　大東出版社

清崎 顯了 佛教經典の戰爭觀 岩 三五 —
佛教研究會編 佛教研究 第五輯 佛教學の現狀と將來 岩 二六〇 教化研究院
增谷 文雄 撰 新佛教辭典 創 五二 三、三五 同文館
岡 邦俊 佛教哲學概論 東 三七 一、七七 同文館
吉田 龍英 佛教哲學入門 東 二六六 二、〇〇 青梧堂
菅本 憲雄 佛教哲學の話 創 三八 三、三五 有光社
友松 圓諦 佛教入門 東 二六三 一、七五 僧成社
吉田 龍英 佛像解說圖繪 東 三四 一、八〇 三省堂
宮本 正尊 增不動心と佛敎 東 四〇九 二、三五 有光社
マリオ・マレガ編 豐後切支丹史料 岩 一九六 三、〇〇 サレジオ會
蓮沼 文範 碧巖に描く 東 三三 二、〇〇 龍吟社
荒井とみ三 遍路圖會 東 三六 一、八〇 新正堂
小林 一郎 法華經講義 第二卷 岩 九一五 八、〇〇 晋文館
清水谷恭順 法華經の眼目 自我偈の講話 東 三五三 一、三五 宮越太陽堂
藤谷 俊雄 本願寺寫眞帖 帝 — — 京都本願寺
林 道祭 本朝神社考 増訂 三八 七、〇〇 改造社

村瀨武比古 本當の南無阿彌陀佛 東 三五 三、〇〇 神榮館
菅馬 實藏 本妙日臨律師全集 岩 二六〇 五、〇〇 平樂寺書店
佐藤 武 みそぎの話 東 三六六 一、八〇 有精堂
石橋 犀水 寫 淨觀世音菩薩普門品 第廿五 帝 一七 一、三五 松林堂
弓場喜一刊 妙法蓮華經觀世音菩薩普門品第廿五全 圖 三四 二、〇〇 松林堂
神山 白士 無から生きる道 東 三六六 一、八〇 廣業社
鈴木 大拙 無心といふこと 東 二九六 一、八〇 出版部
橋本 光寶 蒙古の喇嘛教 岩 三六六 五、五〇 大東出版社
國民精神文化研究所編 吉見幸和集 一・二 岩 — — 佛教公論社
左近 義弼 ヨハネのつたへし 福音書 東 三六八 一、八〇 國民精神文化研究所
ウィリヘルム・西山 健一訳 ヨ 十字架の神學叢書 ヨハネの福音書 岩 六三 一、八〇 第一書房
近藤 良重 ヨブ記新註解 東 七一 五〇 長崎書店
小林 一郎 立正安國論通釋 東 三五五 三、三〇 聖書文學社
金子 正頂 靈 親 東 一〇二 一、八〇 慈念會
龜川 敎信 靈魂論 東 三五二 二、〇〇 日本題目會
根岸 榮之 鍊成行と信仰 東 一三 一、三五 興教書院

稻葉 昌丸 訂 蓮如上人御一代聞書 岩波文庫 岩 三九 — 岩波書店
伊福部隆彥 老子 眼藏 岩 三九 二、三五 同文館
杉 讓 我等の信念 — 我等の覺悟 東 四七 — 黑住教事務局
國際觀光協會編 日本の神道 Das Wesen des Shintoismus 東 五五 一、〇〇 教文館

(5) 教育

岡村 匡造 愛兒を持つ父母への書 東 三九 一、八〇 新小說社
野村 武夫 愛兒と教養 東 一五 一、三五 立命館出版部
赤井 米吉 愛兒の家庭教育 東 三八 一、三五 刀江書院
栗山 重 愛兒の爲の科學教育の躾け方 岩 三六 一、三五 研究社
田中寬一編 愛兒の導き方 東 三九 一、八〇 培風館
戶田 貞三 家の道 文部省 戰時家庭教育指導要項解說 東 三〇 一、四〇 中文館書店
東亞教育研究會編述 一年生と共に學ぶ母の讀本 上 東 三五 一、三五 照林堂書店
小野 鄰吉 小野 春夫 AI型模型機の正しい作り方 東 五九 三、三〇 三國書房
全日本映畫教育研究會 映畫教育講座 岩 三六 二、三五 四海書房
關野 嘉雄 映畫教育の理論 岩 四一 四、一〇 小學館
山本 晴雄 歐米列強の師範制度 東 三二 三、〇 新興亞社

下總 皖一 音樂教育と和聲學 岩 二五 三、〇〇 日本放送協會
田村しげる 音樂教室 初等科 岩 一二五 一、八〇 新興音樂出版社
二葉 薰 音感教育 岩 三九八 三、三五 日新書院
近藤 誠 音名視唱指導の實際 岩 一〇三 一、三〇 共益商社書店
大久保幸次 同敎の本義と現勢 岩 四四 三五 啓明會
中村 武次 改正學校敎練科要義 東 一三三 一、三〇 聖紀書房
植松 登慶 寫眞 海洋少年團 東 一五六 一、三五 東亞書林
敎育思潮研究會 科學敎育 岩 三六 二、三五 目黑書店
富塚 清 科學敎育の改善 東 一〇八 四〇 目黑書店
三鳥 新吉 科學敎育の革新 東 三六 一、三〇 南北社
敎育新書 志垣 寬 科學敎育の基礎 東 一六 一、〇〇 日本文化研究會
敎養新書 福井 玉夫 科學敎育の原理と方法 岩 三六 三、〇〇 同文書院
一柳 直良 科學する子供の爲の模型航空機の作り方 東 三五 一、八〇 立命館出版部
河野伊三郎 科學と觀察 國民學校新綴り方 四・五年向 岩 九一 三五 日本兒童教育會
谷本龜次郎 輝く部落の研究 東 六〇 三、三〇 泰文館
谷口 武 學記論攷 東 三五 二、三〇 青磁社

奈良女高師附屬國民學校編	國民教育研究第二輯 學級教育の道	B6	七四	五〇	明治圖書株式會社
小田三都雄	學校滑空訓練の基礎	B6	二三三	一、三〇	三國書房
則内一郎	學校家庭 健康への正しき指導	B6	二九九	一、五〇	照林堂
重田定正 新井英夫	結核豫防叢書四 學校と結核豫防	A5	一六〇	一、〇〇	大日本教化圖書株式會社
川島次郎	學校禮法（儀式篇）	A5	二八一	二、五〇	目黒書店
フィヒテ 宮崎洋三譯	岩波文庫 學者の本質・學者の使命	小B6	三九八	八〇	岩波書店
文部省	學制七十年史	A5	三〇五	—	帝國地方行政學會
大串兎代夫 他七氏	學生生活の創造	B6	三九七	一、八〇	健文社
松本正治	皇國民錬成の學童訓	A5	一八八	七〇	丸文書房
增田勳	學童隊訓練の構想と實際	B6	二〇五	一、六〇	晃文社
原島進 志佐博	學童と結核	A5	三一一	三、二〇	目黒書店
今田竹千代	學徒錬成讀本	B6	一五九	九〇	東京講演會出版部
福澤諭吉 富田正文解題	明治文化叢書 學問のすゝめ	B6	二三五	一、三〇	日本評論社
福澤諭吉	岩波文庫 學問のすゝめ	小B6	三一一	四〇	岩波書店
青木誠四郎	家庭における子供の鍛錬	小B6	三八三	一、五〇	主婦之友社
吉田惠之助	卷頭言集	小B6	三五〇	一、三〇	同志同行會

長田新	朝日新講座三〇 教育學	B6	二三六	一、二〇	朝日新聞社
入澤宗壽	教育學概要	B6	二〇九	一、一〇	春秋社松柏館
石原莞爾	教育革新論	B6	七三	五〇	言靈書房
日本教育學會	教育學論集	A5	三〇三	三、〇〇	玉川學園出版部
瀨川賴太郎編	教育新辭典	小B6	五六六	二、〇〇	三井出版商會
佐藤良一郎	教育新體制叢書 科學と教育	B6	一九一	一、三〇	小學館
長谷川央	教育と愛護	B6	三一六	一、八〇	須磨書房
飯島正	教育と映畫	B6	三〇三	一、三〇	小學館
箕岡時彥	教育新體制叢書 教育と産業	B6	二〇五	一、三〇	小學館
河上民祐	教育と神社祭祀	B6	一六八	一、三〇	六盟館
金子彥二郎	教育新體制叢書 教育と文學	B6	二四三	一、三〇	小學館
吉田熊次	教育日本	B6	三〇三	二、〇〇	教育研究會
カール・ヒルティ 守谷英次譯	教育の仕方	B6	三一四	二、五〇	近藤書店
久保山雄三	教育の新體制	A5	八一	一、〇〇	公論社
吉田熊次	教育方法論	A5	三〇八	三、〇〇	目黒書店
長義正	教、學新論	B6	三九〇	二、五〇	啓成社

齋藤喜博	教室愛	B6	二五四	一、八〇	三崎書房
戸田清	教師の數學 上卷	A5	二八四	一、八〇	積善館
戸田清	教師の數學 中卷	A5	二九〇	一、八〇	積善館
戸田清	教師の數學 下卷	A5	二七五	一、八〇	積善館
篠原助市	教授原論 特に國民學校の授業	A5	四七七	四、二〇	岩波書店
堀越喜博	教壇から家庭へ	B6	三三五	二、五〇	奉天大阪屋號書店
平塚益德	近代支那教育文化史 第三國對支教育活動中心として	A5	四四五	四、五〇	目黒書店
飛田多喜雄	國の子の家庭教育	A5	三四三	二、二〇	新潮社
眞島豹吉	訓導の生活	B6	三六一	二、五〇	龍吟社
小笠原みち雄	藝能科音樂指導案 初一	B6	四〇一	三、五〇	明治圖書株式會社
服部誠一	藝能科習字への道	B6	三〇七	二、三〇	修文館
上甲二郎	藝能科圖畫工作授業細案 初一後期	B6	二八四	二、九〇	明治圖書株式會社
上甲二郎	藝能科圖畫工作授業細案 初二後期	B6	三一一	二、九〇	明治圖書株式會社
圖畫工作研究所編	藝能科圖畫工作重要問題解說	A5	三八九	二、八〇	圖畫工作株式會社
京都帝國大學新聞部編	決戰下學生に與ふ	B6	二七三	一、八〇	教育圖書株式會社
增地庸治郎 金井浩	決戰下の青年學校 商業科經營	B6	三〇四	一、三〇	全國青年學校教員協會

ペスタロッチ 田制佐重譯	ゲルトルードは如何にその子を教ふるか	B6	三五〇	二、五〇	春秋社
東京行政學會	現行文部省例規總覽	A5	七四八	八、五〇	玄文社
建國祭本部編	建國兒童劇集	A5	四〇〇	三、八〇	帝國教育會出版部
山極眞衞	改訂現代學校教育學	A5	三三六	三、〇〇	寶文館
稻富榮次郎	現代の日本教育學	A5	二〇五	三、〇〇	育芳社
丸山朝吉	興亞日本教育史（上・下）	A5	—	—	日本教育振興會
工業青年教育研究會編	工業青年の讀書指導	B6	一三八	六五	國民工業學院
公手喜代史	皇國家庭教育讀本	B6	一六八	一、〇〇	昭和教學社
紀元二千六百年奉祝會編	皇國思想の本源	B6	二九九	一、五〇	皇國青年教育協會
中西明子	皇國の子 躾の記錄	B6	一七三	一、五〇	第一出版協會
川喜田煉七郎	構作技術大系	A5	四三一	三、五〇	圖畫工作株式會社
和田利彥編	皇道報德教育 第八輯 報德教育の具體的發展	A5	八一	三〇	報德教育會
戸田貞三監修	公民教材 國政國防資料	A5	一〇六	七〇	中文館書店
戸田貞三監修	公民教材 我が國と我國民生活資料	A5	六三	七〇	中文館
水木梢	皇民錬成 日本主義の教育	A5	二三八	二、八〇	高踏社
志賀國	大戰下の國民學校 皇民錬成の實際	B6	二七八	三、五〇	秋文堂

フイーエ 富野敬邦	國家教育論	民	三二八	一、五〇	玉川學園出版部
土方惠治	國防國民學校經營	民	三四六	二、五〇	帝國出版協會
松田友吉	國民學校運營の實踐記錄	民	三一八	二、六〇	啓文社
留岡清男	國民運動と國民教育者	民	六三	三〇	同盟通信社
竹村一	國民學校衞生原論	全	三九一	四、二〇	教育科學社
鳴田忠男	國民學校衞生要義	民	三二〇	二、〇〇	聖紀書房
前田虎一郎	國民學校を卒業する我が子の進學と教育の相談	民	一八二	一、二〇	清水書房
岩田和美 相馬進一	國民學校を中心とした工作圖解 模型航空機讀本	民	一一九	一、五〇	湯川弘文堂
草川宣雄	國民學校音樂教育	民	二一二	二、〇〇	晃文社
北村久雄	國民學校音樂教育の學年的發展	民	三〇〇	二、〇〇	晃文社
武內文雄	國民學校各科訓導各科指導法精說	民	一五〇	一、〇〇	昭和報國圖書株式會社
武內文雄	國民學校各科訓導檢定用 日本教育心理學精說	民	一三三	九〇	大衆書房
築山正次	國民學校各科の實踐形態	民	三六三	二、五〇	教育社
小林節藏	國民學校學級錬成の新形態	全	三九一	三、〇〇	啓文社
吉田良太郎 黑澤幸藏	國民學校教育事務の研究	民	三九九	二、三〇	立見屋出版部
青山書院編	國民學校教員必携	彩	二三三	八〇	青山書院

矢島正信	國民學校教師の實踐道	民	二八六	二、五〇	明治圖書株式會社
矢島繁太郎	國民學校教師の爲の音樂鑑賞指導の實際	全	二三〇	二、五〇	共益商社書店
小松耕輔	國民學校教師の爲の音樂理論と和聲學	全	二七三	二、五〇	共益商社書店
岡田怡川	國民學校教授法及管理法	全	四六二	三、八〇	河出書房
淺岡忠藏	國民學校軍人援護教育の實際	民	二六七	一、八〇	友松堂
坂本豐	國民學校經營の進步	民	二三六	一、五〇	進學協會
大江政衞	國民學校藝能科家事精義	全	五一七	五、三〇	教育科學社
齋田喬	國民學校・高學年用學校劇新選集	民	三三九	二、五〇	啓文社
教育研究會理科部編	國民學校高等科理科學習帳 一年・二年	全	各六四	各三三	國民學校教育研究會
齋藤英夫	國民學校―高二 新地理教育の實際	民	三五四	三、〇〇	明治圖書株式會社
米田政榮	國民學校國語の修練實踐	民	三一四	二、五〇	啓文社
後藤博美	國民學校國民科地理の修練實踐	民	二四八	二、〇〇	啓文社
田中豐太郎	國民學校國民科綴方精義	全	五七二	五、八〇	教育科學社
日本放送協會編	國民學校三・四年後期用教科書編纂趣旨と取扱ひ方	全	八九	四〇	日本放送出版協會
草野貞二	國民學校三・四年用音樂帳	全	三一	一八	新興音樂出版社
學校教育研究會編	國民學校施設經營の實際	全	四三三	三、六〇	寶文館

桑原理助	國民學校自然の觀察指導要訣	民	二二四	一、七〇	晃文社
廣島・高師教育研究會	國民學校指導過程の研究	全	三六八	三、二〇	寶文館
草野貞二	國民學校兒童のおんがくちやう	全	三二	一五	新興音樂出版社
草場弘	國民學校師道論	民	三五一	二、〇〇	清水書房
豐澤豐雄編	國民學校重要發明發見年代圖 附解說書	彩	一	五、〇〇	日本教圖株式會社
齋田喬	國民學校・初學年用學校劇新選集	民	三六六	二、五〇	啓文社
信濃教育會編	國民學校經營に關する研究錄	全	五〇〇	三、〇〇	信濃毎日新聞社
田中豐太郎 狩野重利 多田勉	標準的實際例 國民學校初一指導過程 上卷	民	四四〇	二、五〇	共榮書房
千葉縣師範附屬國民學校	國民學校初一授業の實踐形態	民	三四三	二、五〇	啓文社
白井勇	國民學校初三の學級經營	民	一八〇	一、七〇	晃文社
田中豐太郎 狩野重利 多田勉	標準的實際例 國民學校初二指導過程 上卷	民	四〇二	二、五〇	共榮書房
千葉縣師範學校附屬國民學校	國民學校初二授業の實踐形態	民	三七九	二、七〇	啓文社
緒方明吉	國民學校初四の學級經營	民	二一六	一、七〇	晃文社
島根縣師範附屬國民學校	國民學校成績考査法の研究	民	二九九	二、六〇	明治圖書株式會社
服部眞一郎	國民學校・青年學校農業實習精說	全	七〇六	五、五〇	明文堂
坂本高吉	文部省制定 國民學校體錬科教授	彩	四一	二〇	五車書房

宮田覺造編	國民學校體錬科教授要項	彩	一三七	三〇	八光社
宮下常明	國民學校體錬科武道薙刀圖解指導便覽	彩	一三〇	一、三〇	立見屋出版部
高木佐加枝	國民學校中學年の算數指導	全	三六三	三、九〇	教育科學社
關野嘉雄 關猛	國民學校と家庭に於ける映畫教育	民	二六八	一、八〇	照林堂書店
山口保治	國民學校と家庭に於ける聽覺訓練	民	一六三	一、三〇	照林堂
中島市三郎	國民學校と成宜園	民	四八	三〇	第一出版協會
青木誠四郎	母性讀本三 國民學校と兒童の學習	民	一五八	一、三〇	厚德書院
安藤堯雄	國民學校と少年團	民	二五五	一、六〇	弘學社
長野師範附屬國民學校文科研究會編	國民學校に於ける綜合授業	全	一八二	九〇	信濃毎日新聞社
守內喜一郎	理論實踐 國民學校の教育 第一卷	全	二六三	二、八〇	寶文館
柏熊俊司 他四氏	國民學校の共同記錄	民	三四二	二、三〇	建設社出版部
伊藤忠好編	國民學校の體驗と反省	民	三三八	二、二〇	玉川學園出版部
船越源一	國民學校法規精義	全	四四五	三、八〇	東洋圖書株式合資會社
八ッ橋久編	國民學校寶典	彩	一九三	一、〇〇	八ッ橋出版社
安藤圭助	國民學校ヨイコドモの躾	民	二六〇	二、〇〇	啓文社
高橋義雄	國民學校理數科算數の實踐的構想	民	二〇五	一、八〇	目黑書店

長尾陽太郎	增補 國民學校令及學事關係法規	國民科修身教育の實踐 國民學校體法酌提要項案	教 二一〇	一、三五
東京高師 初等教育研究會				
東京女子師範 附屬國民學校	國民學校教育 學校教育研究會編	國民學校 錬成の信行	教 三六八	一、八〇
		國民學校 錬成の本道	教 四七	三、八〇
緒方 明吉		國民科 私の國民科 學校 綴方の研究授業	國 二三四	一、三五
堺田 勳		國民 私の國民科 學校 讀方の研究授業	國 二三	一、三五
池田 房吉		國民 私の理數科 學校 算數の研究授業	國 二三八	一、三五
尾崎虎四郎		國民科地理要領	國 四三	壹
	國民教育研究會編	國民教育 式辭訓話 新講	教 二四四	三、三〇
	國民學校實踐研究會編	國民教育 相撲精義	國 三二九	二、五〇
小西 重直		國民教育の基本的研究	國 三三	一、八〇
下地 惠常	小島 忠治	國民教育の新構想	國 二五二	一、二〇
野瀬 寛顯		東亞教育叢書 國民訓練論	國 一二三	一、〇〇
牧野 靖史		國民 兒童 禮法の實踐	教 一四三	二、五〇
保育問題研究會編		國民保育のために	國 四八	二、五〇
宮田 昂		國民學校家庭叢書 音樂の教育	國 四三	一、三五

壹	中文館	西原 慶一	言葉の躾	國 三九	二、三五	厚生閣
二、三五	大日本出版株式會社	栗下 喜久治郎	村の學校教師の記錄 子供と共に	國 二〇	一、三五	文祥堂
三、〇〇	東洋圖書	山根 武士	子供の繪を考へる	國 二五三	一、八〇	甲鳥書林
三、八〇	寶文館	古家 新	子供の描く繪の導き方	國 二六九	一、八〇	湯川弘文社
一、三五	晃文社	竹田浩一郎	子供の心	國 二三五	三、〇〇	大學書房
一、三五	晃文社	依田 新	子供の性格教育 母性讀本第四輯	國 一七	一、三五	厚德書院
一、三五	晃文社	相馬 助治 唐澤 杉三	子供の見方と躾方	國 二三三	三、〇〇	照林堂書店
三五	古今書院	小野 忠孝	子供はなぜ泣くか	國 三六	一、三五	東江堂
三、三〇	八光社	坪田讓治編	綴方 子供風土記	國 二二〇	一、八〇	實業之日本社
二、五〇	八光社	針尾島麒郎	最新航空機模型の工作と飛翔法	國 一二五	一、〇〇	學友館
一、八〇	永澤金港堂	牧野 榮三	產業戰士の教養	國 三一〇	一、三五	桑文社
二、五〇	同文館	野村芳兵衛	自然觀察のさせ方	國 二三三	二、五〇	訓生社
一、〇〇	目黑書店	池田 芳華	國民學校家庭叢書 教育	國 二四四	二、五〇	帝國出版會
二、〇〇	國造社	川村 理助	今日の教養書選10 指導者の爲に	國 三五	一、三五	培風館
帝國教育會出版部		神永 文三		國 二六	一、三五	教材社
帝國出版會		J・ストラットン 杉崎 瑟譯	兒童心意の開發	國 一三五	一、三五	古今書院

教育圖書株式會社		兒童精神衛生學	教 四四	三、八〇
	綜合美術研究所	兒童と繪畫	國 三五	三、三〇
		兒童はどう誤算するか	教 二九	三、〇〇
	第一出版協會	池上 敏郎 師道百誡	教 三七	一、八〇
	兒童教育社	帝國青年の躬行實踐 第五卷 各一〇	國	各三〇
	新興亞社	學道 山本 晴雄 師範制度改革の急務	國 三四	七〇
	三本 重長	木村 三郎 柔道教本	國 二六	一、八〇
	香蘭社	森本 二泉 手技練成 第一輯 防空戰と兵器の作り方	教 一六	一、八〇
	文明社	大橋英夫案 少國民科學 組立航空機	教 一〇	四〇
	興文閣書房	池本 壽子 少國民 さくら	國 三五	一、三五
	弘學社	折居 千一 少國民と共に學ぶ 母の手帳	教 八三	一、三五
	照林堂書店	關 計夫 少國民の心理と文化	教 四六	三、〇〇
	巖松堂	阪本 一郎 少國民文化新書一 形劇	教 八四	一、八〇
	清水書房	吉田 桐野 少女の作文文例	國 三六	一、三五
	熊木文進堂	後藤 靜香 少年が行く第一步	國 三四	一、三五
	教育資料株式會社	少年團運營の實際	國 二五二	一、三五
帝國教育會出版部		少年團訓練の實踐記錄	國 二六〇	三、三〇
	三省堂 亞華田中豐太郎	少年團指導の理念と實踐	國 三一七	一、三五
	熊本縣女子師範 女子部範附屬	少年團 精講	教 四五	三、八〇
	福島縣師範 女子部範附屬	少年の性格と環境	國 二六六	一、三五
	滋賀縣島國民學校編	初一 各科實踐細目 附初用	教 二九五	四、二〇
	梁瀨女子高師 附屬同民學校	初一 各科の教へ方と研究授業	國 三四四	二、五〇
	三本 重長	初一 カズの教育と修練	教 二〇〇	二、〇〇
	岐阜女子師範 附屬國民學校編	初一 教育の實踐と反省 附初用	國 二六〇	二、五〇
	熊本縣女子師範 附屬國民學校編	初一 教育の實踐と反省 附初用	國 二六〇	二、五〇
	福島縣師範 女子部範附屬	初一 教育の實踐と反省 附初用	國 二七〇	二、五〇
	三省堂 亞華田中豐太郎	初一 カズの教へ方と研究授業	國 三四四	二、五〇
	教育圖書株式會社	少年團長導校全科指導記錄	教 二六六	三、三〇
	福島縣師範 女子部範附屬	初一 全科授業細目前期用 附1 各科教授例	國 三三	二、九〇
	福島縣師範 女子部範附屬	初一 全科授業細目後期用 附1 各科教授例	國 三四	二、九〇
	富塚 清	諸外國工業教育改革論	國 三五	三、五〇
	山崎 好雄	初級 モケイヒコウキ 尚 の作り方	教 八三	一、〇〇
	石川 ふさ	女 教 員 讀 本	國 三四	一、三五
	堀 七藏 片山辰之輔	少國民の科學 植物の生き方の研究	國 三四	二、五〇

教育圖書株式會社		明治圖書株式會社		
	三學書房	明治圖書株式會社		
	第一出版協會	明治圖書株式會社		
	同文館	明治圖書株式會社		
	帝國出版會	明治圖書株式會社		
	訓生社	明治圖書株式會社		
	培風館	明治圖書株式會社		
	教材社	明治圖書株式會社		
	古今書院	好文館書店		
	厚生閣	明治圖書株式會社		
	文祥堂	明治圖書株式會社		
	甲鳥書林	明治圖書株式會社		
	湯川弘文社	帝國教育會出版部		
	大學書房	教養社		
	厚德書院	日本文化研究會		
	照林堂書店	皇國青年教育協會		
	東江堂			
	實業之日本社			
	學友館			
	桑文社			

櫻澤如一編　健康の學校　金物にけりで誰でも出來る　金三六
坂本豐編　藤川光二畫　遺矢一子　國民體法圖會　金二四
伊藤公平　隨筆女生徒　図二二
精方明吉　滋賀縣鳥國民學校編　初等科三四年教行一體の教育　図二四
小島末一　初二各科實踐細目　前期用　金四三
岡田道一　初二教育と研究授業　図二八
三本重長　初カズの教育と修練　金二〇
三苫正雄　田中豐太郎　初二教育の實踐と反省　前期用　図二九
新興教育の實踐と反省　後期用　図三〇
初二教育の實踐と反省　後期用　図三九
初國學校　全科指導記錄　金三八
初二全科授業細目前期用　金三二
初二全科授業細目後期用　図三一
志垣寛　新學校事務提要　金五八
守田義廣　若旅造一　新學校衛生の理論と施設　図三七
鈴木源輔　戰時國民教育の實踐　金三九
林進治編　戰爭と子供と綴方　図三七
伊藤獻典　鮮滿の興亞教育　図二八
眼部一雄　創造への培ひ　図三〇
阿部仁三　總力戰と國民教育　図三六
荷見秋次郎　其の日の心得　図三三
吉田熊次　ソ聯邦に於ける教育改革と教育思想　金二七
國民精神文化研究所　ソ聯邦に於ける教育改革と教育思想　金二六
池田進　大學の歷史　金一七

市橋善之助　青年のための讀書法　図二九
鈴木正吾　設計から飛ばすまで　図一九
佐々木建次　設計模型航空機第一輯　金八
佐々木建次　設計模型航空機第二輯　金八
志垣寛　全國に於ける郷土の觀察の實際　金三三
守田義廣　若旅造一　戰時國民學校經營法　金三七
鈴木源輔　戰時國民教育の實踐　金三九
林進治編　戰爭と子供と綴方　図三七
伊藤獻典　鮮滿の興亞教育　図二八
眼部一雄　創造への培ひ　図三〇
阿部仁三　總力戰と國民教育　図三六
荷見秋次郎　其の日の心得　図三三
吉田熊次　ソ聯邦に於ける教育改革と教育思想　金二七
國民精神文化研究所　ソ聯邦に於ける教育改革と教育思想　金二六
池田進　大學の歷史　金一七

一、八〇　青年書房
一、〇〇　金正堂
一、三五　増進堂
一、三五　増進堂
一、三五　教育研究會
三、〇〇　目黒書店
三、〇〇　八光社
三、〇〇　目黒書店
一、三五　婦女界社
一、三〇　婦女界社
一、三〇　目黒書店
一、六〇　教育美術振興會
三、〇〇　目黒書店
一、〇〇　婦女界社
一、三五　啟文社
一、八〇　三成社
二、九〇　教育科學社
二、七〇　啓文社
二、六〇　明治圖書株式會社
二、六〇　明治圖書株式會社
二、九〇　東洋書館
三、三五　朝倉書店
三、三五　光文堂
四、三〇　長崎書店
二、八〇　福村書店
一、四〇　ふたら書房
二、八〇　福村書店
九〇　香蘭社
一、三〇　金城書房
一、三〇　興亞書房

江幡弘道　體系公民概論　金三五
國民精神文化研究所　文部省教育調査部内教育研究會編　大東亞教育政策　金二六
大東亞新秩序建設の意義　金二七
保導記錄第二の誕生　図三三
増淵穣　市橋善之助　太陽と泥で育てる　図五七
東京文教社編　正しい姿勢圖　図四
平出英夫　戰ひを身につけよ　若き女性のために　図八二
櫻井役　中學教育史稿　金七八
坂本榮三　聽覺訓練　図一八〇
工業青年教育研究會編　徵用工員の教育問題　図一〇〇
大野武男　士の國民學校經營　図二三
海後勝雄　東亞民族教育論　金二六
佐藤得二　道元と現代學生　図三九
奈良女高師附屬編　當校教育の概要　金七三
大槻三好　童心に短歌を培ふ　図二四
安東禾村　動物に學ぶ　図三七

宗行榮次編著　新國民體法掛圖　図一〇
目黒榮　新生少年團の運營　図二四
前川峯雄　新日本體育　図二四
松田友吉　臣民の道錬成教育　図二六
すめら信仰と教育　図三五
矢島正信　生活學校の家庭化　図三〇
國民勤勞研究會　バンフレット　青少年工の教育　金二七
青木誠四郎　青少年社會生活の研究　金三五
武川肇三郎　青少年團錬成指導　金四六
橋本鑑　聖壽の靈感に就いて　金四〇
島崎晴吉　青年學校教育上の諸問題　金五六
日本青年教師團編　青年教師の自覺と反省　図二九
島崎晴吉　青年學校經營の實際的研究　金三二
木村三郎　青年學校・國民學校圖解說明　図三四
多田正知　青年學校普通學科教授及訓練の研究　金一三〇
栗原美能留　青年の革新　図三二

日本教圖株式會社　九五〇
三成社　一、八〇
教育科學社　二、九〇
啓文社　二、七〇
明治圖書株式會社　二、三〇
明治圖書株式會社　二、九〇
東洋書館　二、三〇
朝倉書店　三、三五
光文堂　四、三〇
長崎書店　四〇
福村書店　二、八〇
福村書店　二、八〇
豐國社　一、三五
東京文教社　三、二〇
朝日新聞社　受驗研究社　増進堂　三、三五
帝國出版協會　一、三五
國民工業學院　五〇
統正社　一、三五
朝倉書店　二、三五
山喜房佛書林　一、八〇
明治圖書株式會社　八〇
須磨書房　一、八〇
磯部甲陽堂　一、三五

橋本健太郎　都市少年團の經營　圖　三六〇　明治圖書株式會社　二、九〇
シーラッハ　池田林儀譯　獨逸青少年訓　圖　一〇八　日獨文化出版局　三、一〇
赤木健介　讀書案内　青年叢書　圖　二一八　伊藤書店　一、二〇
峯岸治三　獨立自尊　圖　二三七　慶應出版社　一、二〇
宇土藤作　長崎縣教育史（上卷）　會　一　長崎縣教育會　一、二〇
杉野嘉男　薙刀教育の理論と實際　會　一四三　神田書房　一、二〇
三戸廣治　ナチス國家における教育　圖　七二　日本研磨精工所　一、八〇
安藤堯雄　ナチス民族教育　圖　二五一　弘學社　一、八〇
波多野貞夫　日本學術振興會學術部調査研究報告　第二輯　會　四四　斯文書院　三五
杉森孝次郎編　日本學生の理念　圖　一九一　同文館　二、一〇
福島政雄　日本教育原論　會　二九七　藤井書店　二、八〇
加藤盛一外　日本教育先哲叢書（續約二四册）　圖　二六五　文教書院　一、二〇
曉鳥敏　日本教育道　圖　三五五　玉川學園出版部　一、七〇
岡田怡三雄　日本國民教育及教育史　會　二一四　敬文堂　四、八〇
中村政雄　日本女子大學四十年史　今日の教養書　會　五六二　日本女子大學校　一、三五
赤松克麿　日本人の新教養　幼學新書　圖　二三二　教材社　一、三五
松田金重編　日本青年訓　圖　七七　日本青年教育會出版部　三五

小林秀雄　民族と歴史と教育　圖　二一〇　小學館　一、二〇
古武美松　村の音樂教育　會　三四三　厚生閣　二、三〇
川崎大治　村の保育所　圖　三五三　東京講演會　二、三〇
藤原喜代藏　教育思想學説人物史　明治大正昭和　第一巻明治前期篇　會　九二三　東亞政經社　九、五〇
小崎一男　模型オートジャイロの作り方飛ばせ方　會　五四　東京日日新聞社　八〇
木村秀政　模型航空機の基礎　會　一〇四　東京日日新聞社　一、四〇
岩越勘一　模型航空機の理論と科學的工作法　圖　一〇〇　博多成象堂　一、四〇
中正夫　模型航空機理論と工作　會　三五五　省堂　二、三〇
堀内幸行　模型航空讀本　會　一六四　前田書房　二、三〇
根岸秀雄　模型飛行機教室　會　一九八　昭晃堂　二、三〇
關猛　模型飛行機の作り方（下）上級用　少國民科學工作新書　會　二五八　新進社　一、八〇
緒方明吉編　修身教授錄五　圖　四二九　科學主義工業社　二、〇〇
斯道會編　日本放送協會編　もり上る力　會　二一〇　天理時報社　一、八〇
日本放送協會編　日本放送協會　會　一九三　同志同行會　一、〇〇
鈴木源重　優秀兒への教育學　會　二五六　日本放送協會出版協會　一、八〇

松美佐雄　幼兒お話選集　會　二〇四　東京高師附小訓導　一、七〇
原勝　幼兒に語る親祭日のお話　圖　三五　東亞兒童愛護會　一、二〇
三木安正　母性讀本第一篇　母性と教育　圖　一六一　厚德書院　一、三〇
藤森良藏　藤森良夫　幼稚園兒の心構　會　二三二　考へ方研究社　一、五〇
高木佐加枝　幼稚園より國民學校への算數の話　圖　二一三　日本保育館　一、〇〇
秦野町國民學校編　理科教授細則　物象編　會　三二　文祥堂　一、五〇
岩下吉衛　理數科教育記錄　圖　三七　目黒書店　三〇
關根忠　理數科算數の本質　會　二六四　明治圖書株式會社　二、九〇
佐藤和尊　理論實踐　理數科の教育　會　二七四　大日本出版株式會社　二、八〇
小林一郎　教育新體制叢書　立正安國論と教育　圖　二〇九　寶文館　二、八〇
八木悌二畫　リビツシュの羽搏機製作指導と取扱法　會　三〇　小學館　一、二〇
略畫教材植物篇　會　一四　東日大毎新聞社　五〇
吾が子の教育　圖　二六〇　教育實際社　二、五〇
我が青年學校の振興方策　圖　四二八　皇國青年教育協會　四、〇〇

三、歴史・地誌

(1) 歴史

著者	書名	判型	頁数	定価	発行所	
赤坂區役所	赤坂區史	菊	一四一八	—	赤坂區役所	
ピエール・ロチ 吉永清外譯	秋の日本	四六	三〇八	二、〇〇	青磁社	
川端一顯	アジアの英國の印度侵略史	四六	三一〇	三八	亜細亜報社	
G・チャイルド 關津正志譯	アジア文明の起源 上	四六	三三〇	一、三〇	新誠文堂	
G・チャイルド 關津正志譯	アジア文明の起原 下	四六	三五〇	一、三〇	新誠文堂	
小川涉	會津藩教育考	菊	七四三	五、五〇	井田書店	
山川健次郎監	會津戊辰戰史	菊	七九九	五、五〇	井田書店	
前島信次	アラビヤ民族史	菊	三三三	一、七〇	丸岡出版社	
楊廣咸安 東經濟叢書5	南洋史	四六	三三八	二、〇〇	東亞研究所	
水谷乙吉	安南の民俗	四六	二九四	二、五〇	育生社弘道閣	
外務省調査局編	印度民族史	菊	四三三	一、八〇	日本外交協會	
米田祐太郎	美しき支那 文化篇	四六	三七二	二、〇〇	教材社	
伊澤新一馬	英國史	菊	三六六	二、八〇	牧書房	
松浦嘉一	英國衰亡史	四六	一〇〇	八〇	開運社	
ウィヴィアン 木村莊太譯	英國發展史論	四六	二五五	二、五〇	第一書房	
シーリー 吉田保譯	英米東亞侵略史	四六	三五五	一、三〇	天泉社	
高橋茂	越中二千六百年史	四六	六三三	一、〇〇	中田書店	
富山縣圖書館協會編	江戸ばなし 一	四六	二九四	二、〇〇	大東出版社	
三田村鳶魚	外寇の前後	四六	一九七	一、五〇	八木書店	
高木眞太郎	應永中世の日鮮交渉 日本近代民族形成八百年史の一部作 大綱五八郎の生涯	菊	一九七	二、五〇	帝國教育會出版部	
江原小彌太	近江國坂田郡志 第五巻	菊	七六	—	滋賀縣坂田郡教育會	
石井哲夫譯 ボース ラスビハリ 高田雄輝	印度侵略悲史	四六	三四八	二、五〇	東日大毎新聞社	
永松浅造	印度獨立と日本	四六	三七五	二、五〇	大理書房	
藤澤衛彦	印度の傳説	四六	三三〇	二、〇〇	天佑書房	
外務省調査局編	印度民族史	菊	四三三	一、八〇	日本外交協會	
米田祐太郎	美しき支那 文化篇	四六	三七二	二、〇〇	教材社	
伊澤新一馬	英國史	菊	三六六	二、八〇	牧書房	
松浦嘉一	英國衰亡史	四六	一〇〇	八〇	開運社	
ウィヴィアン 木村莊太譯	英國發展史論	四六	二五五	二、五〇	第一書房	
シーリー 吉田保譯	英米東亞侵略史	四六	三五五	一、三〇	天泉社	
高橋茂	越中二千六百年史	四六	六三三	一、〇〇	中田書店	
富山縣圖書館協會編	江戸ばなし 一	四六	二九四	二、〇〇	大東出版社	
三田村鳶魚	外寇の前後	四六	一九七	一、五〇	八木書店	
高木眞太郎	應永中世の日鮮交渉 日本近代民族形成八百年史の一部作 大綱五八郎の生涯	菊	一九七	二、五〇	帝國教育會出版部	
江原小彌太	近江國坂田郡志 第五巻	菊	七六	—	滋賀縣坂田郡教育會	

維新史料編纂事務局	維新史 (第貳、三册)	菊	七六八	四、八〇	明治書院	
井野邊茂雄	新訂維新前史の研究	菊	五六四	五、五〇	中文館	
平尾道雄	維新戰史錄	四六	三九六	二、〇〇	秋津書房	
大阪毎日京都支局編	維新の史蹟	四六	三〇〇	一、三〇	星野書店	
黒田正利	イタリア研究	四六	三五五	二、〇〇	甲鳥書林	
オルシニ・ヒエトロ 東文清譯	伊太利史	四六	四四四	二、五〇	興風館	
鈴木快城	一讀支那通 事情篇 言語篇	四六	一七六	二、五〇	牧書房	
出雲八束郡片句浦民俗開書	宮本常一	四六	九三	一、三〇	アチックミューゼアム	
稻荷神社編	稻荷神社史料 巻九	菊	七九六	—	稻荷神社	
エラン・ナイ 杉浦正一譯	イラン近世史 興亞全書	四六	三六〇	一、五〇	葛城書店	
浦生禮一	イランの歴史と文化	四六	五六六	三、八〇	博文館	
山澤種樹	印度五千年史	四六	四九六	二、〇〇	遠藤書店	
ドウトウエル 寺田順男譯	印度史 印度支那には於ける古時期に印されたる邦人發展の研究及び日本初につきて	四六	二二二	二、五〇	生活社	
吉永壽	インド史	四六	二五五	一、八〇	弘學社	
杉本直治郎 金永鍵	印度支那の民族と文化	菊	三五二	二、五〇	富山房	
松本信廣	印度支那に於ける支那研究	菊	五四四	五、五〇	岩波書店	
石田幹之助	歐米に於ける支那研究 博文館文庫 西洋史新話・第七巻 オルレ・ヤン の乙女	菊	三〇八	八〇	博文館	
スウィン 吉原公平譯	回教民話集	四六	三六六	二、三〇	偕成社	
森谷秀亮	開國より維新	四六	三五五	二、〇〇	秋津書房	
米田祐太郎	海陸	四六	二六四	一、八〇	興亞日本社	
成田節男	增補華僑史	四六	四八二	二、五〇	螢雪書院	
住田正一	廻船式目の研究	菊	五三二	七、〇〇	東洋堂	
G・ウェバー 廣島定吉譯	概觀世界史 第四巻	菊	二四五	二、八〇	紀元社	
ウェバー 廣島定吉譯	概觀世界史 第五巻	菊	二八二	二、八〇	紀元社	
ケオルク・バー 廣島定吉譯	概觀世界史 第六巻	菊	二八一	二、八〇	紀元社	
ラングサー・修瀬 廣島定吉譯	概觀世界史 第七巻	菊	二四三	二、八〇	紀元社	
伊藤義一	概觀滿洲史	四六	三三四	一、五〇	子文書房	
田中久岳法三國志		四六	四八四	三、〇〇	新正堂	
富岡盛彦	鹿島神宮文書(第一輯)	菊	七四六	—	鹿島神宮	
大和田貞策	春日神社文書 第參	菊	五〇〇	—	春日神社	
山本高一	鰹節考	菊	三三六	二、〇〇	水産社	

山上八郎	甲冑	雄	一〇四	一、一〇	大東書館	東北帝大國史學會編	三、三〇
和田清編	東洋史集說	岡	九七	九、〇〇	富山房	喜田博士國史論集追悼記念	三、三〇
日置謙全譯	加能鄉土辭彙	三	九三	三〇、〇〇	金澤文化協會	—	豐岡町
山上八郎	大東名著選23 究の研究下	雄	三三	一、八〇	大東出版社	乙丑震災誌	豐岡町
鷲尾順敬	大東名著選31 鎌倉武士と禪	雄	一〇七	一、八〇	大東出版社	九州三侯遣歐使節行記	六九八
平野直	學術社文庫 神風元寇物語	雄	二〇	六五	學習社	近畿名蹟全書 卷十一	二、五〇
原正男	神代讀本	岡	二六八	一、一〇	清水書房	近世日本國民史（叢約一冊）	特四、五〇 並二、五〇
香川穎彥	神代の話	雄	三三	二、〇〇	文友堂書店	近世藩法資料集成 一	二六
松山敏	神代の記傳と日向の傳說 神の國の傳說の國物語	雄	九八	八〇	文華堂	京都帝國大學法學部	—
西川敏雄 池田滿	華麗島民話集	岡	七七	五、〇〇	日孝山房	菊池寬 勤皇文庫（一—五）	二九八六
小酒井儀三	感激の國史	雄	二九八	一、八〇	永澤金港堂	菊池一族	三、〇〇
小酒井儀三	感激の國史 下卷	雄	三六	二、〇〇	永澤金港堂	社會教育協會	社會教育
日吉神社	官幣大社日吉神社大年表	岡	三八	—	日吉神社	久野茂 歷史教育研究會編	四三六
伊藤只人	紀州史備要	岡	二七	三、三五	攬書堂	櫻田勝德	五三
北亞細亞文化研究所	北亞細亞學報 第一輯	雄	二八	三、〇〇	地人書館	原隨園	四、八〇
櫻井金男	北島親房文書輯考	岡	六八四	六、八〇	大日本百科全書刊行會	久野茂 原人及日本先史時代の始祖	四三六
小島小五郎	物語維新史	岡	三二	二、八〇	育芳社	鄉土史は如何に研究すべきか	四、八〇
足立勇	黑船來航	雄	三八	一、六〇	大日本出版社	久野診療所	—
大阪六村慶州の傳記		雄	一三	六〇	桑名文星堂	四海書房	四、八〇
大類伸現代史學		雄	三四三	二、〇〇	弘文堂書房	人	社
大類伸現代英國史		雄	二二七	一、八〇	富山房	創元社	五、〇〇
中村孚吉譯 スペンダー		雄	四九六	八、三五	東洋經濟新報社	創元社	一、八〇
石原純他	現代日本文明史（叢約一冊）	雄	四九六	四、〇〇	加納祐五	積善館	一、三五
陳高傭 矢野安房譯	東亞文庫 現代の支那文化	雄	二八四	一、三五	學藝社	聖紀書房	二、三五
福士幸次郎	日本と鐵の文化 原古代日本	雄	三七	二、三五	白馬書房	藤井書店	五、八〇
宮井義雄	建武中興と國民精神	雄	二九四	三、三五	教育科學社	精神科學研究所	五五
井下清	建墓の研究	雄	三三	三、〇〇	雄山閣	修文館	三、〇〇
茂野幽考	皇國海防祕史	雄	二九八	一、三五	新興亞社	長谷川書房	一、九〇
猪谷文臣	皇國史要	雄	二七四	一、八〇	日本出版社	皇國青年教育協會	六、三五
レナード・ウーリイ 赤木俊譯	發掘より觀たるアジア 考古學	雄	三五八	二、三五	弘文堂書房	谷口正文館	六〇
桑原隲藏	史遊記	雄	三五八	二、三五	白揚社	岩波書店	六〇
泉信介	濠洲史	雄	二九二	一、八〇	中村鳥堂	月明會出版部	二、三五
齋目文雄	濠洲侵略史	雄	三八	一、三五	人文閣	下伊那國文研究會	—
					歐文社		八〇

關榮覺	高野山千百年史	雄	二四六	—	金剛峯寺		
富山房編	國史辭典（二）	雄	九四〇	一五、〇〇	富山房		
白井喬二	改訂 國史捕話全集（叢約六冊）	雄	七二	三、三〇	輝文堂書房		
西田直二郎	國史地圖	雄	七	一、三五	積善館		
中村一良	國史と世界史	雄	四八	二、三五	聖紀書房		
清原貞雄	國史と日本精神の顯現	雄	六六	五、八〇	藤井書店		
加納祐五	國史の精神	雄	七五	五〇	精神科學研究所		
清原貞雄	解說 國史要	雄	四五三	三、〇〇	修文館		
關	靖國難と北條時宗	雄	三八	一、九〇	長谷川書房		
植木直一郎	古事記現代考	雄	六五	六、三五	皇國青年教育協會		
岡田稔	古事記新釋	雄	一七	六〇	谷口正文館		
本居宣長 岩波文庫 倉野憲司校訂	古事記傳（三）	雄	三三	六〇	岩波書店		
中村鳥堂	古事記日本書紀の歌	雄	八三	二、三五	月明會出版部		
林泰輔	古事記の研究	雄	一五	—	下伊那國文研究會		
影山正治	古事記要講 神代の卷	雄	一四	八〇	ぐろりあそさえて		
中井良太郎	古戰史の眞價	雄	六五	三、三五	洛陽書林		

フォン・シーボルト父子著	古代科學思想史	圓	二六八	二、〇〇	新民書房	和田 清	支那官制發達史 上
ダウソン・マスター著	古代文化發掘物語	圓	三五五	一、八〇	三教書院	田石誠彦	支那近世史 要
高田 魯・夫譯	ゴム二百年史	圓	二六四	一、八〇	大鵬社	梁啓超	支那近世學術史 上
ツイシュカ	伊波 普猷	古	琉球	五〇八	青磁社	田中 久	支那古戰論
橋本八男譯	大森金五郎	高橋 昇造	最新日本歷史年表	圖	九六	三、〇〇	三省堂
小野龍之助	埼玉振興史	鄉土篇	圖	四五四	三、三五	埼玉評論社	長野 朗
西田 保	異文土屋 文憲二	相模國	こゆるぎ考	古	一四四	一、八〇	邦光堂書店
木宮 泰彥	增補 參考新日本史	古	七三二	七、三五	富山房	三、〇〇	創元社
柳田 國男	山島民譚集	圓	二五九	三、〇〇	創元社	三、三〇	皇國日本社
木村小舟編	中井觀邦畫	日本國史繪物語	圓	二五九	第十二卷	四卷	研究
靜岡縣編	靜岡縣史料（五）	古	二三〇	一	靜岡縣	二、三〇	中文館書店
加藤 一夫	史前文化史	圓	二四〇	二、三〇	龍宿山房	二、八〇	講談社
七卿顯彰會編	七卿回天史	圓	二五二	一、八〇	講談社	三、〇〇	白揚社

來澤 秀夫	上海史話	圓	四一〇	二、八〇	啟傍書房	野原 休一	神皇正統記 英文
小田 信士	宗教經濟文化史	古	五七七	五、三〇	新光閣	森本 忠	神風連のこゝろ
永松 浅造	十周年紀念滿洲建國誌	圓	二一四	一、八〇	學友館	田中寬一他	新編 歷史教育
岡本 良知	十六世紀日歐交通史の研究	古	一〇四六	一三、〇〇	六甲書房	金井之忠 佐々木久	清末七十年史
鳥羽 正雄	城第一と文化	圓	二四一	一、八〇	大東出版社	中島 悅次	神話と神話學
奥田 慧應	承詔必謹	圓	二八八	一、三〇	其中堂	三島 安精	水
七卿顯彰會編	七卿回天史	圓	二五二	一、八〇	講談社	三、〇〇	白揚社

中山太郎編	校譯 國風俗問狀答	古	六九四	八、〇〇	東洋堂	中村孝也編	國民生活史研究
竹內 一理三	歌仙史蹟叢書 寺領莊園の研究	古	五六五	六、〇〇	啟傍書房	青少年のための友邦支那歷史物語	生活と社會
雉川種郎他	史料 大成（豫約一册）	古	二九六	三、一〇	內外書籍株式會社	田中惣五郎	七理 重惠
宮地 直一	神祇史大系	古	三三四	三、〇〇	明治書院	秋元 重男	勤勞青年文化叢書 青年の明治維新史
中村孝也他	新講 大日本史（豫約四册）	古	二四五	並三、三〇 上三、三〇	雄山閣	西洋史說苑	京都帝大西洋史研究室編
平尾 道雄	新撰組史錄	圓	三一〇	二、三五	育英書院	中川 一男	西洋中世史新論
小野賢一郎	神 像	古	三三	三、三五	實雲舍	田沼 利男	西洋中世文化史

日本ルネッサンス文化名著選第二輯	日本文化名著選第二輯	古	五四九	三、〇〇	白揚社	江原小彌太	日本原民民族八部作 一
支那地理歷史大系叢書	支那地理歷史大系第三卷	古	三六八	三、〇〇	啟傍書房	支那歷史地理	四三
民族叢書	シベ神の四つの顏	古	三七	三、〇〇	南方出版社	物語シベリヤ征服史	圓
支那文化叢書	水滸傳と支那民族	圓	三三〇	二、三五	大東出版社	青磁社	圓
西班牙古文書を日本と比律賓通じて見たる	奈良 靜馬	民族叢書	スペヲ民族	古	三五四	二、八〇	講談社
花岡 止郎	國民生活史研究	古	四〇〇	四、〇〇	小學館	中央大學	四、三五
七理 重惠	青少年のための友邦支那歷史物語	古	三四	一、八〇	成光館	日本放送出版協會	五五
勤勞青年文化叢書	青年の明治維新史	圓	一九四	二、一〇	東洋書館	人文閣	二、八〇
秋元 重男	青年風雲錄	圓	二四四	一、一〇	希望の窓社	新亞堂	二、三五
西洋史說苑	京都帝大西洋史研究室編	古	五四六	六、〇〇	目黑書店	有斐閣	八、〇〇
中川 一男	西洋中世史新論	古	八三〇	七、〇〇	東京開成館	大和書店	二、〇〇
田沼 利男	西洋中世文化史	圓	三五四	三、八〇	厚生閣	岩波書店	五五
						帝國教育會出版部	二、三五

内藤智秀他二氏	アジア諸史叢書 西南アジアの趨勢	図	三六	二、三五	目黒書店	小保内樽之助	千古の疑問御伽噺家秘傳の文律統禦の大祕訣の解説	会	六	五	相馬形水堂
渡野晃	戦時體制版 西洋二千年史	図	三四	一、八〇	大第一書房	中井良太郎	戦争史観の断片	図	三六	一、八〇	二見書房
山川敏夫	青年叢書 西洋の歴史	図	一八六	一、一〇	伊藤書店	中山太郎	戦争と生活の歴史	図	四三	二、四〇	弘學社
ポチョームキン竹尾式譯	世界外交史 第一巻	会	三三	二、八〇	青年書房	山上八郎	戦争と日本民族	図	四三五	二、三〇	文明社
コルドハラビン榎本菊雄譯	世界開拓史 改訂增補	図	一五三	一、一〇	高田書院	對支功勞者傳記編纂會	續對支回顧錄 上・下揃	会	九二三	二〇、〇〇	大日本教化圖書株式會社
松本一蓮雄	世界海陸發見物語	図	二六五	一、二〇	新興亞社	日本タイ協會編	タイ國通史	図	三一	二、三〇	興亞日本社
高山岩男	世界史の哲學	図	五三	二、三〇	岩波書店	大國史美談	卷四	図	四八	二、三〇	實業之日本社
ヘーゲル岡田隆平譯	改造文庫 世界史の哲學 歴史に於ける理性	会	三八	七〇	改造社	北垣恭次郎	大國史美談	卷五	図	三五九	二、三〇	實業之日本社
原隨園	世界史への斷想	図	四二	二、三〇	創元社	大槻明治史	國民版	図	二九〇	二、〇〇	汎洋社
ウェルズ鈴木善太郎	世界大文化史 第二卷	会	五四	四、三〇	白揚社	菊池寛	大東亞海の文化	図	二九	一、〇〇	中山文化研究所
渡邊修二郎	世界に於ける日本人	会	四三七	五、〇〇	慶應書房	大川正士	大東亞建設史	図	三五八	二、〇〇	三崎書房
日本放送協會編	ラジオ新書 世界の神話	図	一六二	五〇	日本放送出版協會	石井周作	附錄大東亞建設史年表 大東亞古代文化研究	図	三七九	二、八〇	建設社
高山樗牛	博文館文庫 世界文明史	図	二九四	一、三〇	博文館	井出漫龜	大東亞史物語	会	三五〇	二、八〇	朝日新聞社
山川敏夫他	世界歴史全集	会	三四二	三、三〇	河出書房	神田洋史	大東亞常識讀本	図	二七	一、八〇	天泉社
鈴木一俊他二氏編	昭和十七年版（學生版）（豫約三冊） 世界歴史大年表	図	四〇	二、三〇	平凡社	中島悦次	大東亞神話	図	三〇三	二、三〇	統正社
秦田忠親	戦國武將の生活	図	四三五	一、〇〇	青磁社	足立喜六	大唐西域記の研究 上	会	六七	二、〇〇	法藏館

白坂義直	大南洋史	会	五八	五、三〇	田中誠光堂	カール・クロー吉田一次譯	中華外人物語	図	三八	一、八〇	天理時報社
原田韻正	大南洋秘話	図	三三	一、八〇	鶴書房	小松芳喬	岩波文庫 中世英國農村	図	一四六	一、〇〇	弘文堂書房
高群枝逸	大日本女性人名辭書	会	七一六	七、三〇	厚生閣	アイリーン・パウア 赤木昭夫譯	中世紀の人々	図	三九	二、〇〇	大觀堂
繼新史料編纂事務局	新史料 大日本維新史料（豫約二十冊）	会	七四〇	八、〇〇	明治書院	德增榮太郎	ラジオ新書 中世都市と近世都市	図	一六六	一、〇〇	日本放送出版協會
東京帝國大學	大日本史料 第一編之十一	会	九六六	七、〇〇	東京帝國大學	涌島義博	忠誠名和一族	図	六三	二、〇〇	道統社
東京帝國大學	大日本史料 八ノ二十一	会	九六九	七、〇〇	東京帝國大學	岩井大慧	西藏・印度の文化	図	三五三	二、三〇	日光書院
梨本祐平	太平天國革命	図	四四七	二、八〇	中央公論社	青木文教	西藏の民族と文化	図	二九三	二、三〇	高原社
仲小路彰	東洋戰史叢書 太平洋近代史	会	二五七	二、三〇	世界創造社	有馬成甫	朝鮮役水軍史	会	三二〇	四、三〇	海と空社
仲小路彰	東洋戰史叢書 太平洋侵略史 一	会	二四六	二、三〇	世界創造社	難波專太郎	朝鮮風土記 上卷	図	三五二	二、三〇	建設社
仲小路彰	東洋戰史叢書 太平洋侵略史 二	会	二五七	二、三〇	世界創造社	中村直勝	通說 日本上代史	会	三〇九	三、〇〇	白井書房
仲小路彰	太平洋侵略史 2	会	二三五	戦爭文化研究所	得富太郎	通俗幕末勤皇史傳 第一卷 尊皇攘夷篇	図	三四五	二、三〇	目黒書店
永持德一	東亞研究講座第百六輯 太平洋と古今東西の交	図	六六	三〇	東亞研究會	筑紫編定編	筑紫本八幡大菩薩愚童訓	図	一六五	一、七〇	泰東實道院
秦田忠親	大名と御伽衆	会	三六六	三、三〇	青磁社	帝國學士院編	帝國學士院紀事 第一卷第一號	図	三四	二、〇〇	帝國學士院
エミール・ルンネル ダニューブ 伊藤敏雄譯		図	二四一	一、三〇	地平社	山川八郎訂正	日本甲冑の新研究 上下揃	会	二六四	四五、〇〇	飯倉書店
二瓶一次	魂の國日本	図	二五三	一、八〇	厚生閣	大東亞文化協會編	哲學と歴史	会	三三	二、〇〇	白揚社
鈴木善作	地方發達史と其の人物（四國之卷）			—	鄉土研究社	廣田孝一	天正少年使節記 日葡交渉四百年記念	図	一六三	一、三〇	東洋堂

ドイツ現代史（ゲエルト・ヘルテルト著　岡崎太郎訳）　岡　三六四　二、三五
谷口榮業　ドイツ國民革命　岡　三〇四　一、六〇
山川直夫　獨逸五百年史　岡　三三　一〇
ゲオルク・パロウ著　井鐵男編　獨逸史學史　岡　三六六　二、三五
上原專祿　獨逸中世史研究　岡　三四一　四、三〇
ルートルフ・オーク著　木下勝訳　獨逸民族史　岡　四九八　二、八〇
東洋文化叢書　東洋文化研究會編　東亞共榮の歴史　岡　一〇七　三五
山田憲太郎　東亞香料史　岡　四一八　三、五〇
安藤英夫　東亞の北邊　岡　二四三　一、六〇
大熊喜邦　東海道宿驛と本陣の研究　岡　五六九　八、〇〇
松本博　東西洗濯史話（上巻）　岡　二四五　—
鈴木俊　唐宋時代の支那　岡　一五九　五、〇〇
田代善吉　栃木縣史（巻十七）　岡　—　—
奥平武彦他　東洋史講座（全三冊）　岡　二五三　一、二〇
武田久吉　道（アルス文化叢書）　岡　九二　一、二〇
清家瑩三郎　唐の太宗と隋唐文化　岡　—　—

佐原六郎　塔の世界　岡　三二　二、八〇
石川三四郎　東洋文化史百講　第二巻　岡　三八　三、八〇
尾張、徳川黎明會　徳川禮典錄　附圖一帙　上中下三冊揃　岡　三五八　三〇〇
東京帝大史料編纂所編　讀史備要　増訂版　岡　二六三　二、三〇
森田草平　豐臣秀吉　第二卷　岡　五八　三、三〇
大久保次夫　國威宣揚物語　奴隷船を裁く　岡　三七　一、五〇
松澤卓郎　南學と南學徒たち　岡　六三　二、〇〇
岡田章雄　南蠻宗俗考　岡　三三　三、五〇
松原晩香　南蠻通交志　岡　六七　二、〇〇
滿鐵東亞經濟調査局編　新版細亞叢書四　南方亞細亞の文化　岡　三六　二、〇〇
中田千畝　南方外交史話　岡　五〇　三、五〇
板澤武雄　南方圏文化史講話　岡　二六　一、八〇
藤摩雄次　南方の悲歌　岡　三六　二、〇〇
片山眞吾　南方民族運動史　岡　四三　二、八〇
西村眞次　南方民族誌　岡　五四　二、八〇
岩生成一　南洋群島史譚　岡　二九　九五
南洋群島史譚　岩生成一著　東亞叢書　岡　二九　九五

南洋史入門　岡　二八　二、一〇
南洋諸島の古代文化　岡　二四　二、八〇
東印民族誌叢書　宮武正道　南洋の文化と土俗　岡　二四　一、八〇
柴田賢一　南洋の歴史と現實　岡　三七　一、八〇
シュレーゲル　河合昇編　ニイチエの歴史哲學　岡　二三　二、四〇
建築新書　澤島英太郎　吉永義信　二　條　城　岡　二〇　二、〇〇
山口梧郎　二千六百年史（繪巻）　岡　三四三　一、〇〇
外山卯三郎　日歐交渉文化論　岡　三八　二、八〇
幸田成友　日歐通交史　岡　四二一　四、五〇
日露戰争秘史　山名正二　滿洲義軍　岡　七三　四、〇〇
日明　中村孝也　日明治維新史　岡　三六八　三、二〇
坂本箕山　日支親善年表　岡　二六八　一、〇〇
新田義貞公根本史料　岡　一四五六　—
群馬縣教育會　高村象平　日葡交通史　岡　三四　七、〇〇
日葡協會編　日葡交通の起源　岡　二一三　一、〇〇
米澤菊二　外山卯三郎　日葡貿易小史　岡　三五六　四、〇〇

葉牙書房　二、一〇　若い人社
岡倉書房　二、八〇　一、〇〇
天理時報社　一、八〇　帝國産業法規社　一、八〇
愛宕書房　二、四〇　相模書房　二、〇〇
天泉社　一、〇〇　葛城書店　二、八〇
岩波書店　四、五〇　月刊滿洲社東京出版部　四、〇〇
東京堂　三、二〇　日比谷出版社　一、〇〇
群馬縣教育會　—　國際交通文化協會　七、〇〇
協和書房　一、〇〇　清水書店　一、〇〇
東京堂　五、五〇　内外書籍株式會社　二、八〇
三友社　二、〇〇　東華書房　一、八〇
盛林堂　一、八〇　地人書館　一、八〇
金星堂　一、八〇　モダン日本社　二、五〇
東京堂　二、八〇　生活社　二、八〇
育生社弘道閣　三、八〇　尾張徳川黎明會　三〇〇
内外書籍株式會社　二三〇〇　改造社　三、三〇
皇國青年教育協會　一、五〇　東京講演會出版部　二、〇〇
地人書館　三、五〇　大日本出版社　二、〇〇
大和書店　二、〇〇　日本國際協會　三、五〇
東京堂　五、五〇　三友社　二、〇〇
東華書房　一、八〇　盛林堂　一、八〇
金星堂　一、八〇　河出書房　六、五〇
相模書房　二、〇〇　日本評論社　三、〇〇
研究社　五〇　東亞出版株式會社　一、三〇
日本評論社　四、五〇　晃文社　一、四〇

李長傳編　今井啓一譯　南洋史入門　岡　二八　二、一〇
ゼチャー・チワード　鈴木貞一譯　南洋諸島の古代文化　岡　二四　二、八〇
東印民族誌叢書　宮武正道　南洋の文化と土俗　岡　二四　一、八〇
柴田賢一　南洋の歴史と現實　岡　三七　一、八〇
シュレーゲル　河合昇編　ニイチエの歴史哲學　岡　二三　二、四〇
建築新書　澤島英太郎　吉永義信　二　條　城　岡　二〇　二、〇〇
山口梧郎　二千六百年史（繪巻）　岡　三四三　一、〇〇
外山卯三郎　日歐交渉文化論　岡　三八　二、八〇
幸田成友　日歐通交史　岡　四二一　四、五〇
日露戰争秘史　山名正二　滿洲義軍　岡　七三　四、〇〇
日明　中村孝也　日明治維新史　岡　三六八　三、二〇
坂本箕山　日支親善年表　岡　二六八　一、〇〇
新田義貞公根本史料　岡　一四五六　—
群馬縣教育會　高村象平　日葡交通史　岡　三四　七、〇〇
日葡協會編　日葡交通の起源　岡　二一三　一、〇〇
米澤菊二　外山卯三郎　日葡貿易小史　岡　三五六　四、〇〇

西村眞次　日本海外發展史　岡　五四　五、五〇
日本叢書　山上八郎　日本甲冑考　巻一　岡　三五四　三、〇〇
峰岸米造　日本近世百年史　最近百年間の大問題史　岡　二六一　一、八〇
三井高陽　日本古代文化研究　岡　二〇八　一、八〇
後藤守一　日本古代文化研究　建築新書　岡　七五　六、五〇
關野克　日本住宅小史　岡　三五　二、〇〇
本庄榮治郎　日本人口史　岡　二四四　三、〇〇
關山眞太郎　日本經濟史全書　日本人口史　岡　二五五　二、五〇
增澤淑　日本人の生活史　岡　四七　二、五〇
清原貞雄他　日本新文化史（繪巻）　五冊　岡　三一二　二、八〇
内田繁隆　日本政治史　岡　三四八　二、八〇
鈴木重雄　日本精神史要論　岡　三六八　三、五〇
植山天水　日本精神の勝利　岡　三九　一、三〇
飯田一郎　日本中心の世界史　上　岡　三一四　三、五〇
清水三男　日本中世の村落　岡　四五四　四、五〇
重森三玲　日本庭園の發達　岡　三五五　一、四〇

歴史文化研究會編　日本的歴史理念　岡　三一〇
五十嵐力　日本傳說集　東　三一一
日蒲協會　日本と葡萄牙　岡　八九
村上直次郎　（通説叢書第一輯・異國叢文）
山田德兵衛　日本人形史　岡　三六七
小野武夫　日本農民資料聚粹（全十巻）　岡　五七〇
中村清兄　日本の美と教養の扇　東　四四四
高橋健自　英日文　本の鏡　岡　八五
河原萬吉　明治風雲錄　東　四二八
佐藤堅司　日本の夜明け　岡　四二八
中村孝也　日本武學史　岡　九三
日本文化史要　岡　三九
松本彦次郎　日本文化史論　岡　五二
憲原　日本文化に關する研究　東　二四
小野則秋　日本文庫史　東　四五九
山本石樹　日本防諜史　岡　二九三
丸山國雄　日本北方發展史　東　三四四
藁田元春　增補　日本民家史　岡　八三六

三、〇〇　四海書房
一、三五　第一書房
七〇　改造社
五、三五　富山房
七、〇〇　巖松堂書店
二、八〇　河原書店
一、〇〇　日本文化中央聯盟
二、三五　霞ケ關書房
一〇、〇〇　大東書館
二、八〇　大日本教化圖書株式會社
二、八〇　人文閣
二、八〇　水産社

梁瀨春雄　日本民族海外躍進史　岡　—
柳田國男敬吾　日本民俗學入門　東　四八五
日本文化中央聯盟編　日本民族と海洋思想　岡　一九七
本山桂川　日本民族圖誌（全五冊）　東　二〇一
モラエス　花野富藏譯　日本歷史　東　二九三
井上右近　日本歷史哲學序說　東　三五六
藝苑巡禮社編　日本歷代遷都考　岡　—
松田壽男　漠北と南海（アジア史に於ける砂漠と綠洲）　岡　二六〇
高橋茂　大東亞近世史　東　三六八
幕末勤王史　東　三六八
後藤守一　アルス文化叢書15　埴輪　東　八五
柴田賢一　八幡船　東　二九四
松下三鷹　八幡船の史的考察　東　九三
土方久功　バラオの神話傳說　東　三五三
鎌谷木三次　播磨上代寺院跡の研究　東　四二五
萬國渡海年代記　東　二五
双林社　全國書房

一、〇〇　日本通信聯盟出版部
二、三五　改造社
一、八〇　刀江書院
五、〇〇　東京堂
二、〇〇　明治書房
一、八〇　丁字屋書店
三、八〇　藝苑巡禮社
三、三〇　四海書房
一、三五　天泉社
一、三〇　アルス
一、八〇　興亞日本社
一、三〇　東邦書院
二、八〇　大和書店
三、〇〇　成武堂
二、三〇　双林社
一、八〇　全國書房

大阪市參與會編（昭和十年）　東區史（一）　岡　六八
森末義彰　東山時代とその文化　東　三三
高木元割　尾三史話　東　四九
大變利正　備前三石城史の研究　東　一九八
肥後和男　風土記抄　岡　一〇九
福岡縣編　福岡縣史資料（續第一輯）　岡　七四〇

—　大阪市東區役所
二、〇〇　秋津書房
二、三五　中部書籍株式會社
一、八〇　修學社
二、八〇　弘文堂書房

三浦義彰　文久航海記　東　三五八
筑波家國史研究部編　文獻目錄國史學界昭和十六年　岡　二六一
大川周明　米英東亞侵略史　東　二六八
仲小路彰　米英の罪惡史　岡　一八〇
榮田賢一　米英の東亞侵略年譜　東　三七
寺西武夫解説　太田一朗訳　ベーンズ武裝パワア　ヨーロッパ文明史　規　一〇三

三浦寶生　武士道逢原　東　三六〇
喜田貞吉　藤原京　東　九五
カーライル　柳田泉譯　フランス革命史　第一部　春秋社思想選書　東　三五三
西海太郎　フランス現代史　岡　四八
福岡縣編　福岡縣史資料（續第二輯）　岡　七四〇

—　新辯林社
二、三五　鵜故郷舍
三、〇〇　春秋社
四、〇〇　四海書房
三、三五　冬至書林
一、〇〇　筑波家國史研究部
一、三〇　第一書房
二、〇〇　世界創造社

箕作元八　プレスコット　眞木譯　石田外茂一　ペルー征服　上卷　岡　三八
生活選書1　ヘロドトスの歷史と人　東　三七
田北學編　年大友史料　正和以前　岡　六三
森暢編　寶雲　第二十九册　東　一五四
御國生翁　防長造紙史研究　岡　—
松宮淡山　波蘭略史　岡　八三
若林功　北海道農業開拓錄　第二篇　東　三五五
札幌中央放送局　北海道文化史考　岡　三六
柳田國男　木思石語　東　二六八
川久保俳郎　田中克巳譯　シロコゴルフ　北方ツングースの社會構成　岡　八四六
箕作元八　博文館新社版　ペルー征服　上卷　岡　三八
博文館新社版　生活選書1　ヘロドトスの歷史と人　東　三七
博文館新社版　正和以前　岡　六三
博文館新社版　寶雲　第二十九册　東　一五四
博文館新社版　防長造紙史研究　岡　—

六五　博文館
七〇　改造社
二、八〇　生活社
一〇、〇〇　富山房
二、八〇　寶雲刊行所
—　防長紙同業組合
八〇　行有恒學社出版部
一、八〇　水産社
二、三五　日本放送出版協會
一、三〇　三光社
六、三五　岩波書店
二〇　博文館
三、三五　北海出版社
—　東亞研究所
三、〇〇　青生社
弘道閣
二、〇〇　岩波書店

東亞研究所　馬來編年史研究　岡　三六三

大井重二郎	萬葉大和	B6	三九四	二、八〇	立命館出版部
高橋利治	滿洲建國十年史	四六	四六	—	亞細亞婦德顯彰會
高橋恭一	三浦黨と鎌倉武士道	B6	三六三	二、八〇	長谷川書房
R・U・セイス 坪井良平譯	未開民族の文化	B6	四二五	二、八〇	葦牙書房
田中鐵太郎	美・川町史	A5	一〇九七	—	美川町役場
大熊喜邦	民家と住居 (電建叢書十)	A5	一三九	一、五〇	日本電建株式會社
津川主一	民族解放の歌	B6	一八一	一、二〇	教文館
宍戸儀一	民族形成と鐵の文明	B6	三三〇	三、〇〇	道統社
白柳秀湖	新版 民族日本歷史建國篇	B6	四一〇	三、〇〇	千倉書房
ジャワハルラール・ネール 脇山康之助譯	娘インディラへの手紙 第一部・古代・中世史	B6	三七九	二、〇〇	豐國社
ジャワハルラール・ネール 脇山康之助譯	娘インディラへの手紙 第二部 近世史	B6	四五八	二、二〇	豐國社
伊藤信吉	昔話とわらべうた	B6	二九五	二、六〇	四元社
尾佐竹猛	明治維新 上 (近代日本歷史講座)	A5	三五五	三、五〇	白揚社
田中惣五郎	綜合明治維新史 第一卷	A5	三五七	三、五〇	千倉書房
日本タイ協會編	メコン河の流血 英佛タイ侵略史	B6	二五五	一、六〇	蒼生社
鈴木安藏	明治維新政治史	A5	五一〇	四、八〇	中央公論社
杉原正已	明治維新に於ける尊皇雄藩	A5	一八六	—	日本政治文化研究所
木村毅	明治天皇と御治世下の人々	B6	三一五	一、八〇	全國書房
藤澤衞彥	明治風俗史 下卷 (現代叢書29)	B6	二五三	一、八〇	三笠書房
明倫會	明倫會史	A5	七三〇	—	明倫會
野波淳	蒙古歷史物語	B6	二四六	二、〇〇	平路社
佐藤武	物語古事記	B6	二六〇	二、〇〇	平凡社
高須芳次郎	物語大日本史 本紀・列傳 上卷	B6	四八四	二、八〇	誠文堂新光社
柳田國男	桃太郎の誕生	B6	五八七	二、八〇	三省堂
松谷正治編	躍進日本歷史 (日本神話英雄寶玉集二) 神代より大東亞戰爭まで	B6	六七三	二、五〇	隆文堂
楠山正雄	夢殿	A5	四二一	三、六〇	冨山房
福本義亮	吉田松陰大陸南進論	B6	四〇九	二、二〇	誠文堂新光社
米子市役所	米子市史	A5	一〇五五	—	米子市役所
近江太郎	ラインの傳說	A5	二四三	三、八〇	行有恒學舍出版部
デ・クラーク 南方調査會譯	蘭印史	A5	九七五	一三、〇〇	春陽堂書店
村上直次郎 原徹郎譯	蘭領印度史 (東研叢書)	A5	二五三	一、七〇	岩波書店
平尾道雄	陸援隊始末記	B6	三四七	二、〇〇	大日本出版社峯文莊
フォン・ブラント 日獨文化協會譯	黎明日本	B6	三九七	二、五〇	刀江書院
青木巖	トゥーキューディデース 歷史 上卷	A5	四五三	四、八〇	生活社
渡邊幾次郎	歷史を作る人	B6	三六〇	二、二〇	東洋經濟新報社
千代田謙	歷史學 (朝日新講座31)	B6	三四二	一、四〇	朝日新聞社
ラングロア・セーニョボー 高橋巳壽衞譯	歷史學入門	A5	三八二	三、五〇	人文閣
神保規一他	歷史教育 (師範大學講座)(縮約、一冊)	A5	三〇八	二、五〇	建文館
J・G・ブレッチア 内山敏譯	歷史心理學の一研究 アメリカとロシアの心理分析	B6	三六八	二、〇〇	萬里閣
ランプレヒト 上原專祿譯	歷史的思考入門 (經濟學名著選集二)	A5	三六〇	三、五〇	日本評論社
西村眞次	歷史と文藝	B6	三三六	二、〇〇	人文書院
N・A・ベルヂアエフ 宮崎信彥	歷史の意味	B6	三一八	二、〇〇	畝傍書房
秋山謙藏	歷史の確認	B6	二六九	二、五〇	三笠書房
秋山謙藏	歷史の創造	B6	三六五	二、五〇	三笠書房
田代秀德	歷史の哲學的意義	B6	二五七	一、六〇	同文館
内田銀藏	歷史の理論	A5	三〇五	三、五〇	河出書房
坂本箕山	歷史より見たる日本と滿洲	B6	三二五	一、八〇	日比谷出版社
ロストフスキー 京亞近代史研究會譯	ロシヤ東方經略史	A5	二七五	三、〇〇	生活社
リヒャルト・モエラー 佐々木俊次譯	ロシヤ史 ロシヤ民族の本質と生成	A5	四二三	三、八〇	世界堂書店
矢野仁一	ロシヤの東方政策 (アジア歷史叢書6)	B6	三一七	二、三〇	目黑書店
登丸福壽 茂木秀一郎	倭寇研究	B6	二九二	一、八〇	中央公論社
フリイドリッヒ大王 國防研究會譯	我が時代の歷史 (戰爭叢書)	A5	四二三	三、五〇	中央公論社
澤田謙	我等が太平洋	B6	三三六	一、八〇	金星堂
西尾千治	われらの家系圖	B6	三一七	二、〇〇	生活文化研究會
若松市役所編	若松市史 下卷	B6	九〇四	—	若松市役所
寺島柾史	北進日本史 我等の北方	B6	二七九	一、五〇	霞ケ關書房
Kōya Nakamura	Japan Bücherei:1 Geschichte Japans.	B6	一三一	一、〇〇	教文館
Karl Haushofr	Japanische und Deutsche Kulturgeschichte	B6	二四	五〇	教文館
J. A. Pinto, Y. Okamoto, H. Bernard	La Premiere ambassade du Japon en Europe 153 9	四六	四四三	並二五、〇〇 上三八、〇〇	上智大學
Phra Sarasas	My Country Thailand	A5	四五八	八、八〇	丸善株式會社
Kalidas Nag	Pre-Historic Japan	A5	三三	五〇	國際文化振興會
岩井大慧監修	The Chinese Repository (支那叢報)(一卷五冊組(縮約、11卷))	A5	二九〇〇	10、00	丸善株式會社

(2) 傳記

橋本善三郎作 山本芳編曲	あゝ九勇士	四六	四	三〇	新興音樂出版社

山本初太郎	嗚呼軍神九柱	図 三三	一、三五	日本講演協會
大尉顯彰會	噫小林大尉	伝 八三	—	大尉顯彰會
國民新聞社	嗚呼特別攻撃隊	図 三三〇	一、〇〇	國民新聞社
村上久吉	あいぬ人物傳（附あいぬ教育功勞者傳）	図 二一四	三、〇〇	平凡社
坂本箕山	明智光秀	図 三八	二、〇〇	日比谷出版社
臨川書店	赤穂義士研究	伝 三四八	三、三〇	大東書館
通俗教育普及會編	赤穂誠忠快擧の巻	図 二八三	一、三五	教育社
通俗教育普及會編	赤穂誠忠義士外傳	図 二九五	一、三五	教育社
山田美妙（附田良平解題）	アギナルド將軍（北伊菲獨立戰記）	図 三六	二、〇〇	育英書院
加藤咄堂	亞細亞を睨む時宗秀吉（豊臣人傳叢書）	図 二六六	一、八〇	潮文閣
佐藤俊三	アショカ育王（改造文庫 エリザベス・ゴンゾフ・ゴツホ遊記 李太郎譯）	図 二〇五	一、八〇	大阪屋號書店
澤本孟虎	兄ゴツホの思ひ出	図 二八六	四〇	改造社
高須芳次郎	近世人物群像あの人この人（偉人叢書）	図 三九	二、〇〇	青山書院
尾崎憲三	津正志齋（日本文學者評傳全書）	図 二一七	一、三五	厚生閣
顯田二郎	新井白石	図 三四	一、八〇	青梧堂
島井口防疫官		図 二七八	一、八〇	四方木書房

渡邊善房	生ける農民魂	図 二九九	二、〇〇	大智書房
池崎忠孝	概說石田三成	図 一九二	一、三五	岡倉書房
石原爲平	石原家記（上）	伝 六七二	—	筑後史談會
金澤正造	維新十傑傳	図 二〇九	一、八〇	文松堂
高須芳次郎	維新留魂錄	図 四七	二、〇〇	大阪屋號書店
高島米峰	一休和尚傳 改修版	伝 二二一	二、三五	明治書院
相馬御風	一茶素描	図 三三	三、〇〇	道統社
武田清吾	一遍上人繪傳（詞書二）	図 —	—	博雅會
武田清吾	一遍上人繪傳（詞書三）	図 —	—	博雅會
武田清吾	一遍上人繪傳詞書（四）	図 —	—	博雅會
武田清吾	一遍上人繪傳（第五—第十二卷）	伝 —	—	京都博雅會
中村吉藏	伊藤博文	図 三二	二、〇〇	大日本雄辯會講談社
伊藤博文公年譜編纂會	春畝公頌德會	伝 三九	—	春畝公頌德會
渡邊清	遺德顯彰錄（第三輯）	伝 六六	—	大日本頌德會
小田進宇品港	李鏡湾前拾遺	図 二九	一、八〇	人文閣
宮崎聆綱		図 八	二、〇〇	山雅房

知切光歳	宇都宮默霖	図 二九九	二、三五	日本電報通信社出版部
白柳秀湖	日本海運岩崎彌太郎の建設者	図 三三	一、八〇	潮文閣
安彦孝次郎	上杉鷹山の人間と生涯	伝 四二七	三、八〇	壯年社
辻森秀英	上田秋成の生涯	図 二九三	二、八〇	有光社
土屋賢一	海の軍神特別攻撃隊（偉人叢書）	図 二四〇	一、三〇	春陽堂
法本義弘	梅田雲濱	図 二〇八	八〇	三教書院
梅田薫	勤皇偉人梅田雲濱	図 二七四	一、七〇	東京正生院出版部
頭山滿述 吉田朝明記	英雄ヲ語ル	図 二四四	二、〇〇	池田小菊
堀江秀雄	英雄詩人傳（新傳記叢書）	図 二八七	二、〇〇	第一公論社
安達嘉一	エゾン	図 二三三	一、〇〇	新潮社
野村兼太郎	江戸時代の經世家（大東名著選第四）	図 四五三	二、五〇	ダイヤモンド社
森銑三	江戸時代の人々	図 二九四	二、二〇	大東出版社
森潤三郎	鷗外森林太郎	伝 三七五	三、三〇	丸井書店
大月隆仗	天皇信仰の首唱者（日本文化名著選二）	図 二五四	一、三五	產業經濟社
幸田成友	大鹽平八郎	図 二六〇	一、七〇	創元社
野山兼一	大鳥宇吉翁傳	図 五五四	—	新愛知新聞社

先驅者	岡倉天心	図 三五	二、三五	アトリエ社
緒方富雄	緒方洪庵傳	図 二六二	二、三五	岩波書店
岡村會編	岡村悅子傳	図 三三	—	新小說社
奥村五百子傳編纂會	奥村五百子	図 三三四	二、〇〇	南方出版社
尾張武人物語刊行會	尾張武人物語	図 三二	—	清正堂書房
恩田本工	恩田木工	図 二三〇	一、八〇	天佑書房
清澤洌	外政家としての大久保利通	伝 三〇三	二、三五	中央公論社
池田小菊	かゞみ	図 二九四	二、〇〇	全國書房
實方清	香川景樹	図 三〇八	二、〇〇	三省堂
山崎一芳 永松海造	革新陣營の人びと	図 二九二	一、八〇	東海出版社
伊藤金次郎	生きてゐる快將 加藤寛治	図 三六九	一、八〇	昭和書房
武田勘治	蒲生君平	図 三六三	二、三五	南北書園
棒山貴英	棒山貴英傳	伝 七〇〇	—	其刊行會
上山君記念事業會	上山滿之進（上）	伝 二九九	—	成武堂
上山君記念事業會	上山滿之進（下）	伝 二〇一	—	成武堂
新愛知新聞社	ガリレオ傳 星をみつめる人 下	図 五六六	二、四〇	那珂書店

星山貢	偉人叢書 河井繼之助	現一九八	八〇	三教書院	藤本尚則	巨人頭山滿翁	現九六八	三、九〇	文雅堂
土橋眞吉	河内先哲傳	現三三三	二、〇〇	全國書房	森銑三	近世高士傳	現四五二	三、七〇	黄河書院
阿部秋生	河村秀根	現二八〇	三〇〇	三省堂	松田武四郎	近世日本國家偉人傳 中村直三	現二四五	一、二〇	日本出版社
秦賢助	歡喜の書	現二六〇	一、二〇	鶴書房	間々田隆	近世日本國家偉人傳 御木本幸吉	現二六三	一、二〇	日本出版社
マハトマ・ガンヂー	ガンヂー自敍傳	現三五五	二、〇〇	羽田書店	佐佐木千之	近世日本國家偉人傳 和井内貞行	現二三四	一、二〇	日本出版社
金井爲一郎	ガンヂー自敍傳 上卷	現二六二	二、〇〇	鄰友社	川端勇男	近代細菌學の父 ローベルトコッホ先生	現二九五	一、二〇	柴山教育圖版社
金井爲一郎譯	ガンヂー自敍傳 下卷	現四三五	二、一〇	鄰友社	堀川豐永編	近代日本の科學者（二）	現二六七	二、一〇	人文閣
錦山實	印度の巨象 ガンヂーとネール	現二九三	一、八〇	新興亞社	松下芳男	近代日本名將傳	現四四四	二、〇〇	今日の問題社
太田龍藏	眞相義士陶十七話	現二六七	二、〇〇	實業之日本社	市村其三郎	勤皇家 佐久良東雄	現三一〇	二、〇〇	駿々堂
中村孝也	北畠顯家卿	偉二八八	二、五〇	小學館	丹潔	勤皇僧月照	現三〇三	二、〇〇	宮越太陽堂
横井金男編	北畠顯房卿和歌拾遺 梨本・傳記・年譜	現二三三	一、四〇	大日本百科全書刊行會	權藤重義	九段櫻	現三七三	一、八〇	新興亞社
舟橋聖一	北村透谷	現四二七	二、八〇	中央公論社	和田傳	熊澤蕃山	現二六八	一、二〇	偕成社
藝術	忠一木戸孝允遺文集	偉二八八	四、〇〇	泰山房	永松淺造	くろがねの父	現三四四	一、二〇	東水社
國民工業學會	技能章に輝く産業戰士	現二三〇	八〇	國民工業學院	延原大川	黒住宗忠傳	現三五二	二、一〇	龍宿山房
增谷文雄	行誡上人	現二三七	一、二〇	法然上人鑽仰會	興梠忠夫	近世名機械工傳 黒田伊三郎	現一八六	一、二〇	東山書院
佐藤武	九軍神ノ大海戰	現二七〇	一、二〇	東亞書院	黒門勤皇家列傳		現二三二	二、一〇	龍宿山房

寺島柾史	開拓者 郡司大尉	現三一五	一、八〇	鶴書房	高垣眸	現代科學の父 レオナルド・ダ・ヴィンチ	現二四八	二、一〇	山海堂
林繁男	軍神稻垣兵曹長	現一〇一	五〇	博通社	神崎清編	現代日本婦人傳	現三五五	三、〇〇	三學書房
精閑寺健	軍神を生んだ母	現二七七	一、二五	興亞日本社	矢谷虎之助	現代農村の傑出人物	現二六八	一、一〇	集文館
秦賢助	軍神九勇士 特別攻撃隊	現二四四	一、八〇	鶴書房	後藤來雄	乾隆帝傳	現三〇〇	一、二〇	生活社
富田常雄	軍神杉本中佐	現三七三	二、二〇	童話春秋社	永見七郎	興亞一路 井上雅二	偉三三八	二、一〇〇	刀江書院
山田國男	軍神 特別攻撃隊九勇士	現二二八	五〇	一心堂	鈴木善一	興亞運動と頭山滿翁	現二六九	二、〇〇	照文閣
吉尾なつ子	軍神の母	現二一五	一、二〇	三崎書房	田中彌一郎	興亞人物論	現三四五	二、〇〇	遺藤書店
長谷川正道	敬仰乃木將軍	現二六〇	二、〇〇	宮越太陽堂	山品白嶺	皇化普及と隈野國造	偉	—	山品白嶺
立命館高等内 道徳委員會	經濟學博士 杉兵長の手記と憶ひ出	現三一五	—	立命館高等内 道徳委員會	三浦章夫編	興敎大師傳記史料全集	偉四九〇	—	其事務局
久松潜一	日本文化の特質 契沖の生涯	現一八〇	一、四〇	創元社	飯田豐二	皇國に身を捧げて	現三三五	一、五〇	金星堂
ゼルマ・ラーゲルレフ	ゲスタ・ベルリングの傳說 第三卷	現二四四	一、七〇	白水社	大日本聯合女子青年團・大日本聯合婦人會	皇國名婦選 上中下卷	現九六八	五、〇〇	會通社
大島與吉	決死爆破行	現三六六	一、八〇	博文館	中國文藝叢書 青木・富太郎訳	洪秀全の幻想	現一七五	一、四〇	生活社
中村孝也	源九郎義經	偉四七〇	四、八〇	小學館	ハンベーグ	國士を培ふもの 金原明善・一代記	現三四五	二、三〇	平凡社
小笠原長生	元帥伊藤祐亨	偉五八八	五、五〇	南方出版社	小野田龍彦	國士を培ふもの 金原明善・一代記	現二五二	一、八〇	全國書房
小笠原長生	元帥伊藤祐亨	偉五八八	—	伊藤元帥傳記	木村毅	故山の大西郷	現二五二	三、八〇	國際日本協會
宇津七郎	顯揚頭山精神	偉五五	—	宇津七郎	宿利重一 新傳記叢書	兒玉源太郎	現八三三	一、〇〇	新潮社
					小村壽太郎	信夫淳平	現二四一		

平田 榮	これぞ日本人 上級向	図 三七	一、三〇	三光社	
トーコブ・ワッサーマン 大野俊一譯	コロンブス 其の生涯と世界發見上	図 二九八	一、三〇	三邦出版社	
ワシントン・アーヴィング 葛村一夫・真太郎譯	コロンブスの生涯 上卷	図 三六六	二、三〇	有光社	
ワシントン・アーヴィング 葛村一夫・真太郎譯	コロンブスの生涯 下卷	図 三四五	二、三〇	有光社	
横山 青娥	西行の生涯	図 二九四	一、三〇	興文閣書房	
相澤 熙	最近の蘇峰先生	図 三〇三	—	蘇峰會	
古谷 知新	西郷南洲	合 三五	二、〇〇	保健協會出版部	
宇田 愛	榊原帶刀	合 一八〇	—	宇田愛家	
增澤 淑	佐久間象山	偉人叢書 図 一八三	一、三〇	日本書房	
赤尾 藤市	佐久間象山	図 一五五	八〇	三教書院	
雜賀 博愛監	佐久間象山集	合 二三五	二、〇〇	興文社	
望月 茂	佐久良東雄	図 二八四	二、三五	講談社	
森 銑三	佐藤信淵	偉人傳文庫12 図 三九	三、〇〇	今日の問題社	
下村 湖人	佐藤信淵 疑問の人物	図 四一	一、三〇	講談社	
濱田義一郎	蜀山人	日本文學古評傳全書 図 三三〇	二、〇〇	大貫書店	
綜合經濟研究所編	職場の科學者	図 二〇七	一、三五	綜合經濟研究所	
中村 幸也	白石と徂徠と春臺	図 二九九	二、三五	萬里閣	
木村 義昌 谷口 善也	白瀧中尉探檢記	図 四二四	二、三〇	大地社	
馬場 恒吾	新偉人傳全集 博文	図 二六二	二、〇五	潮文閣	
伊藤 白柳 秀湖	新偉人傳全集 岩崎彌太郎	図 三二四	二、〇五	潮文閣	
山中峯太郎	新偉人傳全集 汪精衛	図 三二五	並二、〇五 上二、三五	潮文閣	
高神 覺昇	新偉人傳全集 最澄と空海	図 三五三	二、〇五	潮文閣	
秦 豐助	新偉人傳全集 軍神傳 上卷	図 二九〇	二、〇五	潮文閣	
秦 豐助	新偉人傳全集 軍神傳 下卷	図 三五二	二、〇五	潮文閣	
實伏 高信	新偉人傳全集 日蓮聖國	図 二六八	二、三五	潮文閣	

岡崎 茂樹	時代を作る男 鹽原時三郎	図 二三一	二、〇〇	築地書店	
柴田 宵曲	子規居士	図 二四五	一、七〇	三省堂	
池田種生編	師道 三人の兩親訓導記	図 三〇八	一、三〇	帝教書房	
平塚 篤	子爵 栗野慎一郎傳	合 四四五	—	興文社	
齋藤子爵記念會編	子爵 齋藤實傳(四)	合 二六八	—	齋藤子爵記念會	
軍人援護會編	支那事變 忠勇列傳	合 九三九	—	軍人援護會	
軍人援護會編	支那事變 忠勇列傳	合 九三三	—	軍人援護會	
軍人援護會編	支那事變 忠勇列傳	合 八八八	—	軍人援護會	
軍人援護會編	支那事變忠勇列傳 海軍	合 七六六	—	同盟通信社	
軍人援護會編	支那事變 忠勇列傳 陸軍(21)	合 八九九	—	軍人援護會	
安田 武彥	支那事變 忠勇列傳 陸軍之部	合 九三三	—	軍人援護會	
福本 義亮	下田に於ける吉田松陰	図 二三〇	一、三五	誠文堂新光社	
澤田 和一	死もまた愉し	動皇志士叢書 図 二五〇	一、七〇	長谷川書房	
山田長政と南進先驅者	新偉人傳全集	図 三三三	並一、八〇 上二、三五	潮文閣	
八幡市聯合分會	肇國忠勇遺勳錄	合 二三四	—	八幡市聯合分會	
森 銑三	新橋の狸先生 私の近世畸人傳	図 三五二	二、〇〇	二見書房	
伊佐 秀雄	人・物・記	図 二三〇	一、七〇	文祥堂	
梅本 貞雄	親鸞と九條武子	図 四一〇	二、〇五	忠誠堂	
伊藤金次郎	新領土開拓と後藤新平	図 三九九	一、八〇	昭和書房	
柳田 國男	菅江眞澄	図 二七二	一、七〇	創元社	
南洲の先驅者	菅沼貞風傳	図 三三三	二、〇〇	八雲書林	
佛性誠太郎	杉浦重剛先生	図 一六二	一、四〇	立命館	
德本 正俊	正氣歌講話	図 二五九	一、三五	健文社	
伊藤 松雄	世紀の鳥人 飯沼正明	図 三〇二	一、六〇	鄰女界社	
太田 亮	姓氏家系大辭典	合 二二五	六、〇〇	磯部甲陽堂	
日本經濟史研究所編	政治經濟 先人を語る	図 二八一	二、三五	龍吟社	

利倉幸一	青々園	伝	一三九	福島縣村町長會	大東亜戦争遺勲顕彰録
西太后に侍して（原題 女官長 吉田白已訳）		図	三〇二		
小野庵保藏	青年石川啄木	図	三六八	坂元 盛秋	英文 大西郷
幾賀 貞	青年橋本左内	伝	一三〇	和田 健爾	大西郷 死生の書
宮本正清譯（ロマン・ロラン）	聖雄 ガンヂイ	図	三三七	福田 善念	大將の母
高鍋 日統	聖雄日持と豊太閤	伝	一二	林 彌三吉	大楠公 評傳
久保田榮吉	歌聖屋敏子女史	図	三三九	大ノーベル傳（ユツタ 菊地武一譯）	
星 篤比古	先（編）駄ヤオ開拓の父太田恭三郎傳	者	二四四	村上 知行	大陸史の十二人
村田數之亮	先史世界への熱情（シエリーマン自叙傳）	図	二五六	藤原 早泉	同天の風雲兒
桑田 忠親	千利休	伝	三三五	高島 秋帆	高杉晋作
柳田 泉	成書思汗平話 壯年のテムヂン	図	三三三	大木 雄二	高山彦九郎
軍事保護院編	祖國を護る人物	図	四八七	辻 善之助	編（皇室文庫 明治文化史）
幾賀 貞	鹿野 績	図	二四二	澤庵和尚書簡集	
本山 荻舟	續 風雲と人物	図	二四二	武田範之傳	
藤田 新一	續名人畸人	図	三六	井上 右	興亜風雲譚
加藤 正雄	帝國軍人の精神	図	二九一	高瀬 重雄	伊藤千蔭（生涯と出版）
石原 道博	空の軍神（陸海軍將兵の殉國傳記）	編	二九二	谷 干城	
村田數之亮	先史世界への熱情（シエリーマン自叙傳）	図	二五六	秦 山	皇學の祖
桑田 忠親	千利休	伝	三三五	谷 秦山	
柳田 泉	成書思汗平話 壯年のテムヂン	図	三三三	松澤 卓郎	ダバオの父太田恭三郎（ダバオ開拓の父太田恭三郎傳）
軍事保護院編	祖國を護る人物	図	四八七		
幾賀 貞	鹿野 績	図	二四二		
本山 荻舟	續 風雲と人物	図	二四二		
藤田 新一	續名人畸人	図	三六		
加藤 正雄	帝國軍人の精神	図	二九一		
石原 道博	空の軍神（陸海軍將兵の殉國傳記）	編	二九二		

千葉榮一郎	千葉周作遺稿	図	三三三	福島縣村町長會	大東亜戦争遺勲顕彰録
髪刈 隆逸	忠靈塔物語	図	二六〇	村町長會	開拓
横田 正俊	父を（横田秀雄小傳）	語る	四七七	三、三五〇	生活 社
西堀 一三	茶道行言錄	図	二三二	三、三五〇	成史書院
藤田 新一	帝國憲法と金子伯	伝	八〇三	三、三五〇	東京武藏野書院
石原 道博	成（東洋文化叢刊）	功	二九六	一、三五〇	東和出版社
尾崎 昌法	帝國海軍と山本五十六大將（教養文庫）	図	三三	四、三五〇	大日本雄辯會 講談社
赤松 晋明	鐵眼禪師	伝	二四三	三、三五〇	破邪顯正社
安部正人編	鐵舟隨感錄	図	二九八	一、三五〇	識美書閣
	デモステネス（ビカアド・ケムブリヂ 土屋光司訳）	図	四八七	二、三五〇	星野書店
玉林 晴郎	傳記 樂芳	図	三三九	一、三五〇	南方書院
玉林 晴郎	傳記と文化	図	三四一	一、三五〇	天佑書房
坂田 精一	獨逸航空人傳（ウラジールヴォフ小林 高四郎訳）	伝	二一四	三、三五〇	生活 社
自井 喬二	東亜英傑傳（西郷と勝安房 改文）	図	二九六	一、三五〇	成徳書院
市川 銑造	東郷元帥遺墨集（續篇）	書	一	一、三五〇	東郷寺

伊東祐二郎	至誠の人 東條英機傳	図	三七七	福島縣村町長會	大東亜戦争遺勲顕彰録
小田 俊與	現代日本人物論叢書 電撃宰相 東條英機	図	二八〇	村町長會	開拓
篁 東陽	世界の英傑 東條英機	図	二三六	坂元 盛秋	英文 大西郷
蒲 鐵	東條紀行	図	四二六	和田 健爾	大西郷 死生の書
弘報課編	東宮大佐傳	図	四二七	福田 善念	大將の母
東宮大佐傳刊行會編		図	三三九	林 彌三吉	大楠公 評傳
藤本 尚則	頭山精神	伝	三三九	大ノーベル傳（ユツタ 菊地武一譯）	
澤田 謙	日本宰相 時宗と日蓮	図	三七一	村上 知行	大陸史の十二人
野田清太郎	特別攻撃隊	図	三三五	藤原 早泉	同天の風雲兒
東京朝日新聞社編	特別攻撃隊 九軍神	図	三三五	高島 秋帆	高杉晋作
日本女子美術學校編	特別攻撃隊 九軍神 像	正	一三五	大木 雄二	高山彦九郎
村田 亨	特別攻撃隊 岩佐中佐物語	図	二九五	辻 善之助	編（皇室文庫 明治文化史）
軍神顯彰會	特別攻撃隊 九勇士	伝	一四三	澤庵和尚書簡集	
福湯 豊	特別攻撃隊	図	二六四	武田範之傳	
一條重美譯	憎華（あゝ中國青年の自傳）	図	五三五	井上 右	興亜風雲譚
寺石 正路	土佐名家系譜	図	九九九	高瀬 重雄	伊藤千蔭（生涯と出版）
高知縣名鑑	土佐の女教員會 千代の鑑	図	三九七	谷 干城	
	天佑書房		一、三五	松澤 卓郎	皇學の祖 谷 秦山
	世界公論社		一、八〇		ダバオの父太田恭三郎（ダバオ開拓の父太田恭三郎傳）
	アジア青年社		一、三五〇		
	滿洲日日東京支社		三、三五〇		
	新紘社		三、三五〇		
	文雅堂		三、三五〇		
	三友社		三、三五〇		
	興亞出版社		一、三五		
	朝日新聞社		一、〇〇		
	滑水書店		一、三五		
	八光社		四、八〇		
	機甲青年社		一、三五		
	神田生活社		三、三五〇		
	富山房		一、三五		
	泰山房		三、〇〇		
	偕成社		一、八〇		
	大阪屋號書店		三、三五		
	建文社		三、三五		
	大東亜書房		三、〇〇		
	教材社		一、八〇		
	岩波書店		八〇		
	平凡社		三、三五		
	創元社		一、八〇		
	天佑書房		一、〇〇		
	泰山房		三、〇〇		
	偕成社		一、八〇		
	高知縣教育會		四、三五		

本田成之　富岡鐵齋　岡　三、〇〇　梧桐書院
佐藤太平　富田高慶　図　二五九　一、八〇　宮越太陽堂
上司小剣　伴林光平　図　三〇三　二、〇〇　厚生閣
土橋眞吉　伴林光平　図　三四　一、八〇　全國書房
松平道夫　工業と技術の雙璧　豊田と田熊　図　二四三　一、八〇　潮文閣
中井愛譯　ドラクロアの日記　一八五〇―四　仝　四〇一　四、八〇　石原求龍堂
高橋俊乘　中江藤樹　教養文庫　仝　二八〇　弘文堂書房
和田信二郎　中川淳庵先生　仝　三一〇　三、八〇　立命館出版部
貴志康人　ナチス十傑傳　附ナチス黨及國家組織圖解　図　二五四　一、八〇　日獨文化出版局
ピエロレンツ・鹽谷太郎譯　ナチス獨逸の建設者　図　二三三　一、八〇　宮越太陽堂
石濱純太郎　浪華儒林傳　図　一九三　一、八〇　日獨文化出版局
伊藤政之助　ナポレオン戰史　國防科學叢書第六篇　図　三三二　一、八〇　盛水書房
砂川一平　ナポレオンの性格　図　五六八　一、八〇　全國書房
志村陸城　楠公のこゝろ　図　一二五　一、〇〇　弘文堂書房
楠公遺訓の書　図　三五七　一、四〇　南光書院
南條先生遺芳刊行會　仝　五二四　大谷大學

藤田精一　楠氏餘論　仝　一八二　一、八〇　養雪書院
花園兼定　日本放送出版協會
林A・G・ホーム譯　沼貞風　図　一五三　一、八〇　日本放送出版協會
ナン・センセン傳　図　二〇四　三五　岩波書店
同志社校友　新島先生書簡集　仝　二三八　―　京都同志社校友
殉國の教育者（海外佳傳叢書）　図　四〇〇　二、八〇　泰山房
新島襄先生の生涯　図　四八〇　三、〇〇　泰山房
森中章光　新島襄先生の生涯　教育新聞叢書　図　四八〇　三、〇〇　泰山房
高幣常市　肉彈　社會ダヴィオの人柱　図　三三　一、八〇　清新書房
蝋遊遺稿　新潮文庫　仝　二〇九　七　新潮社
山川智應　日蓮聖人傳十講　上卷　仝　二八一　七　新潮社
日蓮聖人傳十講　新潮文庫　仝　二〇九　七　新潮社
田中巖編　日露戰爭と大山・兒玉　図　三五二　一、八〇　天佑書房
川崎榮山　乃木將軍　大東亞文庫　日記より観たる　図　三二一　三、〇〇　興文社
大澤卯三郎　日本海員魂　元長崎丸船長傳　図　三〇三　一、八〇　日の出書院
高須芳次郎　日本近世轉換期の偉人　図　四八五　三、〇〇　欧文社
保田與重郎　日本語錄　図　三〇三　一、八〇　新潮社
岡成志　日本女性美史　図　三七七　一、八〇　讀切講談社
日本新刀人名辭典　仝　三三　三、八〇　立命館

ダ・ヴィンチ・ロート	萬能の天才レオナルド・ダ・ヴインチ	講	三〇三	第一出版協會	五、八〇	一、〇〇
タラ 芦原天譯	微生物を追ふ人々	図	一四二	第一書房	二、五〇	一、七〇
濱田常二良	ヒットラー、人及その事業	図	二四三	潮文閣	二、五〇	名取書店
石倉久四郎	火車	図	二八八	勤勞報國協會	一、八〇	二、三〇
室田泰一	平田篤胤	偉	一四六	弘文堂書房	五〇	日本社
中島市三郎	廣瀬淡窓と日本文化	図	二六七	第一出版協會	二、五〇	第一書房
角光嘯堂	廣瀬淡窓の思想と教育	偉	四八	刀江書院	四、〇〇	一、五〇
雜賀鹿野	鳳雲と人物(上)	図	三二五	南方書院	一、八〇	第一書房
川邊眞藏	報道の先驅者 福澤諭吉	図	三二五	三省堂	一、八〇	第一書房
富田正文	福澤諭吉襍攷	図	四二六	三田文學會出版部	二、四〇	第一書房
川邊眞藏	福地櫻痴	図	三四六	三省堂	一、八〇	第一書房
西村文則	藤田東湖	偉	五〇	光書房	二、八〇	第一書房
中村孝也	藤田東湖 勤皇忠士叢書	図	三一四	地人書館	一、八〇	第一書房
雜賀博愛 監修	藤田東湖集	偉	二四九	興文社	二、三〇	第一書房
大野慎	藤田東湖の生涯と思想	図	二一七	一路書苑	一、五〇	一、〇〇
和田健爾	藤田東湖錬成の書	図	三二八	京文社書店	二、〇〇	

東京日日新聞社編	佛印進駐挺身隊記	図	三二五	第一出版協會	五、八〇	一、〇〇
岡本清一	船口萬壽傳	図	二六〇	第一書房	二、五〇	一、七〇
ヘルムート・ウシグル 齋野ベンジャミン・フランクリン 鹽瀬忠 校閲	不滅の鴻業	図	四〇八	勤勞報國協會	一、八〇	二、三〇
	フランクリンの手紙	図	三一三	弘文堂書房	一、三〇	モダン日本社
	プルターク英雄傳 義人の巻	図	二九四	鶴見祐輔譯	一、三〇	第一書房
	プルターク英雄傳 聖雄の巻	図	二九三	第一出版協會	一、三〇	第一書房
	プルターク英雄傳 武將の巻	図	三一六	鶴見祐輔譯	一、三〇	第一書房
	プルターク英雄傳 雄辯家の巻	図	二九七	鶴見祐輔	一、三〇	第一書房
福島政雄	ペスタロッチ小觀	図	一九六	三省堂	一、八〇	目黒書店
伊東勇人 遠野鈴太郎 共譯	ヘッケル傳	図	三二一	啟成	一、三〇	一、〇〇
笈田敏雄	北條時宗	図	二〇七	三教書院	八〇	三教書院
服部北溟編	通俗報德記	偉	三三	博文館	八〇	博文館
中山忠直	ボースとリカルテ	偉	二三五	中山忠直家	—	中山忠直家
伊藤部敬子	母性の歴史	図	三〇六	新路社	一、三〇	新路社

利十太郎	フィリップとの使人					
花野富藏	ホセ・リサール傳	図	三二七	青年書房	一、六〇	青年書房
平洲會編	細井平洲の言葉	図	一三〇	西村書店	二、〇〇	西村書店
村松梢風	本朝畫人傳 第四卷	偉	四一〇	三州閣	八〇	三州閣
黒田源六	本多忠籌侯傳	偉	—	中央公論社	四、五〇	中央公論社
育德財團編	前田本元輔集	講	—	遺德顯彰會	—	遺德顯彰會
戸川秋骨譯	奉祝記思想選書 マコーレイ論文集	図	四七九	育德財團	—	育德財團
池田宣政	松本喜作	図	一六八	春秋社松柏館	三、〇〇	春秋社松柏館
本山桂川	間宮林蔵大陸紀行	図	三九九	目黒書店	五〇	目黒書店
滿洲日日新聞社編	滿洲建國烈士遺芳錄	図	五六六	滿洲日日新聞社 東京支社	二、〇〇	八弘書店
川邊眞藏	水野直	図	三五五	—	三、〇〇	滿洲日日新聞社 東京支社
高須芳次郎	水戸義公を語る	図	二五六	水野勝邦	—	—
佐藤隆房	宮澤賢治	偉	三七	井田書店	一、五〇	井田書店
吉田精顯	眞傳 宮本武藏	図	三三	富山房	四、八〇	富山房
森銑三	宮本武藏の生涯	講	二二五	教材社	一、八〇	教材社
安西安周	明治先哲醫話	図	三六八	日本青年教育會出版部	三〇	日本青年教育會出版部
				龍吟社	二、五〇	龍吟社

田中緑紅	明治文化と明石博高翁	偉	三三四	翁顯彰會	—	翁顯彰會
菊池寛 著	名將言行錄 上	図	三〇四	非凡閣	一、八〇	非凡閣
菊池編	イルチス長島 繪譯	図	三一六	創元社	三、〇〇	創元社
瀬川秀雄	及川儀右衛門	図	三三五	創元社	一、八〇	創元社
武者小路實篤	毛利元就	図	六九八	星野書店	六、〇〇	星野書店
宮崎安右衛門	望月軍四郎	図	五六三	誠德會	—	誠德會
小倉鐵樹	野聖乞食桃水	図	二九	南北書園	一、四〇	南北書園
山鹿素行	山岡鐵舟を語る	図	五〇五	井田書店	二、八〇	井田書店
前田淵月	遺訓と日記	偉	五五三	井田書店	五、一〇	井田書店
伊東後一郎	山さくら 信州の人々	図	三二四	法學書院	二、〇〇	法學書院
松澤卓郎	將軍 山下奉文	図	三六六	高千穗書房	一、八〇	高千穗書房
小泉孝吉	山下奉文中將	図	三	東京情報社	一〇	東京情報社
伊藤金次郎	評傳 山本五十六	図	三四七	昭和書房	一、八〇	昭和書房
伊東峻一郎	常在戰場の人 山本五十六	図	三四一	天佑書房	二、〇〇	天佑書房
中村嘉壽	海軍の父 山本權兵衛	図	三一七	水産社	一、八〇	水産社
原安三郎	山本條太郎	偉	九八六	山本條太郎翁傳記	—	山本條太郎翁傳記

川上　清吉	藥隱の哲人	山本常朝	圖 三三	一、三〇
岩村　忍	耶律楚材		叢 二六	一、六〇
田中　克巳	楊貴妃とクレオパトラ		圖 二六〇	一、六〇
上田庄三郎	横井小楠		圖 二七	二、〇〇
山崎正董編	横井小楠遺稿		叢 一〇〇三	一〇七〇
山崎　正董	横井小楠傳	上卷	圖 三三	二、一〇
山崎　正董	横井小楠傳	中卷	圖 三〇五	二、〇〇
山崎　正董	横井小楠傳	下卷	圖 三六八	二、〇〇
池田　宣政	殉國の人	吉田松陰	圖 三七	一、七〇
玖村敏雄編	吉田松陰遺墨帖	普及版(別冊付)	叢 一四八	二、一〇〇
和田　健爾	吉田松陰殉國の精神		圖 三七	一、八〇
武田　勘治	吉田松陰選集		圖 四三	二、五〇
河野　通毅	吉田松陰の詩と文		圖 三三	一、八〇
ワード・プライス 本多　信一郎譯	余は獨裁者を知る		圖 三八六	二、〇〇
式場隆三郎	夜の向日葵	ゴオの手紙	叢 三六	三、五〇
藤森　成吉		青少年日本文學 山陽	圖 三三	一、四〇

(3) 地誌

伊藤金次郎	曉の海南島		圖 三四	一、五〇
芥澤　摩吾	アジア中心 最近時局要圖		叢 一	一、〇〇
大田版社編	アジア中心 最新時局要圖		叢 一	一、〇〇
ハイキングペンクラブ	新しき山の旅		圖 二九	一、八〇
石神　清	アラスカ・アリューシャン		圖 二六一	一、三五
三森　定男	アラスカ		圖 一四七	一、三五
小栗田　亮	アラスカ		圖 三六	一、三五
瀧・S・ピルグリム 寿田　明譯	アラスカ		圖 三六	一、三五
津瑞　專一	あらすか物語		圖 二四〇	一、四〇
宮原　武雄	新たなるタイ		圖 二四八	二、〇〇
安南物語編	安南物語		圖 二六〇	二、一〇
大屋久寿雄 新庄嘉章	生駒山脈を中心とする徒歩鍛錬行路		圖 八五	四〇
村上　昭房			圖 六六	三〇
柯原　珪一	イラン		圖 六六	三〇

小田　夕月	實記　賴山陽		圖 四二〇	二、三〇
佐藤　太平	樂翁松平定信		圖 二六九	一、三五
末　宗廣	利休を凝視して		圖 三六	一、九〇
德富　蘇峰	陸軍大將川上操六		叢 三六	二、八〇
田村榮太郎	東道昂揚の名奉行		圖 二六九	二、三五
川路聖謨	撰述偉人傳選書2			日本電報通信社出版部
羽賀　順藏	良寛禪師の生涯と信仰		圖 二九四	—
島　影盟	良寛論語	教材社日本叢書38	圖 二六五	壽樂社
リョテ元帥	偉人物語	アンドレ・モロア 福野　貞見譯	圖 二六〇	教材社
谷崎　精二	レオナルド・ダ・ヴィンチ		圖 二六七	二、八〇
志摩不二雄	歴史美談 日本烈婦傳		圖 二六八	一、三五
村上直次郎	六昆王山田長政	朝日新聞叢書	圖 三二	二、〇〇
式場隆三郎	ロートレック(生涯と藝術)		叢 五二	二、〇〇
佐々木干之	和井内貞行	十和田湖の開發者	叢 二九五	二、〇〇
松山　恺三	若き楠木正成と勤王精神		圖 一三四	一、〇〇
わが征空記	(フオッカー自傳)	アントニー・フォッカー 白木茂・山本實譯	圖 三六	一、八〇
わらぢ村長		松田武四郎	圖 一四五	一、二〇

本間　樂寛	草鞋	村長	圖 三六六	一、五〇
ジロアン・ヘルナール・ヒエロニム・ド・ベル 岡本　良知	LA PREMIERE AMBASSADE DU JAPON EN EUROPE 1582-1592	續日本史籍協會叢書	叢 —	上智大學 三五、〇〇

時代社				
松浦忠文館				
大同出版社				
大同出版社				
昭和書房				
機甲青年社				
四海書房				
朝日新聞社				
成德書院				
改造社				
圖書研究社				
興亞書房				
關西急行鐵道編纂課				
朝日新聞社				

南方產業調查會編	インド		圖 一九四	一、五〇
大谷　光瑞	印度	贈マダガスカル挿話	叢 六八	九〇〇
株式會社	精密印度帝國全圖	附ビルマ全圖	圖 一	一、一〇
丸善	印度讀本		叢 三七	二、五〇
松本　悟朗	印度と濠洲		圖 三五六	二、〇〇
朝日新聞社編	印度・ビルマ	朝日新聞地圖	圖 一	二五
龜尾　松治	印度・ビルマの展望		圖 二六四	二、〇〇
宮武　正道	インドネシヤ人の文化		圖 三五	一、五〇
高橋　和世	インドネシヤ點描	外領編	圖 二九三	二、一〇
高橋　和世	インドネシヤ點描	ジャバ篇	圖 三六	二、五〇
淺井　得一	印度		圖 七三	二一〇
スタンレイ・ロジャース 松井　保治譯	印度洋物語		圖 三九九	三、〇〇
ポール・モーラン 荒木　昌夫譯	印度ルート		圖 二九七	三、〇〇
滿鐵東亞經濟調査局編	英領マレー附・地圖		叢 三四	三、〇〇
木村　文助	沿海洲		圖 一	五〇
宮内敏雄編	地圖	山岳新書6	圖 三三	八〇
	改訂 奥多摩の澤歩き			

南進社				
有光社				
丸善株式會社				
慶應書房				
聖紀書房				
朝日新聞社				
ジャパンクロニクル社				
大同書院				
愛國新聯社				
愛國新聯社				
朝日新聞社				
海洋文化社				
南北社				
慶應書房				
盛文館				
體育評論社				

原　金敎	奥　秩父	圀	五六六	朝日新聞社編	日本アルプス登山と縦走	圀	一
塚本　陽治	奥秩父	圀	四五五	G・H・ウィルソン	日本一周	圀	一
小野　幸	奥秩父の山々	圀	二六七	山本政喜譯			
和田　俊二	オーストラリヤ	圀	八三	朝日新聞社編	漆洲ニュージーランド	圀	一
芹澤　聲吾	印度南歐アフリカ篇	圀	一	改訂世界時局叢書			
牧　晴雄	温泉日本案内	圀	二一〇	改訂世界時局叢書	印度南歐アフリカ篇	圀	一
山本熊太郎	概觀東亞地理	南洋諸國篇	四八	改訂増補日本一周の旅	温泉日本案内	圀	二一〇
同敎圖研究所編	概觀同敎圖	圀	三九〇	山本熊太郎	概觀東亞地理	南洋諸國篇	四八
大田版社編	大東亞同	圀	一	同敎圖研究所編	概觀同敎圖	圀	三九〇
大阪毎日新聞社編	最新歐洲大地圖	圀	一	大田版社編	大東亞同	圀	一
泉山　武德	南海島	圀	一九〇	大阪毎日新聞社編	最新歐洲大地圖	圀	一
中島　一晴	海南島大地圖	圀	一	泉山　武德	南海島	圀	一九〇
島田　武甲斐の山々	山梨縣教育會編	附富用東亞南方圀	二三〇	中島　一晴	海南島大地圖	圀	一
久保　健二	廣東珠江	圀	二八	島田　武甲斐の山々	山梨縣教育會編	附富用東亞南方圀	二三〇
田口林次郎	關東地方體錬歩行路圖	丘陵篇	一六	久保　健二	廣東珠江	圀	二八
田口林次郎	關東地方體錬歩行路圖	山岳篇	一六	田口林次郎	關東地方體錬歩行路圖	丘陵篇	一六
		渓谷篇	一六			山岳篇	一六
						渓谷篇	一六

朝日新聞社編	漆洲ニュージーランド	圀	一	朝日新聞社編	日本アルプス登山と縦走	圀	一六
G・H・ウィルソン	日本一周	圀	四五	G・H・ウィルソン	日本一周	圀	一
山本政喜譯				山本政喜譯			
朝日新聞社編	漆洲の土と人	圀	四五	朝日新聞社編	漆洲ニュージーランド	圀	一
宮田　峯一	濱洲聯邦	圀	三三	改訂世界時局叢書			
吉田　圀輔	厚生温泉	圀	六四	改訂世界時局叢書	印度南歐アフリカ篇	圀	一
渡邊　久雄	甲東　變貌する都市近郊村の記錄	圀	二九	山梨縣教育會編	甲斐の山々	附富用東亞南方圀	二三〇
今井　重雄	増補　甲武・相・山の旅	圀	四八	朝日新聞社編	最新歐洲大地圖	圀	一
岡久駿三郎	神戸物語	會	二六	泉山　武德	南海島	圀	一九〇
白石　譽夫	濠領ニウギニア風土誌	圀	二五三	中島　一晴	海南島大地圖	圀	一
御歴代御陵參拜會編	御陵參拜圖繪	圀	一〇	島田　武甲斐の山々	山梨縣教育會編	附富用東亞南方圀	二三〇
神戸商工會議所編	最近のアラスカ事情	圀	三	久保　健二	廣東珠江	圀	二八
日光堂編	最新　濠洲　全圖	圀	一	田口林次郎	關東地方體錬歩行路圖	丘陵篇	一六
藤原　謙兒	國土常若	圀	二四			山岳篇	一六
重森　三玲	古都百廢	圀	九八			渓谷篇	一六
植野　錄夫	コンサイス日本地圖外	規	三三				
日下伊兵衛	最新　旭區地圖	圀	一				
小樽新聞社	最新　北太平洋中心明細地圖	圀	一				

朝日新聞社	漆洲の土と人	圀	四五	田口林次郎	關東地方體錬歩行路圖史蹟篇	會	一六
宮田　峯一	濱洲聯邦	圀	三三	田口林次郎	關東地方體錬歩行路圖	平野篇	一六
吉田　圀輔	厚生温泉	圀	六四			丘陵篇	一六
渡邊　久雄	甲東　變貌する都市近郊村の記錄	圀	二九			山岳篇	一六
今井　重雄	増補　甲武・相・山の旅	圀	四八			渓谷篇	一六
岡久駿三郎	神戸物語	會	二六	岡　榮北カラフト		圀	二九八
白石　譽夫	濠領ニウギニア風土誌	圀	二五三	盛文堂編	北樺太地圖	圀	一
御歴代御陵參拜會編	御陵參拜圖繪	圀	一〇	北太平洋北疆要圖		圀	一
神戸商工會議所編	最近のアラスカ事情	圀	三	日本歴史地理學界編纂	記入式大東亞戰勝地圖	附錄記入綴込用紙附	一
日光堂編	最新　濠洲　全圖	圀	一	木村　義吉	蕃領ボルネオ	圀	八七
藤原　謙兒	國土常若	圀	二四	蕃領ボルネオ	蕃英領ボルネオ	圀	六六
重森　三玲	古都百廢	圀	九八	北海道中等學校協會	行幸記念　北海道繪本	會	二〇
植野　錄夫	コンサイス日本地圖外	規	三三	北尾錄之助	近畿	第九篇　伊勢・志摩	三九七
日下伊兵衛	最旭區地圖	圀	一	南方産業調査會編	濠洲事情	圀	六四八
小樽新聞社	最新　北太平洋中心明細地圖	圀	一	白仁　雄	濠洲事情	圀	九二
				和歌濠洲親善協會編	濠洲親善人名錄		一

朝日新聞社	漆洲の土と人	圀	四五	菊池　啓祐	最新世界現勢大詳圖	圀	二
宮田　峯一	濱洲聯邦	圀	三三	富山房編輯部編	最新世界全圖	圀	一
吉田　圀輔	厚生温泉	圀	六四	日本敎圖株式會社編	最新世界地圖	圀	一
渡邊　久雄	甲東　變貌する都市近郊村の記錄	圀	二九	松本玉三郎	最新　全國鐵道地圖附新程と運賃早見	圀	四六
今井　重雄	増補　甲武・相・山の旅	圀	四八	松本玉三郎	最新　大東亞共榮圖世界全圖附	圀	一
岡久駿三郎	神戸物語	會	二六	植野　錄夫	最新　大東京案内圖	圀	一
白石　譽夫	濠領ニウギニア風土誌	圀	二五三	廣瀨　後幸	最新　大名古屋市全圖	圀	一
御歴代御陵參拜會編	御陵參拜圖繪	圀	一〇	西田與四郎編	最新　大阪金牌地圖	圀	四
神戸商工會議所編	最近のアラスカ事情	圀	三	松本玉之助	最新版附太平洋・大東亞共榮圖全圖	圀	一
日光堂編	最新　濠洲　全圖	圀	一	日光堂編	最新佛印泰國馬來全圖	圀	一
藤原　謙兒	國土常若	圀	二四	日下伊兵衛	最新　東成區地圖	圀	一
重森　三玲	古都百廢	圀	九八	世界地圖研究所編	最新標準模範大東亞戰爭地圖	圀	一
植野　錄夫	コンサイス日本地圖外	規	三三	川崎吉藏編	大東亞戰爭一覽	圀	一
日下伊兵衛	最旭區地圖	圀	一	山岳寫眞會	山と寫眞　年鑑	會	三六
小樽新聞社	最新　北太平洋中心明細地圖	圀	一				

朝日新聞社	漆洲の土と人	圀	四五	菊池　啓祐	最新世界現勢大詳圖	圀	二
宮田　峯一	濱洲聯邦	圀	三三	富山房編輯部編	最新世界全圖	圀	一
吉田　圀輔	厚生温泉	圀	六四	日本敎圖株式會社編	最新世界地圖	圀	一
渡邊　久雄	甲東　變貌する都市近郊村の記錄	圀	二九	松本玉三郎	最新　全國鐵道地圖附新程と運賃早見	圀	四六
今井　重雄	増補　甲武・相・山の旅	圀	四八	松本玉三郎	最新　大東亞共榮圖世界全圖附	圀	一
岡久駿三郎	神戸物語	會	二六	植野　錄夫	最新　大東京案内圖	圀	一
白石　譽夫	濠領ニウギニア風土誌	圀	二五三	廣瀨　後幸	最新　大名古屋市全圖	圀	一
御歴代御陵參拜會編	御陵參拜圖繪	圀	一〇	西田與四郎編	最新　大阪金牌地圖	圀	四
神戸商工會議所編	最近のアラスカ事情	圀	三	松本玉之助	最新版附太平洋・大東亞共榮圖全圖	圀	一
日光堂編	最新　濠洲　全圖	圀	一	日光堂編	最新佛印泰國馬來全圖	圀	一
藤原　謙兒	國土常若	圀	二四	日下伊兵衛	最新　東成區地圖	圀	一
重森　三玲	古都百廢	圀	九八	世界地圖研究所編	最新標準模範大東亞戰爭地圖	圀	一
植野　錄夫	コンサイス日本地圖外	規	三三	川崎吉藏編	大東亞戰爭一覽	圀	一
日下伊兵衛	最旭區地圖	圀	一	山岳寫眞會	山と寫眞　年鑑	會	三六
小樽新聞社	最新　北太平洋中心明細地圖	圀	一	陸軍山岡部隊本部編	山西省大觀　第四卷　第二部　第五卷　北部地方	會	三七
						會	五四
				最近市町村名鑑	昭和十八年版　検定	會	八九二

田口林次郎	關東地方體錬歩行路圖史蹟篇	會	一六	日本統制地圖株式會社		圀	七
田口林次郎	關東地方體錬歩行路圖	平野篇	一六	日本統制地圖會社		圀	七
岡　榮北カラフト		圀	二九八	興文社		圀	二一〇
盛文堂編	北樺太地圖	圀	一	盛文館		會	一
北太平洋北疆要圖		圀	一	愛國新聞社出版部			二一〇
日本歴史地理學界編纂	記入式大東亞戰勝地圖	附錄記入綴込用紙附	一	大同出版社		會	二〇
木村　義吉	蕃領ボルネオ	圀	八七	地人書館		圀	五
蕃領ボルネオ	蕃英領ボルネオ	圀	六六	朝日新聞社		會	二〇
北海道中等學校協會	行幸記念　北海道繪本	會	二〇	朝日新聞社			
北尾錄之助	近畿	第九篇　伊勢・志摩	三九七	創元社		圀	三五
南方産業調査會編	濠洲事情	圀	六四八	南方出版社			三八〇
白仁　雄	濠洲事情	圀	九二	立命館出版部			三八
和歌濠洲親善協會編	濠洲親善人名錄		一				

朝日新聞社	漆洲の土と人	圀	四五	菊池　啓祐	最新世界現勢大詳圖	圀	二
宮田　峯一	濱洲聯邦	圀	三三	富山房編輯部編	最新世界全圖	圀	一
吉田　圀輔	厚生温泉	圀	六四	日本敎圖株式會社編	最新世界地圖	圀	一
渡邊　久雄	甲東　變貌する都市近郊村の記錄	圀	二九	松本玉三郎	最新　全國鐵道地圖附新程と運賃早見	圀	四六
今井　重雄	増補　甲武・相・山の旅	圀	四八	松本玉三郎	最新　大東亞共榮圖世界全圖附	圀	一
岡久駿三郎	神戸物語	會	二六	植野　錄夫	最新　大東京案内圖	圀	一
白石　譽夫	濠領ニウギニア風土誌	圀	二五三	廣瀨　後幸	最新　大名古屋市全圖	圀	一
御歴代御陵參拜會編	御陵參拜圖繪	圀	一〇	西田與四郎編	最新　大阪金牌地圖	圀	四
神戸商工會議所編	最近のアラスカ事情	圀	三	松本玉之助	最新版附太平洋・大東亞共榮圖全圖	圀	一
日光堂編	最新　濠洲　全圖	圀	一	日光堂編	最新佛印泰國馬來全圖	圀	一
藤原　謙兒	國土常若	圀	二四	日下伊兵衛	最新　東成區地圖	圀	一
重森　三玲	古都百廢	圀	九八	世界地圖研究所編	最新標準模範大東亞戰爭地圖	圀	一
植野　錄夫	コンサイス日本地圖外	規	三三	川崎吉藏編	大東亞戰爭一覽	圀	一
日下伊兵衛	最旭區地圖	圀	一	山岳寫眞會	山と寫眞　年鑑	會	三六
小樽新聞社	最新　北太平洋中心明細地圖	圀	一	陸軍山岡部隊本部編	山西省大觀　第四卷　第二部　第五卷　北部地方	會	三七
						會	五四
				最近市町村名鑑	昭和十八年版　検定	會	八九二

朝日新聞社	漆洲の土と人	圀	四五	菊池　啓祐	最新世界現勢大詳圖	圀	二
宮田　峯一	濱洲聯邦	圀	三三	富山房編輯部編	最新世界全圖	圀	一
吉田　圀輔	厚生温泉	圀	六四	日本敎圖株式會社編	最新世界地圖	圀	一
渡邊　久雄	甲東　變貌する都市近郊村の記錄	圀	二九	松本玉三郎	最新　全國鐵道地圖附新程と運賃早見	圀	四六
今井　重雄	増補　甲武・相・山の旅	圀	四八	松本玉三郎	最新　大東亞共榮圖世界全圖附	圀	一
岡久駿三郎	神戸物語	會	二六	植野　錄夫	最新　大東京案内圖	圀	一
白石　譽夫	濠領ニウギニア風土誌	圀	二五三	廣瀨　後幸	最新　大名古屋市全圖	圀	一
御歴代御陵參拜會編	御陵參拜圖繪	圀	一〇	西田與四郎編	最新　大阪金牌地圖	圀	四
神戸商工會議所編	最近のアラスカ事情	圀	三	松本玉之助	最新版附太平洋・大東亞共榮圖全圖	圀	一
日光堂編	最新　濠洲　全圖	圀	一	日光堂編	最新佛印泰國馬來全圖	圀	一
藤原　謙兒	國土常若	圀	二四	日下伊兵衛	最新　東成區地圖	圀	一
重森　三玲	古都百廢	圀	九八	世界地圖研究所編	最新標準模範大東亞戰爭地圖	圀	一
植野　錄夫	コンサイス日本地圖外	規	三三	川崎吉藏編	大東亞戰爭一覽	圀	一
日下伊兵衛	最旭區地圖	圀	一	山岳寫眞會	山と寫眞　年鑑	會	三六
小樽新聞社	最新　北太平洋中心明細地圖	圀	一	陸軍山岡部隊本部編	山西省大觀　第四卷　第二部　第五卷　北部地方	會	三七
						會	五四
				最近市町村名鑑	昭和十八年版　検定	會	八九二

田口林次郎	關東地方體錬歩行路圖史蹟篇	會	一六	日本統制地圖株式會社		圀	七
田口林次郎	關東地方體錬歩行路圖	平野篇	一六	日本統制地圖會社		圀	七
岡　榮北カラフト		圀	二九八	興文社		圀	二一〇
盛文堂編	北樺太地圖	圀	一	盛文館		會	一
北太平洋北疆要圖		圀	一	愛國新聞社出版部			二一〇
日本歴史地理學界編纂	記入式大東亞戰勝地圖	附錄記入綴込用紙附	一	大同出版社		會	二〇
木村　義吉	蕃領ボルネオ	圀	八七	地人書館		圀	五
蕃領ボルネオ	蕃英領ボルネオ	圀	六六	朝日新聞社		會	二〇
北海道中等學校協會	行幸記念　北海道繪本	會	二〇	朝日新聞社			
北尾錄之助	近畿	第九篇　伊勢・志摩	三九七	創元社		圀	三五
南方産業調査會編	濠洲事情	圀	六四八	南方出版社			三八〇
白仁　雄	濠洲事情	圀	九二	立命館出版部			三八
和歌濠洲親善協會編	濠洲親善人名錄		一				
日本統制地圖株式會社		圀	七	南邊社			一、三五
日本統制地圖會社		圀	七	立命館出版部			三八
興文社		圀	二一〇	東亞教育出版社			二〇
盛文館		會	一	榮崎印刷所			一、三五
愛國新聞社出版部			二一〇	南邊社			一、三五
大同出版社		會	二〇	吉川將文堂			一、三五
地人書館		圀	五	金鈴社			一、三五
朝日新聞社		會	二〇	臺北日光堂			一、三五
朝日新聞社				日本統制地圖株式會社			三〇
創元社		圀	三五	銀座書院			二〇
南方出版社			三八〇	山と寫眞社			三、八〇
榮崎印刷所			一、三五	生活社			四、〇〇
南邊社			一、三五	生活社			六、〇〇
立命館出版部			三八	文錄社			四、三五
東亞教育出版社			二〇				
二里木書店			八五				

東亜地理調査会編	實用海南島案内	図	一〇九	一、〇〇	日光堂商會
帝國地圖學館編	簡明世界現勢圖	圖	一	殿木圭一	岩波書店
リトホフ・ヴァン・佐藤鉦一・藤生譯	支那（支那中央アジア）	研究叢書14	東亜	四三三	岩波新書
金久保通雄	支那の奥地	図	三四三	上海	一九三
井出道貞	信濃奇勝錄（一―五）	紹	五	三五	岩波書店
後藤朝太郎	支那風物志（一）風景篇	図	三四一	須賀有昭	一、八〇 刀江書院
平竹傳三	シベリアの現實	図	一九三	南島以前	二五五
本山桂川	島と島人	図	三七	四	一、八〇 山と渓谷社
野間吉夫	シマの生活誌	沖永良部島採訪記	図	二四八	馬	日本山岳寫眞叢書	一五〇	新陽社
井上長太郎	社會地理學	科學文化叢書11	三九	三、八〇	岳	一、八〇	新陽社
脇水鐵五郎	車窓から觀た自然界	図	四三	三、三五	興亜書房
日本地歴研究會編	事窓の日本 關東の巻	図	一七	二、〇〇	恒春閣
松宮順	邏羅記苑（上）	図	三八	四、〇〇	南亞細亞文化研究所
ジャバの生活文化	図	三五	二、四〇	龍吟社
三好俊吉郎	南洋の樂園	南進叢書12	図	六一	二、〇〇	朝日新聞社
南方産業調査會編	ジャワ及屬島	図	二五	一、三五	南進社

本村文助	世界戰下の世界地圖	圖	一	三、〇〇	盛文館
中村道太郎	世界地理風俗大系（全十一冊）	図	七九	五、〇〇	誠文堂新光社
南方産業調査會編	セレベス及屬島	南進叢書11	図	二〇六	一、五〇	南進社
禮法書房編	大東亜戰爭要圖	戰爭地圖入式附戰術要圖	圖	一	二五	禮法書房
豊田治三郎	全國 厚生温泉案内	図	三〇〇	五〇	名古屋旅行協會
三省堂編	創撰 滿洲帝國大地圖	圖	一	一四、〇〇	日本統制地圖株式會社
尾瀬敬止	ソ聯の自然と生活	図	四九	二、三〇	南北書園
タイ室東京事務局編	タイ案内	図	三九	二、五〇	成武堂
松井政平	タイ王國	アルス文化叢書8	図	九九	一、二〇	アルス
伊達俊光	大大阪と文化	図	五八	六、八〇	金尾文淵堂
南方産業調査會編	タイ國	南進叢書4	図	一七九	一、三〇	南進社
日光堂編	大東亜及太平洋全圖	圖	一	五〇	臺北日光堂
帝國地圖學館編	大東亜共榮圏現勢圖	圖	二	七〇	白帝社
小川彦平	東亜共榮圏周域	圖	一	三、〇〇	日本統制地圖株式會社
太平洋大地圖	圖	一	一、六五	軍人會館圖書部
田北惟編著	大東亜戰域圖（大阪）	圖	一	五〇	朝日新聞社
樋口正徳編	大東亜戰下の太平洋精圖	圖	一	一、〇〇	大同出版社

日本歴史地理學會編	大東亜戰爭記錄地圖	附職業別入記錄紙	圖	一	二〇	地人書館
世界地圖研究所編	大東亜戰爭地圖	圖	一	二五	銀座書院
讀賣報道部監修日本放送協會編	大東亜戰爭―放送ニュース聽取用地圖	圖	一	二〇	日本放送協會出版協會
吉田淺太郎	大東亜鳥瞰圖	圖	一	四〇	大和畫房
大高常彦	大東亜地理讀本	図	三二	一、九〇	四海書房
内倉大次郎	昭和十七年大東亜地理年鑑	図	八四	三五	國勢社
白崎享一編	大東亜地理民族學	図	三〇三	三、〇〇	地平社
多田正知監	大東京郷土讀本	図	一一〇	四五	帝國教育會出版部
木村文助	大東京交通地圖	圖	一	一五	日本統制地圖株式會社
南洋團體職合會編	南洋	図	二八	七〇	日本青年教育會出版部
南進社	大南洋を拓く	南進叢書6	図	二八	一、八〇	拓南社
南洋經濟研究所編	大南洋地名辭典	第一卷	比律賓	図	七六	一五、〇〇	丸善株式會社
守安新二郎	大南洋地名辭典	第二卷	馬來半島北西ボルネオ	図	二七	一八、〇〇	丸善株式會社
大南洋の現實	図	三一	一、八〇	遠藤書店出版部
三鬼駿	大南洋の話	図	三五	一、八〇	鶴書房
日本地歴研究會編	大日本郷土地誌	第九部關東全部	図	四四	一、八〇	恒春閣

日本統制會社編	大日本全圖	參	一	日本統制地圖株式會社	三、〇〇
日下伊兵衛	大日本分縣地圖最新鳥取縣	地	一	日本統制地圖株式會社	三五
日下伊兵衛	大日本分縣地圖最新新潟縣	地	一	日本統制地圖株式會社	三五
朝日新聞社編	太平洋全島精圖	參	一	朝日新聞社	五〇
島之夫	太平洋地誌	地	二六九	錦城出版社	一、三〇
柴田賢一	ダバオ開拓記	地	二五三	興亞日本社	一、八〇
山口彌一郎	炭礦業落	地	二七七	古今書院	二、五〇
小林玻璃三	丹澤山塊（ハイキングスキークラブ叢書）	地	二六五	登山とスキー社	二、〇〇
坂本光雄	丹澤の谷歩き（山岳叢書Ⅰ）	地	二七〇	體育評論社	九〇
尾崎虎四郎	千葉縣の地誌（岩波新書）	地	一六九	古今書院	一、三〇
多田等觀	チベット（岩波新書）	地	一八三	岩波書店	五〇
齋伯守	長江の自然と文化（學生文化新書）	地	三〇五	講談社	二、〇〇
班目文雄	地理概說人文地理	地	二〇四	健文社	八〇
北田宏藏	地理通論解說	地	三九八	古今書院	二、八〇
今岡十一郎	大民族叢書ツラン民族圈	參	四〇四	龍吟社	三、八〇
南方地理風俗	南洋・印度・濠洲（オスカル・ミュンゼル奥野七郎譯ドイツ風土記）	地	三三	青磁社	二、〇〇
大野吉晴	東亞共榮圈とニューギニア	地	三五	刀江書院	二、八〇
新島章男	增補版冬季登山とスキーツーア	地	四三五	朋文堂	一、八〇
今井重雄 近藤勝彥	東京近郊の澤歩き	地	三七一	天佑書房	一、八〇
石村新吉	新版東京附近温泉の旅	地	四一五	朋文堂	二、二〇
福田源一郎編	東京附近山・溪・高原	地	三七一	二見書房	一、五〇
小綱甚二郎	東南アジアの民族と文化（ハンドブックシリーズ）	參	四六三	聖紀書房	六、五〇
和田豐作	東北續山風土記	參	四八三	和田豐作	一
江口清	特選健歩百コース	地	二〇三	朋文堂	一、一〇
兵庫縣城崎郡豐岡町編	豐岡誌	參	一	兵庫縣城崎郡豐岡町	一
野間三郎	土耳古（シリア・パレスチナ・トランスヨルダン）	參	八三	白揚社	三、五〇
内藤智秀	トルコ民族の風俗	地	三二	八木書店	三、五〇
蒙古善隣協會編	内陸アジヤ第二輯	參	九一	生活社	三、一〇
仲川明 森川辰藏	奈良叢記（南都叢書）	參	四九七	靈々堂	三、五〇
伴野安伸	ナンガパルバット悲劇（山岳叢書）	地	八〇	南方懇話會	七〇
長井一男	落合久雄の紀南熊野篇（南紀叢書）	地	三一〇	博文館	一、二〇
		地	七	南海鐵道株式會社	三〇
南方の全貌		地	三八	湯川弘文社	一、八〇
南洋協會編	南方發展の知識	地	三五二	青年書房	三、〇〇
柴田賢一	南方風物誌	地	三三	新興亞社	一、二〇
耶止說夫	南方への指標	地	二六七	朝日新聞社	一、二〇
川本邦雄	南方雄飛案内	地	三七五	清水書房	二、〇〇
南洋協會	南洋案内附地圖	地	七九二	南洋協會	五、〇〇
田原春次	南洋及印度洋詳細地圖附世界全圖	參	一	清正堂書房	一、〇〇
明治圖書株式會社		地	二九		
鶴書房		地	三五		
京都市役所		地	三七		
岡田浩治	南洋風土記（在南廿年の體驗記錄）	地	三八	南光書院	一、七〇
飯本信之外	南洋地理大系（第一巻～第八巻）	參	四五九	ダイヤモンド社	三、五〇
統圖會社	西太平洋精圖	參	一	日本統制地圖株式會社	二〇
小川彥平	日華交入現勢世界地圖	地	一	日本名所圖繪社	八〇
小山吉三	眞鍋儀一日原を繞る山と谷（山岳叢書）	地	三七	朋文堂	八〇
山下草園	日本人のハワイ	地	四三一	世界堂書店	二、二〇
藤田元春	改訂增補日本地理學史	參	七〇〇	刀江書院	七、五〇
日本地誌學會編	日本地誌學（1）	參	三六〇	中興館	二、八〇
Yozokaon Hasegawa	英文 日本の國民性	地	二五	教文館	五〇
南方地理研究會	南方地名辭典	地	四二六	立命館出版部	三、五〇
南方事情研究會編	南方事情早わかり（昭和十五年六月調査）	地	三五八	立命館出版部	三、五〇
大内恒	南方アジヤ	地	三八六	東日大毎新聞社	一、八〇
大阪毎日新聞社編	南方を解剖する	地	九	元元書房	四〇
日本學術探檢協會編	南方講座	參	二四	京都市役所	—
中村隆太郎	南方講座	參	二四	川本邦雄	一、二〇
野村貞吉	南方共榮圈を語る	地	三九	鶴書房	二、五〇
細田正造	南方圈の展開	地	三五八	明治圖書株式會社	二、九〇
小關順平	南方圈早わかり	地	三一〇	寶雲舍	二、〇〇
朝日新聞社編	南方圈要覽	參	四一八	朝日新聞社	一、八〇
京都市文化課	南方講座	參	三七	京都市文化課	—
大阪市産業貿易課編	南方事情（上）	參	二〇二	大阪市産業貿易課	七
大阪市産業貿易課編	南方事情（下）	參	一八三	大阪市産業貿易課	七
矢代不美夫	南方事情早わかり（昭和十五年六月調査・印度・濠洲）	地	三五八	婦女界社	二、五〇
永田獨	南方新渡航法	地	三六三	日本力行會	二、二〇
南方事情研究會編	南方地名辭典	地	四二六	婦女界社	三、〇〇
南方地理研究	南方地理風俗	地	二七七	教育社	一、五〇

小關　順平　ニュージーランド その性格と東部共栄圏との関係　東亜経済調査局編　東亜研究所叢書3　昭一五　三七　一、〇〇　寶雲舎
伊藤　俊夫　農業經濟の現象形態　博文館　昭一八　四二　三、八〇　叢文閣
（東ハイキング倶楽部編）　ハイキングコース（一）　博文館文庫　昭一五　二八五　七〇　博文館
（東ハイキング倶楽部編）　ハイキングコース（二）　博文館文庫　昭一七　二七九　七〇　博文館
一原　有常　朝日時局新輯　ハワイ　朝日新聞社　昭一六　六六　三〇　朝日新聞社
（ウリアム・ハアス大佳就太郎譯）　ハワイ・アラスカ・パナマ　東晃社　昭一六　三六　一、八〇　東晃社
山上　草園　布哇諸島　東京講演會出版部　昭一九　一九七　一、〇〇　東京講演會出版部
小林織之助　東印度及濠州の點描　統正社　昭一七　二七七　一、八〇　統正社
大原　正固　東印度諸島　東印度諸島誌　昭一三　二三五　三、八〇　叢文閣
A・カバトン　爪生　靖譯　東印度諸島誌　東印度諸島誌　昭一三　二三六　一、三五　金屬工業統制會
南方事情研究會編　南方事情　東印度諸島全圖　三葉一組　東京講演叢書3　昭一七　三　一、三五　岡倉書房
（ベークマン東亜研究所譯）　東印度の地理　東印度の地理　地誌　昭一四　二四　一、八〇　臺灣三省堂
小倉　一郎　東印度への道　東印度への道　地誌　昭一五　四五六　二、〇〇　岩波書店
日本統制地圖會社編　日本統制地圖　日本統制地圖　一　昭一五　一、八〇　圖書研究社
東太平洋地圖　一　太平洋叢書　昭一五　三五　二、〇〇　日本統制地圖株式會社
福田　綰と文　新生拓け行く滿洲　滿洲　昭一三　二三五　一、八〇　フタバ書院光成館
（著者の實際見聞を基礎として比島の民族・風俗を描く）　比島展望　比島　昭一九　九八　三〇　京阪電氣鐵道株式會社
角倉　太郎　比島展望　比島　昭一九　九八　三〇　京阪電氣鐵道株式會社

渡邊　薫　フイリッピン圖說　地誌　昭一五　二五八　二、八〇　富山房
太平洋協會編　フイリッピンの自然と民族　フイリッピン歴史と現實　地誌　昭一五　五九　六、五〇　河出書房
池田　曄　フイリッピン歴史と現實　地誌　昭一五　二九五　二、〇〇　中川書房
森本　覺丹　フインランド民族文化　太平洋叢書　昭一五　三九　二、五〇　目黒書店
深田　久彌　富士山　普及版　地誌　昭一五　三三　二、三〇　青木書店
秋保　一郎　佛印　概要　大東亜共榮圏叢書　昭一八　二六一　二、三〇　海洋文化社
山川　壽一　佛印の住民と習俗　地誌　昭一五　二五三　二、八〇　偕成社
水谷　乙吉　佛印の生態　大東亜共榮圏叢書　昭一八　二六〇　一、七〇　岡倉書房
芹川　信久　佛印の話　地誌　昭一五　二九　一、〇〇　西臺舘
水谷　乙吉　佛印　老撾　地誌　昭一五　二三一　一、八〇　丸善株式會社
大阪商船株式會社　佛領印度支那寫眞集　—　—　—　大阪商船株式會社
安藤　仁陰　佛領印度支那に就て　地誌　昭一一　—　講信用調査會
佛領印度支那篇　南洋叢書第二卷　改訂　佛領印度支那篇　南洋叢書　昭一五　九二四　五、〇〇　東洋經濟調査局
佛蘭西植民地　岡倉通信叢書6　カルル・ノールの岡崎・清記譯　地誌　昭一九　一、八〇　岡倉書房
辻村　太郎　文化地理學　對訳叢書　昭一一　三七　三、〇〇　目黒書店
佐藤　清太北　京　—韓換する吉都—　地誌　昭一五　三七　—　—

南方經濟調査會　天然資源　南方經濟調査會叢書　昭一七　三八　三、〇〇　立命館
實業之日本社　清信　實用スマトラ　—　昭一五　三八　—　—
（岩波新書）　房總叢書刊行會　房總叢書　地誌　昭一五　一四　—　房總叢書刊行會
小椋　廣勝　房總叢書七　房總叢書七　地誌　昭一五　一四　—　—
（南進叢書6）　南方産業調査會編　南方産業叢書　昭一七　二四　一、三五　岩波書店
小山　吉三　北部亞細亞詳圖　—　地誌　昭一五　一　—　日本名所圖繪社
馬來及昭南島　南進叢書　昭一七　一六　一、三五　南進社
（太平洋協會編）　中野　弘譯　ポケット南方各地案内　—　昭一七　三三　一、二〇　青年書房
平野　五郎　南方各地案内　—　昭一七　三三　一、二〇　青年書房
（朝日新聞地圖）　新聞社編　朝日　新聞社　昭一七　三　一、二〇　朝日新聞社
内藤　英雄　ボルネオ事情　ボルネオ事情　地誌　昭一八　二九三　二、八〇　天理時報社
若林文次郎　ボルネオ事情　ボルネオ事情　地誌　昭一八　二九三　二、八〇　天理時報社
（大東亜共榮圏叢書）　マレーの研究　マレー新風土記　地誌　昭一八　三八　二、〇〇　南方出版社
内藤　英雄　マレー新風土記　マレー新風土記　地誌　昭一八　三八　二、五〇　愛國新聞社出版部
（大東亜共榮圏叢書）　マレーの實相　マレー詳圖　地誌　昭一八　一　一、四〇　朝日新聞社
吉岡　利起　マレー詳圖　マレー詳圖　地圖　昭一八　一　—　金屬工業統制會
（附、マレー要圖）　マレー半島　地圖　昭一八　一　二、〇〇　寶雲舎
大原　正固　マレー半島　マレー半島　地誌　昭一八　一　一、七〇　中央公論社
野村　貞吉　馬來夜話　馬來夜話　地誌　昭一八　二三一　二、〇〇　寶雲舎

大原　正固　比律賓　比律賓　地誌　昭一八　一〇〇　—　金屬工業統制會
（南洋叢書五）　滿鐵東亜經濟調査局編　比律賓附・地圖　比律賓　地誌　昭一五　五二五　四、五〇　慶應書房
（南進叢書10）　南方産業調査會編　比律賓群島　比律賓　地誌　昭一八　一八〇　一、五〇　南進社
（拓植叢書第三編）　日本拓植協會編　比律賓　比律賓　地誌　昭一七　三〇七　一、〇〇　日本拓植協會
星　篤比古　比律賓群島　比律賓群島　地誌　昭一八　一八〇　一、〇〇　東京講演會
平塚　武班目　文華　詳解　比島事情　（附　比島交通概況地圖）　東京叢書2　昭一八　二六五　二、〇〇　非凡閣
（東亜研究所）　棚瀬　襄爾　比律賓の民族　比律賓の民族　地誌　昭一八　二六〇　三、〇〇　岩波書店
仲原　善德　比律賓群島の民族と生活　南方産業調査會編　ビルマ　地誌　昭一八　二六六　三、〇〇　南方出版社
（南進叢書5）　南方産業調査會編　ビルマ　ビルマ　地誌　昭一七　一七一　一、三五　南進社
朝日新聞社東亜部編　ビルマ　ビルマ　地誌　昭一八　八一　二〇　朝日新聞社
伊藤千代藏　ビルマの事情　ビルマの事情　地誌　昭一五　五五　二〇　博聞堂
東亜研究所編　ビルマ地名要覽（全）附録・地圖　ビルマ　地誌　昭一八　二二七　一〇、〇〇　岩波書店
山田　秀藏　ビルマ讀本　ビルマ讀本　地誌　昭一八　二六六　二、〇〇　寶雲社
（大東亜文庫）　CM・エリンク編　ビルマの國境　ビルマの國境　地誌　昭一八　二四四　一、八〇　興文社
松下　正壽　フイリッピン　フイリッピン　地誌　昭一八　九七　三五　朝日新聞社
（最新版）　フイリッピン大觀　フイリッピン大觀　地誌　昭一八　二一四　一、三〇　鴻盟社
石黒　大介

長谷川如是閑 寫眞と隨想 滿洲と支那 紀行 圖 一八六 一八、〇〇 目黒書店
滿洲國國務院弘報處編纂 滿洲帝國分省地圖並地名總攬 ㊟ 一五〇 四、〇〇 朝日新聞社
佐々木恭一 滿洲弘報協會編纂 秘境 滿洲風土 圖 一〇九 三、〇〇 國際地學協會
田口一郎 東亞旅行社滿蒙支部編纂 西村誠三郎 滿洲物語 圖 二四一 一、七〇 中央公論社
鈴木敬記 南太平洋諸島案内 圖 五六 一、五〇 照林堂書店
南方產業調査會編 南太平洋諸島 圖 一七一 一、三〇 博文館
小西千比古 木曜島とトレス海峽 ㊟ 二 一〇 東京講演會出版部
平松幸彦 アルス文化叢書 蒙古 圖 九五 一、二五 南洋經濟研究所
米内山庸夫 蒙古草原 圖 五六 七、〇〇 アルス
羽生操 椰子・光・珊瑚礁 圖 三九 一、八〇 桑文社
中村謙山 温泉の旅 圖 三三 一、八〇 改造社
中村謙山と高原の旅 圖 三八 一、五〇 朝日新聞社
朝日新聞社編 朝日新聞地圖 印 一 一五 朝日新聞社
關局編纂 關印諸島 アルス文化叢書10 圖 九八 一、一〇 アルス

J・ハックスレー 酒井傳六譯 アフリカ紀行 圖 三九 一、四〇 新潮社
世界探檢紀行叢書 アムンゼン加納一郎譯 アムンゼン探檢誌 圖 三七 一、二〇 朋文堂
ジョン・ミュア 戸伏太兵譯 アラスカ探檢記 圖 四一〇 三、五〇 聖紀書房
世界探檢紀行叢書 I・W・ハッチスン 春山行夫譯 アリューシャン探檢 圖 三一〇 一、四〇 新潮社
橋本眞機子 印度裸體記 圖 三一〇 一、八〇 三教書院
印度旅行記 圖 二九 一、七〇 藤谷崇文館
申辻正信 戰線科學 內蒙古の一年間 圖 二七 三、〇〇 日本出版社
常木勝次 日・M・リットン 吉武好孝譯 海と密林の旅 圖 三九 一、四〇 新潮社
世界探檢紀行叢書 春日俊吉 奥秩父の山の旅 圖 二六 二、八〇 登山とスキー社
ハズルンド 松本敏子譯 外蒙の赤色地帶 圖 三三 二、五〇 青生社
カムチャツカ發見と ベーリング探檢 ㊟ 四二四 四、五〇 弘道閣
エリーニベルグ 小場有米譯 カラヴァン 東部土耳其斯坦の旅 圖 三六 二、五〇 龍吟社
ニルス・アンボルト 水野芳譯 ガンジスの流れ 圖 二六〇 二、五〇 東京堂
芳賀雄譯 永田直三 廣東・ハノイ・盤谷 圖 二七二 一、八〇 大阪屋號書店
吉澤一郎 北の山・南の山 研究・隨筆・紀行 圖 五〇 三、八〇 河出書房
T・W・トーキントン 溝口白羊譯 F・ナンセン 西脇一譯 キルギス・アムールへ 圖 二九 三、八〇 三省堂
大陸叢書第九卷 コーカサス紀行 圖 三一〇 二、五〇 朝日新聞社
科學主義工業社

松永外雄 滿洲印象記 圖 四九 二、八〇 羽田書店
A・G・ボラム 石井三男譯 滿洲大陸橫斷記 圖 三五〇 一、八〇 室戸書房
ハロルド・ブリーストリー 大澤貞一郎譯 滿洲踏破記 圖 二四三 一、五〇 地平社
スヴェン・ヘディン 岡田久男譯 蒙古の呼び聲 ゴビ沙漠橫斷記 圖 五七 三、八〇 鎌倉書房
澤壽次 ゴビ沙漠探檢記 圖 二四五 三、〇〇 目黒書店
深田久彌 山頂山麓 ㊟ 三六 三、〇〇 青木書店
岩科小一郎 山麓滯在 圖 二四六 一、八〇 體育評論社
中村孝也 支那を行く 圖 四九 二、五〇 講談社
ピエール・ドミニック 宮本一郎譯 シベリヤ探訪記 圖 二六 一、八〇 今日の問題社
J・E・シェルチマン 高柳春之助譯 ジャヴァ紀行 圖 二九 一、〇〇 岡倉書房
新興紀行叢書1 三雲祥之助 ジャワ日記 圖 二六二 一、〇〇 大日本出版株式會社
岡民教養叢書9 安齊徹樹 永東北の山と溪 圖 二九二 一、八〇 岡倉書房
エリノア・ラテモア 神近市子譯 新疆紀行 圖 二四九 二、〇〇 龍吟社
A・ベルエル 美根安麿譯 神祕の印度 圖 三六 二、〇〇 龍吟社
新日本選書23 スミス 米濠縱斷空路 圖 一四六 一、〇〇 青生社
C・レッテイー 石久保重好譯 セイロン紀行 圖 一六 一、三〇 岡倉書房
新興紀行叢書 世界の屋根 ㊟ 三〇 二、〇〇 生活社
T・E・ゴルドン 田中一呂譯

朝倉純孝 南印の知識 圖 三七 二、三〇 松山房
滿鐵東亞經濟調査局編 南洋叢書一 領東印度 ㊟ 五五 四、五〇 慶應書房
日野岩太郎 龍江省 圖 二九〇 三、〇〇 大和書店
リビヤ（他二篇） 圖 二九 — オタリヤ大使館情報室
オタリヤ大使館情報室編
木藤繡一郎 六甲北攝ハイカーの徑 圖 五〇 一、一〇 阪急ワンダーホーゲル會
南方圖社企畫部編 馬來詳細圖（携帶用） 圖 一 一、五〇 南方圖社
藤山一雄 ロマノフカ村 ㊟ 二七 一、五〇 滿移住協會
鐵道省國際觀光局編 JAPAN 鐵道省國際觀光局 ㊟ 八九八 七、〇〇 滿鐵國際觀光局
Japan the official guide（日本案内） 圖 九六三 七、〇〇 教文館
永井松三 JAPON, Enfoques 圖 四三 一、〇〇 國際文化振興會
フオスコ・マライニ LONTANO TIBET（チベット） ㊟ 一九五 三、〇〇 春鳥會
日高昇 Manners and Customs in Manchoukuo ㊟ 三三 八、〇〇 M・D・N 東京支社

紀行（特に文學紀行は「十(4)」に收む） (4)

滿鐵弘報課編 亞細亞橫斷記 圖 三六 一、五〇 滿洲日日新聞社東京支社
亞細亞探訪記 圖 五五 二、五〇 人文閣
亞細亞中原の風雲を望んで 圖 四八 二、九〇 照文閣

岡田　定信　世界一周の旅　図　二八四　一
市村　與市　教育と宗教　図　二三　岡田　定信
高橋　和世　鮮滿北支の旅　図　二三六　一粒社
河村　只雄　占領地マレーを語る　図　二四六　愛國新聞社
續　南方文化の探究　図　二四五　田版部
ソ領トルキスタン　図　二六三　創元社
C・クリスト　潤周丙台譯　入門記　図　二六三　大和書店
アシリーム・オガ　大岩　誠譯　諸王國遍歷記　図　二三八　大和書店
ノエル・ウィニヤード　柴田　貢一　タイ國森林地帶紀行　図　二三九　葛城書店
山田　毅一　大南洋の全貌　図　二四九　弘道館
井上　義男　大東亞文庫　大ニューギニアの相貌　図　二四一　興文社
金田　信武　泰・佛印飛びある記　図　二四四　善隣社
清水　文雄　校註　靭負文庫　探檢家としての生涯　図　二九　春陽堂
ヘディン　小野六郎譯　余の　探檢實話　図　二六六　橘書店
和田　民治　南洋の猛獸王國　図　二六六　田中宋榮堂
和田　民治　探檢實話　図　二六六　田中宋榮堂
密林の爭闘　図　二六六　三崎書房
吉尾なつ子　千島　北方探檢記　図　二八三　教育圖書株式會社
ハヴェンティレン　吉田一次譯　フォン・ヘンティヒ　高橋　勇譯　内陸アジヤ踏破記　図　四五八　地平社

竹越三郎編　南國記　図　三七　一
杉山元治郎　南進基地を往く　図　三三　二
アイルマン　池野一郎譯　ナンダデヴィ登攀　図　三二　二
嘉治　隆一　解說　校訂　南島巡航記　図　三六三　二
J・O・ハイデ　妹尾韶夫譯　ニューギニヤ探檢記　図　三〇八　二
ロウエル・トマス　山本政喜譯　ハバーニン北極探檢記　図　五一七　二
パラワン　チモール　レレベス　探檢記　図　五四六　二
三吉　朋十　東印度及濠洲の點描　図　二七四　一
池田　源治　滿ソ國境を征く　図　二四六　一
ショバーグ　志摩硯郎譯　未知のカラコラム　四千キロ踏破記　図　二六　二
最上　政三　南アメリカ紀行　図　二四八　二
新垣　恒政　紀行隨筆　南十字星　図　二五五　二
小林織之助　南太平洋諸島　図　七〇　二
フライシュマン　東　健吉譯　南太平洋探檢記　図　三一　二
アンドリウス　日四「良」譯　蒙古狩獵行　図　三二　二
ハズルンド　内藤岩雄譯　蒙古の旅　上卷　岩波文庫　図　二五二　二
ハズルンド　内藤岩雄譯　蒙古の旅　下卷　岩波新書　図　二四　二
三田尾岡　松太郎　山祕峽　図　二四四　二
加藤鐵五郎　蘭印行（改訂改題）　図　二四一　二
野田　良治　らてん・あめりか漫談　図　二七四　一
ルアスミス　小堀甚二譯　露領アジヤ踏査記　図　二七四　三
カーペンター　櫻井　匡譯　蘭領印度見聞記　図　二五〇　三
松次郎　隨筆　わが山わが渓　図　三二八　二
白瀬　矗　私の南極探檢記　図　四四八　二

日本評論社　一、八〇
協同公社　二、三五
朋文堂　二、三五
大和書店　二、三五
第一公論社　一、八〇
教材社　一、三五
日本放送出版協會　一、八〇
養賢堂　二、八〇
旺文社　一、三五
講談社　一、三五
日本富强協會　一、二〇
博文館　二、二〇
三教書院　二、〇〇
聖紀書房　二、八〇
刀江書院　二、三五
統正社　一、八〇
東亞開拓社　一、八〇
朝日新聞社　二、八〇
生活社　二、〇〇
交通研究社　二、〇〇
東亞公論社　二、〇〇
統正社　五、三五
岩波書店　三五
ふたら書房　一、三五
生活社　二、〇〇
新愛知新聞社　一、三五
出版社　一、七〇
皇國青年教育協會　二、二五

島崎新太郎　東印度紀行　図　三九　一、八〇
野村　貞吉　秘話で語る南方の實相　図　三〇六　一、五〇　那珂書店
仲原　善徳　比律賓紀行　図　三九　二、三〇　明正堂
三吉　朋十　比律賓の土俗　図　五九　二、三〇　河出書房
中屋　健弐　フイリッピン　図　四〇七　二、八〇　丸善株式會社
水谷　乙吉　佛印三十年記　図　二四六　一、八〇　興亞書房
ベーター　ブラジル奥地行　図　五七四　二、八〇　育英書院
ベーリング海周航記　浦潮よりノームまで　図　三六五　二、三五　地人書館
ベーリング海の霧の人　図　三七二　二、七〇　交政同志社
山本政喜譯　ジャン・ドウレ　姫田嘉男譯　貿易風の佛印　図　三三三　三、〇〇　育生社弘道閣
ベーター　ブラジル奥地行　図　五七四　二、八〇　生活社
加藤　完治　訪歐所感　第一次　図　三九　一、三〇　地人書館
加藤　完治　訪歐所感　第二次　図　三二　一、三〇　地人書館
小牧　實繁　北極と南極　図　一九四　二、〇〇　白揚社
川上喜代四　北極圏と南極圏　図　二六　二、〇〇　朋文堂
コーリン・ベルトラム　馬來より馬來へ　図　四七　二、八〇　日本電報通信社
加納一郎譯　ブルース　ロウクハート　滿洲建國殉皇烈士墓參行脚記　図　二四四　三、三五　大亞細亞建設社
山崎　謙一郎譯　大野鐵次郎　滿洲・臺灣・海南島　図　六一〇　三、一〇　ダイヤモンド社
石山　賢吉

大讀　重忠　滿洲農村紀行　図　三八　一、八〇　東亞開拓社
滿ソ國境を征く　図　二四六　一、五〇　朝日新聞社
四千キロ踏破記　未知のカラコラム　図　二六　二、八〇　生活社
南アメリカ紀行　図　二四八　二、〇〇　交通研究社
紀行隨筆　新垣　恒政　南十字星　図　二五五　二、〇〇　東亞公論社
南太平洋諸島　図　七〇　五、三五　統正社
南太平洋探檢記　図　三一　一、三五　ふたら書房
蒙古狩獵行　図　三二　二、〇〇　生活社
岩波文庫　蒙古の旅　上卷　図　二五二　三五　岩波書店
岩波新書　蒙古の旅　下卷　図　二四　三五　岩波書店
三田尾岡　松太郎　山祕峽　図　二四四　四、八〇　富山房
加藤鐵五郎　蘭印行（改訂改題）　図　二四一　一、三〇　新愛知新聞社
野田　良治　らてん・あめりか漫談　図　二七四　一、七〇　十一組出版社
ルアスミス　小堀甚二譯　露領アジヤ踏査記　図　二七四　三、三五　聖紀書房
カーペンター　櫻井　匡譯　蘭領印度見聞記　図　二五〇　三、三五　日本青年教育會
松次郎　隨筆　わが山わが渓　図　三二八　二、二五　墨水書房
白瀬　矗　私の南極探檢記　図　四四八　二、三五　皇國青年教育協會

四、國家・社會

著者	書名	頁数	定価	発行所
	(1) 國家（日本國體に關するものは「一、(2)」へ）			
三島 助治	明日の日本と支那	三三	一五	國民政治經濟研究所
長谷川幸雄	アメリカの百面相	二八	一三	櫻木書房
影山 正治	維新者の信條	二七	一五	大東塾出版社
片倉藤次郎	イタリーの明日	二八	六	朝日書房
水島 齊	英國漸落の一素因	一八	—	國際思想研究所
小泉 孝吉	英國はどこへ行く 歷史的に見た考察	三	一	東京情報社
角田順（太平洋協會編輯）	太平洋に於ける英帝國の衰亡	一九二	一七	中央公論社
水島 齊	英・米の弱體を覗く	一八	—	國際思想研究所
大澤吉五郎	英米の崩壞近し	四〇	三五	國際事情研究會
東海日出雄	英米沒落の鐘が鳴る	二五	一	天泉社
大澤吉五郎	英米益々窮す	四〇	三五	國際事情研究會
森 清人	皇國の書	二四二	一五	東水社
正富 汪洋	皇道と世界國建設	一七四	九〇	詩と歌論の社
大石 義雄	現代生活叢書 國家	二九	二、〇〇	白揚社
大串兎代夫	國家學研究	二五五	二、八〇	朝倉書店
岩崎 卯一	國家の國體性	二七	—	弘文堂書房
吉富 重夫	國防國家體制論	二五五	二、一〇	立命館出版部
奥村喜和男	國民に叫ぶ 亞細亞の黎明に立ちて	一九五	一、〇〇	講談社
石原 莞爾	昭和維新宣言	八二	—	東亞聯盟同志會盟員用
根本 瑛澣	昭和維新の理念	九二	—	大經社
根本 瑛昭	昭和維新の理念	一八八	—	川崎重工業艦船工場
東亞聯盟協會編	昭和維新論	六九	三〇	東亞聯盟協會
（ケルロ・イタ大串兎代夫譯）	新國家觀	一九三	一、二〇	日光書院
山本門重編	新日本の決意	六五	三〇	東亞新秩序研究會
永松 淺造	新中華民國	二九七	一、三〇	東華書房
藤澤 親雄	世紀の豫言	二九五	一、八〇	偕成社
久原房之助	世界維新と皇國の使命	三元	一、三〇	翼贊出版協會
三枝 茂智	世界維新論	四八八	一、八〇	大同印書館

加納 祐五	世界强國論	四二	一、五〇	精神科學研究所
大場喜嘉治	世界皇化の根本理念	三四	一、八〇	勤王聯盟本部
大澤吉五郎	世界大戰と英米の窮地	四〇	—	國際事情研究會
永井柳太郎	世界に先驅する日本	三二	一、七〇	照文閣
池崎 忠孝	池崎忠孝遺著 大英帝國日既に沒す	三五	一、八〇	嚴々堂
山中峯太郎	大東亞維新の今後	三七	一、〇〇	二見書房
桑原 玉市	國防科學研究叢書 大東亞皇化の理念	三〇	一、八〇	富士書店
安藤富士雄	大東亞戰と皇國の理想	三五	三〇	大日本精神宣揚會
大澤吉五郎	第二次世界大戰と米國	四〇	—	國際事情研究會
若井 林一	大日本上卷	四七	四、五〇	洛陽書院
權藤 重義	天照民族の世界維新	九九	一、五〇	平凡社
スタアル 永井 順譯	世界文庫 ドイツ論 一	一六	六〇	弘文堂書房
教學局編	東亞新秩序の建設と米國のモンロー主義	三四	—	文部省教學局
田口 武男	東亞日本の建設	五〇	二、二〇	青磁社
正木慶秀他	日本國家科學大系國家學及政治學（豫約二冊）	四六六	三、五〇	實業之日本社
山田宇三郎	日本時代來たる	五九	—	盡忠報國會
桑原 曉一	日本世界觀	二九	一、〇〇	日本學生協會
田所 廣泰	日本世界觀 —本新論に答ふ—	一〇九	五〇	精神科學研究所
清水 宣雄	日本世界建設戰	二六八	二、〇〇	平凡社
大串兎代夫	日本的世界觀	三三	一〇	同盟通信社
文化奉公會編	日本の方向	四〇四	一、三五	六藝社
室伏 高信	日本の理想	二六八	一、五〇	元元書房
田島 一作	日本民族の世界指導力	二七五	一、五〇	春潮社
田中 寬一	日本民族の力	二六六	八五	贊雪書院
久保 五郎	八紘爲宇と肇國擴展	九九	大日本勤皇產業團	
加藤 一夫	大東亞建設講話 八紘一宇史の發足	一九七	二、三〇	龍宿山房
中山 爲信	必勝日本	三三	一〇	天理時報社
森吉 義旭	大和民族の前進	三四	二、五〇	國際反共聯盟
沼館 一郎	落日の英國と其の支配者	五八	三〇	神榮館
鈴木 成高	歷史的國家の理念	三六	二、三〇	弘文堂書房
篠原 雄	我が國體下森信學的世界經營ノ理念	二四	—	久保田孫一
中山 忠直	我が日本學 普及版	三六	二、〇〇	嵐山莊

高島　晴雄　われら斷然日本の道を往かん　㊐　五　―　神乃日本社

(2) 政治（外交を含む）

クラクナート・グス　著木　猛譯　アジア外交の展望（後篇より解放）　㊐　三七　二、三五　青年書房
松本　悟朗　亞細亞民族と太平洋　㊐　三六四　二、〇〇　誠美書閣
新興國民叢書　新しきドイツ　寫眞集　㊐　八六　四、八〇　日光書院
三雲祥之助　亞熱帶風な思念　㊐　二九　八　育生社
三島　助治　暴かれた恫喝者　㊐　二六三　一、二〇　國民政治經濟研究所
鏑木喜兵衛　敢て憂國（一）　―　世界之日本
大野　勝己　アメリカの對南米政策　㊐　九五　三五　朝日新聞社
神谷　茂　アメリカ・ユダヤ人問題　㊐　四二六　三、〇〇　國民評論社
グルハルト・グルンデル・石間　良　英譯　イギリスの對外文化宣傳組織・方法・内容　㊐　三五四　二、三五　冨山房
清水　伸　維新と革新　㊐　二四一　二、二〇　千歲書房
岡野　龍一　偉大なる大東亞たらしめよ　㊐　一五　―　廣島中央放送局
三浦　正三　一億民の大試練　㊐　三九　一、〇〇　六合書院
エー・ベー・キールストラ村松　巖　ヒトラー下村亮一譯　一九四一年タイ國政治經濟事情　㊐　三六　二〇一　―　タイ室東京事務局
伊東　敬　印度洋問題　㊐　三七　二、三五　大和書店
井上　昇三　動く　緬洲　㊐　三〇三　二、〇〇　寶雲舍
伊東　敬　英國の植民地統治方式　㊐　三五　一　同盟通信社
東亞國策研究所　英國の東洋政策　㊐　三九　―　東亞國策研究所
鮎澤　巖　歐洲新秩序に就いて　㊐　二九　―　世界經濟調査會
和蘭の東印度經略史　㊐　三六　二、三五　大日本出版株式會社
吉川　兼光　海南島建設論　㊐　三六五　二、三五　大阪屋號書店
海洋地政治學（改訂版）　コーゼフ・ハウスホーファー　田間耕一譯　列強と制海權　㊐　二〇三　一、三五　科學主義工業社
内藤　隈南　華僑の國　福建　㊐　二九三　二、三五　皇國青年教育協會
鑿田　浅二　革新運動團體現勢　㊐　―　―　思想國策協會
三島　弘　革新思想と革命思想　㊐　一〇　―　精神科學研究所
住田　正一　革新隨想　㊐　三〇六　二、〇〇　東洋堂
熊谷　幸利　勝ち抜く日まで　㊐　三〇　一、三五　大地社
伊藤　操戎　官界指導部人物論　㊐　三　―　新東亞事情研究會
福永渙譯編　ガンヂーは叫ぶ　㊐　二七九　一、三五　アルス社

ラス・ビハリー・ボース　印度を語る　㊐　二四三　一、六〇　日本電報通信社出版部
小西　百一　「印度人の印度」必成の秋　㊐　三五　―　印度獨立後援會
飯村　英一　印度と印度人　㊐　三八九　二、三五　四元社
滿鐵東亞經濟調査局　印度統治機構の史的概觀　㊐　一九　三、〇〇　滿鐵東亞經濟調査局
伊藤　斌　印度統治法改正問題　㊐　三四六　―　東亞研究所
近松　久　印度獨立運動史概觀　㊐　三五　―　青年亞細亞同盟
波多野烏峰　印度獨立戰爭　㊐　三九三　二、三〇　錦正社
山川　直夫　印度獨立の全面的檢討　㊐　三五　一〇　東京情報社
ラス・ビハリー・ボース　奥邨　秀夫　英文印度に於ける英國の惡行　㊐　三三五　三、〇〇　ジャパンタイムス社
福井　慶三　印度の經濟と獨立運動　㊐　二三五　三　朝日新聞社
世界經濟調査會編　インドの政治と經濟　㊐　四七　三、〇〇　世界經濟調査會
J・ネール　松本慎一譯　印度の統一　㊐　三四　二、三〇　育生社
S・チャンドラ　田中正明譯　印度の闘爭　㊐　四三　二、〇〇　興亞書房
管見一郎　印度の獨立　㊐　三五三　一、八〇　霞ヶ關書房
ラス・ビハリー・ボース　印度は叫ぶ　㊐　六四　一、八〇　三教書院
水島　齊　印度は何處へ行く　㊐　三四　―　國際思想研究所

弓家　七郎　讀切國際パンフレット㊀讀員候補者の推薦制度　㊐　三　―　國民政治經濟研究所編
岸商工政策の檢討　㊐　八二　一、二五　國民政治經濟研究所
北太平洋に於けるソ聯・米國・日本　㊐　一八　―　國際思想研究所編
教育者より見たる大東亞戰爭と世界平和　㊐　四七　―　林　秀一
共榮圏未來記　㊐　四三　二、一〇　京都市役所
京都市政史（上）　㊐　一〇三三　―　京都市役所編
松本　忠雄　近世日本外交史研究　㊐　二九三　二、八〇　博報堂
近代日本外交史　㊐　三三　二、三五　中央公論社
細川　龜市　近代日本外交史研究　㊐　二五五　三、八〇　時潮社
橋本　重遠　勤勞廳（召國民徴用の實際知識）　㊐　一二四　一、二〇　麵井書店
東亞書房編輯部編　經濟事件の記錄作成法　㊐　一九　一、六〇　東亞書房
高泉二郎　他六氏　警察官志願讀本　上卷　㊐　一五四　二、〇〇　日本警務學館
高泉二郎　他六氏　警察官志願讀本　下卷　㊐　一五五　二、〇〇　日本警務學館
大内　平八　警察犯研究　㊐　九九　八　東亞書房
杉村　幹　警察物語　㊐　二七　一、六〇　二松堂
安平　政吉　刑事政策の新動向　㊐　五二五　四、七〇　巖松堂
東京市政調査會　㊐　三五　―　國民政治經濟研究所
國際思想研究所　㊐　三五　―　國際思想研究所
日本警務學館　㊐　三〇　二、〇〇　東亞書房
東亞書房　㊐　一九　一、六〇　二松堂

久住悌三	建國十周年の滿洲國	國	二四	朝日新聞社	三五	平田親勵	皇國彌榮運動	國	八四	日本文化研究會	四	一、八〇
筑紫熊七	憲政機構大系私案	公	三	筑紫熊七	—	中島今朝吾	皇道世界政治の提唱	公	—	冨山房		一、八〇
田中萬逸	憲政五十年史	帝	—	國政協會	—	松本敬陽編	皇道選擧實踐綱領	國	七二	皇道世界政治	大東亞建設叢書	一、八〇
鮎澤巖	現代アメリカの政治と經濟	公	三六	世界經濟調査會	—	草野文男	抗日支那相剋の現勢	國	三六	愛國新聞社出版部	三	一、四五
伊藤敬	現代印度論	國	二九	大和書店	一、四五	水谷吉藏	國際政治の指導原理と高度國防國家の必然性	公	七六	人文閣		二、四五
堀眞琴編	現代日本政治講座第三卷 現代政治機構の分析	公	三六	昭和書房	二、四五	正路喜社編	國策標語選集	國	六三	七丈書院		七、〇〇
堀眞琴他三氏	現代日本政治講座 現代政治の革新論	公	三四	昭和書房	二、四五	江澤讓爾	國土計畫基礎理論	國	一七	松堂		二、〇〇
原隨園他四氏	現代日本政治講座 現代政治の課題	公	二八	昭和書房	二、四五	石川榮耀	國土計畫の理論	國	三六	日本評論社		一、〇〇
櫻元常矩	興亞講演集（5）	國	二九	春江堂	一、二〇	日下藤吾	國土計畫生活圈の設計	國	三九	河出書房		一、七〇
翼贊會編	翼贊政興亞講演集（6）	國	四八	大政翼贊會	一〇	加藤長雄著	國土計畫理論組織展開	國	三七	大鵬社		三、〇〇
翼贊會編	翼贊政興亞講演集（7）	國	六九	大政翼贊會	一〇	佐藤茂雄	國風發顯運動	國	一八	栗田書店		三、〇〇
內藤八十八	興亞事業大系	經	三四	事業と經濟社	—	川西正鑑	國防經濟立地論	公	三六	佐藤茂雄家		—
丹波太郎	興亞と維新	公	三五	無鄰園	—	吉田秀夫	國防國土學	國	三三	日本評論社		三、〇〇
德富猪一郎	興亞の大義	國	三五	明治書院	一、〇〇					ダイヤモンド社		一、九〇
原隨園	英印關係推移	國	二五	帝都日日新聞社	—					理想社		三、〇〇

高山毅	國民皆働と勤勞報國隊	國	一四七	目黑書店	一、二〇	棟尾松治	思想戰	國	二九四	六藝社	一、八〇
日文化協會	獨逸政治叢書 國民對勞協力全般觀	國	一〇八	朝日新聞社	三五	北條清一編	思想戰と國際秘密結社	國	二九二	晴南社	二、二〇
金生喜造	國民社會主義の基本問題	國	三五	實業之日本社	一、七〇	坂井隆治	思想と青年	國	二四七	國民出版社	一、二〇
境論	建國物語第一篇	國	三五	日新書院	二、〇〇	佐藤俊三	支那を支配するもの	公	四九七	大阪屋號書店	四、五〇
永田稠	國見すする者	國	三六	日本力行會出版部	一、二〇	山口省三	支那國共政治思想史觀	公	一〇六	—	
中野正剛	此の戰（國民は如何に戰ふべきか）	國	六四	東方會	三五	本多熊太郎	支那事變から大東亞戰爭へ	國	四八	東洋協會	二、一〇
島田巽	最近の印度	國	二五	朝日新聞社	三五		支那租界制度論	國	二三〇	千倉書房	一、八〇
日本青年外交協會	英印關係推移 最後の五分間のために	公	二六	日本青年外交協會	—	長野朗	支那土地制度研究 東亞文庫	國	四五九	日光書院	二、〇〇
尾山萬次郎	新警察法綱要	國	三七	松井書店	一、二〇	孫賓雄譯	支那の國土計畫	國	三一	學藝社	二、〇〇
神山峻	產業行政機構革新論	公	一六六	水產經濟研究所	一、二〇	松本鎗吉	支那の新姿	國	五四	日本電報通信社	二、四〇
深川正夫	產業報國とその實踐	國	二九	青梧堂	二、〇〇	龍勢岩吉編	支那の反英興亞運動 附錄中山の大亞細亞主義	國	一四〇	弘道館	二、二〇
四玉天延孝	四玉天延孝清話	國	二四	報國社	一、九〇	松本鎗吉	支那問題の解剖	國	三五七	聯合出版社	一、〇〇
石割一郎編	時局訓示式辭集	公	二六九	東亞書房	二、八〇	中野賢次朗編	清水芳次郎全集第一卷	國	五九	興亞書院	二、〇〇
三島助治	評論集 思想維新論	國	二〇三	國民政治經濟研究所	一、四〇	トーマス・モット オスボーン著 寺光忠譯	社會と監獄	國	三九	錦城出版社	二、〇〇
田中智學	思想國防の神髓	國	二六	天業民報社	一、八〇	ヴィル・デッカー 新町廣親郎	シャベルの進擊	國	一九八	時代社	二、〇〇
吉田三郎	思想戰	公	二四三	啟傷書房	二、四〇	上原善	上海共同租界誌	公	三一〇	讀書新報社出版部	一、五〇
										丸善株式會社	三、五〇

石濱　知行　重慶戰時體制論　岩　四〇
三宅　貞夫　重慶の抗戰力（朝日選書）　民　六
丹羽　福市　銃後特高指針　民　一三
中由　幸　私有財産制度の危機　民　一七
重要産業協議會　重産協報二官界新體制の諸問題　民　六二
福田辨治郎　重大世局に直面して（高山叢書）　岩　公五
鈴木　安藏　自由民權運動史　民　二四四
東方問題研究所　自由論　民　八
調査會編　東亞焦點下の北方問題（外務省調査部監修日本外交新體制參考）　民　二六六
永井　了吉　昭和維新の書（新世代叢書）　民　二九
北　久一　新亞細亞の朝　創　二〇三
村田　光烈　新亞細亞の誕生　民　三三
菩薩協會編　新アジアの建相　民　二一〇
野村　貞吉　シンガポールと印度の眞相（い）　民　一七
林　泰作　人口政策と國土計畫（人口問題研究會編）　岩　三六

三、〇〇　中央公論社
五五　朝日新聞社
一、〇〇　新光閣
—　精神科學研究所
一、二五　高山書院
—　東方問題研究所
一、二五　東日大毎新聞社
一八、〇〇　日本國際協會
一、二五　日月書院
八〇　育生社
一、八〇　弘道閣
一、二五　目黒書店
三〇　博閑堂
三、二五　刀江書院

サラザール　景山哲夫譯　新國家の建設　民　四四
石川　榮耀　新輯工學技術國土計畫の實際化　民　一六
新政治力の結成について　民　一六
大場　忠　新生ビルマとバ・モー博士　民　三七
杉森孝次郎　新世界秩序建設の書　民　三〇
細川嘉六編　新世界の構想と現實　岩　三三
三島　弘　新帝國主義論の横行　民　二八
小林良正編　新獨逸政治・經濟語彙（附改訂經濟統制法令一覽表）　民　二八
ゲオルク・ヴァーデル　安井・源雄譯　新ドイツの訓練と規律　民　一四
大澤　滋　新東亞とタイの現實　岩　三
中屋　健弐　新東亞とフイリッピンの現實（附聖戰時局解説）　岩　三
俣野　博夫　新東亞印の現實　岩　三
佐藤榮祐編　臣道實踐　翼賛の新知識　民　五五
菅沼　貞風　新日本の圖南の夢（岩波文庫）　岩　九六
草場　孝　振興運動史　岩　五
イタリヤ大使館編　イタリヤ大使館　非　三六

三、〇〇　刀江書院
一、二五　誠文堂新光社
—　精神科學研究所
一、二五　清新書房
二、二五　元元書房
一、二五　中央公論社
—　精神科學研究所
二、二五　同盟通信社
三〇　同盟通信社
三〇　同盟通信社
一、二五　日光書院
八〇　三亨書房
三〇　同盟通信社
二、七〇　研文書院
三〇　岩波書店
—　世田谷惠明會
六　イタリヤ大使館

黒木　勇吉　スエズとパナマ　民　二九
スメラ學塾　スメラ學塾講座第三期　岩　二四
スメラ學塾編　スメラ學塾講座第四期　岩　二七
金子　喜三　翼賛選擧の話（政界の一新を目ざす）　民　一〇一
大神田軍治　世紀の決戰（日本はどう發展するか）　民　九
弓家　七郎　政治學概論　岩　三四三
ダンニング　古賀鶴松譯　政治學說史　第一卷（岩波文庫）　岩　四一八
中山　治一　政治史の課題　創　一五四
鵜澤　總明　增補改訂　政治哲學　民　九四
鈴木　安藏　政治文化の新理念　民　三〇
丸山　行雄　政治力結集と國民運動　岩　二
橋本欣五郎　青年に憩ふ　民　三〇
本領信治郎　青年の信條（ハウスホーファー著　井上・林一譯）　民　九九
遠山　丙市　生命圈と世界觀（博文館文化選書一）　創　二六
鶴澤　輝彌　世界維新と歷史觀維新　民　二六

二、〇〇　國書刊行會
二、〇〇　世界創造社
二、〇〇　世界創造社
三〇　アジア青年社
三〇　五事貿易出版社
三、二〇　興文社
四、五〇　人文閣
五〇　弘文堂書房
二、〇〇　大東書館
二、二〇　利根書房
—　精神科學研究所
一、〇〇　歐文社
一、八〇　拓南社
一、〇〇　博文館
二〇　東亞曉民社
一、〇〇　七丈書院

中野　正剛　世界維新の嵐に立つ　民　三〇
ウェーベー　ポチョームキン　竹尾譯　世界外交史　第二卷　岩　九二
歐亞通信社編　世界情報　新輯　民　二六
世界政治研究會編　世界政治研究　岩　三八
淺井　得一　世界地理政治大系　印　八〇
野田　茂　世界的祕密結社の檢討　民　二七
野一色利衛譯編　世界に於ける民族鬪爭と文化戰（新聞紙文化叢書）　民　三六
武藤　貞一　世界の將來　民　二三
奥村喜和男　世界の歷史は轉換せり　民　六六
鈴木　貞一　我が大和民族（世界變局に處する）　民　六六
仲原　善德　赤道萬里　民　三三
小泉　孝吉　赤都モスクワ（世界各自の重點）　民　三
松原　一彥　選擧の倫理化　民　八
鈴木　俊一　地方行政全書　岩　三三
齋藤　祐藏　戰時歐洲飛脚記（地方行政全書　戰時下公營事業の諸問題）　岩　二四

一、五〇　鵬書房
二、八〇　青年書房
一、五〇　歐亞通信社
三、三〇　中央公論社
二、〇〇　自揚社
一、八〇　榮養の日本社
二、〇〇　第一公論社
一、八〇　統正社
三〇　日本講演協會
四〇　目黒書店
二、〇〇　東京講演會
一〇　東京情報社
六　選擧肅正中央聯盟
二、五〇　良書普及會
二、二〇　清水書房
二、二〇　良書普及會

商工行政研究會編	戰時下の商工行政	図	三三	一、八〇	映畫出版社	遠藤一郎	ソヴイエト聯邦の世界政策	会	四四	四、〇〇	生活社
橋一郎	戰時下のソ聯（附・ソ聯重要人物誌）	図	二九七	一、八〇	北方文化出版	新郷彦七	創生亞細亞	会	五一	四	東京創生會
國民政治經濟研究所編	戰時下の日本外交	図	三三四	二、〇〇	國民政治經濟研究所	小牧實繁	續日地政學宣言	図	三三	二、〇〇	白揚社
大日本赤誠會思想局編	戰時國民講座　下卷	図	二六三	一、三〇	新興亞社	外南洋邦人の現勢と其歷史的背景		会	一四	一〇	南洋經濟研究所
小山榮三	戰時宣傳論	図	三五〇	二、〇〇	三省堂	小西千比古					
岡本春三	英文戰時讀本	図	三三	一、一〇	ヤングメン通信社	日蘇通信社編	蘇聯政府の對滿鐵工作（蘇聯秘密文書第七輯）	会	三六	三〇	日蘇通信社
朝鮮總督府情報課編	前進する朝鮮	会	一〇五	三	朝鮮行政學會	赤神良譲	ソ聯政治の實證的研究	会	三五	二、三五	明治大學出版
滿田巖	戰爭政治論	会	二〇六	一、八〇	平凡社	平竹傳三	ソ聯の眞相	図	三〇	一、八〇	聚書房
菊池泰雄	戰爭と建設	図	三九	一、八〇	新東亞協會	大政翼賛會宣傳部	第一回中央協力會議議事錄（一）	会	三〇	三、三五	商工行政社
大倉要	戰爭と國際問題	図	一八六	二、〇〇	神田藏王閣	常岡一郎講演集	第二輯・中心日本の確立（急總動員體制に立つ日本の進發）	図	五	三〇	中心社
野村重臣	戰爭と思想	図	四三四	二、三五	協力日本會	小島精一	大建設の促進に就て岸商工大臣に與ふ	会	三五	—	世界經濟情報社
木下半治	戰爭と政治	図	一八八	二、〇〇	昭和書房	日泰學院	泰國重要問題摘要（大東亞文庫）	会	四	—	日泰學院
野一色利衛	戰爭と政治（獨逸の世界觀的書と相俟つ）	図	四六七	二、八〇	富强日本會	川崎紫山	大西郷と大陸政策	図	三九	二、八〇	興文社
野依秀市	戰爭と選擧	図	三三	一、六〇	秀文閣書房	同交會	第七回帝國議會報告書（第七・八回）	会	—	三〇	同交會
中野正剛	戰爭に勝つ政治	図	六三	三	東方會	東洋經濟新報社編	第七十七・八兩臨時議會展望	図	三六	一、八〇	東洋經濟新報社
全體主義の政治學		会	二七三	二、七五	久野書店	芦田英祥	大戰下の印度（在印三百萬の眞相）	図	三〇	一、九〇	汎洋社
						五來欣造	大戰前後の歐米政治經濟	会	四九	—	通信調査會

小倉一郎	大東亞維新	図	四二四	二、三五	國書研究社	日刊工業新聞社編	大東亞國土計畫を語る	図	一九六	一、〇〇	日刊工業新聞社
名古屋市文化課編	大東亞を繞る諸問題	図	二一四	—	名古屋市文化課	大東亞國土計畫論叢		図	四九七	三、三五	官界公論社
田村幸策	大東亞外交史研究	会	四四一	四、七〇	大日本出版株式會社	吉田秀夫	大東亞國防論	図	三三七	一、八〇	立命館出版部
西村眞次	大東亞共榮圏	会	三六	三、三〇	博文館	田中直吉	大東亞巡察考	図	二四八	二、〇〇	日本講演協會
住谷悅治	大東亞共榮圏植民論	図	二七四	一、八〇	生活社	橋本貞夫	大東亞新秩序建設の原理	会	五六	—	日本青年外交協會
保科孝一	大東亞共榮圏と國語政策	図	四六八	三、八〇	統正社	田尻愛義	大東亞新論	図	二九七	一、三五	研進社
鮎澤巖	大東亞共榮圏の建設と技術體制	会	二八	—	世界經濟調査會	讀賣新聞社編	大東亞政治の構造（擴大文化講座）	図	二四八	二、三五	日本出版社
井上一次	國民讀本大東亞共榮圏の北方經綸（大東亞經綸講堂第九回帝國議會議事要旨）	図	二三三	一、三〇	日本出版社	日本評論家協會編	大東亞戰下の印度（東亞經濟文化叢書3）	図	二四三	一、〇〇	東邦書院
翼賛議員同盟	大東亞建設戰ノ構想ト產業對策（大東亞經綸講堂第七輯・九回帝國議會議事要旨）	会	七三	—	翼賛議員同盟	金平太郎譯	大東亞戰下の印度	図	二四三	一、〇〇	東邦書院
久保田孫一	大東亞建設戰ノ產業對策	会	一九五	—	久保田孫一	鏑木忠正	國民に愬ふ！	図	二四	一、〇〇	アジア青年社
山川時郎	大東亞建設讀本	図	二三〇	一、三五	天泉社	岡島昇	大東亞戰後の濠洲の動き	会	二七	—	兼松商店
岩倉具榮	大東亞建設と植民政策	図	三三四	二、三五	八木書店	柏岡清勝	大東亞戰爭完遂のため國内態勢の强化	会	二九	二〇	翼賛會北海道支部
則天塾編纂	大東亞建設の基本理念（大東亞講座上卷）	会	二七〇	一、八〇	葛城書店	國防經濟協會	大東亞戰爭と印度の地位	図	三	—	國防經濟協會
山崎靖純	大東亞建設の原理と諸問題	図	四五七	二、三五	立命館出版部	馬場秀夫	大東亞戰爭と國際情勢の展望	図	四	—	日本通運會
岩田新	大東亞建設法の理念と構造	会	二四二	二、三五	嚴松堂	田中幸利	大東亞戰爭と蔣政權	会	四〇	二〇	善隣協會
小田村寅二郎	大東亞皇化圏論	会	五七	三、三五	精神科學研究所	加東田繁	大東亞戰爭とソ聯の動向	図	六五	二〇	三光社
						永山忠則講述	大東亞戰爭と翼賛政治	図	六九	二〇	大日本赤誠會出版局

後藤利一　大東亜戦争の勝利と建設を茨城で聞ひとる　倉田義一編　研究所　四四　一

大東亜戦争の眞意　大東亜戦と日ソ國交の機微どう動く　城北散史　友松堂　一九三　一

遠藤一郎　大東亜戦と北方圏の再認識　東京情報局　三　一

久保田通敦　大東亜戦とマダヤ人の動向　善隣協會　四八　一

東日新聞社東亜部編　大東亜戦重慶インド濠洲に於ける　東京情報社　三　一

藤相進一郎　大東亜戦の本質　大同出版社　三三五　一、八〇

既文社編輯局　大東亜太平洋圏の新展望　駸々堂　三四　一、〇〇

松川二郎　大東亜地政学　秦賢助　四四五　一、〇〇

田畑叢穂　大東亜の革新　永川俊美　四五四　一、〇〇

國民新聞社編　大東亜の聖戦　立ち上る印度　二〇〇　二、〇〇

武藤貞一　大東亜の肇造　沼館一郎　一五〇　一、五〇

山森利一　大東亜の黎明　起ち上る印度　一五二　一、五〇

松岡林造　大東亜の黎明を語る　竹堂時事論叢　一五三　二、五〇

松岡壽八　大東亜民族問題　岩田孝三　一五四　二、五〇

芳田均　第二次世界大戦前史　江澤讓爾　一五五　二、五〇

奏滿編　地方計畫・國土計畫　東亞文學4　一、八〇　學藝社　一、四〇

貝中村常三譯　華中國革命史　東亞文學4　二五四　一、八〇　國際通信社　一、四〇

大原洋三　中國青年に寄す　國民政治經濟研究所　三五　一、五〇

松川二郎　中西アジア地政治誌　政治學叢書6　四九八　二、五〇　新興亞社　二、五〇

堀豐彥　中世紀の政治學　太平洋叢書　二六六　一、〇〇　岩波書店　一、〇〇

平野嘉忠　中南米研究　太平洋叢書　二五三　二、四〇　海洋文化社　二、四〇

ジョン・ガンサー山崎博譯　中南米の内幕　二五六　一、七〇　大日本由版株式會社　一、七〇

ヒオ！デュラン鄭武奉譯編　中立の「笑劇」フイリッピンと東亞　二五八　二、〇〇　白揚社　二、〇〇

市濱五郎　朝鮮の思想運動を回顧する　四六　三　大東亞文化聯盟　三

菊地順　ドイツ及びドイツ人　二五七　一、八〇　文進堂書店　一、八〇

パウアー！中西敏憲譯　獨逸概觀　二七　二、〇〇　第一公論社　二、〇〇

都市研究會編　獨逸國・國土並地方計畫大系第一輯　二八八　四、〇〇　都市研究會　四、〇〇

日本電通社編　獨逸大觀　一九四二年　二四九　二、五〇　日本電報通信社出版部　二、五〇

三澤弘次　ドイツ風雲錄　二四四　一、九〇　東海出版社　一、九〇

米林富男　東亞學　第四輯　三一七　二、〇〇　日光書院　二、〇〇

東亞共榮圏の建設問題　三二六　一、八〇　生活社　一、八〇

秋保一郎　東亞植民政策論　二三七　二、五〇　時潮社　二、五〇

國際通信社　東亞政治經濟文化大觀　九六八　一　國際通信社　一

川西正鑑　東亞地政學の構想　四一三　三、八〇　實業之日本社　三、八〇

川西正鑑　東亞地政學の對象と任務　五四　一、五〇　東亞新秩序研究會　一、五〇

國際關係研究會編　東亞に關する條約と外交　二三〇　一、八〇　大東書館　一、八〇

小牧實繁　東亞の地政學　一〇五　五　目黒書店　五

皇道世界維新研究所　大東亞建設宣言　三　三〇　アジア青年社　三〇

山中峯太郎編述　一億の陣頭に立ちて　二四七　一、四〇　誠文堂新光社　一、四〇

高鳥正編　大東亞戰爭に直面して　二八四　一、〇〇　改造社　一、〇〇

室伏高信　東洋政治思想　二三五　一、六〇　日本評論社　一、六〇

森谷克己　東洋的生活圏　四一三　四、五〇　育生社弘道閣　四、五〇

菅原信雄　東洋のふるさと　三六　一、五〇　興亞書局　一、五〇

水島齊　獨・墺併合の眞相に就いて（一）　一六　—　國際思想研究所　—

水島齊　獨・墺併合の眞相に就いて（二）　—　—　國際思想研究所　—

ラス・ビハリ・ボース　獨立印度の黎明　二七四　一、八〇　照文閣　一、八〇

ラス・ビハリ・ボース　獨立の闘爭　二七五　一、八〇　昭和書房　一、八〇

警防通信社編　大日本警防誌　七〇　—　警防通信社　—

熊谷辰治郎　大日本青年團史　—　—　熊谷辰治郎　—

相野田彌平　大日本婦人會と常會　一二七　一　東洋圖書株式會社　一

太平洋地政學　太平洋の民族＝政治學　五四　五、〇〇　日本評論社　五、〇〇

平野義太郎清野謙次　太平洋の民族＝政治學　五四　五、〇〇　日本評論社　五、〇〇

丸山學　大陸の思想戰　三五　二、五〇　目黒書店　二、五〇

日・米・英決戰ひ拔かう　六九　一、〇〇　鴻書房　一、〇〇

永川俊美　立ち上る印度　六九　一、〇〇　東京講演會出版部　一、〇〇

沼館一郎　起ち上る印度　二三五　三　光社　三

武田鼎一　竹堂時事論叢　四六三　二、五〇　敬文堂　二、五〇

岩田孝三　地政學　三五五　一、〇〇　朝日新聞社　一、〇〇

江澤讓爾　地政學研究　三五一　三、三〇　日本評論社　三、三〇

C.H.マックファーデン　地政學的世界現勢地圖　一五八　三、五〇　日新書院　三、五〇

國松久彌　地政學とは何か　一七一　一、五〇　柁谷書院　一、五〇

ローゼンベルク　血と名譽　四一三　二、五〇　紀元社　二、五〇

加藤陽三　地方行政地方議會全書　二七三　二、三〇　眞書書及會　二、三〇

隣組研究會編	隣組長手帳	翼賛	一五	
村松 恭造	隣組と郷土會	翼	一三	
発藤 直人	賭博犯檢擧要說	翼	三四	
田川大吉郎	時の論叢第7 友よ戰場に心位して		一〇	
大屋久壽雄	トルコ政治風土記	翼	三五	
山崎 丹照	內閣制度の研究	翼	四〇	
山田 邁	名古屋市會史 第五卷	翼	一四〇	
山田 邁	名古屋市會史 第六卷	翼	一三八	
ウィールフリード・バーデ著 安武 鎬譯	ナチス獨逸の議會改革	翼	一六	
ウィールフリード・バーデ著 安武 鎬譯	ナチス獨逸の議會改革	翼	一七	
森川 覺三	ナチ政治と我が科學技術	翼	三七	
池田慶四郎編	ナチスの黨及國家組織の研究（國解）	翼	三	
山田 忍三	南進第一步	翼	三〇	
水野 正次	南方經營と國際共產黨	翼	一〇	
石原廣一郎	南方經濟の具體的方途	翼	一七	
高橋 和巳	南方經營論	翼	三八	
竹井 十郎	南方建設と民族問題	翼	四三	
南方經濟懇談會編	南方建設の基本問題	翼	四二	
景山 哲夫	南方建設の根本政策	翼	二九	
奥野 平	南方建設の根本問題	翼	二六	
一原 有常	南方圏統治概說	翼	三〇	
伊藤 斌	南方植民史文獻目錄	翼	八三	
深澤正策譯	南方諸國の統治	翼	二八	
永田 稠	本莊 可宗	翼	二七	
南方新建國	南方政策の基本問題	翼	三六	
林 秀	精神科學研究所	翼	八	
日米外交白書	南方對策の根本問題	翼	三九	
	善隣協會編	翼	二八	
	南方へ の翹望	翼	二八	
	南方法秩序說	翼	四	
	南方問題十講	翼	三三	
	南洋の民族 上	翼	四二	
	日本的勞務觀	翼	二七	
	日本と英國及び南洋	翼	四〇	
	日本の動きと政府聲明	翼	二四	
	日本之再認識（華文）	翼	三五	
	日本民族の定住とスマトラの國土計畫	翼	三	
	敗戰フランスとその後の動靜	翼	一六	
	日本的世界の建設	翼	二七	
	日本外交史別冊	翼	一四三	
	日本及滿洲問題の政治經濟關係	翼	一〇三	
	日本政治學の根柢	翼	二四八	
	日本政治年報 第一輯	翼	六三	
	日本政治年報 第一輯	翼	五三	
	日本政治の再編成	翼	五八	
	日本政治の構想	翼	三〇八	
	日本地政學	翼	二六六	
	日本地政學宣言	翼	二三九	
	日米精神戰	翼	三〇三	
	日本外交史別冊・上下揃	翼	一四三	
	日本から支那に與ふるもの	翼	二九	
	日本金十字團 第六次興世宣言	翼	一三	
	日本國土計畫論	翼	二九	
	日本國防國家建設の史的考察	翼	三〇〇	
	日本國家主義運動史論	翼	三〇	
	日本植民思想史	翼	二六〇	
	日本政治學の根柢	翼	二四八	
	昭和十七年 日本政治年報 第一輯	翼	六三	
	昭和十八年度 日本政治年報 第一輯	翼	五三	
	日本政治の構想	翼	三〇八	
	日本政治の再編成	翼	五八	
	日本地政學	翼	二六六	
	日本地政學宣言	翼	二三九	
	新正堂		一〇〇	
	日本外政協會		一〇〇	
	東洋經濟新報社		六〇	
	敎文館		七〇	
	八元社		八〇	
	科學主義工業社		二〇	
	中央公論社		一〇	
	弘文堂書房		四〇	
	有斐閣		五〇	
	昭和書房		二〇	
	昭和書房		五〇	
	中央公論社		〇〇	
	高田書院		五〇	
	講談社		〇〇	
	白揚社		〇〇	
	大日本産業報國會		〇〇	
	世界創造社		〇〇	
	行有恒學社出版部		三〇	
	新興亞社		五〇	
	國際文化振興會		五〇	
	スマトラ協會		一〇	
	國際思想研究所		一〇	
	實業之世界社		〇〇	
	霞ケ關書房		五〇	
	ダイヤモンド社		〇〇	
	大日本出版株式會社		八〇	
	精神科學研究所		一〇	
	愛國新聞社出版部		五〇	
	イタリアの友の會		五〇	
	日本人發展史刊行委員會		一〇	
	高山書院		一〇	
	國際日本協會		三五	
	內外書房		三五	
	明善社		八〇	
	名古屋商工會議所		一〇	
	海洋文化社		三〇	
	東亞研究所		八〇	
	河北書房		八〇	
	日本力行會出版部		八〇	
	善隣協會		三〇	
	精神科學研究所		一〇	
	目黑書店		八〇	
	國民精神研究所		一〇	
	第一書房		三〇	
	六盟館		三〇	
	大東書館		一五	
	日本青年外交協會		一七	

高見 之通	日米精神戰	翼	三〇三	
太平洋問題調査部 高見 之通	日本及滿洲問題の政治經濟關係	翼	一〇三	
早野 勘治	日本外交史別冊・上下揃	翼	一四三	
清澤 洌	時の論叢第8 日本から支那に與ふるもの	翼	二九	
田川大吉郎	日本金十字團 第六次興世宣言	翼	一三	
永易 稔市	改訂 增補 日本國土計畫論	翼	二九	
石川 榮耀	日本國防國家建設の史的考察	翼	三〇〇	
土屋 喬雄	日本國家主義運動史論	翼	三〇	
津久井龍雄	日本植民思想史	翼	二六〇	
黑田 謙	日本政治學の根柢	翼	二四八	
池田 榮	昭和十七年 日本政治年報 第一輯	翼	六三	
津久井龍雄	昭和十八年度 日本政治年報 第一輯	翼	五三	
日本政治學研究室編	日本政治の構想	翼	三〇八	
清水 伸	日本政治の再編成	翼	五八	
古田德次郎	日本地政學	翼	二六六	
小牧 實繁	日本地政學宣言	翼	二三九	
小牧 實繁	日本政治學の根柢	翼	二四八	
	新正堂		一〇〇	
	日本外政協會		一〇〇	
	東洋經濟新報社		六〇	
	敎文館		七〇	
	八元社		八〇	
	科學主義工業社		二〇	
	中央公論社		一〇	
	弘文堂書房		四〇	
	有斐閣		五〇	
	昭和書房		二〇	
	昭和書房		五〇	
	中央公論社		〇〇	
	高田書院		五〇	
	講談社		〇〇	
	白揚社		〇〇	
堆波田春夫	日本的勞務觀	翼	二七	
スメラ民文庫編	日本的世界の建設	翼	二七	
松宮淡山述	情報局記者會編		四〇	
周 作人	日本之再認識（華文）	翼	三五	
戶澤民十郎	敗戰フランスとその後の動靜	翼	一六	
水島 齊	三宅 雪嶺 爆裂の前	翼	四九八	
茂野 剛考	パナマの弱點	翼	二四六	
本間幸次郎	比律賓獨立と東亞問題	翼	三〇〇	
ビルマ	ビルマ獨立運動に對する思想的警告		六	
今田 彰夫	ビルマ風雲錄	翼	二六六	
侯爵 山口 是一郎 モリス・コリス 二郎譯	ファシズモ研究		三五	
柏熊 他九氏 達生	ブラジルに於ける日本人發展史下卷		六六	
青柳郁太郎	フランスの再興	翼	一九五	
倉田大介譯 モンテイニー				

ベルトランド　岡田・ウヴォネル　武吉譯
フランスの自覺　若き理念の勝利　圖　二六九

ルネ・ヒュブラン　坂本・御廚譯
フランスの其の後　圖　三一四

野依　秀市
米・英撃滅―我勝てり　圖　四五六

松田　福松
米　英　研　究　圖　三〇三

松本勝三郎
米英の第五列　救世團解散せよ　圖　二〇六

伊藤　七司
米英の對日清算　圖　三一四

百々　正雄
米英の崩落過程　圖　二四七

立作太郎
米國外交上の諸主義　會　四〇二

大澤吉五郎
米國罪惡史序説　圖　四〇

木村　錚
米國政治外交史　上卷　會　五二

國際關係研究會編
米國太平洋政策　會　五六四

高木　八尺
米國東洋政策の史的考察　會　二八

鹿島　健
米國に於けるユダヤ人問題　圖　二〇三

東亞新書
蒙古人民共和國　圖　一九七

米内山庸夫
蒙古の理想　圖　二六八

岡本　彌
融和運動の回顧　會　四一三

オトマール・シュライン　森　三譯
ユダヤ人のアメリカ發展　圖　二〇七

吉富增太郎
猶太展開説　會　六七

關山茂太郎
翼賛政治會と政治今後の課題　會　一九

村瀬武比古
翼賛政治と戰時國民の心得　圖　五五

東京市政調査會編
翼賛政治の確立と推薦選擧　會　三

朝日新聞社
翼賛選擧大觀　圖　二五六

藤田　義光
翼賛選擧讀本　圖　二三六

田村　益喜
翼賛の本質と帝國議會の使命　圖　二八

小野　二郎
民族の構造　圖　二六

植草半八郎
民族の情熱　圖　二五三

大野　愼
民族の勝利　圖　二八九

高田　保馬
民族論　會　二三五

林柏生
盟邦の友へ　圖　三二八

藤田秀雄譯
石田喜與司

小野　二郎

原　惣兵衛
米國獨占の擡頭　アメリカ　圖　二八

ラデン
印・英印・佛印改訂版　圖　四八

井手諦一郎
蘭印・佛印植民司政　圖　三四

（ハスケス・ベル）
羽倉　郁譯
加藤　喜孝
ルドルフ？ヒューレン
金生　喜造譯
大政翼賛會　會　三四

百々　正雄
臨時協力會議會議錄　會　三四

ルーズヴェルト
政權十年史　圖　四五五

石坂　平
歷史を創る日本民族　圖　二六七

野口　三山
庶駐滿大使に呈せる支那問題鄙見　會　三

東亞研究所
ロシアの對イラン政策　會　二五

アドルフ？ヒトラー　武者小路實篤譯
我が新秩序　圖　七五

アードルフ・ヒトラー　武者小路實篤　良一譯
吾が闘爭　上卷　圖　七五三

良一譯
吾が闘爭　下卷　圖　七六

隨筆集
私　の　隣　組　圖　六四

宣傳部
我等何を爲すべきか　會　一五

木崎　爲之
我等の議會と選擧はかくあるべきだ　圖　六六

小山市兵衛
防諜と共産主義運動　圖　二

ボルシエヴイキはシベリヤで存續し得るか　會　四七

亡びる强さ亡びざる强さ　決戰日本の生活理念　圖　四六

中心莊
精神科學研究所

秀島　達雄
香港・海南島の建設　會　四三〇

石川準十郎
マイン・カンプ研究　第三分册　圖　三四五

永田　稠
滿洲移民夜前物語　圖　三五三

三井　實雄
滿洲、事變　圖　一〇〇

富田　俊三
滿洲と大東亞戰爭　會　一七

アルフレツドリ　ユツケンハウス
ミスター・ルーズヴエルト　圖　四六

周防文化振興會
大岩　誠
南アジア民族政治論　圖　四六九

石原廣一郎
南日本の建設　圖　二八四

三重縣
三重縣會史（第一卷）　會　二五五

アンモロー　リンドバーグ　會譯
輝　チエーホン　造譯
甲斐ヤダム　ハウス
木村　肇譯
全　未來の波　附原文　圖　一〇四

譯
民　族　主　義　其の生活と發展　會　三五六

芳賀　檀
民族と友情　圖　三七

湯淺　克衛
民族の綠線　圖　二〇二

渡邊經濟研究所
渡邊　銕藏
ヤングメン通信社　一、八〇

常岡　一郎
秀文閣書房　一、八〇

秀島　達雄
原理日本社　二、五〇

アジア青年社
石川準十郎　一、三〇

永田　稠
家庭新聞社　二、三〇

三井　實雄
三鷹書房　一、八

富田　俊三
日本評論社　三、八〇

國際事情研究所
ミスター・ルーズヴエルト　一、四〇

日本國際協會
大岩　誠　六、三〇

東洋經濟新報社
南日本の建設　五、三〇

岩波書店
三重縣會史（第一卷）　一、〇〇

同、文館
全　未來の波　一、三〇

ジヤパンタイムス社
芳賀　檀　三〇

ささき書房
民族と友情　一、三〇

文光堂
湯淺　克衛　八、〇〇

三省堂
小山市兵衛　二、〇〇

ヤングメン通信社
渡邊　銕藏　一、八〇

秀文閣書房
常岡　一郎　一、八〇

原理日本社
秀島　達雄　二、五〇

アジア青年社
石川準十郎　一、三〇

家庭新聞社
永田　稠　二、三〇

三鷹書房
三井　實雄　一、八

日本評論社
富田　俊三　三、八〇

國際事情研究所
ミスター・ルーズヴエルト　一、四〇

日本國際協會
大岩　誠　六、三〇

東洋經濟新報社
南日本の建設　五、三〇

岩波書店
三重縣會史（第一卷）　一、〇〇

同、文館
全　未來の波　一、三〇

ジヤパンタイムス社
芳賀　檀　三〇

ささき書房
民族と友情　一、三〇

文光堂
湯淺　克衛　八、〇〇

精神科學研究所
―　一

渡邊經濟研究所
―　一二

中心莊
―　四六

松山房
國際日本協會　四、〇〇

日本力行會
一、三五

亞洲社
一、〇〇

名古屋滿洲協會
―　一七

日本講演會
一五

萬里閣
三、〇〇

清水書房
一、八〇

三重縣
―　一四

鄕々會
二〇

實業之日本社
三、三〇

東洋書館
三、三〇

青年書房
昭和書房　一、七〇

三省堂
三、八〇

伊藤書店
二、三〇

養正時評社
三五

大政翼賛會京都市支部
三、〇〇

東日大毎新聞社
―

野口　三山
二、三五

東亞研究所
―

協榮出版社
三五

三省堂
一、七〇

興風館
三、八〇

興風・館
三、八〇

翼賛圖書刊行會
一五

新東京社
―

則天　堯
一〇

(3) 法律

安井　郁　大東亞國際法叢書1 歐洲廣域國際法の基礎理念　昭和十七　有斐閣　一、八〇
小河滋次郎著作選集（上）　昭和十七　日本評論社　五、〇〇
銀行問題研究會編　會社經理統制令　解說　昭和十七　銀行問題研究會　一、八〇
森本　正雄　會社經理統制令の理論と實際　昭和十七　大同書院　一、八〇
伊原　隆　會社固定資產償却規則解說　昭和十七　ダイヤモンド社　一、四〇
中倉　貞重　會社の法律實務　改訂版　昭和十二　ダイヤモンド社　四、八〇
竹内　敏夫　會社法、有限會社法　改正會社經理統制令解說　昭和十七　三笠書房　二、三〇
田中　誠二　全訂　海商法提要　昭和十七　有斐閣　六、八〇
今村　有　海上保險契約論　中卷　昭和十七　有斐閣　五、〇〇
鈴木　武男　改正　健康保險法解說　昭和十七　嚴松堂　二、〇〇
江川六兵衛　改正　鑛業法解說　昭和十七　法律新聞社　五、五〇
金融問題研究會編　改正された日本銀行制度　昭和十七　經濟書籍合資會社　一五
銀行問題研究會編　改正　消費稅法解說　昭和十七　銀行問題研究會　一、六〇
岩崎　博　改正　新會社法詳解　昭和十七　銀行問題研究會　一、六〇
銀行信託社編　改正會社經理統制令解說　昭和十七　銀行信託社　五、〇〇
伊藤由三郎編　戰時統制法令叢書9 企業整備令小實業整備要綱解說　昭和十七　有斐閣　一、三〇
稻田　喜東　企業整備令詳解　昭和十七　有斐閣　一、三〇
田上　穰治　行政法概論　昭和十七　有斐閣　四、三〇
井出　正孝　漁業法　昭和十七　日本評論社　四、三〇
片山　房吉　漁業法講義　昭和十七　永產社　五、〇〇
伊藤由三郎　戰時統制法令叢書8 金融統制團體令解說　昭和十七　銀行問題研究會　一、三〇
日高　已雄　改訂　軍機保護法　昭和十七　羽田書店　五、〇〇
慶應義塾大學法學會　慶應義塾大學法學論集　昭和十七　金文堂書店　三、三〇
新制法規研究會編　臨時資金調整法・國民貯蓄組合法・戰時利得稅法・會社利益配當及資金融通令・會社經理統制令・金融統制團體令・日本銀行法・貿易及關係法規・物價統制令・暫定措置法・戰時特別刑法・戰時民事特別法・戰時行政特例法・戰時經濟特別措置法・戰時刑事特別法・戰時非常措置法・戰時緊急措置法・戰時司法特例法・戰時金融特別措置法・戰時貿易特別措置法・戰時生產特別措置法・戰時運輸特別措置法・戰時建設特別措置法・戰時勞務特別措置法・戰時農業特別措置法・戰時商業特別措置法・戰時工業特別措置法・戰時鑛業特別措置法・戰時交通特別措置法・戰時通信特別措置法・戰時放送特別措置法・戰時出版特別措置法・戰時言論特別措置法・戰時宣傳特別措置法・戰時廣告特別措置法・戰時情報特別措置法・戰時文化特別措置法・戰時教育特別措置法・戰時學術特別措置法・戰時藝術特別措置法・戰時體育特別措置法・戰時娛樂特別措置法・戰時休養特別措置法・戰時保健特別措置法・戰時衛生特別措置法・戰時社會特別措置法・戰時福祉特別措置法・戰時救濟特別措置法・戰時援護特別措置法・戰時補償特別措置法・戰時賠償特別措置法・戰時返還特別措置法・戰時接收特別措置法・戰時管理特別措置法・戰時統制特別措置法・戰時解除特別措置法・戰時終結特別措置法・戰時清算特別措置法・戰時整理特別措置法・戰時善後特別措置法・戰時復興特別措置法・戰時再建特別措置法・戰時新生特別措置法・戰時更生特別措置法・戰時革新特別措置法・戰時改造特別措置法・戰時維新特別措置法・戰時皇道特別措置法・戰時國體特別措置法・戰時日本特別措置法・戰時大和特別措置法・戰時武士道特別措置法・戰時忠誠特別措置法・戰時孝道特別措置法・戰時仁義特別措置法・戰時禮節特別措置法・戰時信義特別措置法・戰時誠實特別措置法・戰時勇氣特別措置法・戰時名譽特別措置法・戰時恥辱特別措置法・戰時罪惡特別措置法・戰時刑罰特別措置法・戰時懲役特別措置法・戰時禁錮特別措置法・戰時罰金特別措置法・戰時科料特別措置法・戰時沒收特別措置法・戰時追徵特別措置法・戰時假釋特別措置法・戰時減刑特別措置法・戰時赦免特別措置法・戰時復權特別措置法・戰時時效特別措置法・戰時消滅特別措置法・戰時免訴特別措置法・戰時免刑特別措置法・戰時免除特別措置法・戰時免責特別措置法・戰時免罪特別措置法・戰時免官特別措置法・戰時免職特別措置法・戰時免役特別措置法・戰時免稅特別措置法・戰時免許特別措置法・戰時免狀特別措置法・戰時免狀特別措置法・戰時免狀特別措置法　昭和十七　有斐閣　一、三〇
昭和十六年度　經濟統制法判例年鑑　昭和十七　有斐閣　四、八〇
磯部　靖　經濟統制法令撮要　昭和十七　有斐閣　二、五〇
關之　經濟犯罪の事實摘示例の研究　昭和十七　有斐閣　五、〇〇
井島政五郎　警察專用　治安法令集　昭和十七　有斐閣　二、五〇
小齊甚治郎　警視廳自動車關係法規全集　昭和十七　有斐閣　六、〇〇
岡崎堅一編　刑事判例研究（第一卷）　昭和十七　有斐閣　一、九〇
坂本　英雄　刑事判例研究會編　刑事判例評釋集第二卷　昭和十四年　有斐閣　四、〇〇
安平　政吉　新法學講話3 刑法　昭和十七　有斐閣　一、九〇
牧野　英一　刑法研究　第十卷　昭和十七　有斐閣　四、五〇
齋藤　金作　刑法總則大意　昭和十七　有斐閣　三、八〇
不破　武夫　刑法總論講義案　昭和十七　嚴松堂　一、三五
大財務協會編　藏經理統制令の問答　昭和十七　大一藏財務協會　二、〇〇
尾山萬次郎　現行昭和十七年版　法規書式總覽　昭和十七　天泉社　四、八〇
於保不二雄　現代外國法典叢書（獨逸五冊）　昭和十七　有斐閣　三、三〇
カール・ラレンツ　現代ドイツ法哲學　昭和十七　有斐閣　三、三〇
大西芳雄・方部譯　伊藤孝夫譯
櫻井　良雄　工業青年讀本　建築施工法要覽　昭和十七　アルス　一、五〇
池口　凌　建築法規　昭和十七　共立出版株式會社　二、〇〇
大谷　美隆　憲法學の基本問題　昭和十七　有斐閣　一、八〇
佐々木惣一　憲法・行政法演習　第二卷　昭和十七　有斐閣　二、三〇
鈴木　安藏　憲法制定とロエスレル　昭和十七　東洋經濟新報社　四、八〇
宮澤　俊義　憲法略說　昭和十七　岩波書店　二、〇〇
エール・リプヒ　川島武宜・三藤正譯
權利能力論　昭和十七　岩波書店　一、二〇

竹澤喜代治　工業組合登記手續概說　㊐　四一四　二、八〇　立命館出版部
淺野　彙助　續業法規概要　㊐　三七四　三、三五　善丸株式會社
平田　慶吉　增訂續業法要義　㊐　五六六　五、三〇　有斐閣
商工經營研究會編　小賣業整備要綱解說　附小賣業整備關係法令　㊐　三五〇　三、三〇　大同書院
實方　正雄　國際私法概論　㊐　四三〇　四、〇〇　有斐閣
松原一雄　國際法要義　㊐　四九二　四、三五　有斐閣
銀行信託社編　昭和十七年度國內資金調查規則解說　㊐　一七二　一、三五　銀行信託社
末川　博編　國防經濟法體制　國家總動員法を中心として　㊐　六九四　四、三五　有斐閣
石橋　信　國防國家の法律　㊐　六四六　三、三五　ダイヤモンド社
立野　信實　國民醫療法解說　㊐　三四四　一、六〇　教學館
商工經營研究會編　國民勤勞報國協力令解說　㊐　二〇九　一、三五　大同書院
厚生省勞務動員課監修　勞務動員實務と勞報國協力令解說　㊐　二一六　一、三五　職業協會
國民勤勞手帳法逐條實務研究會　國民勤勞手帳法逐條實務解說　㊐　二九六　二、三五　修光館
多加谷敬個人と稅　㊐　二九七　二、三五　高山書院
三田高三郎　戶籍法要論　㊐　二六一　二、八〇　帝國判例法規出版社

美濃部洋次校　國家總動員法並同關係法規類集追錄一二號　㊐　四二　三、三五　協榮會
戒能通孝　債權各論中卷　㊐　一三三　一、三五　嚴松堂
淺井清信　債權法に於ける危險負擔の研究　㊐　七三三　八、〇〇　立命館
尾山万次郎　最新刑法及刑事訴訟法改正　㊐　三〇五　一、三五　天泉社
尾山万次郎　最新重要株主必携　㊐　四三三　二、三五　天泉社
尾山万次郎　最新會社法書式正解　㊐　五七二　三、三五　天泉社
尾山萬次郎　最新商法書式正解　㊐　六三三　三、三五　天泉社
北村五良　齋藤博士還曆記念　法と裁判　㊐　七三〇　七、三五　有斐閣
長谷正夫　裁判から見た統制違反　㊐　三四九　二、〇〇　大新社
三宅正太郎　裁判の書　㊐　三五〇　三、八〇　牧野書店
伊藤由三郎編　產業統制法令解說　㊐　三五〇　二、〇〇　銀行問題研究會
嚴松堂編輯部編　產業統制法令集　㊐　二四九　五、八〇　嚴松堂
尾高朝雄　實定法秩序論　㊐　五九六　四、八〇　岩波書店
尾山万次郎　民事訴訟法考試提要　㊐　二五　一、二〇　天泉社
大谷美隆　指導政治と日本法　㊐　六　三五　日本法理研究會
支那現行法律體系　㊐　一八三　二、〇〇　大同印書館

オットー・フランケ　清水金二郎譯　支那土地制度論　㊐　二〇六　二、〇〇　教育圖書株式會社
河合馬綱譯　支那法の根本問題　㊐　四五四　四、五〇　教育圖書株式會社
仁井田陞　支那身分法史　㊐　九七七　一五、〇〇　東方文化學院
司法保護事業法規類纂　㊐　九〇四　—　司法保護研究所
後藤　清　借地法・借家法の主要問題　㊐　三〇三　二、八〇　日本評論社
東京衆議院議員選舉關係規　昭和書籍編　法令例規　㊐　九〇　一、一〇　昭和書籍
重要機械製造事業法と其の施行法規の詳解　統制法令解說叢書第四輯　重要機械製造事業法解說　㊐　三五二　二、一〇　新經濟社
森　眷夫編　重要機械製造事業法と其の施行法規の詳解　統制法令解說叢書第四輯　重要機械製造事業法解說　㊐　三四七　二、一〇　三秀出版社
辻　喜作編　統制法令解說叢書第一輯　價格統制令實務問答　㊐　一四〇　一、八〇　銀行問題研究會
平井富三郎　統制法令解說叢書第四輯　重要物資管理實務問答　㊐　三二六　一、一〇　新經濟社
稚澤　盛一　改訂　商行爲法　㊐　三二六　三、〇〇　嚴松堂
福本　誠一　商工業者必讀　企業許可令について　㊐　四〇　一〇　紙業出版社
田中　誠二　商業學講義全集　商法　㊐　四六一　四、一〇　千倉書房
島谷　英郎　商法講義上　㊐　二九〇　三、三〇　金文堂書店
津田　利治　商法總論附手形法　㊐　三〇一　二、三〇　金文堂書店
佐藤　義雄　商法入門　㊐　四一〇　二、一〇　同文館

勝　正憲　所得稅法及法人稅　㊐　五〇三　三、三〇　千倉書房
三省堂編輯所　新六法全書　參照條文及事項索引附　㊐　一八八　五、〇〇　三省堂
滿洲帝國六法（日文）　附滿洲帝國六法索引　㊐　七二〇　一、八〇　滿洲司法協會大阪出張部
辻　喜作編　新稅法解說　昭和十七年二月改正　㊐　二六〇　一、八〇　銀行問題研究會
岩崎　博編　新稅法早わかり　昭和十七年二月改正　改正條文附　㊐　二九五　三、五〇　銀行信託社
岩崎　博編　新稅法早わかり　昭和十六年十二月改正　㊐　三〇三　三、〇〇　銀行信託社
新經濟社　大六法全書追錄（一）　綜合索引附　㊐　六一三　四、八〇　法文社
磯谷幸次郎林欽修補　三秀出版社　㊐　二〇九　一、八〇　嚴松堂
銀行問題研究會　新訂民法通論總則篇　㊐　二〇九　荒木獨逸經濟研究所
荒木　時次　新獨逸經濟法令全譯　㊐　五六五　—　ダイヤモンド社
荒木　時次編　新獨逸法令集　㊐　五〇七　七、〇〇　大阪實文館
中央經濟研究會　新日本銀行法解說　㊐　二八八　一、五〇　日本評論社
大隅健一郎佐伯千仭　新法學の課題　新法律學全書18　國防經濟と法秩序　㊐　三五二　二、三〇　三笠書房
吉川大二郎　强制執行法　新法律學全書14　㊐　三八八　三、〇〇　三笠書房
竹田　直平　刑事訴訟法　新法律學全書13　㊐　三三一　三、〇〇　三笠書房
江家　義男　刑法改訂版　㊐　二九六　三、〇〇　三笠書房
大渕國仁右衞門　國際法　㊐　二九五　二、八〇　三笠書房

寺尾　元彦　商法總則・商行爲法（新法律學全書）　図　二七四　一、八〇　三笠書房
大濱　信泉　手形法・小切手法（新法律學全書10）　図　二六六　一、八〇　三笠書房
金澤　理康　日本法制史（新法律學全書9）　図　二五九　一、八〇　三笠書房
小野木　常　破產法（和議法・非訟事件手續法）（新法律學全書2）　図　二三三　一、八〇　三笠書房
林　信雄　民法總則（昭和十七年）　図　二三五　一、八〇　三笠書房
統制法會編　新法律の逐條詳解　会　五四七　四、〇〇　現行法規出版
尾山萬次郎　新有限會社法正解（實務家叢書）　図　三八九　二、〇〇　天泉社
田中耕太郎編　杉山教授還曆祝賀論文集　会　一〇一三　一〇、〇〇　岩波書店
渡部　光義　稅務代理士制度の解說　図　一〇七　八〇　三陽閣
佐藤　清勝　西洋法律學批判　会　三五四　四、〇〇　アジア青年社
伊藤　三郎編　纖維統制法令解說（纖維統制法令叢書第十一輯）　図　二四四　二、〇〇　銀行問題研究所
佐藤立夫譯　先驗的法哲學（チボール・ウアズ）　会　二五八　二、五〇　華風館書房
今井　二郎　統制法令解說叢書六　図　三三六　一、三〇　新經濟社
研二郎　戰時海運管理令解說　図　三三一　二、〇〇　敬文堂書店
野本　良平　戰時　外國爲替管理法令解說　図　三四一　七〇　日刊藥業時報社
武田信一郎　戰時　改正藥局方　図　一三〇　九〇　高橋成弘社
愛知縣經濟部編　戰時經濟關係法規加除綴（第六十八號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第六十九號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第七十號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第七十一號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第七十二號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第七十三號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第七十四號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第七十五號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第七十六號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第七十七號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第七十八號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第七十九號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第八十號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第八十一號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第八十二號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第八十三號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第八十四號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第八十五號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第八十六號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第八十七號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第八十八號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第八十九號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第九十號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第九十一號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第九十二號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第九十三號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第九十四號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第九十五號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第九十六號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第九十七號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第九十八號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第九十九號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百一號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百二號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百三號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百四號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百五號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百六號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百七號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百八號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百九號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百十號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百十一號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百十二號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百十三號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百十四號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百十五號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百十六號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百十七號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百十八號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百十九號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百二十號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百二十一號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百二十二號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百二十三號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百二十四號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百二十五號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百二十六號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百二十七號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百二十八號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百二十九號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百三十號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百三十一號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百三十二號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百三十三號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百三十四號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百三十五號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百三十六號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百三十七號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百三十八號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百三十九號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百四十號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百四十一號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百四十二號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百四十三號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百四十四號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百四十五號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百四十六號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百四十七號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百四十八號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百四十九號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百五十號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百五十一號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百五十二號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百五十三號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百五十四號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百五十五號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百五十六號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百五十七號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百五十八號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百五十九號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百六十號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百六十一號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百六十二號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百六十三號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百六十四號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百六十五號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百六十六號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百六十七號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百六十八號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百六十九號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百七十號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百七十一號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百七十二號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百七十三號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百七十四號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百七十五號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百七十六號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百七十七號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百七十八號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百七十九號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百八十號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百八十一號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百八十二號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百八十三號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百八十四號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百八十五號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百八十六號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百八十七號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百八十八號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百八十九號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百九十號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百九十一號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百九十二號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百九十三號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百九十四號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百九十五號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百九十六號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百九十七號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百九十八號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第百九十九號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百一號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百二號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百三號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百四號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百五號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百六號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百七號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百八號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百九號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百十號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百十一號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百十二號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百十三號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百十四號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百十五號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百十六號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百十七號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百十八號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百十九號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百二十號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百二十一號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百二十二號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百二十三號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百二十四號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百二十五號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百二十六號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百二十七號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百二十八號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百二十九號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百三十號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百三十一號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百三十二號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百三十三號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百三十四號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百三十五號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百三十六號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百三十七號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百三十八號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百三十九號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百四十號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百四十一號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百四十二號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百四十三號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百四十四號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百四十五號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百四十六號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百四十七號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百四十八號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百四十九號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百五十號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百五十一號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百五十二號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百五十三號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百五十四號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百五十五號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百五十六號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百五十七號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百五十八號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百五十九號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百六十號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百六十一號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百六十二號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百六十三號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百六十四號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百六十五號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百六十六號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百六十七號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百六十八號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百六十九號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百七十號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百七十一號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百七十二號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百七十三號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百七十四號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百七十五號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百七十六號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百七十七號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百七十八號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百七十九號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百八十號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百八十一號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百八十二號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百八十三號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百八十四號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百八十五號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百八十六號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百八十七號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百八十八號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百八十九號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百九十號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百九十一號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百九十二號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百九十三號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百九十四號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百九十五號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百九十六號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百九十七號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百九十八號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第二百九十九號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第三百號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第三百一號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第三百二號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第三百三號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第三百四號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第三百五號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第三百六號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第三百七號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第三百八號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第三百九號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第三百十號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第三百十一號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第三百十二號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第三百十三號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第三百十四號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第三百十五號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第三百十六號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第三百十七號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第三百十八號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第三百十九號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第三百二十號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第三百二十一號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第三百二十二號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第三百二十三號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第三百二十四號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第三百二十五號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第三百二十六號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第三百二十七號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第三百二十八號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第三百二十九號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第三百三十號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第三百三十一號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第三百三十二號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第三百三十三號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第三百三十四號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第三百三十五號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第三百三十六號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第三百三十七號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第三百三十八號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第三百三十九號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第三百四十號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第三百四十一號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第三百四十二號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第三百四十三號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第三百四十四號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第三百四十五號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第三百四十六號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第三百四十七號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第三百四十八號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第三百四十九號）　図　三九四　九九　高橋成弘社
愛知縣經濟部商工課編　戰時經濟關係法規加除綴（第三百五十號）　図　三九四　九九

中華民國法制研究會　中華民國民法（總則）　法　元二　三、〇〇　有斐閣
松華堂編輯部　朝鮮事務全書　二冊揃　法　二〇一二　五、〇〇　松華堂
小野木常　調停法概說　法　三八　三、三〇　有斐閣
扇永亮三編　調定法規　附　三五〇　三、三五　出版部
宮崎澄夫　調停法の理論と實際　法　二五五　二、八〇　東洋書館
三島弘　帝國憲法を紛更するもの　民　七　—　精神科學研究所
里見岸雄　帝國憲法概論　法　一五〇　六、〇〇　立命館出版部
（即濱昌勝監修　大津一六編）　帝國六法全書　附　九六〇　一、一〇　中文館書店
奥平欽雄編　（憲法第三十條人電氣工作物規程註解）　民　二八　三、三五　泰光堂
西原寛一　手形交換法論　法　三三三　三、三五　岩波書店
商工經濟研究會編　統制物資強制買上要綱　法　一〇六　一、〇〇　大同書院
伊藤由三郎　統制法令書　昭和十七年版　附　一四三　三、八〇　銀行問題研究會
統制法令研究會編　統制法令全書　昭和十七年版　附　二一四七　五、三五　教育圖書株式會社
統制法令研究會編　統制法全書第一補遺版　昭和十七年版　附　二三三　一、一〇　教育圖書株式會社
小山松吉　英文　德川幕府の法制　法　三三　三、八〇　日本文化中央聯盟
三根榮太　特許法原論　法　三三　六、〇〇　六盟館

小船清　農業生產統制令概說　民　三五三　三、〇〇　週刊產業社
久保田貞藏　農地國家管理法案の批判　民　三〇　一　精神科學研究所
神野磯部靖（益三郎編輯）　判例體系　刑事訴訟法　下　附　一〇七　九、〇〇　啓法會
（刑訟第四條ノ證明及效果）　判例通記に依據せる刑事訴訟法　附　一〇七　一、一〇　啓法會
柳桑太郎　白地手形論　民　一三二　一、一〇　中行館
（刑訟第四條ノ證明及效果）　判例通記に依據せる刑事訴訟法　附　一〇七　一、一〇　啓法會
書文學會編　破產法要覽並模範解答　附　二四三　一、五〇　蕭水書店
法律研究會編　法律學全書　破產法解說　下卷　民　二七　一、一〇　啓法會
末川博　判例民法の理論的研究　第一卷　附　四五四　四、五〇　日本評論社
臺北比較法學會編　比較婚姻法　第二部　附　一〇七四　一〇、〇〇　岩波書店
日本佛語法曹會編　比較法雜誌（二）　法　二四八　三、五〇　岩波書店
山本登美雄編　非常時經濟法令集　法　二〇六七　八、五〇　日本寧素肥料懇話會
（滿鐵東亞經濟調査局）　ビルマ佛教徒と慣習法　法　三三三　三、〇〇　滿鐵東亞經濟調査局
太田廉平　費用海損論　商　八五五　七、八〇　文雅堂
淺井清信　新法律學全書　權　法　二八三　一、八〇　三笠書房
辻喜作編　物資統制令解說　附　二五〇　二、八〇　銀行問題研究會
ゾーム著　久保正幡・石川義吉共譯　ドイツ史への序說　フランク法とローマ法　民　一七五　一、五〇　岩波書店
大東亞國際法叢書2　松下正壽著　大東亞新秩序の國際法　その基礎理念　法　一二〇　一、五〇　有斐閣

法學通論　法　一七〇　二、〇〇　マンザイ社
福田義郎編　防空關係法規集　附　二九五　六〇　新光閣
齋藤常三郎　日本破產法講義　全　法　三三〇　二、八〇　船場書店
小野清一郎　日本法學の樹立　附東亞新秩序建設　民　二七　一　日本法理研究會
細川亀市　日本法理叢書第一卷　日本法制史上より觀たる團體法　民　九七　五、五〇　日本法理研究會
菊池勇夫　日本勞動立法發展　社會・經濟法論集　第二卷　法　三五六　四、八〇　有斐閣
大阪株式取引所調査課編　取引所法規及判例　法　三五〇　三、〇〇　有斐閣
世界經濟調査會　ナチス戰時經濟法の展開　法　三五二　四、〇〇　世界經濟調査會
早稻田大學東亞法制研究所編　ナチス民法學の精神　法　三三七　三、三〇　岩波書店
二六〇二年立法の動向　第二輯　法　三三三　二、三〇　巖松堂
日銀法改革の思想的背景　民　一四　—　精神科學研究所
大石義雄　日本經濟統制法論　法　三三二　二、三五　叢文閣
佐々波與佐次郎　日本檢察法論　中卷　法　八五五　八、〇〇　有斐閣
石田文次郎他　日本國家科學大系　法　三五〇　三、三五　實業之日本社
細井亀市　日本法理叢書02　日本法理上の担害賠償制度（発約一冊）　民　八三　三五　日本法理研究會
淺井清信　日本債權法總論　法　三一〇　三、〇〇　立命館出版部
中川善之助　昭和十七年　日本親族法　民　三五八　五、三五　日本評論社
（日本法理叢書03　日本法理上の担害賠償制度）
（早稻田大學東亞法制研究所編）
業師寺志光　日本親族法論　下卷　法　八六五　六、三五　南郊社
齋藤常三郎　日本破產法講義　全　法　三三〇　二、八〇　船場書店
小野清一郎　日本法學の樹立　附東亞新秩序建設　民　二七　一　日本法理研究會
細川亀市　日本法理叢書01　日本法制史上より觀たる團體法　民　九七　五、五〇　日本法理研究會
日本勞動立法發展　社會・經濟法論集　第二卷　法　三五六　四、八〇　有斐閣

野村　貞信　滿洲會社法と實際事務　㊧　六六六　一、八〇　大同書院
大畑　正吉　滿洲開拓民の指針　開拓農場法の解說　㊨　一二四　一、三〇　大同書院
滿洲司法協會編纂　滿洲國基本法　模範解答全集（日文）　㊨　三六　三、〇〇　大同書院
柚木　馨　滿洲國民法總論（2）　㊧　一八〇　一、八〇　有斐閣
松木　太郎　滿洲手形法小切手法上　㊧　一六六　一、七〇　大學書房
石田文次郎　岩井　嘉龜　滿洲民法（債權各論）　㊧　二六六　三、〇〇　有斐閣
柚木　馨　滿洲民法讀本　㊧　二四一　二、〇〇　滿洲有斐閣
中村　宗雄　民事訴訟法　人事訴訟法　㊨　三〇〇　一、八〇　三笠書房
廣濱　嘉雄　民法總論　新法學講話　4　㊨　三三　一、三〇　ダイヤモンド社
末川　博　民法及び統制法の諸問題　㊧　四一〇　四、〇〇　岩波書店
我妻　榮編　民法教材（6）親族法　㊧　四二一　二、〇〇　岩波書店
林　毅　民法實習の基礎知識　㊨　三八　二、六〇　育成洞
吾妻　光俊　民法總論　第一分冊　總說・人・物　㊧　二七　九〇　巖松堂
三省堂編　模範六法　昭和十七年度版　㊧　二〇四　二、三〇　三省堂
商工經營研究會編　問答式企業整備令の解說　㊧　四三四　一、八〇　大同書院
商工經營研究會編　問答式企業許可令の解說　㊧　四三四　一、〇〇　大同書院
大阪國民職業指導所編　勞務統制法規總攬　㊨　六七　四、二〇　大同書院
平凡社部編輯　六法全書　昭和十七年版增補改版　㊧　一〇三八　三、二〇　平凡社
末川　博編　六法全書　㊧　八〇八　三、二〇　岩波書店
商工經營研究會編　解り易い稅法問答　附　改正稅制一覽表　㊨　三五　二、六〇　育成洞
小町谷操三　CODE DE COMMERCE de L' EMPIRE DU JAPON　㊧　四三六　九〇　嚴松堂
青山　道夫　Sir Henry Slesser The Law of the Constitution 譯　㊧　一七　一、〇〇　三省堂
農井　新一　Le régime de la Constitution japonaise　㊧　四二〇　三、〇〇　有斐閣

(4) 國防・軍事

ケンダル・バレンコンプ著　見一郎譯　アメリカ艦隊の裏表　㊨　三九一　一、八〇　大新社
增永　進　アメリカの焦躁　付米國の損失　㊨　三一一　一、三五　大新社
中島　肇　アメリカの戰略とその全貌　㊨　三〇六　二、〇〇　研文書院
東亞經濟文化研究叢書　花田鐵太郎　アメリカの太平洋作戰　㊨　三六六　一、〇〇　東邦書院
宮　慶治　アメリカの對日謀略史　㊨　三二　一〇　大東亞社
岩田　岩二　アメリカの反擊と戰略　大東亞戰爭と敵の動向　アメリカはどう出るか　㊨　三九　一、三五　三協社
望月　肇　アメリカ敗れたり　㊨　三二三　一、八〇　長谷川書房
小山　甲三　アメリカ敗れたり　㊨　三六六　一、三五　新正堂
佐藤正三譯　アメリカ敗れたり　㊨　三五二　一、八〇　小學館
仲小路　彰　一九三七年世界戰史Ⅱ　㊧　二六六　—　戰爭文化研究所
綜合印度研究室編　印度の抗戰力　㊧　三三三　二、二〇　東晃社
倉町　秋次　海の飛行兵上　訓練篇　アルス文化叢書23　㊨　八〇　一、一〇　アルス
倉町　秋次　海の飛行兵下　征空篇　アルス文化叢書29　㊨　九六　一、一〇　アルス
三浦新一郎　英米軍人氣質　㊨　三二　二〇　三光社
藝映畫社編術　海　驚異の前線基地　㊨　一一〇　一、三〇　東亞書林
今井精一編　海軍軍事學講座　㊨　一六四　七〇　英語通信社
永松　淺造　海軍航空隊　㊨　三七　一、八〇　東水社
澤　鑑之丞　海軍七十年史談　㊨　三〇五　三、〇〇　文政同志社
大島義昌編　海實務必携　㊨　三六　一、〇〇　大成社
山内丈一郎　大藏内田　海軍辭典　㊨　四九　三、〇〇　弘道館
尾崎主稅譯　A・T・ハント　海軍戰略　㊨　三八　一、八〇　興亞日本社
植村　茂夫　海軍魂　日本海軍はなぜ強いか　㊨　三六　一、三五　東水社
海軍兵學校　㊨　三〇　一、八〇　興亞日本社
一二三利高　改正軍隊符號ニ關スル要圖と寫景圖之書方　㊨　七三　九〇　尚兵館
尚兵館　勞務統制法　㊧　三七　二、四〇　東洋書館

大本營海軍報道部　海戰の精神　圖　二八五　一、二五
伊藤道一郎　各國軍用機識別圖表　圖　三　一、三五　日本國防協會
菅沼釣哉　アメリカ篇　學年短縮と兵役　圖　九七　二、三〇　青山出版社
高垣金三郎　國民兵召集について　陸軍機關學校兵科將校制度の解說　圖　二三五　一、七〇　紙硯社
齋藤市平　將校制度の解說　陸軍機關學校兵科將校制度の解說　圖　二三五　二、〇〇　國民政治經濟研究所
古塚正治抄譯　陸軍機關學校兵科將校制度の解說　圖　二三五　一、七〇　大學書林
鈴木三男譯　近代戰と僞裝　生產科學新書　圖　二五四　一、三〇　朝日新聞社
フォン・ボートリン　フォン・ロージング原著　空軍・空戰論　圖　二六〇　二、三〇　日本評論社
小田弘譯　空襲と防空必勝　圖　四三　一、三五　日本評論社
服部彌二郎　空爆と防空壕　圖　三三五　一、八〇　東晃社
淺田常三郎　國を守る科學　圖　二五八　一、三五　高山書院
大江專一　苦悶のアメリカ　圖　三六　二、〇〇　有光社
坂部護郎　國防科學叢書12　クラウゼヴィッツの兵學よ　圖　二七七　一、九〇　ダイヤモンド社
鈴木素流　九六式輕機關銃取扱の要領　圖　三〇三　日本兵書出版株式會社
松下芳男　軍事史物語　圖　三三五　一、八〇　國民圖書協會出版部
軍人會館　軍事（年鑑）　圖　二八六　一、三五　軍人會館
「軍政論」の橫行を注意せよ　圖　一五　—　精神科學研究所

瀧澤正勝　軍隊講義　上卷　圖　三六　一、四五　六藝社
白根孝之　軍隊・戰爭・國民組織　圖　三七　一、三五　福村書店
宮井佳夫　軍馬と火戰　圖　三五　二、〇〇　朝日新聞社
三島助治　軍部の目標　圖　二六六　一、七〇　尙兵館
武田忠哉譯　決戰迫る歐洲戰局　圖　八一　二、〇〇　建築科學社
甲斐靜馬　政治全書一　現代戰爭論　圖　三三七　三、〇〇　東和出版社
新津專吉　カウカサス石油から見る獨ソ戰　圖　空三　—　圖書研究社
朝日新聞社編　航空母艦　圖　九一　一、八〇　東晃社
永村清　航空母艦　圖　九二　一、三五　高山書院
沼館一郎　濠洲の抗戰能力　圖　六九　二、〇〇　有光社
柴田武福　國際謀略の話　圖　二四六　二、四〇　ダイヤモンド社
伊藤政之助　國防戰爭史　圖　二四一　一、八〇　日本兵書出版株式會社
平出英夫　護國の神　特別攻撃隊　圖　一三五　一、〇〇　國民圖書協會出版部
國家總力戰の戰略　エマスエル・モーラングェッ木暮貞夫譯　圖　二五九　二、八〇　軍人會館
作戰　萬理一貫　圖　二八　八〇　精神科學研究所

齋藤市平　作戰要務令第二部　圖　一八三　二、三〇　尙兵館
赤城千代司　攻撃ノ圖解ト說明　圖　一〇六　一、三五　統正社
齋藤市平　作戰要務令第二部　圖解ト說明　圖　一〇六　二、〇〇　尙兵館
赤城千代司　地獄への參戰　シュー・エス・ジョンソン　觀野時一・植田英譯　圖　三一〇　一、五〇　國民新聞社
石井作次郎　アメリカの觀戰武官　實際的防空指導　圖　四三四　二、八〇　堀書店
山口徹　實話　防空訓　新體制版　圖　一四五　三、〇〇　森電三藏修
讀賣新聞社編輯局編　支那事變實記（一）（二）（三）　圖　各三〇〇　各七〇　非凡閣
吉田精顯　射擊讀本　圖　三三　一、〇〇　春陽堂
古賀清志　才部隊勤務　陸軍部隊勤務指針　圖　一〇一　一、〇〇　東令書林
朝日新聞社　寫眞・珊瑚海々戰　畫　二枚　一、五〇　朝日新聞社
蔣介石は　いつ迄戰ふか？　圖　三三　一〇　東京情報社
城北散史　昭南島と印度の重大性　英米勢力の根據地覆滅の爲　圖　三三　一、〇〇　東京情報社
楓金之助編　勝利の記錄　昭和十六年十二月八日　南方共榮圏建設開始の日　圖　三三五　一、〇〇　國民新聞社
增永遙　大東亞戰爭　昭和十七年度　圖　二九三　一、五〇　研進社
鈴木素流　兵必携　圖　一四四　一、五〇　日本兵書出版株式會社
武揚堂編輯部　初級軍隊指揮の參考　初級幹部講習用　圖　五九三　四、〇〇　武揚堂
干城堂編輯部　步兵操典詳說　一　圖　三八　二、五〇　干城堂

前田岩太郎編　初級戰術　第一卷　圖　三五　二、五〇　干城堂
室賀信夫　シンガポール　圖　七四　三〇　朝日新聞社
シンガポールを衝く　圖　四六　三〇　大東亞社
シンガポールと大南方策戰　圖　二六六　一、五〇　興亞書局
內燃機關圖解編輯部　新陸軍讀本　圖　三八　一、五〇　高山書院
武田謙二　內燃機關圖解　昭和十七年版　圖　四二六　五、五〇　山海堂
琢磨研究所　陸上戰術研究　圖　三三　二、五〇　琢磨社
沼館一郎　スエズ攻略戰　圖　空三　三〇　神榮館
大本營海軍報道部　スラバヤ　バタビヤ沖海戰　圖　一九七　一、〇〇　文藝春秋社
松島慶三　制海萬里　圖　二六九　一、五〇　弘道館
伊藤金次郎　世紀の決戰　圖　二〇二　七〇　昭和書房
大日本興亞同盟　大日本興亞戰五周年　圖　二七七　—　大日本興亞同盟
矢儀萬喜多　青年日露戰史　圖　三三三　二、〇〇　增進社
伊藤政之助　西洋近代戰史　國防科學叢書7　圖　二六六　一、九〇　ダイヤモンド社
齋藤忠　世界維新戰論　圖　四七　二、八〇　第一公論社
梶山勳　世界を制覇する帝國海軍　圖　三九　二、五〇　新日本短歌社

石原　莞爾　世界最終戰論　圓　二七
中山　龍次　戰爭と電氣通信　圓　二九
歐亞通信社編　通則化する大戰　圓　三九
仲小路　彰　一九三七年（一）　八一
仲小路　彰　一九三七年（二）　九二
大澤吉五郎　世界戰爭の現段階　四
ロード・ジョーンズ外　西山　實共譯　世界大戰回顧錄（第一部）　圓　一〇〇
中柴　末純　世界大戰史　圓　八八
渡邊　鎭藏　世界大戰と船舶戰　一九
四王天延孝　世界大戰の性格　三
今泉　定助　我國防の本義　圓　一九四
多賀　宗之　世界の恐威　日本軍　圓　一四四
岸川　益一　大東亞世界の日を開く戰爭史　圓　一四四
航空朝日編　世界の翼　昭和十七年　大東亞戰版　九六
佐藤　堅司　世界兵法史　西洋篇　圓　三七
日暮時郎編　世界優秀飛行機總覽　附　航空母艦　圓　一八
平櫛　孝　戰果の陰に　圓　二五三

平田　英夫　戰局漫話　米英艦隊擊滅　圓　四二
永田　鐵山譯　戰時の鱷　圓　三六
引間　功　戰時防諜と　秘密戰の全貌　圓　二四
梅津　勝夫　戰車　圓　一〇五
猪間　駿三　戰車　圓　六八
福田　一郎　潛水艦　圓　三四
伊藤政之助　戰爭史（世界現代篇）（一）　圓　二五八
佐田弘治郎　戰爭政略論　圓　八五
安藤　一郎　ルーズヴェルト　圓　三五
西澤勇志智　戰爭と開發への科學　圓　四五
法貴　三郎　戰爭と思想動員　圓　六四
石川　榮耀　戰爭と都市　圓　二四
三好　貞雄　戰爭の責任は　ルーズヴエルトに有り　圓　四八
加田　哲二　戰爭本質論　圓　五三
戰爭論要綱　普及版　圓　三五

新正堂　一、三〇
電氣通信協會　一、三〇
歐亞通信社　三、〇〇
戰爭文化研究所　三、三五
世界創造社　三、三五
國際事情研究會　三、五〇
改造社　三、八〇
ダイヤモンド社　三、三五
渡邊經濟研究所　一、三〇
思想國防協會　一、三〇
會通社　一、三〇
積善館　一、八〇
朝日新聞社　一、八〇
大東出版社　三、八〇
山海堂　三、八〇
越後屋書房　一、三五

興亞日本社　八〇
東晃社　一、八〇
東京大同印書館　一、八〇
アルス　一、三〇
山海堂　二、〇〇
河出書房　一、三〇
戰爭史刊行會　三、〇〇
國際日本協會　三、三〇
朝日新聞社　二、五〇
青年書房　二、三〇
日新書院　一、二〇
高田書院　一、三〇
日本電報通信社　一、八〇
大民社　三〇
慶應書房　六、〇〇
同文館　二、三〇

舟橋　茂　戰鬪原則と其の應用　圖　二六八
伊藤政之助　戰略と戰術　圓　二八〇
松尾　樹明　戰略と戰術　日本海大海戰と　マレー沖海戰　圓　八五
佐々木一雄　壯丁兵器科學讀本（一）　圖　三六
佐々木一雄　壯丁兵器科學讀本（二）　圖　三五
A・F・マーエッ　岡　防衛研究會譯　對英封鎖論　圖　四八
陸軍省　第五の恐怖　暴かれた英國機密室　圓　八一
報道部編　大東亞海上決戰　圓　九六
田口　利介　大東亞決戰の書　圓　三三
鳥　信治　大東亞建設畫報　圖　六四
東方社編輯　大東亞建設畫報　亞細亞の勝り　帝國海軍　圖　六四
中本　誓完　大東亞戰に於ける米英兩國の侵略通商破壞の實相　圖　三九
生出　幸夫　大東亞戰感狀集　圓　二四
文化奉公會　大東亞戰下の支那事變　圓　二三
大東亞戰史　圓　四四
鈴木　久　大東亞戰史　圓　二〇〇
神谷　睦夫　大東亞戰捷記　大本營公表　第一輯　圓　二四五

中井良太郎　史考　大東亞戰爭　圓　三三
加藤　重雄　大東亞戰爭かく勝てり　圓　三〇四
朝日新聞社編　大東亞戰爭輝く戰果（二）　（戰圖用寫眞）　圖　四枚
朝日新聞社編　大東亞戰爭　輝く戰果　（戰圖用寫眞）　圖　四枚
精神科學研究所　大東亞戰爭下の思想戰略草案（一）（二）　圖　一四
精神科學研究所　大東亞戰爭下の思想戰略草案（三）　圖　一四
酒井　圭一　百本佐矢郎　大東亞戰爭記錄　一輯　圓　四九五
英文大阪毎日學藝部特輯編　大東亞戰爭記錄畫報　圖　二〇〇
佐藤識也編　大東亞戰爭事典　圖　二四
情報局記者會編　大東亞戰爭事典　圓　四九五
大川　清　大東亞戰爭常識讀本　圓　三五六
原田杏太郎　勝利の記錄　大東亞戰爭　圓　三七〇
永松　淺造　大東亞戰爭　勝利の記錄　圓　一三
高井一郎編　大東亞戰爭　新語早わかり　圖　五九
北新報社編　大東亞戰爭戰況解說　シンガポール陷落迄　大東亞戰爭　宣戰布告と開戰理由　圓　二四
武藤　秋月　大東亞戰爭戰況解說　シンガポール陷落迄　大東亞戰爭　宣戰布告と開戰理由　圓　二六

一、三〇　成武堂
二、〇〇　皇國青年教育協會
二、〇〇　忠誠堂
一、三〇　若櫻書房
一、三〇　若櫻書房
三、三五　中央公論社
三〇　春陽堂
一、三五　遠藤書店
一、三〇　新興亞社
一、八〇　日本電報通信社出版部
—　佛の道　傳の道　社
一、三五　教育研究會
—　モダン日本社
二、九〇　廣文堂書店
一、二〇　三明書房
一、三五　川瀨書店

一、〇〇　二見書房
一、三五　遠藤書店
三〇　朝日新聞社
三　朝日新聞社
四枚　精神科學研究所
—　精神科學研究所
—　精神科學研究所
三、八〇　新光閣
一、三五　大阪出版社
三〇　八光社
二、〇〇　新興亞社
一、三五　三崎書房
二、三〇　新紀元社
八〇　明正堂
一、三五　新正堂
八〇　河北新報社
四〇　金龍堂書店

同盟通信社出版部編　大東亞戰爭（第一輯ハワイ海戰・マレー沖海戰）　圖　七
大本營海軍報道部　大東亞戰爭と帝國海軍　圖　二六六
朝日新聞社調査部編　大東亞戰爭展望（一）　圖　八〇
朝日新聞社調査部編　大東亞戰爭展望（二）　圖　二五
文公會編　大東亞戰爭と支那事變　圖　一五一
人文社編輯部編　大東亞戰爭と半島　圖　一八七
伊藤由三郎　大東亞戰爭日記　圖　二三三
水野・正次　大東亞戰爭の思想戰略　圖　二三〇
大串兎代夫　ラヂオ新書 大東亞戰爭の世界的意義　圖　二六
長谷川渕　大東亞戰爭の本義　圖　六七
陸軍美術協會編　大東亞戰爭便覽　圖　一六
大本營海軍報道部藏版　大東亞戰爭要圖　圖　一
六藝社編　大東亞戰日誌　第一輯　圖　二五八
六藝社編　大東亞戰日誌　第二輯　圖　二三四
作田　莊一　大東亞戰の意義　圖　七五

德田　獲　大東亞戰の本質と戰局の前途　圖　六〇
新田　直藏　第二戰線結成苦悶　圖　一
中外商業新報政治部編　第二次世界大戰事典　圖　二六二
高橋光壽外　大日本戰史（陸軍の部）　圖　二九六
望月衞譯編　第二ドイツ戰爭心理學（將校の書翰と其の文化的意義）　圖　二五六
杉本　健　太平洋海軍問答　圖　二三
木次　利夫　大平洋上不滅の戰果　圖　六一
篠田　孝一　遥しき鄉軍　圖　四二
杉原　三郎　戰の責任者は誰かされはルーズヴエルトなり　圖　六三
市民防空研究會編　戰ふ隣組防空陣　圖　七
新東亞協會編　多田國務大臣演説集 將來戰と科學新兵器　圖　一五
伊太利大使館　地中海制覇戰　外　圖　六八
宇澤　基吾　千早作戰論　圖　一三
池崎　忠孝　長期戰必勝　圖　三四
帝國海軍沈默二十年の苦鬪史　圖　六二
帝國在鄉軍人會本部　帝國在鄉軍人會會令・規程・會則　圖　二六

大日本翼賛壯年團本部　大日本翼賛壯年團會報　圖　一五
關稅研究所　關稅研究　會　一
科學主義工業社　科學主義工業　一八〇
三敎書院　三敎書院　約六冊　二九六
中川書房　中川書房　一八〇
朝日新聞社　朝日新聞社　三
鳥根翼賛會支部　鳥根翼賛會支部　一
經濟書籍合資會社　經濟書籍合資會社　一五
日本產業報國會　日本產業報國會　三
東京講演會　東京講演會　三
新潮社　新潮社　一八〇
東亞時代協會　東亞時代協會　三五
軍人會館圖書部　軍人會館圖書部　一六

帝國在鄉軍人會　帝國在鄉軍人會軍事教育指針　圖　二
田部　聖編　典範令用語解說（歩兵操典ノ部）　圖　三六
池田　昇　慶四郎編　獨逸海軍　圖　二〇
ドイツ海軍史　一九四一年版　圖　二三
ドイツ空軍　圖　三一
水野　正次　獨逸國防青年　圖　三三
田邊　平學　ドイツ國防空・科學國民生活　圖　四四
井上　鍾編　獨逸宣傳機關國家民族報告 モスクワへ第一報　圖　一一三
川端　勇男　獨逸宣傳中隊の組織と活躍　圖　三五
川端　勇男　獨逸宣傳中隊の組織と活躍　圖　三五
獨逸宣傳中隊の組織と活躍　圖　三五
獨逸の少年航空技術兵　圖　一四四
海野　稔　獨逸の占領地統治方式　圖　六三
ドイツ防空讀本　圖　一七九
木暮浪夫譯　ドイツ陸軍讀本　圖　三八
フオン・エスカ　木暮浪夫譯　クラス・メーナート　東亞に立ちて　外人記者の見たる日獨及太平洋　圖　三三
フロムホルト　農耕と行動・出澤　農耕と行動・出澤　燈火管制　圖　三五

軍人會館圖書部　兵書出版社　一、三五
日獨文化出版局　一、〇〇
岡倉書房　二、〇〇
肇書房　一、三五
清正堂書房　一、三五
相模書房　二、三五
番町書房　三、〇〇
スメル書房　一、四〇
スメル書房　一、三五
航空時代社　一、三〇
同盟通信社　三〇
春陽堂書店　一、三〇
高山書院　一、八〇
日本電報通信社　二、三〇
機械製作資料社　二、三五

前芝　確三　獨ソ泰季攻勢とソ聯内外情勢　圖　四六
舟橋　茂　獨ソ戰線二〇〇〇粁　圖　三三
日本興國會　怒濤の進擊七十日　圖　三〇
尚盟編　伊大使館編　トブルク戰について　圖　一五
伊大使館　金平太郎譯　ナチス戰爭論　圖　二四六
濱田　稔　ナチス獨逸の防空　圖　二八
歐亞通信社編　ナチスは斯く鬪ふ　圖　三
ナポレオン兵法會戰史ユリアスシイザア戰爭論　ナポレオン將軍マルシヤン將軍外山切三郎譯　肉彈シンガポール血戰史　陸軍戰記海軍戰記　圖　三五
杉谷　肇　日本評論家協會編　日・米英決戰の展開　圖　七
長谷川　了　日米開戰の眞相　圖　二五
御手洗辰雄　日米戰力の比較　圖　三
南平八郎編　日章旗南方に飜へり　圖　三七
城北　散史　日本海軍論　世界的建設と其の關係　圖　三
日本國家科學大系　國防論及世界新秩序論（外交篇）　會　三五〇
神川彥松他　日本國防思想史　圖　四七
松原　晃　日本國防思想史　圖　二、八〇

阜月會　一、二五
成武堂　一、二〇
山陽社　一、八〇
伊大使館　一
東邦書院　一、八〇
理化書院　一、三〇
歐亞通信社　一〇
葛城書店　二、〇〇
芳山房　一、三〇
元元書房　三〇
大日本出版株式會社　一、三〇
京城日報社　一〇
東京情報社　一〇
實業之日本社　三、三〇
天理時報社　二、八〇

齋藤　忠　日本戰爭宣言　圓　二九五　一、〇〇　春陽堂書店
寺田　彌吉　日本總力戰の研究　上　圓　六一〇　五、〇〇　日本電報通信社出版部
松尾　樹明　日本と世界大動亂　會　三〇二　一、八〇　高倉忠誠堂
城北　散史　日本陸軍論　使命意々重し　圓　三一　一〇　東京情報社
花田　鐵太郎　日本はどう攻めてくる　圓　九〇　六〇　東邦書院
小原　正忠　入營準備讀本　圓　二七六　一、一〇　良國民社
藤田　西湖　忍術からスパイ戰へ　圓　三八　一、三五　東水社
大山　敬太郎　農兵論　東洋堂叢書一　圓　三〇八　二、〇〇　東洋堂
榮田　眞三朗　撃ち方の話　青少年叢書　圓　二一〇　一、三五　增進堂
千葉　愛雄　ハワイ攻撃隊　圓　三三五　一、三五　興亞書房
原田　瓊生　反共十字軍　獨ソ戰の前相とその轉進　圓　三五三　二、〇〇　日出版協會
井澤　弘　反共世界戰爭　皇紀叢書　圓　二五三　一、八〇　亞細亞學會
石井　英太郎　比律賓獨立戰爭秘聞　會　六七　一　比律賓協會
大政翼贊會宣傳部　武器なき戰ひ　スパイは君を狙つてゐる　會　六三　一〇　翼贊圖書刊行會
田邊　平學　防火防彈　不燃都市の建設　會　三六　三五　東京市政調査會
松本　顯樹　米英を衝く　圓　二六一　一、八〇　實業社

防　課　論　圓　二六八　一、〇〇　三省堂
大井　勇三　陸軍認可勞務動員部認可　砲兵用計算尺教程　圓　一九一　三、〇〇　逸見製作所出版部
伊太利大使館　北阿戰線の重大性　圓　一三四　一　誠光社
齋藤　市平　補充兵の心得　會　一九八　三〇　尚兵館
國民兵　大東亞戰記　マレー戰線　圓　一八〇　一、三〇　河出書房
河出書房編　無敵・陸軍魂　圓　二九八　一、八〇　大新社
日比谷　興志雄　日本法理研究會　日本法理叢書別冊　明治初期の裁判を語る　圓　一七　一、三五　巖翠堂書店
三原　敏男　名將の謀略　會　三七　三、〇〇　軍事學指針
齋藤　市平　模範戰術作業の研究　圓　五六　一、三五　尚兵館
莊司　武夫　國防科學叢書17　兵器戰　圓　二九三　二、三〇　ダイヤモンド社
莊司　武夫　躍進する近代兵器　圓　一七三　七　文憲堂
高田　知一郎　青少年と共に　明治四十二年二月報知新聞連載　豫言大東亞戰爭　圓　二一三　一、七〇　靈水書房
昇曙夢　譯編　ソ聯邦民間航空本部　ソ聯邦防空化學協會　帝國防空協會　譯　露　二五三　三、二〇　東京堂
岩田　岩二　同盟國時局特輯　落下傘部隊　圓　二三四　一、三〇　三協社
佐藤　喜一郎　落下傘部隊　圓　二三　三〇　同盟通信社
軍人會館圖書部　昭和十七年版　陸海軍軍事年鑑　圓　三三一　一、五〇　軍人會館圖書部

大島　義昌　陸軍實務必携　露　二九六　一、〇〇　大成社
和田　龜治　陸軍　魂　圓　三一七　一、三五　東水社
野中　俊雄　陸軍落下傘部隊　圓　二六〇　一、七〇　童話春秋社
清閑寺　健　陸の少年兵　圓　二五七　一、三五　日本國防協會出版部
匠瑳　胤次　歷史は轉換す　Special attack Flotilla　露　二五　一、三〇　新東亞協會
芝　均平　列國軍用機性能識別一覽　會　二〇九　七、〇〇　ジヤパンタイムス
若き鐵獅子　少年戰車兵青少年と共に　圓　二七七　一、三五　日本兵書出版株式會社
佐藤　隆秀　大東亞戰記　わが將兵はかく戰へり　圓　二〇六　一、三五　文憲堂
松村　又一　われ等の新兵器　會　二八　一、三五　鬼澤書店
大場　彌平　われ等の日本陸軍　America Fights with Japan　圓　二九五　一、三五　大日本雄辯會講談社
小原　正忠　ホーマー・リー　日米戰は　Deutsche Feldzüge　圓　一二〇　一、三五　日本兵書出版株式會社
稻木　勝彥　編　（獨逸野戰軍叢書）　會　五　八〇　北星堂書店

(5) 社會

細谷　清　愛國茶殼　圓　二六　一、八〇　滿蒙社
鷹部屋福平　アルス文化叢書19　アイヌの生活文化　圓　八〇　一、三〇　アルス

三浦新一郎　米英軍人氣質　圓　二六　三〇　三光社
航空朝日編　米英軍用機識別圖說　圓　一八　三〇　朝日新聞社
陸海軍航空本部監修　讀賣新聞社編　米英軍用機識別表　圖・米英海軍現有勢力一覽表　一枚　三〇　讀賣新聞社
竹田　光次　米英の反撃と大東亞決戰　圓　二七　四〇　翼贊圖書刊行會
河原　萬吉　米英はいつまで戰へるか　圓　二五五　一、八〇　清水書房
井上　一次　兵學より見たる中川島の戰（日本精神文化叢書）　圓　二一〇　一、三五　日本出版社
前田河　廣一郎　米國戰爭史　圓　二四四　二、〇〇　有光社
東日大每編　米國太平洋艦隊全滅歷史的記錄寫眞　圖　八枚一組　三〇　東京日日大阪每日
山川　直夫　米國の對日反擊論　其の暴狀と計畫　圓　三　一〇　東京情報社
加藤　滿壽男　編　米國特派員の觀た敵國アメリカ　圓　二八三　一、三五　同盟通信社
北村　佳逸　兵法　孫子　國民科學叢書22　圓　二六三　二、〇〇　立命館出版部
難波　三十四　防空　圓　二三三　一、九〇　ダイヤモンド社
奧田　久司　防空化學　會　一七五　四、〇〇　河合商店
若杉吉五郎　河崎文珠太郎　防空科學の常識　テクトン　圓　二五五　一、三五　高山書院
碓井　憲一　防空の計畫　會　一八九　四、八〇　東光堂書店
田林　綱太　防空の知識と救護　圓　二五八　一、二五　博文館

生田　花世	明かるい人事調停	厚生省人口問題研究所編	図	二六四	一、三五
	アジアの諸民族		会	二七〇	一、三五
ハンス・ディトマー	新しきドイツの生活		図	三三一	一、三五
徳永　恵淳	危ない年ごろ		図	三〇八	一、三五
瀬川　清子	海女記	女性叢書	図	三五七	一、三〇
村上　正好	アメリカの現狀分析		図	三六八	二、三五
	經濟と社會				
蒲生　俊文	安全運動三十年		図	四四八	三、〇〇
	醫學生農村保健解剖	新興農村叢書3	図	二一〇	一、〇〇
T・L・ヘネル	印度紀行		図	一四八	一、〇〇
柳澤保篤譯					
南洋經濟研究所譯	印度支那勞働調査		会	四二一	四、二〇
竹内　雄	印度の分析		図	四九五	二、八〇
岡崎　文規	印度の民俗と生活		会	三四	三、三〇
吉田　實	印度ビ教育・植民政策		図	一八〇	一、三〇
ハロルド・バトラー	ルマの				
酒井　恭三譯	印度・マレー・東印度に於ける勞働問題		図	一七二	一、三五
下村　千秋	梅澤村と沖部落の更生記	村調査報告	図	二一〇	一、三五
鮎澤　巖	英國の勞働事情		図	八四	—
本多　靜六	決戰下の生活法		図	一五三	七〇
古野　清人	原始文化の探求		図	二四三	一、八〇
	現代印度の構成		会	四四四	三、〇〇
脇山康之助	現代印度の諸問題		会	三七	一、八〇
	普及版				
ノイラート	高山洋吉譯	現代社會生態圖說	会	三八	四、五〇
西垣　長隆	健民論集		図	一五八	一、三五
小西千比古	濠洲に於ける上水・下水・排水施設		会	三七	三五
岩崎　卯一	國家現象の社會的理解		会	一五四	一、八〇
厚生研究所編	國民醫療法と醫療團		図	二六九	一、八〇
厚生研究會	國民皆勞	戰時下の勞務動員	図	三六八	二、八〇
保科　胤	國民厚生運動		図	三三四	二、八〇
編田敬太郎	國民食糧		図	二六九	一、五〇
增田　抱村	國家と人口學説		会	二六五	四、二〇
柳田　國男	こども風土記		彩	一〇〇	一、六〇
樋原　平八	産業青少年新生活讀本		図	一九二	一、三〇
我妻　東策	士族授産史		会	七〇	一、〇〇〇
北岡　壽逸	失業問題研究		会	五九	五、七〇
未田　ます	兒童公園		図	二六六	一、五〇
米田祐太郎	支那一夕話		図	三五五	一、八〇
清水　盛光	支那家族の構造		会	五八	四、二〇
杉村　廣藏	支那・上海の經濟的諸相		図	六七	二、〇〇
山名　正孝	支那に於ける食糧問題		会	二五三	二、五〇
天野元之助	支那農村襍記		会	二六八	三、〇〇
米内山庸夫	支那の現實と理想		図	四一八	二、八〇
矢野　仁一	支那の社會と經濟	アジア歷史叢書2	図	二九二	二、八〇
西山　榮久	支那の人口と食糧問題		会	二九八	二、三〇
大塚令三編	支那の新生活運動		図	三〇一	二、五〇
齋藤榮三郎	支那の人的資源調査資料		会	二〇八	三、〇〇
諸橋　轍次	支那の文化と現代		図	二九三	二、五〇
東亞調査會編	支那の民族問題		図	三一四	一、五〇
朝日新聞社					
協和書房	支那貧窮問題研究		図	二九三	二、五〇
永尾　鐵造	支那民俗誌	錄約一冊	会	一〇〇九	八、〇〇
伊波　普猷	沖繩考		図	三五五	二、八〇
新井　英夫	改正國民體力法による體力檢査指針		会	二六六	二、〇〇
宇留野勝彌	開拓地の保健狀況	開拓農業叢書	図	二六五	二、〇〇
青山　道夫	家族と村落	現代生活評叢書	図	二七二	二、〇〇
戸田貞三	第二輯		会	二四八	二、八〇
鈴木榮太郎	各國人口增殖並に母子保健施設		会	二九九	三、五〇
屋代　周二					
瀨川　清子	もの	民俗選書	図	二九三	二、〇〇
加藤弘之	田畑忍解題	明治文化叢書	図	三三〇	三、〇〇
田畑忍解題	强者の權利の競爭				
蒲生　俊文	勤勞者の厚生施設	勞務叢書第四卷	図	一四三	一、〇〇
淺野　均一					
田崎　仁	勤勞青少年の指導	新世界觀叢書五	会	二六九	二、八〇
ゲルハルト栗原佑譯	勤勞の新理念		図	五二〇	四、〇〇
高橋　秀三	苦勞の平等		図	二九二	一、八〇
栗原　久作	警防團火災現場要務		図	九五	四〇
石田　博英	結婚新體制		図	四六	一、二〇
高野喜一郎					
安井　洋	結婚新道	人口問題資料第四十九輯	図	二六八	一、八〇
		結婚に關する諸問題			
伊波　普猷	沖繩考		図	三五五	二、八〇
新井　英夫	改正國民體力法による體力檢査指針		会	二六六	二、〇〇
宇留野勝彌	開拓地の保健狀況	開拓農業叢書	図	二六五	二、〇〇
青山　道夫	家族と村落	現代生活評叢書	図	二七二	二、〇〇
戸田貞三	第二輯		会	二四八	二、八〇
鈴木榮太郎	各國人口增殖並に母子保健施設		会	二九九	三、五〇
屋代　周二					
瀨川　清子	もの	民俗選書	図	二九三	二、〇〇
加藤弘之	田畑忍解題	明治文化叢書	図	三三〇	三、〇〇
田畑忍解題	强者の權利の競爭				
蒲生　俊文	勤勞者の厚生施設	勞務叢書第四卷	図	一四三	一、〇〇
淺野　均一					
田崎　仁	勤勞青少年の指導	新世界觀叢書五	会	二六九	二、八〇
ゲルハルト栗原佑譯	勤勞の新理念		図	五二〇	四、〇〇
高橋　秀三	苦勞の平等		図	二九二	一、八〇
栗原　久作	警防團火災現場要務		図	九五	四〇
石田　博英	結婚新體制		図	四六	一、二〇
高野喜一郎					
安井　洋	結婚新道	人口問題資料第四十九輯	図	二六八	一、八〇
		結婚に關する諸問題			
鶴　書房					
刀江書院					
大觀堂					
新踏社					
三國書房					
興亞書房					
奧工新聞社					
全國協同組合保健協會					
岡倉書房					
栗田書店					
神榮館					
千倉書房					
三享書房					
汎洋社					
翼贊圖書刊行會					
世界經濟調査會					
南山堂書店					
滿洲移住協會					
白揚社					
日光書院					
山雅房					
六人社					
日本評論社					
東山書院					
講談社					
栗田書店					
成史書院					
大日本警防協會					
青磁社					
廣文堂					
刀江書院					
有斐閣					
清水書房					
敎材社					
岩波書店					
岩波書店					
敎育圖書株式會社					
生活社					
今日の問題社					
目黑書店					
日光書院					
啟傷書房					
伊藤書店					
皇國青年敎育協會					
東日大每新聞社					
人文閣					
支那民族誌刊行會					

司法保護研究所　司法保護事業年鑑　㊥　八三四　五、〇〇
ハンス・フライヤー　社會學入門　㊥　三五六　三、〇〇
阿閉吉男・阿閉愛一郎譯
キンボール・ヤング　社會心理學入門　㊥　一七四　一、二〇
米林富男譯
大久保滿彥他　社會事業叢書（全六冊）　㊥　二八六　一、五〇
北岡壽逸　社會政策概論　㊥　四四六　四、二〇
河田嗣郎　社會組織社會政策　㊥　三三一　三、〇〇
重松俊明　社會の基本概念　㊥　四八　三、四〇
新明正道　社會本質論　㊥　四六　三、六〇
竹井十郎　ジャワの人口問題研究　㊥　三〇　一、八〇
若江得行　上海生活　㊥　三七七　一、八〇
牧村進・辻村泰男　傷痍軍人勞務輔導　㊥　三五六　三、五〇
中川吉庫編　少年愛護の道　㊥　四三　三、八〇
菊地俊諦　少年教護論　㊥　三六八　二、八〇
和田眞　少年犯罪及不良化の原因　㊥　三四　一、五〇
岩崎富久・御厨敏彥　消防の水利　㊥　二七　一、五〇
西牟田重雄編　職時社會問題叢書　業　論　㊥　四〇二　四、〇〇

司法保護協會　慶應書房　㊥　三八　二、〇〇
水野武夫　食糧增産の諸問題　㊥　三三　一、九〇
水野武夫　食糧問題の基礎概念　㊥　三八　一、三〇
知られざる軍隊　戰時下における婦人勤員　㊥　四二　二、〇〇
萬里閣
高野六郎　新結婚讀本　㊥　四八　三、五〇
春秋社
鈴木宗忠　新建設の理論　㊥　二四五　三、五〇
松柏館
有斐閣　㊥　二〇　一、三〇
寶文館
日光書院　㊥　一五　一、〇〇
常磐書房　㊥　一五　一、〇〇
日本評論社　㊥　四〇　二、〇〇
弘文堂書房　㊥　四〇　二、五〇
南方圈研究會　㊥　一五　一、〇〇
講談社　㊥　一五　一、〇〇
東洋書館　㊥　三五　二、五〇
天理時報社　㊥　三　二〇
成美堂書店　㊥　八〇　二、〇〇
司法保護研究所　㊥　一五　一、〇〇
河出書房　㊥　一五　一、〇〇
大同印書館　四、〇〇

東京銀行集會所　木村昇　大東亞戰下の食糧對策と食糧問題　㊥　三三　一、九〇
大道書房　最上遜一郎　大東亞戰爭とジャパン・タイムス　㊥　四九　一、〇〇
日本電報通信社出版部　助川啓四郎　大東亞戰爭の展開と農村問題　㊥　二三五　一、五〇
富山房　楊井克巳譯　太平洋諸島の勞働事情　㊥　三六八　二、三〇
東日大每新聞社　勝又憲治郎　大陸民俗の風韻　㊥　三五五　二、三〇
大同書院　大形太郎　高砂族　㊥　三六六　三、〇〇
翼贊圖書刊行會　丸山義二　安東牧一　拓士の生活　㊥　九七七　一、八〇
高山書院　田中武夫編　拓民の血を訪ねて　㊥　三五五　二、三〇
同文館　石井良一　戰ふ國の生活　㊥　三五〇　二、三〇
國策研究所　古瀨傳藏編　戰ふ農村婦人　報告書第一回　㊥　二九六　二、〇〇
中央公論社　新居格編　男性論　㊥　三〇三　二、〇〇
僧成社　上泉秀信　地方と文化　㊥　三七七　一、八〇
刀江書院　田島泰平譯　中國封建社會上　㊥　三三五　二、八〇
六盟館　小竹武夫譯　中國封建社會下　㊥　一九九　一、八〇
國策聯盟　谷村勇　中小商工業者と南方發展の構想　㊥　一七八　一、〇〇
六盟館

同盟通信社　ジャパンタイムス社　農村讀本　㊥　一三三　一、二〇
世界經濟調査會　㊥　一九六　一、四〇
東榮社　㊥　一六四　一、三〇
新紘社　㊥　一六三　一、三〇
成武堂　㊥　一九　一、〇〇
同文館　㊥　三八　一、三〇
萬里閣　㊥　一四一　二、〇〇
春秋社松柏館　㊥　一四八　二、三〇
寶文館　㊥　二四五　三、五〇
東洋經濟新報社　㊥　三　二〇
三笠書房　㊥　一八　一、〇〇
實業之日本社　㊥　二〇八　二、〇〇
マネジメント社　㊥　一二三　一、三〇
金星堂　㊥　一八　一、〇〇
人文閣　㊥　一三五　一、五〇
人文閣　㊥　一四九　一、五〇
主婦之友社　㊥　一三　一、〇〇
集文館　㊥　一三五　一、五〇
昭和書房　㊥　一八　一、〇〇
高山書院　㊥　一七五　一、七〇
生活社　㊥　一八　一、三〇
生活社　㊥　一七　一、三〇
金城書房　㊥　一五　一、〇〇

原口密司　戰時下の社會政策　㊥　四四　一、九〇
刑務協會・司法保護事業研究所編　刑務協會と保護事業　戰時下の少年犯罪とその防止　㊥　三八　一、三〇
ゴットホールト・ミュールナー　ドイツ戰時經濟双書の一　戰時經濟下の人口問題　㊥　一〇三　二、五〇
本位田祥男譯
森耕二郎　新經濟體制叢書の一　戰時社會政策　上卷　㊥　二〇八　二、五〇
大每新聞社編　戰時食糧問題研究　㊥　三九　一、五〇
吉野周藏　戰時生活を語る　㊥　一九　一、〇〇
森崎善一　戰時生活の建設　㊥　一〇五　二、五〇
栗栖寺男編　戰爭と國民動員　㊥　二六六　二、五〇
鄕菊之助　戰爭と人口問題　㊥　三七　一、五〇
國策研究所　戰爭と人口問題　㊥　二〇三　二、五〇
戶澤鐵彥　宣傳概論　㊥　二五　一、五〇
書原兵治　素朴なるもの　㊥　二六四　二、五〇
人口問題研究會編　人口問題講演集　第十四・人口問題講演集　㊥　一〇四　二、五〇
常岡悟郎　タイの文化　㊥　二三五　二、五〇
井野碩哉　大東亞共榮圈に於ける共榮生活體制の構想　㊥　六　一、〇〇
國策聯盟　㊥　一　一、〇〇
原光雄・野口保市・林善市郎・小倉武一　大東亞共榮圈の民族　㊥　二二五　三、〇〇
六盟館

原田　伴彦　中世における都市の研究　㊀　三九
伊藤千代藏　長期戰と人口問題　㊁　六二
今井福治郎　轉換期の女性　㊁　四四
ジュールグラ　倉田大介譯　傳統のロシヤ民族性　㊁　三六
中井清治郎　轉廢業者の進路　㊀　五三
渡邊　錢藏　ドイツ戰時經濟、に於ける食糧問題　㊀　一〇八
持地ゑい子　ドイツ農村見聞記　㊁　一五四
上田　光慶　ドイツの文化資料　㊁　一三二
山本　浩　獨逸の文化政策　㊁　三〇
澤田猛外譯　ドイツ文化の資料　㊁　六七
獨逸勞働戰線中央事務局編　高橋文雄譯　獨逸勞働戰線　㊀　五六
森戸辰男譯　獨逸勞働の指導精神　㊁　三三
田村市郎編　東亞社會經濟研究　㊀　三六八
ハロルドトーフ　大橋卿市譯　東南アジアに於ける勞働事情　㊁　一八五
水島　治夫　都市住民の生命力　㊀　三六
京城帝大衛生調査部　土幕民の生活・衛生　㊀　三九

南洋の生活記錄　㊁　三四
澤田　謙　南洋民族誌　㊂　一九五
杉田　才一　寫　二千六百一年　畫帖　㊂　八七
山根　眞佳　日本女性と職業　㊁　三四
片柳　眞吉　日本戰時食糧政策　㊀　二七七
田村　隆治　日本農村の文化運動　㊁　四五三
今　日出海　日本の家族制度　㊀　二〇〇
大間知篤三　英文　日本の冠婚葬祭　㊀　四五
日本法理研究會　日本法學叢書　日本民族學上より見たる家の制度の研究　下　橋浦　泰雄　㊁　二八
小林龍二郎　ネクタイト開ヒツツ　㊁　二七
滿鐵東亞經濟調査局編　熱帶生活の心得　㊂　二六
樋口彌太郎　熱帶の生活　㊁　二七
勞働科學研究所編　農業勞働力の變動と之が調整に關する調査　㊀　一〇〇
帝國農會　村の調査資料（第四號）農村の婚姻に關する調査報告　㊀　一七
打木　村治　農業を營なむ工業勞働者　農村の娘と婚姻　㊁　一八
林　俊一　農村の母性と乳幼兒　㊀　三六

錦城出版社　一、八〇
日本放送出版協會　㊂　日本文化中央聯盟　㊄　嚴翠堂書店　㊂　青木書店　㊄　三、〇〇
同盟通信社　七、〇〇
龍吟社　一、七〇
伊藤書店　二、八〇
大同印書館　二、八〇
青木書店　三、〇〇
日本文化中央聯盟　㊄
嚴翠堂書店　㊂
亞文館　一、八〇
滿鐵東亞經濟調査局　㊂
高山書院　一、八〇
勞働科學研究所　一、五〇
翼贊圖書刊行會　㊀
朝日新聞社　二、〇〇

馬場　光三　農村部落の指導　㊁　三八
川島瓢太郎　農村保健婦　㊁　三
早川孝太郎　農と祭　㊁　三〇
結城　健三　伸び行く村々　㊁　四三
東方　籌　非常食糧の研究　㊀　二七
江馬三枝子　飛驒の女たち　㊁　二七
菅沼清次郎　必勝の生活戰　㊁　二六
三吉　朋十　比律賓民族誌　㊁　三四
橫川　四郎　標準生計費の研究　㊀　二四四
和田　傳　村の調査報告　婦人が推進する町　㊁　八
佐藤　慶二　文化社會學　㊀　三〇
大東亞文化叢書　文化政策と文化運動　㊁　二六
新野　敏一　文化について　㊁　三七
中島　健藏　文化の樣相　㊁　三四六
上泉　秀信　兵法に學んだ防戰術　㊁　三一
J・S・バーデス　申鎭均譯　北京のギルド生活　㊀　三九七

大貫書房　二、〇〇
山雅房　一、八〇
ぐろりあそさえて　二、〇〇
葦牙書房　二、〇〇
東洋書館　五、二〇
三國書房　一、八〇
翼贊圖書刊行會　二〇
偕成社　二、五〇
戰時生活相談所　㊂　翼贊圖書刊行會　㊂　青生社　弘道閣　二、五〇
扶桑閣　一、〇〇
六興商會出版部　一、八〇
大日本出版株式會社　一、七〇
大同書院　二、〇〇
生活社　二、八〇

權田保之助　ナチス厚生團（KDF）　㊁　三〇一
フランツ・ゼルテ　雪山慶正譯　ナチス獨逸社會政策　㊀　三七七
獨逸政治大學叢書　日獨文化協會譯編　ナチス獨逸の人種問題　㊁　三三
近藤　泰雄　ナチスの厚生文化　勤勞力行團の研究　㊁　二八
藤田　五郎　ナチスの社會政策　㊁　二四
波多野繁藏　ナチスの女性　㊁　三九
ルードルフ・フレルクス　倉本　文夫譯　ナチスの優生政策　㊁　一四
中川與之助　ナチス勞働政策の研究　㊀　四五八
穎田一二郎　那爾陀苑の娘　㊁　九四
滿鐵東亞經濟調査局編　日本出版社　一、八〇
新嘉坡華僑叢書2　南方亞細亞の民族と社會　㊁　三〇〇
南方原住民の研究　㊀　二四二
世界經濟調査會　南方の產業勞働　㊁　一〇一
增田福太郎　南方民族の婚姻　㊁　一四四
高砂族の婚姻研究　㊀　三、〇〇
清野謙次　太平洋圖書刊行會　南方民族の生態　㊁　二七
坂本德松　南方文化論　㊁　三三
鈴木　舜一　南方勞働力の研究　㊀　二九八

實業之日本社　三、八〇
實業之日本社　一、五〇
三省堂　一、五〇
日光書院　二、〇〇
紙硯社　一、五〇
理想社　一、五〇
有斐閣　四、五〇
日本出版社　一、八〇
大和書房　三、〇〇
大阪屋號書店　三、〇〇
世界經濟調査會　三、〇〇
ダイヤモンド社　三、八〇
大興商會出版部　一、〇〇
大阪屋號書店　二、〇〇
東洋書館　二、〇〇

栗田書店　二、〇〇
講談社　三、五〇
博文堂　三、〇〇
有精堂　一、八〇
黎明調社　三、七〇
陽文社　渡邊經濟研究社　㊀　科學主義工業社　㊁　ドイツ文化資料　㊁　一、五〇
新興亞社　一、三〇
ドイツ文化資料社　㊁　日本電報通信社　㊁　五、五〇
栗田書店　二、〇〇
教育圖書株式會社　四、〇〇
聖紀書房　一、五〇
東京市政調査會　三五
岩波書店　三、五〇

井上なつゑ　保健婦事業の實際　㊧四〇　㊨四〇　㊥一、〇〇　國光印刷會社出版部
岸田　軒造　ほんとうの暮し方　改訂版　㊨一九五　㊥一、二五　安井洋優生結婚
井岡　咀芳　滿支習俗考　㊨一七八　㊥一、三〇　湯川弘文堂
金丸　精哉　滿洲の四季　㊨二四五　㊥一、八〇　博文館
岡田　謙　未開社會に於ける家族　岩波文庫　㊧三五八　㊥三、七〇　弘文堂書房
青山道夫譯　マリノウスキー　未開社會に於ける犯罪と慣習　㊧二一三　㊥一、三〇　改造社
宮田峯一譯　イーニアスガン　南十字星と濠洲　新日本叢書19　㊨二九九　㊥二、〇〇　育生社弘道閣
池見　猛　民族科學の本義　㊨一七六　㊥一、八〇　六人社
新明　正道　民族社會學の構想　㊨三五三　㊥二、三五　三笠書房
井上民族政策研究所編　民族政策と南方の人口問題　㊨一八二　㊥一、〇〇　刀江書院
小松堅次郎　民族と文化　㊧二三二　㊥二、四〇　理想社
小山　榮三　民族と文化の諸問題　㊧四八〇　㊥四、三五　羽田書店
伊藤　六不　娘たちの家　㊨二五六　㊥一、二〇　興亞日本社
古谷　綱武　村生活の反省　村の調査報告　㊨九七　㊥一、〇〇　翼贊國會書刊行會
和田　博　名の町（靜岡縣新居町）長の町　村の調査報告　㊨七四　㊥一、〇〇　翼贊國會書刊行會

細谷　清　蒙古新話　㊨二四四　㊥一、二〇　滿蒙社
安井　洋　優生結婚　㊨一七四　㊥一、三〇　廣文堂
堀川豐永編　雪と文化　日本常民文化研究所ノート二〇　㊨二三三　㊥一、三〇　人文閣
宮本　常一　吉野西奥民俗採訪錄　㊧五二三　㊥五、〇〇　日本常民文化研究所
中村　古峽　流言の解剖　㊨二五八　㊥一、三〇　愛之事業社
世界經濟調査會編　兩大戰間に於ける獨・佛・英の社會政策　㊧一九〇　㊥一、三〇　世界經濟調査會
末川　博　歷史の側面から　㊨二九一　㊥二、三〇　中央公論社
協調會編　昭和十六年版　勞働年鑑　㊧五五八　㊥四、〇〇　協調會
ダヴィンソン・ナイト　成田節男譯　若き安南　㊨三三　㊥一、三〇　白水社
石田　博英　忘れられた子供たち　動勞青年文化選書　㊨二四四　㊥二、〇〇　新紀元社
秋葉　保廣　われらの生活と法律　㊨一四九　㊥九〇　東洋書館
R. Kron　Der Kleine Deutsche　㊨一八四　㊥一、九五　丸善株式會社
國際觀光局　LA FAMILLE AU JAPON　日本の家庭生活　㊨二五五　㊥三、五〇　教文館
國際觀光協會　Les enfants au Japon　（日本の子供）　㊨二五五　㊥三、五〇　教文館
日高　昇　MANNERS AND CUSTOMS IN MANCHOUKUO　（滿洲事情）　㊧二三　㊥五、〇〇　マンチユリヤ・デーリー・ユース社　東京

(6) 統計

（統計學及び一般社會統計の外はそれぞれの部門に收む）

ヌウヤトロフスキー　平岡猛英譯　一般人の統計學　㊨二四五　㊥一、九〇　中興館
高野岩三郎　改訂增補　社會統計學史研究　㊨二七〇　㊥二、三五　栗田書店
高野岩三郎外　統計學古典選集　（全約四冊）　㊨三三〇　㊥三、八〇　栗田書店
中川　友長　統計學要綱　㊨三三三　㊥三、〇〇　農松堂書店
岡崎　文規　東亞　南方統計叢書　東亞統計叢書　南方統計學要覽　上卷　㊧四一三　㊥四、〇〇　岩波書店
高橋梵仙編　大東名著選27　日本人口統計史　㊨三五五　㊥一、八〇　大東出版社
澤田久雄編　日本內地、外地人口表　㊧九一　㊥一、〇〇　日本書房
法貴三郎　鈴木修二　岡部瑞郎　宮司編　比律賓統計書　㊧三四四　㊥三、一〇　國際日本協會
日本ビルマ協會編　ビルマ統計書　大東亞統計叢書第一部　㊧二四三　㊥三、三五　國際日本協會
國際日本協會譯編　佛印統計　大東亞統計叢書第一部、三　㊧三三八　㊥三、三〇　國際日本協會
井出季和太　盛修　關東局日本協會編　馬來統計書　大東亞統計叢書第一部3　㊧一四四　㊥二、三五　國際日本協會
關東局　中央統計局編　蘭印統計書　Economische Verkenningen van Nederlandsch Indië　㊧一六九　㊥三、五〇　國際日本協會

株式會社　栗田書店
東京都神田區錦町一ノ三九　振替東京一一二三四番

發行書目

高野岩三郎博士校閱　統計學古典選集　全十二卷
高野、小倉、藤本、汐見四博士監輯　統計學文庫　十八卷以下續刊
農業問題總輯　全二十卷
新世界觀輯系　全十卷
建設叢書　隨刊

この外、政治・經濟・社會の文獻多數

◇圖書目錄申込次第送呈

五、經濟

(1) 經濟

著者	書名	刊行形態	頁數	定價	發行所
フリードリッヒ・リスト 正木一夫譯	改造文庫 アメリカ經濟學綱要	改造文庫	一六二	四五	改造社
ボガート 細野武男譯	アメリカ經濟史	全	七三	七五	生活社
マクファーデイ 横溝直二譯	アメリカ經濟地理	全	八四二	八、〇〇	生活社
エミュエル・スタイン 鈴木幸譯編	アメリカ資本市場統制論	國	三四二	二、五〇	中川書房
ルイス・ハッカー 白山夏樹譯	アメリカ資本主義發達史	全	三七	五、〇〇	科學主義工業社
J.W.ガンとC.ベイシ 町田儀一郎譯	アメリカ對外政策に於ける金融問題	全	三三	三、〇〇	千倉書房
C.J.ヒッチ 佐藤克巳譯	アメリカの經濟力	國	一九五	九〇	東京學藝社
ワルター・クロル 歐洲事情調査會	歐洲事情調査會第十一册 英吉利經濟政策の破產	國	七二	七五	千峰書房
日本電報通信社	ドイツ經濟調査會第10 イギリス領近東の經濟的價値	國	一四三	二〇	日本電報通信社
武田邦太郎	池本農業政策大觀	國	一九二	一、〇〇	青年アジア社
土屋喬雄	維新經濟史	全	八三	二、五〇	中央公論社
アンステイ 未高信譯	印度經濟の研究	全	五七五	六、〇〇	有光社
P.A.ワツライ C.N.ジヨシ 小生第四郎譯	印度資源論	全	四七二	四、三五	壓紀書房
京都貿易振興館編	印度事情	全	二〇	一	貿易振興館
イエールファレン 岩間一雄譯	インドネシアの經濟理論的分析	國	一六八	一、〇〇	國際日本協會
增地庸治郎編	上田貞次郎博士記念論文集 經營經濟の諸問題	全	五六	五、三五	科學主義工業社
西谷彌兵衛	美しき日本經濟	國	三二	一、八〇	新興亞社
世界經濟調査會	英國及米國の抗戰意志の問題	全	一八	一	世界經濟調査會
フリッツ・ルパ博士 池田林儀譯	英國戰爭經濟の分析	國	二九五	一、九〇	報國社
世界經濟調査會編	英國の遠洋に對する經濟依存度	全	三	一	世界經濟調査會
世界經濟調査會編	英國の新西蘭に對する經濟依存度	全	三九	一	世界經濟調査會
東京かぶと新聞社編	歐洲廣域圈の建設	國	二〇〇	二、三〇	東京かぶと新聞社
海外鐵物調査會編	海外鐵物調査報告	全	一	一	北支那開發株式會社
トーマス・マン 張漢祐譯	外國貿易によるイギリスの財寶	岩波文庫	三三	四〇	岩波書店
加東田繁	華僑	東方經濟圈の叢書	三二	三〇	三光社
井出季和太	華僑	國	三五二	二、五〇	六興商會出版部
根岸佶	華僑の經濟的地位	朝日新選書	二六	一、〇〇	朝日新聞社
ケーター 成田節男譯	華僑記	國	二六	一、八〇	日本公論社
堀江保藏	近世日本の經濟政策	日本經濟史研究所叢書 全	四二六	四、〇〇	有斐閣
平瀨巳之吉	近代支那經濟史	全	四三	三、五〇	中央公論社
崔虎鎭	近代朝鮮經濟史	全	三四二	三、八〇	慶應書房
森島三郎譯	計畫經濟入門	國	二九五	四、〇〇	慶應書房
ゴツトル 利根一郎譯	計畫經濟の神話	全	二七	三、二〇	理想社
テーラーラング ハーエンモツセ 土屋清譯	計畫經濟理論	全	九六	一、八〇	中央公論社
山田雄三	計畫の經濟理論 序說	全	二六三	三、五〇	岩波書店
坂口三郎	經濟維新の理論	全	二四五	二、二〇	ダイヤモンド社
東京商大研究年報 一九四二年	經濟學研究 7	全	二六八	二、八〇	岩波書店
大野信三	經濟學史	全	九六三	七、八〇	千倉書房
沖中恒幸	經濟學說史	全	三九五	三、八〇	精興社書店
ミュルダール 山田雄三譯	經濟學の世界觀的な研究	經濟學名著選集	三七	三、〇〇	日本評論社
ザツズキー 寺尾琢磨譯	經濟學說と政治的要素	貨幣經濟學叢書	四七三	四、三五	日本評論社
谷原義一	經濟學に應用された數學	全	三六	二、八〇	明治圖書株式會社
波多野鼎	經濟原論綱要	全	二六六	二、八〇	日本評論社
木村孫八郎編	經濟講話 第一卷 貨幣・價格・企業	國	二六五	一、六〇	日本評論社
	經濟語必携	國	九八	一、〇〇	栗田書店

著者	書名	刊行形態	頁數	定價	發行所
朝日新聞社編	各國經濟篇	朝日講座 國史講座7	二五	一、三〇	朝日新聞社
魏晉南北朝經濟史	支那經濟史二	全	一九七	三、三五	生活社
E.レーデラー 高山洋吉譯	技術經濟學 上卷	全	二六	二、〇〇	科學主義工業社
E.レーデラー 高山洋吉譯	技術經濟學 中卷	全	二八	二、五〇	科學主義工業社
E.レーデラー 高山洋吉譯	技術經濟學 下卷	全	二九	二、五〇	科學主義工業社
F.マタレ 中野研二譯	技術構成と經濟	全	三八	三、五〇	慶應書房
ワルター・ハウゼン 佐々木俊夫	技術の發展と經濟の交流	全	三三	三、〇〇	科學主義工業社
松崎雄二郎	北支那經濟の新動向	國	三三	二、〇〇	講談社
遠藤正男	九州經濟史研究	全	三四〇	三、五〇	日本評論社
高橋龜吉	共榮圈經濟建設論	全	三四七	三、二〇	投資經濟社
栗山博	共榮通貨と物資交流	國	三三	一五	南進社
久保田明光	近世經濟學の生成過程	全	三四三	三、三〇	理想社
小竹文夫	近世支那經濟史研究	全	二九七	三、二〇	弘文堂書房
岡田巧	近世支那社會經濟史	全	三七二	三、八〇	教育圖書株式會社
宮本又次	近世商人意識の研究	全	三四四	三、五〇	有斐閣
土屋喬雄	近世日本經濟發展史講話	岩波講座及店版と日本商人道	二三	一、三〇	科學主義工業社

カール・ラエール　日下藤吾譯　経済循環の貨幣的構造　改造社　六一四　六、〇〇　大鵬社
上田辰之助　経済人・職分人　岩波書店　四八　一、三五　理想社
谷口吉彦外　経済新秩序と宗教問題　改造社　三六　一、三五　デイ（山岡喜久男譯）
岡田昌蔵　経済戦争と日米關係　改造社　一〇六　一、三五　戸田武雄
江澤譲爾　経済地理　岩波書店　一七　一、三五　加田哲二
國松久彌　経済地理学　改造社　二五五　二、三五　渡邊武史
淡川康一　経済地理学　改造社　二七七　二、三五　三省堂
同盟外交部編　世界は何處へ（昭和十八年版）　同盟通信社　二六　八　同盟通信社
戸田武雄　経済哲学下巻　岩波書店　二六八　一、三五　三笠書房
道家齊一郎　経済統計学　改造社　三〇三　二、〇〇　自揚社
経済学全書　経済と現実　岩波書店　三〇三　二、三五　栗田書店
ユリウス・ボルン　ゴットル共著　木頓信治郎譯　ドイツ戦時経済叢書之一　現代経済学の國防力　日本電報通信社出版部　二一三　一、八〇　白揚社
ゴットル　中野研二譯　経済の本質および根本概念　改造社　二五五　一、八〇　渡邊鉄藏
ゴットル　川崎巨載　原光雄共譯　経済の本質と根本概念　岩波書店　一七　一、〇〇　岩波書店
美濃部洋次　決戦経済の實践　改造社　三　一　奉仕會　世界経済情報社

永松　中山　大熊　國防経済叢書　國防経済総論　改造社　四二四　三、八〇　嚴松堂
大河内正敏　國防経済と科学　岩波書店　二〇三　一、三〇　科學主義工業社
オットー・コルフェス　木頓信治郎譯　國防経済の原理　改造社　二三　一、三〇　日本電報通信社出版部
朝倉昇　國防経済論叢　改造社　三五五　二、〇〇　國防経済協會
アダム・スミス　岩波文庫　國富論　第三・四編　岩波書店　四八四　一、〇〇　岩波書店
大内兵衛譯　経済学の革新　改造社　二四六　二、三五　科學主義工業社
印南博吉　経済学の革新　岩波文庫　酒枝義旗　ゴットルの経済学　改造社　二九　一、三五　弘文堂書房
H・S・ウックス　西郷信治譯註　大學書林文庫　國民経済　経済学　大學書林　三六　三〇　大學書林
高木友三郎　國民経済学　岩波書店　二九三　一、三五　午倉書房
河田嗣郎　國民経済学　改造社　五八五　三、五〇　日本評論社
亜井敬次　國民経済組織論　國民経済原論第一編　改造社　三三〇　二、〇〇　大同書院
鈴木憲久　國民経済と廣域経済　改造社　五九　五、三五　一元社
カール・ビュヒアー　増田保之助譯　増補改訂　國民経済の成立　改造社　五一〇　六、〇〇　栗田書店
最高度決戦経済の観點　改造社　五四　日滿支拓殖文化
清水秀雄　再編過程の日滿経済　改造社　二六一　一、九〇　中川書房
中野清見　ドイツ戦時経済叢書四　作戦と戦争経済　タルト・ヘツセ　本頓信治郎譯　二五　日本電報通信社

南金太郎　産業戦士に語る　産業戦士叢書　八　三、三五　協同公社
野田經濟研究所　昭和十七年版　産報年鑑　三七　三、三五　野田經濟研究所
精神科學研究所　「資本の所有と經營の分離」の主張について　産報理論叢書二　三六　一、三五　精神科學研究所
大倉邦彦　日本南方協會編　資源開發と共榮圏の産業　二五　一、三五　大日本産業報國會
石田龍次郎　南方經濟事情　資源經濟地理　原料部門　三五　二、三五　教育研究會
財部靜治　支那及印度經濟論　二六八　二、三五　日本評論社
小林幾次郎　支那經濟商業辭典　二四五　七、三五　大阪屋號書店
玉井是博　支那社會經濟史研究　二三五　五、三〇　岩波書店
阿部源一郎　支那戦場と經濟と心理　二三五　一、九〇　嚴松堂
ウィルヘルム・佐藤圀一郎譯　東亞叢書　支那の經濟心理　一四五　一、四〇　生活社
孫文　孫田勢太郎譯　支那の産業建設　三四　一、八〇　教材社
ボエーム　友吉三谷　資本利子論の研究　二四六　二、八〇　大東書館
佐田介石　本庄榮治郎解題　社會經濟論　三〇　一、三五　日本評論社
水谷啓二　上海經濟の再編成　一六　一、九〇　同盟通信社
自由經濟論　三　東方問題研究所

齋藏 直幹	自由經濟論 31	岡 一八	七	同文館	一
飯島 幡司	昭和維新 その經濟的性格	岡 二五	二、五〇	東方問題研究所	一
清水 宣博	新經濟建設者論	岡 六六	二、八〇	慶應書房	一
太田正孝編	新經濟辭典	岡 二四一	三、八〇	一元社	一
伊藤千代藏	新經濟知識	岡 三八	一、八〇	京文社	一
柴田 敬	新經濟理論	岡 二四五	二、五〇	博開堂	一
小島 精一	新産業合理化	岡 三九	二、八〇	冨山房	一
杉田 才一	新生の廣東經濟	岡 一〇九	八〇	日本放送協會出版部	一
赤松 要編	新世界經濟年報 第八輯	岡 二九三	一、五〇	日本貿易振興會	一
赤松 要	新世界經濟と人生と經濟	岡 五一〇	三、五〇	日本放送協會出版部	一
竹島富三郎	大陸・東日記	岡 二四九	二、五〇	東京手形交換所	一
竹島富三郎	新統制經濟讀本 改訂	岡 三〇八	二、五〇	日本貿易振興會	一
石橋 湛山	新南方資源論	岡 三三五	二、五〇	東洋經濟新報社	一
小島高商經濟研究所編	經濟統制研究	岡 三四	二、五〇	千倉書房	一
板垣 與一	政治經濟學の方法	岡 三八三	四、八〇	日本評論社	一
大阪經濟研究會編	戰時經濟讀本	岡 四六七	三、五〇	大阪經濟研究會	一
	戰時經濟と下勞の貸企業利潤	岡 一三	一、八〇	日本電報通信社	一
竹島富三郎	戰時世界經濟問題十講	岡 二六	一、八〇	日本評論社	一
清水 雄男	戰時物資統制法	岡 四三八	二、五〇	嚴松堂書店	一
西野嘉與作	戰時利潤統制論	岡 三八四	三、五〇	投資經濟社	一
穗積 文雄	先秦經濟思想史論	岡 二八六	二、八〇	有斐閣	一
	戰爭經濟學 原文對照	岡 一九三	二、〇〇	研究社	一
	戰爭經濟研究	岡 二九八	二、四〇	東晃社	一
	戰爭と經濟	岡 五二五	五、〇〇	嚴松堂	一
平野 博三	戰爭の經濟學	岡 三一〇	一、八〇	日本電報通信社出版部	一
	戰爭と工業動員	岡 一九七	八〇	日本評論社	一
	ソヴイエト經濟論	岡 二九三	二、〇〇	第一公論社	一
竹尾 弍	ソヴイエト統制經濟論 上	岡 二九九	二、八〇	今日の問題社	一
滿鐵弘報課編	ソ聯戰時經濟論	岡 一〇八	一、〇〇	中央公論社	一
吉田榮太郎	泰國資源經濟論	岡 二七	一、五〇	三笠書房	一
日本貿易振興會編	泰國の産業貿易事情	岡 二九三	一、八〇	日本貿易振興會	一
丸谷喜市編	大東亞共榮圏の經濟建設	岡 八六	九〇	千倉書房	一
	東方問題研究所 大東亞共榮圏と滿洲産業の地位	岡 一九	一、八〇	東方問題研究所	一
本位田祥男	大東亞經濟建設	岡 四三〇	三、五〇	日本評論社	一
藤岡 啓	大東亞經濟建設の構想	岡 三一	二、五〇	アルス	一
土方 成美監	大東亞經濟資源大觀	岡 一〇四三	一二、〇〇	日蘇通信社	一
藤野 靖	大東亞經濟地理	岡 四二	三、八〇	千倉書房	一
金子鷹之助	大東亞經濟と青年	岡 三八八	三、〇〇	潮文閣	一
東亞調査會編	大東亞經濟の諸相	岡 二〇三	一、五〇	東日・大毎新聞社	一
谷口 吉彥	大東亞經濟の理論	岡 五二	四、五〇	千倉書房	一
宮下 龜雄	大東亞建設の基礎知識	岡 三四	一、三〇	二松堂	一
日本貿易報國聯盟編	大東亞産業貿易年報 1	岡 三七	一、七〇	商工行政社	一
永井龍一谷本龜次郎	大東亞産業立地概説	岡 五五六	三、五〇	泰文館	一
國勢社編輯部	大東亞資源統計	岡 三〇	一、七〇	國勢社	一
桑原 晉	大東亞新經濟と歐洲新經濟	岡 三八	二、三〇	ダイヤモンド社	一
寺田 彌吉	大東亞戰爭と經濟建設	岡 二四	一、三〇	冨山房	一
金子鷹之助		岡 五九	二、八〇	萬里閣	一

國防經濟協會　大東亞戰爭と經濟建設工作について　㊐　三　—　國防經濟協會　渡邊　鐵藏　獨逸戰爭經濟に於ける消費統制の方法とその經濟的意義　㊐　三三　一、八〇　渡邊經濟研究所　大東書館

長谷川荷一　大東亞戰爭と石油國策　㊐　七　—　長谷川事務所　國際關係研究會編　獨逸物價政策の對外經濟政策　㊐　二三　一、七〇　大新社

山田　文雄　大東亞戰爭と南方圏　國防文化講座書六　㊐　三五　二、三〇　萬里閣　田中　貢　獨逸物價政策の實際　㊐　一七　一、三〇　太平洋貿易研究所

渡邊　鐵藏　大東亞南方圏の資源　その一　㊐　六三　—　渡邊經濟研究所編　東亞共榮圏經濟循環の基本圖式　㊐　三六　二、三〇　太平洋貿易研究所編

渡邊　鐵藏　大東亞南方圏の資源　㊐　五三　—　渡邊經濟研究所　東亞共榮圏資源科學文獻目錄　㊐　三四　七、五〇　岩波書店

日滿支拓殖文化研究所　南建設圏　大東亞北經濟の指標　㊐　五　—　日滿支拓殖文化研究所　傳鎖印度支那・泰國　㊐　三六　七、五〇　岩波書店

國際經濟學會編　泰・佛印の研究　現地調査報告　㊐　二七三　二、三〇　刀江書院　東亞共榮圏と資源對策論　㊐　三八　二、三〇　レーヨンエージ社

西谷彌兵衛　戰ふ經濟　㊐　四七　(一、八〇)　新興亞社　懇談會筆記　㊐　六七　—　東亞經濟懇談會　東亞經濟懇談會報告書　㊐　五〇　三、三〇　改造社

鄉古　潔　彈丸下の經濟建設　㊐　三〇　二、三〇　東邦書院　伊部　政一　統制經濟學　㊐　三二　一、三〇　千倉書房

武田　鼎一　竹堂經濟瑣談　㊐　三八　二、三〇　敬文堂　平井泰一郎　統制經濟と經營經濟　㊐　三九　二、八〇　日本評論社

東亞研究所　中國鑛産地一覽　第二卷下　㊐　—　東亞研究所　宇野　弘藏　統制經濟と對外貿易　㊐　七五　—　日本貿易振興協會

鈴木　武雄　朝鮮の經濟　經濟全集四　㊐　三五　一、三〇　日本評論社　統制經濟の基礎知識　㊐　九三　三、四〇　ダイヤモンド社

濱村米吉譯　ドイツ　金融建設の構想　㊐　三〇　二、三〇　日本青年文化協會　ダイヤモンド社編　統制經濟の前途と統制會の使命に就いて　㊐　三　—　東方問題研究所

ワーゲマン　改訂　獨逸經濟の理論　㊐　三八　二、三〇　東亞書局　統制經濟講座八　米洲經濟篇　國策會社篇　㊐　三七　二、三〇　一元社

救仁郷繁譯　獨逸新秩序の常識　㊐　三五　二、三〇　東京かぶと新聞社編　獨逸戰爭經濟に於ける消費統制の方法とその經濟的意義　㊐　三　—　渡邊經濟研究所　大東書館

波多野　韋　東洋經濟新報社編　統制經濟理論　㊐　二九〇　—　同文館　蒲池　清他　南方經濟叢書總覽（叢書約二冊）　㊐　五〇二　七、〇〇　東亞政經社

東洋經濟新報社編　昭和十七年第二六回　東洋經濟年鑑　㊐　四八　三、五〇　東洋經濟新報社　三輪　包信　南方經濟事情　㊐　三七　一、三〇　高山書院

大東亞技術研究會編　支那經濟叢書四　唐代經濟史　㊐　二九　二、三〇　中外商業新報社經濟部　南方經濟と開發　㊐　三〇　一、三〇　朝日新聞社

南方技術　第一輯　㊐　八二　—　土木雜誌社　藤田　武雄　南方經濟の建設　㊐　六五　二、〇〇　慶應書房

南方共榮圏經濟研究　㊐　四二　一、五〇　大東書館　大形　太郎　南方經濟の進路　㊐　二五四　一、三〇　高山書院

南方共榮圏と華僑　㊐　一九八　紙硯社　福田　要　南方資源經濟論　㊐　八六二　千倉書房

南方共榮圏の經濟調査　㊐　九二　岡本　正一　南方資源統計要覽　大日本帝國及地圖解說　㊐　三〇〇　三、〇〇　霞ケ關書房

南方經營の具體的方途　㊐　一〇〇　—　金子鷹之助　南方資源と日本經濟　附錄英語論文　㊐　四三三　三、〇〇　東京講演會出版部

石原廣一郎的場實編著　南方資源の科學的開發と利用　㊐　六五　二、〇〇　長井　潤　南方資源の開發と利用　㊐　六五　二、〇〇　上崎書店

賀川　英夫　南方諸國の資源と産業　改造　三八　二、三〇　ダイヤモンド社
小田富治編　南方進出策はこれだ！　現地経験の諸權威は語る　公論　公五　八〇　日本工業新聞社出版部
小西干比古　南方進出に對する心得　改造　一〇　一〇　南洋經濟研究所
宇井丑之助　南方石油經濟　改造　三五　三、一〇　千倉書房
東亞研究所編　南方地域資源統計地圖　改造　三五　一〇、〇〇　東亞研究所
細田　秀造　南方の資源　民光　一　三〇　朝日新聞社
金田　近二　南洋及印度經濟研究　民改　三九六　三、五〇　晃文社
井出季和太　南洋華僑事情　民　三八　―　日本貿易振興協會
大形　太郎　南洋華僑と經濟　民改　三六五　二、〇〇　聖紀書房
南洋協會編　南洋纖維資源地圖　改　六九　五、〇〇　生活社
日本拓殖協會編纂　南洋纖物資源地圖　改　一　五〇　日本拓殖協會
井出季和太　南洋と華僑　改訂版　改　三六　一、二〇　三省堂
後藤朝太郎　南洋の華僑　民　四〇七　二、三〇　高山書院
南洋協會編纂　南洋の華僑　改　三七　三、〇〇　目黒書店
大村一藏　南洋の油田　改　一五　一、三五　古今書院
世界經濟調査會編　日米關係　重要事項一覽表　公　―　―　世界經濟調査會

白柳　秀湖　日本經濟沿革史　民　六〇一　三、八〇　千倉書房
加田　哲二　日本經濟學者の話　民　三七　二、三〇　慶應書房
本庄榮治郎　日本經濟學の成立　改稿新著　日本經濟學の　民　二一四　四〇　目黒書店
杉本　榮一　日本經濟學會年報　第二輯　改　四六七　四、〇〇　日本評論社
立仙　淳三　日本經濟學の話　民　二四七　一、五〇　福村書店
本庄榮治郎　日本經濟史新文獻　改　七二　八、〇〇　日本評論社
日本經濟思想史研究會　日本經濟　改　四七九　四、五〇　日本評論社
日本世紀社編　日本經濟　宣言　緊急版　民　二八　五〇　講談社
日本經濟年報　第四十七輯　民　二九七　一、五〇　東洋經濟新報社
日本經濟年報　昭和十七年第一輯　第四十八輯　民　三八一　一、八〇　東洋經濟新報社出版部
日本經濟年報　昭和十七年第二輯　第四十九輯　民　三五〇　一、五〇　東洋經濟新報社
日本經濟年報　昭和十七年三輯　民　三九八　二、〇〇　東洋經濟新報社
日本經濟の構造　民　三六八　一、八〇　同文館
日本國防經濟史話　ラジオ新書　民　二一六　五〇　日本放送出版協會
日本國防經濟論　民　二四九　一、七〇　大鵬社
井藤半彌他　日本國家科學大系　公　四五六　三、五〇　實業之日本社

教學局編　日本諸學講演集　第一輯經濟篇　第一輯　一〇三　三、〇〇　教學局
岩崎松義　日本戰時經濟研究　改　六一　二、三〇　伊藤書店
細野孝一編　日本戰時經濟の進む途　民　二四　一、五〇　研進社
岸　信介　日本戰時經濟の進む途　民　二四　一、五〇　研進社
西谷彌兵衞　日本戰爭經濟の經濟學　日本戰爭經濟叢書　民　一七三　八〇　亞細亞學會
古屋　美貞　日本戰爭經濟力の諸問題　改訂版　民　三九九　一、八〇　同文館
東方問題研究所編　日本統制經濟の現狀と今後の對策　東方問題叢書　―　―　東方問題研究所
津曲藏之丞　日本統制經濟法　改　四七七　一、二〇　日本評論社
土屋　喬雄　日本の經濟學者　民　二九九　一、五〇　日本評論社
西谷彌兵衞　日本の經濟戰略　民　二五〇　一、五〇　講談社
日滿產業構造論　一　改　四五三　四、五〇　慶應書房
野村兼太郎外　入門經濟學　（新約）一　改　三三　二、一〇　ダイヤモンド社
中山經濟研究所　日滿經濟史　（發展させた滿洲と共通場立上る印度の經濟關係）　民　―　二、一〇　中山經濟研究所
日本經濟史研究所編　幕末維新　經濟史叢書第二冊　民　三四一　二、一〇　龍吟社
海外鑛業協會編　東印度諸島の地質と鑛產資源　（經濟全書15）　改　一四　―　海外鑛業協會
由田　文雄　東印度の經濟　民　三七七　一、一〇　日本評論社
東亞研究所編　比律賓鑛產資源　滿俺鑛　（經濟全書10）　民　六六　―　東亞研究所

八木　精一　ヒリツピンに於ける資源及貿易　日本貿易振興株式會社企畫部編　改　二四〇　―　日本貿易振興協會
日本貿易振興協會編　ヒリツピンに於ける資源及貿易　改　三五　二、五〇　高山書院
比律賓の資源と貿易　改　八三　二、三〇　日本貿易振興協會
ビルマ鑛產資源　日・ビ・チ・フィリピン協會譯　改　四五二　四、五〇　日本公論社
南洋協會譯　J.B.ファーニヴァル　東亞研究所譯　東亞研究叢書7　民　八三　二、〇〇　岩波書店
緬甸の經濟　東亞研究叢書1　民　八三　二、八〇　國際日本協會
渡邊源一郎　佛印の鑛產資源　改　八三　二、八〇　國際日本協會
松本　治彥　物價政策に關する研究　民　三五　二、〇〇　生活社
日本經濟聯盟調査課編　物價理論と統制經濟　民　九七　―　東京會議所
山口　茂　佛領印度支那　拓殖叢書第一篇　地圖　民　八五　一、〇〇　日本拓殖協會
日本拓殖協會編　佛領印度支那　南方經濟叢書三　民　二九　一、八〇　銀行問題研究會
佐藤三郎治　佛領印度支那　民　二九　一、八〇　滿鐵東亞經濟調査局
中島　宗一　戶田武雄他三名　フランス經濟史概說　改　四四三　三、五〇　有斐閣
宮本　又次　安藤　春夫　佛領印度支那篇　南方經濟叢書2　改　八五〇　五、〇〇　刀江書院
大阪每日新聞經濟部　來英追放と大東亞經濟　大阪每日叢書新報　民　二四三　一、五〇　同文館
渡邊　鐵藏　來英戰爭經濟の根本思想　民　二一〇　一、五〇　新正堂
―　來國國防生產の現狀　公　三一　―　渡邊經濟研究所

坂入長太郎　米國戰時經濟論　岡　二七　一、七五　紙硯社
ブルックス・エイヤー（有澤譯）　米國戰爭資源の分析　會　二四一　二、八〇　紀元社
國際關係研究會編　米國通商政策の動向　岡　二四九　一、八〇　大東書館
古屋美貞　米國の戰爭經濟力の檢討　岡　一三五　—　渡邊經濟研究所
平竹傳三　北方經濟論　岡　二九　二、〇〇　大阪屋號書店
小西千比古　マダガスカル要覽　會　五八　五　南洋經濟研究所
中谷俊雄　馬來—イギリスの弗兵器庫　岡　三八　一、二〇　銀行問題研究會
渡邊銕藏　イギリスの弗兵器庫　會　二八　一、二〇　渡邊經濟研究所
堀經夫編　滿洲國經濟の研究　會　三〇〇　二、八〇　日本評論社
藤原泰　滿洲國統制經濟論　會　四〇　四、〇〇　日本評論社
讀賣新聞社社會部編　南の寶庫を拓く　岡　八五　三、九〇　橘書店
R・ダレエ　民族と土地　岡　五五　三　神戸商工會議所
岡田宗司譯　神戸商工會議所を繞る比律賓の經濟力　會　八二　—　—
ファーニヴァル　蘭印經濟史　會　六五　一、八〇　大東書館
南太平洋研究會譯　蘭印の經濟政治社會史　會　五七　一、八〇　日本評論社
ファーニバル　蘭印の石油資源　岡　六　三　朝日新聞社
清水晖吉譯　泰

渡邊銕藏　蘭領東印度の財政と經濟　會　六　—　渡邊經濟研究所
鈴木鴻一郎・遊部久藏譯　リチャード・ジョーンズ　地代論　會　四六　四、〇〇　日本評論社
日本國際問題調査會編　列國資源動員の現勢　會　三〇　四、五〇　日光書院
對外時報列國資源號　我國戰時經濟の方向　會　五八　—　大東亞科學經濟研究會
森井庄內　我國戰時經濟の方向　會　五八　—　研究社
關田生吉　大阪屋號書店　岡　二七五　五　研究社
大觀堂編　大觀堂編　會　六二　三、五〇　大觀堂
大觀堂編　大觀堂編　岡　三一四　三、〇〇　大觀堂
F. Wick-sell　T. R. Hicks　Lectures of Political Economy Volume　會　三八　四、五〇　日本實業之日本社
（價値と資本）　Value and Capital　會　三八　五、一〇　日本實業之日本社

(2) 財政・金融

春日井薫　インフレーション理論　會　六〇　六、〇〇　文雅堂書店
渡邊銕藏　英國の戰時財政と國民所得　會　三　—　渡邊經濟研究所
戰時投資研究會編　改正稅法に依る株式稅引利廻表　會　五五　八〇　ひのもと社
經濟調査會編　改正稅法に依る稅金計算法　岡　七三　六〇　大同書院
千種義人　價格・貨幣・爲替の基礎理論　會　六四　三、七〇　嚴松堂
新屋秀吉　株式投資の安全法　岡　一九二　二、〇〇　大同書院

青木孝義　貨幣經濟の理論（貨幣本質の理論的研究）　會　七五三　七、〇〇　嚴松堂書店
鬼頭仁三郎　貨幣と利子の動態（貨幣經濟の性格）　會　五六八　三、五〇　岩波書店
中村佐一　貨幣の原理　會　三八　三、〇〇　嚴松堂書店
竹島富三郎　貨幣の常識　岡　三七　一、五〇　千倉書房
黨勇吉　共榮圏外國爲替講話　岡　二〇〇　一、八〇　銀行問題研究會
金融問題研究會編　銀行定期預金と登錄公社債の特稅　會　四　三〇　經濟書籍合資會社
小畑美雄　銀行の檢査事務　岡　五〇　三、〇〇　文雅堂書店
永田鐵三　銀行論　會　三五　三、五〇　嚴翠堂書店
春日井薫　銀行論シラバス　會　四　七　文雅堂
柏井象雄　近代支那財政史　會　二〇六　二、〇〇　教育圖書株式會社
田畑爲彦　銀の經濟的研究　會　三八　三、五〇　柁谷書院
中西仁三　金本位制度批判論　會　三六八　三、八〇　有斐閣
服部文四郎　金融基礎論　會　八九　四、八〇　明善社
服部文四郎　金融經濟論　會　八七　四、八〇　明善社
高橋龜吉　金融・財政の再編成　會　三五　三、五〇　千倉書房
永山盈明　金融新體制と銀行の動向　岡　四　三　同盟通信社

渡邊銕藏　金融論　會　二四四　二、五〇　嚴松堂書店
波多野鼎　經濟講話　第三卷　金融・投資　岡　三八　三、〇〇　日本評論社
野田譯軍治　現代財政論　會　三五五　三、八〇　東山堂書房
ジョン・ケインズ　雇傭利子及び貨幣の一般理論　會　五六八　五、五〇　東洋經濟新報社
金融問題研究會編　增稅と解說　新稅說明と比較　岡　四　三　經濟書籍合資會社
高瀨莊太郎編　今次の增稅と公債の借換　會　四九五　三、五〇　叢文閣
濱　俊介　最近の金融・經濟問題　會　二九五　一、八〇　債券之日本社
阿崎幸治郎　債券問答　第一輯　岡　二九五　一、八〇　債券之日本社
井藤半彌　新債券讀本　岡　一二五　昭　文社
井藤半彌　增訂　財政學入門　岡　二四五　三、〇〇　日本評論社
永田清　財政學の展開　會　四九五　四、八〇　日本評論社
大谷政敬　財政金融國防論　岡　二六四　三、五〇　立命館出版部
中屋則義譯（ヒュー・ワイグモア）　財政理論入門　會　二七四　一、八〇　八元社
有斐閣　支那中央銀行論（その歷史的展開と滿支關係の特殊性）　會　六六四　六、八〇　有斐閣
德永清行　支那の地方財政（日本占領地行政の研究）　岡　三五五　三、五〇　生活社
長野敏一　土方成美編　支那の通貨と貿易　會　四二四　四、五〇　有斐閣
吹田秀三　信用理論と戰時金融の實際　會　二六八　二、五〇　日本出版社

勝 正憲	稅 （昭和十七年版）	四六	九五三	三、五〇	千倉書房
宮田勇太郎	世界貨幣の前途	菊	二二五	二、五〇	ダイヤモンド社
太平洋貿易研究所編	世界的危局下に於ける蘭印財政	菊	六七	—	太平洋貿易研究所
北村貞之助	戰時外國爲替管理と稅關手續の實際	菊	一六九	一、五〇	文雅堂書店
金融問題研究會編	戰時下銀行合同とその趨勢 銀行狀況合併一覽	四六	四一	一五	經濟書籍合資會社
銀行集會所調査課	戰時下金融の諸問題	菊	一九五	—	東京銀行集會所
原 泰一	戰時下の我國財政經濟	菊	四〇	—	全日本方面委員聯盟
鮎澤 巖	戰時下米國の金融狀況	菊	三二	—	世界經濟調査會
栗栖赳夫	戰時金融	四六	三〇八	三、〇〇	新經濟社
金融問題研究會編	戰時金融機構の確立 全國金融統制會設展	四六	四二	一五	經濟書籍合資會社
田中 豐	戰時金融金庫解說 統制法令解說叢書五	四六	一八八	一、二〇	新經濟社
中村元督	戰時金融金庫について	四六	六九	—	日本工業俱樂部
ホルスト・イエヒト 日獨文化協會譯	戰時財政論	四六	一五九	一、〇〇	刀江書院
經濟情報社	戰時貯蓄讀本	四六	五九	三五	經濟情報社
高垣寅次郎編	戰時の貨幣金融問題 五十嵐直三記念論文集	菊	六四二	七、〇〇	日本評論社
鮎澤 巖	占領地域における通貨工作	菊	二四	—	世界經濟調査會

太田正孝	大東亞戰に備ふ戰時財政と增稅	四六	七七	三〇	朝日新聞社
東洋經濟新報社編	地方金融の檢討 昭和十七年版	菊	三二八	二、〇〇	東洋經濟新報社
小林千秋	地方債讀本	菊	二〇四	二、〇〇	帝國地方行政學會
荻田 保	地方行政全書 地方分與稅	菊	二四五	二、〇〇	良書普及會
日獨文化振興會編	ドイツ財政問題研究	菊	八〇	五〇	新紘社
國防經濟協會	東亞共榮圈通貨金融工作	四六	三〇	—	國防經濟協會
林 周盛	東亞共榮圈内に於ける通貨及び金融の問題	菊	三三	—	東方問題研究所
野村信託調査部編	投資信託の實證的研究	菊	五九六	五、五〇	東洋經濟新報社
金融研究會編	ナチスドイツの金融政策 下卷	菊	四〇五	—	金融研究會
愛知揆一	南方開發金庫解說	四六	一四九	一、二〇	新經濟社
藤田武夫	日本地方財政制度の成立	菊	二六九	二、五〇	岩波書店
正龜 進	配當及利子の稅と手取額	菊	一二三	一、三〇	大同書院
野村 宣	法幣の壞滅	四六	七三	五〇	朝日新聞社
原口密司	滿洲の財政・金融・物價	菊	二三〇	—	東京銀行集會所
丸山毅夫	無爲替輸出の詳解	菊	五五五	七、〇〇	東亞公論社
高木暢哉	利子學說史	菊	六六二	六、〇〇	日本評論社

曾田虎雄	兩漢租稅の研究	菊	二七五	二、五〇	大阪屋號書店

(3) 產業（商業學一般を含む）

宮本又次	あきなひと商人	四六	三一七	二、五〇	ダイヤモンド社
柳瀨 駿	アメリカ工場建築事情	菊	二〇三	三、〇〇	土木雜誌社
ロナルド・ビー・シユーマン 世界經濟調査會譯	アメリカの石油產業	菊	三〇四	三、五〇	世界經濟調査會
世界經濟調査會編	アメリカの大企業 二十世紀財閥篇	菊	一四八	一、〇〇	世界經濟調査會
海外鑛業協會編	一九三九年度の佛印鑛業及化學工業	菊	一四一	—	海外鑛業協會
近藤止文	衣料切符制の話	四六	一六八	七〇	高山書院
商工經營研究會編	衣料品切符制の解說 附物資統制令全國解說抄	四六	一四八	一、〇〇	大同書院
日本織物新聞社編	衣料切符制早わかり	菊	二三七	五〇	日本織物新聞社
東亞研究所	印度支那の米穀市場	菊	一七五	—	東亞研究所
小西千比古	インドネシヤ協同組合發達小史	菊	—	三、〇〇	南洋經濟研究所
栗林源十郎	印度の煙草概要	菊	六六	—	たばこ新聞
中央經濟法研究會	衣料品切符制配給機構再編成の解說	四六	一〇五	七〇	大阪寶文館
神山 峻	鹽製品と其の統制 水產經濟資料第一八輯	菊	八五	八〇	水產經濟研究所
西村貞雄	牛と肉	菊	一六六	三、〇〇	西ヶ原刊行會

相川廣秋	海の資源 海洋科學叢書	四六	三二七	一、六〇	天然社
高田源淸	營團と統制會	菊	四三二	四、二〇	東洋書館
西嶋東州	大阪紙業沿革史 下卷	菊	六五六	—	大阪紙商同業組合
農村更生協會	オーストリア農牧事情	四六	一二七	五五	農村更生協會
吉村好治	海運市場變動事情管見	四六	三五〇	—	吉村好治家
吉田良三	會計監査總論	菊	一五五	一、四〇	同文館
水木守三編	會計實務判例 能率實務叢書	菊	二一八	二、〇〇	商工行政社
帝國在鄉軍人會本部	會計經理に關する件 帝國在鄉軍人會會計事務整理要項	四六	六二	二〇	軍人會館圖書部
藤井 茂	外國貿易の理論	菊	三二五	三、二〇	巖松堂書店
小倉雄三郎	會社・工場實務叢書 第三輯	菊	一三〇	二、〇〇	實務法規出版社
田中要人編	會社工場業務規定集 工員賃銀及待遇 實務篇	四六	三六四	三、〇〇	敎材社
城戸 薫	會社統營の研究	四六	三六九	一、八〇	第百書房
東洋經濟新報社	會社四季報 十八年第一輯	菊	三一九	一、〇〇	東洋經濟新報社
東洋經濟新報社編	會社四季報 昭和十七年第三輯	菊	三一九	一、〇〇	東洋經濟新報社
東洋經濟新報社編	會社四季報 昭和十七年度第三輯	菊	三一九	一、〇〇	東洋經濟新報社
東洋經濟新報社編	會社四季報 昭和十七年第四輯	菊	三一九	一、〇〇	東洋經濟新報社

今村　有　海上保險契約論　上　㊀　三四　三、三〇　嚴松堂
松野　傳　開拓農業とブラウ問題　㊀　二三三　三、四〇　生活社
相澤　勘藏　科學技術　大意　㊀　二八二　三、三〇　啓業社
化學工業時報社編　化學工業年鑑　昭和十七年版　㊁　七〇　三、三〇　化學工業時報社
鳥田　泰造　化學工場設計　㊀　九　一、三五　共立社
（神戸大學教授）江沼哲夫（神戸高等商業學校教授）補訂　化學商品辭典　㊁　六五　三、三〇　同文館
今泉　啓夫　他九氏執筆　化學商品新辭典　㊁　六五　六、〇〇　科學書院
大沼正吉外　化學特許總覽　（昭和十年度）　㊁　八九　三、〇〇　發明協會
大沼正吉編　化學特許總覽　初編　六冊揃　㊁　八九　一八、〇〇　發明協會
內野仙一郎　谷國の社會保險展望　㊀　三三　三、九〇　健康保險組合
岡本　正一　革新的水產體制の構想　㊀　三六　三、〇〇　霞ケ關書房
大高　始　火災保險損害査定の實際　㊀　三〇　三、三〇　文雅堂
日獨文化協會編　獨逸文化叢書　第八輯　㊁　八四　一、〇〇　刀江書院
岡崎　堅一　過度期の日本財界　（昭和十年度　金物關係　公定價格表）　㊁　三五　一、三〇　東京セールス
中山經濟研究所　（神奈川縣會選舉法改正に關する參考資料）　昭和十七年增訂版　㊁　四二　一、三〇　中山經濟研究所
井上　勁編　（昭和十七年度　金物關係　公定價格表）　㊁　四二　一、三〇　工業日日新聞社

岡部　寬之　株價統制と取組の研究　㊁　二三　一、三〇　債券の日本社
苗村　治一　株式會社設立の實際　㊀　二四　一、三五　文雅堂書店
松田　二郎　株式會社の基礎理論　㊀　七三　六、三五　岩波書店
高橋　直服　簡易保險の指導理念　㊁　三六　二、三五　東方書院
久保田音次郎　簡明　工場安全教本　㊀　二四　三、三五　嚴松堂
帝國鐵道協會編　鐵道業と統制　㊁　三四　三、三五　日本評論社
木村喜一郎　企業經濟の構造と機能　㊀　三四　三、三五　日本評論社
高宮　晉　企業集中論　㊀　五六　四、八〇　有斐閣
細井富太郎　企業整備今後の動き　㊁　七四　一、三五　科學工業新聞社
增田　操　企業整備と國民更生金庫　㊁　二四　一、〇〇　伊藤書店
豐田　雅孝　企業整備はどうしてするか？　㊁　二九　八〇　商工行政叢書
米光　秀夫　企業整備早わかり　㊀　二七　八〇　大阪商工會組織支部
榎本　讓吉　企業整備要綱　㊁　六八　二、一〇　高山書院
土屋　清　企業統制の新展開　㊁　六七　一、三五　朝日新聞社
大槻　一朗　企業の生産量に關する研究　㊀　五三　四、八〇　弘文堂書房

B レスター服部久男譯　技術の經濟的研究　下　㊀　三四〇

阪根　正雄　歸除法要諦　㊁　九　一、三五　白揚社
辻　治躬　基礎的珠算精解　㊀　三六　一、三五　珠算研究社
バーナード・レスター（松岡久雄譯）　技術經濟學　㊀　五九　七〇〇　湯川弘文堂
滿鐵調査部編　北支那の農業と經濟　上卷　㊀　三五　三、〇〇　コロナ社
日本織物新聞社調査部編　織物　綿織物篇　（新規格及價格表）　㊀　三三　三、〇〇　日本評論社
（池田宇六著　改訂增補版）　技能章に輝く産業戰士　㊁　三六　一、三五　國民工業學院
齋藤　幸治　九州産業の特殊性と近代産業の發祥　㊁　九　六〇　東洋經濟新報社
中野　節朗　九州電氣事業側面史　㊁　三六　三、〇〇　東洋經濟新報社
藤原　泰　銀行會計の基礎原理　（改訂增補版）　㊁　二四　一、三五　文雅堂
信夫清三郎　日本歷史學大系　近代日本産業史序說　㊀　五四　三、八〇　日本評論社
中村　義正　金　鶴　香　水　㊁　二九　一、三五　太平書房
迫水　久常　金融統制會の進路　（統制會叢書第二輯）　㊁　三〇　一、三五　新經濟社
岡本　廣作　金　利　計　算　法　㊀　四八　五、〇〇　文雅堂
廣崎眞八郎　勤勞人の錬成　（勞務管理全書第七卷）　㊀　三八　三、三〇　東洋書館
鈴木　舜一　勤勞と文化　（勞務管理全書第九卷）　㊀　三八　三、三五　東洋書館

田中　要人　空襲下の業務處理對策　㊁　三七　一、三〇　教材社
葛城　照三　空襲保險の理論と實際　㊁　五三　三、三五　泰文社
矢持　輝治　述　工夫次第で仕事の能率增進　㊁　二四　三、〇〇　マネジメント社調査部
村本　福松　新版　經營學概論　㊀　三六　三、〇〇　千倉書房
村本　福松　經營經濟學の基本問題　㊀　三八　三、〇〇　理想社
小高　泰雄　經營經濟の道理　㊀　二六　一、八〇　文雅堂
中西　勉　經營必携　㊁　七　一、八〇　圖南書房
濱谷　源藏　計畫貿易政策　㊁　二五　九〇　同文館
（一條六十一令私案）　（昭和十七年版　全卷附實例）　輕金屬年鑑　㊁　三〇　二、〇〇　金物時代社
馬事日本編輯部編　十七年度競馬成績書　㊀　二五　一、八〇　日本馬事普及協會
越村信三郎　經濟循環の基本圖式　㊀　二六　四、三五　日本評論社
赤羽豐治郎　經濟と統制　㊁　三五　三、〇〇　大同書院
坂崎　慶藏　決戰體制下日本事業界の新段階　㊀　三六　八〇　實業往來社
山下　勝治　原價價格計算　㊀　四七　四、三五　千倉書房
（商工行政叢書）　原價計算規則論　㊁　三六　一、八〇　高山書院
大山　侃爾

日本原價計算協會編　原價計算（原價計算一部異版・二部異版合綴）　菊判　一〇七九　昭和十七年版　工業新聞社

原價計算と價格政策（シュマーレンバッハ　土岐政藏譯）　下卷　菊判　一〇三　昭和十七年版　日刊工業新聞社

芳野武雄　原價計算の要領　改訂版　菊判　一六三　一、三五　同文館

藤井久平編　原價計算便覽　菊判　四四四　三、五〇　春陽堂

青木倫太郎　原價計算簿記　菊判　三五五　二、八〇　大同書院

小高泰雄　原價計算論　菊判　二六〇　九〇　慶應出版社

鈴木武男　健康保險組合事務提要　菊判　三五五　一、三五　渡邊鎭藏

大泉行雄　現代商業の基本問題　菊判　一三五　七〇　同文館

香口吉彥　現代貿易政策（經濟全書）　菊判　一四三　一、〇〇　日本評論社

岡崎五男　工業組合の會計實務　菊判　四四四　四、〇〇　大東書館

太田哲三　工業會計及原價計算　菊判　三六六　二、五〇　千倉書房

宮崎力藏　工業原價計算　菊判　三〇〇　二、五〇　科學主義工業社

辻源治郎　昭和十七年版　工業仕入案内　菊判　八一六　五、〇〇　日刊工業新聞社

關原徹　工員必携　勞務統制の話　菊判　一六五　七〇　常磐書房

北野晉夫編　昭和十七年庚版　工業取引案内　菊判　九二四　三、〇〇　日本工業新聞社

大泉行雄　現代商業の基本問題　菊判　一三五　七〇　同文館

香口吉彥　現代貿易政策（經濟全書）　菊判　一四三　一、〇〇　日本評論社

岡崎五男　工業組合の會計實務　菊判　四四四　四、〇〇　大東書館

太田哲三　工業會計及原價計算　菊判　三六六　二、五〇　千倉書房

宮崎力藏　工業原價計算　菊判　三〇〇　二、五〇　科學主義工業社

辻源治郎　昭和十七年版　工業仕入案内　菊判　八一六　五、〇〇　日刊工業新聞社

關原徹　工員必携　勞務統制の話　菊判　一六五　七〇　常磐書房

北野晉夫編　昭和十七年庚版　工業取引案内　菊判　九二四　三、〇〇　日本工業新聞社

東京藥品日報社編　昭和十七年版　工業藥品年鑑　菊判　七四九　四、〇〇　東京藥品日報社

栗原義純　新廣告の常識　菊判　一三三　一、八〇　千倉書房

津田秀策　鑛山統制會の進路（鑛山統制會叢書四）　菊判　一六八　一、五〇　新經濟社

鑛山の管理　菊判　二七七　二、三〇　厚生閣

佐藤貢　濠洲及新西蘭の農事情（パンリー・ホール・フーパー著　佐藤貢譯）　菊判　二一九　一、三〇　興農公社

濠洲の牧畜業　菊判　二三　一、三〇　渡邊經濟研究所

濠洲聯邦の産業概要　菊判　一五〇　一、三〇　臺灣銀行

莊司由彥　工場管理綱要（勞務管理通信叢書　十五）　菊判　二六八　一、四〇　高山書院

栗原靜吉　工場管理要綱　菊判　二六八　一、四〇　高山書院

佐々木正憲　工場寄宿舍管理　菊判　二六八　三、〇〇　東洋書館

波多野貞夫　工場經營管理　第一篇　總論　菊判　三七〇　二、〇〇　千倉書房

栗原操　工場保健衞生　菊判　二五〇　七、三〇　東洋書館

大軒順三　田中彌一郎　公定價格便覽（木村・森田合著）　菊判　五九七　四、八〇　東洋經濟新報社

河合諄太郎　高等商品學　菊判　四二〇　三、五〇　三省堂

坂田武雄　小賣商整備の實際　菊判　二六一　一、六〇　協同公社

日本産業調査會編　國產重要機械器具　菊判　四九六　一五、〇〇　日本産業調査會出版部

産業組合の數理と計算表　菊判　二三四　一、三〇　帝國産業法規社

ダイヤモンド社編　産業講話　菊判　四六八　三、五〇　ダイヤモンド社

塚田一三　産業合理化論　菊判　二三八　三、五〇　日本出版社

永島芳郎　産業道讀本　菊判　二四四　一、六〇　秀峰社

産業設備管圍俳說（圍壁産業統制團體協議會編）　菊判　二一六　八〇　新經濟社

中山幸　産業設備管圍の使命　菊判　一五六　精神科學研究所

神田連　産業設備管圍について　菊判　一三五　一、三〇　世界經濟情報社

上野陽一　産業能率訓　生産篇　菊判　二三三　一、三〇　敎學社

菊地麟平　産業武士道　菊判　二六四　一、八〇　ダイヤモンド社

勝本新次　産業保健管理（勞務管理通信叢書　十四）　菊判　二六一　一、六〇　東洋書館

太田正吉　産報精神より見たる工場管理　菊判　三八　三、〇〇　大同書院

東亞工業新聞社編　資源戰下の日本産業　菊判　四九二　三、五〇　中川書房

資源と工業　南方篇　菊判　三五二　四、五〇　工業通信社

工業通信社編　資源と工業　南方篇　菊判　三五二　四、五〇　工業通信社

蔡原達　實務家讀本（實はいちばん小さいことから手近から）　菊判　一五六　一、二〇　逓信學館

實用工員要覽　菊判　四八六　二、五〇　鐵道出版局

芳野武雄　實用珠算法精義　菊判　三五〇　三、〇〇　丸善株式會社

由田勝次郎　米と繭の經濟構造　菊判　三六　一、三五　岩波書店

高橋關晴編　公定價格品目便覽（官報購讀者必携）　菊判　二八六　一、八〇　丸文書房

水野武夫　米の代用食としての麥類の研究　菊判　二九四　四、五〇　西ヶ原刊行會

高梨正夫　これからの統制（これからの經濟これからの統制）　物と金　菊判　四六五　二、三〇　京都高商田版部

金子一夫　最新工業簿記　全　菊判　三〇三　二、五〇　東京開成館

岩崎宗三郎　最新珠算精義（商工行政叢書）　菊判　二五二　一、三〇　高山書院

商工行政調査會編　最新物資配給圖解（商工行政叢書）　菊判　二六八　一、三〇　神田連

大島政志　最新輸出入品分類表　菊判　三四四　八、〇〇　春陽堂

松本信次　財政金融新體制と株式市場の再編成（昭和十三年八月十八日記念出版）　菊判　二七七　三、〇〇　巖松堂

小之助編　埼玉縣振興史　産業篇　菊判　四四四　四、〇〇　埼玉評論社

水産社編輯部編　再編成途上の纖維産業　菊判　一四　七〇　水産社

東亞研究所　在滿白系露人のカザック農業　菊判　八四　一、〇〇　東亞研究所

雜賀博愛　在滿（英資事業）　菊判　三七　一、三〇　實業之日本社

農業技術協會編　農業技術作付統制の一解說（農業技術叢書）　菊判　六六　一、三〇　實業之日本社

相川春喜　產業技術　（農業技術叢書）　菊判　三四四　一、三〇　實業之日本社

久世正一　產業技能事典　菊判　三五五　一、三〇　岡倉書房

龔中山五郎譯　支那近代工業發達史　上　東亞叢書　國　九一　生活社　一、三〇
龔中山五郎譯　支那近代工業發達史　下　東亞叢書　國　八六　生活社　一、八〇
劉大均大塚令三譯　支那工業綜觀　上卷　社　四九　生活社　四、〇〇
大塚令三譯　支那工業綜觀　下卷　社　九三　生活社　一〇、〇〇
米田祐太郎　支那廣告宣傳の技術　國　三四五　教材社　三、〇〇
鎌田　稔藏　支那事變下海上保險竝ニ關スル諸取締法規說　社　—　船舶保險協同會　—
東亞研究所　支那製糸業と關する資料（調査）　社　公九　東亞研究所　—
天野元之助　支那農業經濟論　中　社　七八　改造社　八、〇〇
山名　正孝　支那農業建設論　社　二九　株式會社教育圖書　二、三五
田邊　勝正　支那の農業經濟　經濟叢書　國　三三　日本評論社　一、八〇
山崎　百治　支那物産綠覽　實業叢書　國　五三　栗田書店　三、〇〇
米谷　榮一　支那貿易概要　實業叢書　國　三九　生活社　一、八〇
杉本　壽　支那林業經濟建設論　社　四四　教育圖書株式會社　四、〇〇
澁澤水產史研究室編　澁澤水產史研究室報告　第二輯　社　四九　日本常民文化研究所　四、三五
中辻丹治　社會保險醫務必携　國　四五五　健康保險醫報社　三、七〇
竹井十郎　ジャワ人の經濟的知識と商業　社　三　南方圈研究會　—

國際文化振興會譯　重工業一　英・佛・獨・伊・米版　國　各四八　國際文化振興會　各一、二〇
關江・マース・マン・河野健二譯　重商主義論　社　二六八　有斐閣　二、八〇
帆足計編　重要產業協議會要覽　社　五六　重要產業協議會　三
川村貫治講　珠算實務講座　上下　社　五三　各一、八〇　良國民社　各一、八〇
山本長五郎　珠算精義　社　四一　彰文館書店　四、三五
珠算に於ける補數計算の基礎理論　國　九二　珠算研究社　八〇
田口　秀丸　珠算用票　上級用　國　八〇　高橋珠算道研究所　三
高橋　明夫　内閣情報官由良金宣傳　國　三三〇　日本電報通信社　一、三五
由良金宣　商學研究の栞　國　六七二　日本評論社　三、八〇
得三良一　商業概論　社　四六五　叢文閣　三、八〇
福井長三郎　商業史　社　五九　千倉書房　四、三五
杉原勇太郎　商業珠算　社　四七　大鉱書院　二、六〇
北條時重　商業數學　對照簡易計算表　社　三二　東洋圖書株式會社　三、八〇
三島　弘　商業は中間搾取か　社　一五　—　—
山田　正治　商業報國讀本　國　二五二　伊藤書店　一、五〇
大泉行華　商業本質論　社　三八　同文館　三、三〇

國際文化振興會　有斐閣　重要產業協議會　良國民社　彰文館書店　珠算研究社　高橋珠算道研究所　日本電報通信社　日本評論社　叢文閣　千倉書房　大鉱書院　東洋圖書株式會社　—　伊藤書店　同文館

新制　原價計算指導　社　二六三　會計分析研究所　二、八〇　東京開成館
榎本隆一郎　人造石油政策と其の事業　國　一九九　文雅堂書店　一、三〇
銀行研究社編　信託會社の實際知識　社　一七二　中外產業調査會　一、三〇
松下　傳吉　人的事業大系 10　工化學下　社　五八八　木村經濟研究所　七、三〇
森林組合及施業案の基礎知識　社　三三二　木村經濟研究所　二、三〇
森林組合の解說と運營　社　五五二　木村經濟研究所　三、三〇
吉川　治　水產經濟年報　第一輯　昭和十七年上半期版　社　四二　水產經濟研究所　三、〇〇
水產經濟研究所　水產經濟年報　第一輯　昭和十七年上半期版　社　四二　水產經濟研究所　三、〇〇
桑田　透一　水產日本　國　二九八　講談社　二、〇〇
水產社調査部編　改訂水產物公定價格手帳　社　一四四　水產社　一、八〇
宮原　榮藏　スマトラ南部の油田と製油所について　日・滿・支文化研究所編　國　一六　—　—
宮原　榮藏　生產と配給　國　五五　日滿支拓殖文化研究所　三五
—　生產工學　工具及材料管理　社　二五〇　河出書房　四、三〇
矢持　輝逸編　生產要具たるべき賃金制度　國　一六六　マネージメント社　一、三〇
神馬新七郎　安倍小治郎　生鮮食糧統制の研究　國　五七四　水產經濟研究所　三、八〇
新　貸借對照表論　上　社　四七　有斐閣　四、八〇
新　東洋經濟新報社　生命保險の原理　社　二五〇　東洋經濟新報社　一、三〇
新　自動車論　國　二四四　教材社　三、三〇
新　商人道　社　三二　研究社　二、〇〇
大阪　經營形式「營團」の思想背景について　社　三　—　研究所　—
幸　上達一週間四ツ珠最新珠算詳解　國　一九九　上達社　一、三〇
久藏仁　職工養成の常識　國　二五二　生活社　一、八〇
心構へ　職長の　勞務管理叢書　國　一三〇　生活社　一、八〇
養成　職長　勞務管理叢書　八　社　三三〇　株式會社教育圖書　二、三五
伸　食糧增產と農業技術　國　二三五　日本評論社　一、八〇
三郎　食糧管理と食糧營團　國　三〇八　栗田書店　三、〇〇
保平　食糧管理　農業配給統制論　社　四四五　株式會社教育圖書　二、三五
磯輝　食糧生產の經濟的研究　東洋書館經濟叢書　社　二六六　東洋書館　三、〇〇
晉五郎　特許出願の常識　實用文例附　國　三三　日本評論社　一、八〇
和太郎　新經營形式「營團」の思想背景について　社　三　—　研究所　—
幸　新稿　貸借對照表論　上　社　四七　有斐閣　四、八〇
道輔　會計・工場業務現況集　國　三九八　教材社　三、三〇
正久　人事實務篇　國　二四四　自研社　二、二〇
松藏　新自動車論　國　二四四　自研社　二、二〇

フリーデンスブルク 岡崎太郎譯 世界鑛業論 ― 日本貿易振興協會編

東亞研究所編 世界鑛産統計 ― 日本貿易振興協會

久保山雄三 石炭鑛業發達史 ― 日本貿易振興協會

久保山雄三編 石炭大觀 ― 帝都日日新聞社

吉本重洋 織維再編成 ― 東洋書館

吉本重洋 織維統制 ― 科學主義工業社

神山峻 織維年鑑 ― 新東京社

全國漁業組合聯合會編 全國漁業組合統制の實相 ― 精神科學研究所

商工省編纂 昭和十六年版 全國工場通覽 ― 精神科學研究所

日獨文化振興會編 戰時下獨逸農業問題 ― 世界經濟調査會

渡邊銕藏 戰時下に於ける消費と割當制 ― 文雅堂

小田榮一 戰時中小商工業の再編成と對策の實際 ― 大貫書房

中野豐一 戰時日本の石油業 ― 新東京社

東京商工會議所譯 戰時工業經營新講 ― 大貫書房

渡邊政雄 戰時物價統制の諸問題 ― 日本出版社

東亞貿易政策研究會編 戰時貿易對策要覽 ― 日本貿易振興協會

東亞貿易政策研究會編 戰時貿易對策要覽（英帝國） ― 日本貿易振興協會

大東亞共榮圏綜合貿易年表Ⅱ 大東亞共榮圏綜合貿易年表 中華民國總覽 ― 帝都日日新聞社

比律賓 大東亞共榮圏 ― 東洋書館

國防經濟協會編 國防經濟協會 ― 科學主義工業社

大東亞建設と紙 大東亞共榮圏農業政策の檢討 ― 文雅堂

久門英夫 大東亞戰下變貌する日本産業 ― 大貫書房

清水秀雄 大東亞南北建設國經濟の指標 ― 新東京社

角田藤三郎 大東亞農業經濟の再編成 ― 大貫書房

稻村隆一 大東亞農業政策の基調 ― 新東京社

中井省三 大東亞貿易新論 ― 大貫書房

龍田連 泰と馬來の鑛山行脚 ― 日本出版社

ダイヤモンド社編 ダイヤモンド實務知識 ― ダイヤモンド社

大量生産管理と統計的方法 ― 日本科學技術研究會

金融之世界社編 臺灣産業金融事情 ― 金融之世界社

W・ウクナー 高山洋吉譯 中國農業下卷 ― 生活社

日本工業新聞社編 中小工業を斯く動員せよ ― 日本工業新聞社

磯部喜一編 中小工業統制組織 ― 有斐閣

山中篤太郎編 中小工業の將來性 ― 有斐閣

中村武夫 中小工場の經營 ― 有斐閣

今村武雄 中小商工業の再編成 ― 同盟通信社

東洋經濟新報社編 朝鮮産業の共榮圏參加體制 ― 東洋經濟新報社

日滿支拓殖文化研究所 乘富丈夫 徴用勞務管理 ― 東洋書館

蒲岡滋 圖解工業會計 ― 厚生閣

後藤勇夫編 昭和十七年度帝國銀行會社要錄 ― 帝國興信所

帝國商工會 改訂鐵鋼・機械・製品統制の實際知識 ― 帝國商工會

佐々木格三 猪俣政義 地方版 ― ―

小日山直登 鐵鋼統制會の進路 ― 新經濟社

金指五郎 鐵道工場管理讀本 ― 鐵道時報局

藤川洋 轉換期に立つ企業經營管理 ― 富山房

實治郎 轉換期農業政策の指標 ― 嚴松堂書店

博松 轉換期の商工經營 ― 同文館

伊藤村中 轉換期の人文閣 ― 東洋書館

白崎　豐傳	縣會計	三六三	三、八〇	ダイヤモンド社	同盟通信社	二、五〇
電氣廳	電力國家管理の顚末	九六	—	日本發送電	東邦電力會社	—
林　惠海	獨逸人口農本論	八三	二、四〇	栗田書店	大同印書館	三、〇〇
クリス・ベントル著　安藤一譯	獨逸の工業地域	二〇三	一、四〇	東洋堂	日刊土木建築工業新聞社	二、四〇
日獨文化振興會編	ドイツ中小企業問題	二〇	三〇	新紀社	日本繊維	—
全日本木材統制研究會編	獨逸國に於ける林業の戰時體制	公	—	全日本木材統制研究會	紡績新聞	九
渡邊　鎭藏	獨逸の證券市場政策	異	—	渡邊經濟研究所	日本綿業倶樂部	—
福井　慶三	東亞共榮圈ヨリ見タル印度棉業	八	—	福井慶三家	大同書院	五〇
坂入長太郎	東亞產業立地の研究	三九	三、三〇	東洋書館	商工通信社	二、四〇
山田　勇	東亞三業生產指數の硏究（內地・朝鮮・臺灣ノ部）	四二五	四、五〇	日本評論社	新紀社	二、五〇
教育農業聯盟編	東亞の農業資源	三〇	三、五〇	地人書院	東邦電力技術史	—
東京市東京商工名鑑		—	—	同著願布所	東洋書館	三、〇〇
糖業硏究會	糖業便覽 二	三七	八、〇〇	丸善株式會社	科學主義工業社	一、四〇
小宮山利秋	經濟會と財閥	二五	一、四〇	東京講演會出版部	工業通信社	七〇
根津　知好	統制會と中小商工業の行方	二一	七〇			

神山　皎	東南亞細亞における外國投資（日本國際協會太平洋問題調査部編）	三五	二、五〇	東邦電力會社	同盟通信社	二、五〇
中村　宏	東邦電力技術史	四〇	—	電力會社	東邦電力會社	—
板谷　英虫	東北農村記	四五	三、〇〇	大同印書館	大同印書館	三、〇〇
田中　一	土木建築用資材公定價格輯覽第二輯	四九八	二、四〇	日刊土木建築工業新聞社	日刊土木建築工業新聞社	二、四〇
中島勝二郎	特殊業界統の整備統合に對する私見	九	—	日本繊維	紡績新聞	—
日本綿業倶樂部編	內外綿業年鑑	—	五、〇〇	日本綿業倶樂部	日本綿業倶樂部	五、〇〇
大同書院編輯部	原價計算關係諸法全集（內閣總理大臣企畫院昭和十六年度）	六一	一、八〇	大同書院	大同書院	一、八〇
千田正泰編	名古屋會社總覽（十七年度ポケット）	六九	二、四〇	商工通信社	商工通信社	二、四〇
日獨文化振興會編	ナチス物價政策解說（大綱通信編）	六一	三〇	新紀社	新紀社	三〇
古關　德彌	南方開拓者の指標（南米移民の體驗を通として）	三一	一、四〇	文憲堂書店	文憲堂書店	一、四〇
有賀　松夫	南方共榮圈と纖詰業	七一	—	纖詰產業協力會	纖詰產業協力會	—
東京日々新聞經濟部編	南方經濟の指標	三三	一、八〇	東日大每社	新聞社	一、八〇
齋藤　宗一	南方圈の水產	三三	三、五〇	東京堂	東京堂	三、五〇
松丸志摩三	大東亞資源叢書 2 南方圈の棉花資源	六一	二、四〇	國際日本協會	國際日本協會	二、四〇
渡邊　東雄	南方水產業（水產經濟資料第十四輯 南方水產業調の現勢）	三五	三、〇〇	中興館	中興館	三、〇〇
神山　皎	南方經濟の指標	三三	一、八〇	東日大每社	新聞社	一、八〇
東南亞細亞における外國投資（日本國際協會太平洋問題調査部編）		三五	二、五〇	東邦電力會社	同盟通信社	二、五〇

細口　弘	南方に於ける資本關係	三七	三、一〇	味燈書屋	龍　健一	日本纖銷業概論	三五	三、一〇	科學主義工業社
根岸　勉治	南方農業問題	四九七	四、五〇	日本評論社	藤田國之助	日本取引所解說	五〇	五、一〇	千倉書房
山口　得三	南方の畜產事情	七	三〇	帝國畜產會	近藤　康男	日本農業經濟論	四三	四、五〇	時潮社
新經濟社南方硏究會編	南方の商品 二	二四八	一、一〇	新經濟社	吉岡　金市	日本農業と勞働力	二九三	二、八〇	白揚社
關原一雄	南方林業經濟論	四六	四、五〇	霞ケ關書房	小西千比古	日本寶藥南方進出盛衰記	九	一〇	南洋經濟研究所
高山慶太郎	南洋の林業	四三	三、八〇	豐國社	酒井　澤喜	日本貿易統制機構（附・大東亞物動計畫計畫）	四〇一	三、〇〇	修文館
鄉　隆		—	—	南洋貿易會社	瀧鐵調査部	乳牛飼育を主體とせる露人農家經濟調査	一五三	二、四〇	博文館
河田嗣郎編	日本學術振興會（財團法人）第小委員會報告 米穀經濟の硏究 3	二六	三、六〇	有斐閣	小島常次郎	布綿製品配給機構はかく整備せられる	五七	—	日織維聯盟
東方問題硏究會編	日本工業構成の變化とその影響（大調日本文化史叢書）	—	—	東方問題硏究會	大谷　光瑞	熱帶農業	八九一	六、四〇	有光社
南種　康博	日本工業史	四三七	三、〇〇	地人書院	岡田　溫	農業經營の再檢討	四三五	四、〇〇	龍吟社
延棠叢之助	日本產業論	三六	三、〇〇	同文館	河田嗣郎編	農業新機構硏究	四八五	四、五〇	日本評論社
西嶋　東洲	日本紙業發達史 全	五七	五、五〇	紙業出版社	確氷　茂	農業增產と滿洲開拓	三二	二、四〇	地人書館
尾崎　正久	日本自動車史	六三	八、五〇	自硏社	小平　忠	農業團體統合論	二七七	三、五〇	大貫書房
水產社編	日本水產年報 第六輯	四五〇	八、〇〇	水產社	鈴木金三郎	農業團體統制講話	二七	一、三〇	東奧日報社
森　喜一	日本生產機構入門	三五	二、三〇	今日の問題社	伊藤兆司譯（レオタアイベル補）	農業地理學の諸問題（農業地理學の北海道的考察）	三七	二、八〇	古今書院
上野　蕉	日本全國銀行會社錄 上下	—	三五、〇〇	商業興信所	安田　誠三	農業統制と協同化	二九八	三、〇〇	白揚社

稲村順三	農産物價格論	岡	三八	三、三〇	東洋書館	B・H・ミラー／法貴三郎譯	フイリツピン農業史	岡	三五	三、〇〇	生活社
櫻井武雄	農村政策論	岡	二六八	二、三五	光書房	渡邊鉄藏	佛印産業改良の實狀	岡	三	—	渡邊經濟研究所
野尻重雄	農民離村の實證的研究	岡	五九	五、三五	岩波書店	森德久	佛印の農業金融及同組合	岡	七	—	農村經濟調査會
赤羽幸雄	配給機構の地域的再編成	岡	三三	二、三五	伊藤書店	水谷乙治	佛印の企業	岡	七三	一、二五	ダイヤモンド社
松本信次	配給經濟學入門	岡	三三	一、八〇	千倉書房	西澤基一譯	佛印の棉花資源	岡	三	三、〇〇	週刊産業社
平野常治	配給政策	岡	二六一	一、三五	千倉書房	中込武雄	フランスの研究資料より	岡	三八	三、〇〇	中川書房
林久吉	配給論	岡	四五一	四、二〇	文雅堂書店	内藤保廣	佛文「佛印向日本商品」	岡	—	一、〇〇	日本貿易振興協會
日獨文化協會譯	馬鈴薯及び蔬菜類市場の統制	岡	一八	八〇	刀江書院	佛領印度支那貿易概觀		岡	九七	二、八〇	大同書院
川村貫治	改訂範近商業珠算	岡	二七〇	一、九〇	春陽堂	田沼征物價と生活		岡	四三	二、三五	厚生閣
竹中寛次	南方經濟叢書 甲	岡	二四五	一、八〇	銀行問題研究會	田中要人編	文書實務篇	岡	三四	二、三五	敬材社
森澤元三郎	東印度の工業と工業化問題	岡	四二六	四、八〇	新經濟社	發明公報協會編	米英其の他敵國所有の特許權集錄	岡	二七〇	一七、三五	發明公報協會
大日本赤誠會本部編					大日本赤誠會本部	上坂酉三	貿易勝話	岡	五四	一、三五	千倉書房
上田龍藏	標準工場簿記	岡	九三	—	大同書院	宇野謙一	紡織要覽	岡	—	一〇、〇〇	紡織雜誌社
渡邊鉄藏	ビルマの工業	岡	四一	七	渡邊經濟研究所	吉田良三	簿記概論	岡	三〇七	三、三五	同文館
亞研究所編	ビルマの農産資源	岡	二七〇	—	岩波書店	簿記教育研究會編	簿記教育	岡	一六	一、九〇	ヤングメン通信社
古澤一夫	勞務管理全書 十二 疲勞と休養	岡	一八七	二、〇〇	東洋書館	青木正榮	簿記實務講座 上巻	岡	三七	一、三五	良國民社

青木正榮	簿記實務講座 下巻	岡	四三	一、三五	良國民社	三菱經濟研究所	昭和十六年下期本邦事業成績分析	岡	七	一、〇〇	三菱經濟研究所
ダイヤモンド社編	昭和十七年版ポケット會社要覽	岡	二九八	一、四〇	ダイヤモンド社	山内庸邊	本邦の貿易と新秩序	岡	二八	一、八〇	大東書館
靏文操	北海道農業の動向	岡	二〇三	一、〇〇	北海道農會	松岩村とその漁業組合の再出發		岡	九	三〇	翼賛圖書刊行會
石川市郎	北支産業と特殊資源	岡	三〇二	一、五〇	日本たより社	松野傳	改訂滿洲開拓と北海道農業	岡	六六	五、〇〇	生活社
依藤子孝次 小森健次	北方農業の經營	岡	五六八	四、五〇	北方文化出版社	坂崎慶藏	滿洲經濟の地位と特殊會社の動向	岡	六六	一、八〇	實業往來社
北海道新書 第一輯	北支農業經濟論	岡	二六六	一、八〇	博文館	坂崎慶藏編	滿洲建國十周年と大陸事業界の再認識	岡	二八	一、三〇	實業往來社
東亞新書	北支民族工業の發達	岡	九二	三、三五	日光書院	滿洲國工業技術員協會編	滿洲國工業年鑑	岡	六六	六、〇〇	亞細亞書房
澤見富雄編	ポケット用 實業之日本天名古屋案内 昭和十七年度版	岡	三四	一、〇〇	中央公論社	石黒直男	滿洲國生活必需品の配給統制	岡	五六	三、〇〇	滿洲圖書株式會社
西藤雅夫	保險學新論	岡	四四	四、二〇	立命館出版部	近藤康男	滿洲農業經濟論	岡	二〇〇	二、三五	日本評論社
今村有外	保險學全集 第一冊 A	岡	四二	四、二〇	有光社	佐藤武夫	滿洲農業再編成の研究	岡	三四	三、八〇	生活社
小島昌太郎	保險學要綱	岡	三九	三、三〇	富山房	村越信夫	滿洲農業の自然環境 東亞新書	岡	九〇	一、〇〇	中央公論社
野津務	保險契約法論	岡	四八	四、八〇	有斐閣	川村貫治補	增補 明解珠算奧訣	岡	三六	一、八〇	春陽堂
鵜飼新一郎	保險現業の革新的方向	岡	三四	一、八〇	通信學館	清水玄	明治大正保險史料 四	岡	五六	—	生命保險會社
白杉三郎	保險新體制	岡	二九五	一、三五	富山房	碓氷厚次	持株會社の會計	岡	五六	五、三五	千倉書房
三菱經濟研究所編	昭和十六年上期本邦事業成績分析	岡	八八	一、八〇	三菱經濟研究所	問答形式中小商工業整備の實際	昭和十七年版藥品關係公定價格年鑑	岡	二五六	一、三五	新體制實踐研究會編
經濟（産業）										二、〇〇	銀座書院

佐野　福藏　有限會社設立案内　㊒　—　一、八〇　通文閣
灘谷善一編　輸出雜貨工業論　㊒　四六　九〇　鐵道教育會
日本貿易研究所編　輸出ブラシ工業　上卷　㊒　四七　二、三五　三省堂
水野　一郎　羊毛工業　再編成　㊒　三九　五、三五　嚴松堂書店
渡邊　鎭藏　歐洲戰爭勃發後の亞米利加貿易事情　㊒　三八　二、三五　海運研究社
遠藤　正閣印の設計　㊒　四二　二、八〇　湯川弘文社
服川　嘉彥　勞働者年金保險講話　㊒　六二　五〇　大同書院
狩野　廣之　勞務配置　㊒　三一〇　三、八〇　東洋書館
佐伯　敏男　勞務配置論　㊒　四六　三、〇〇　商工行政社
伊藤　博　勞務管理全書　第五卷　勞務指導　㊒　四六　四、五〇　東洋書館
村中　兼松　勞務問題と統制會　㊒　一五　一、二〇　產業厚生時報社
船木重光編　Japan Trade Guide 1942（英文貿易年鑑）　㊒　五九　三五、〇〇　同盟通信社

(4) 交通・通信

鐵道省編纂　改訂運轉取扱心得　㊒　一四　一、一〇　東洋書籍出版協會
東亞研究所編　イランの鐵道　㊒　究　—　東亞研究所
海務院外編　海行く日本　㊒　—　日本海運集會所

遠藤　武治　運轉理論問題正解　㊒　二九八　一、八〇　通文閣
鐵道省經理局　運輸帳表取扱手續　㊒　二七七　九〇　鐵道教育會
小澤　雅輔　英和海事用語辭典　㊒　二八三　二、三五　三省堂
廣生平八郎　海運及海運政策　㊒　五四四　五、三五　嚴松堂書店
加藤　秀雄　海運事情と統制　㊒　三九　二、三五　海運研究社
港灣協會編　外國の港灣一　㊒　六二三　一〇、〇〇　港灣協會
宮本吉太郎　海洋への新しき出發　㊒　三〇七　一、三五　海文堂書店
鐵道省編纂　貨物運送規則同補則　㊒　九九四　大日本教化圖書
橋本　一　貨物運送規則同補則逐條解說　㊒　四三三　三、三五　中央書院
鐵道省編　貨物運賃等級表　㊒　九三　八〇　交通展望社
貨物規定集　㊒　三五　一、三五　交通展望社
岩崎磯五郎　汽車と鐵道　㊒　三三四　三、〇〇　春秋社松柏館
佐瀨　昌三　空陸交通法上の諸問題　第一輯　㊒　三五二　三、八〇　清水書店
佐藤喜一郎　航空記　㊒　二九　一、〇〇　道統社
通信調査會　濠洲の通信及交通事情　㊒　一六　—　通信調査會

島田　孝一　交通政策　㊒　二七〇　一、三〇　千倉書房
柴田彌一郎　交通政策論　㊒　二六二　二、三〇　商工行政社
西藤　雅夫　交通總論　㊒　三〇二　一、三五　鐵道教材社
山田朝吉編　交通手帖　㊒　三三三　一、七〇　六藝社
滿尾　君亮　國鐵の精神　㊒　三三三　一、七〇　六藝社
堀口　大八　國防國家と交通　㊒　三〇八　二、〇〇　東洋堂
岩田　治一　自動式電話　㊒　三〇八　一、三〇　鳳生社
鐵道省編　鐵道輸送局編　自動車旅客貨物運賃算出表（昭和十七年四月一日現在）　㊒　一六四　一、一〇　鐵道教育會
水路部編　支那東岸水路誌　第一卷　㊒　三三六　二、三五　水路部
寺孫子　豐　支那鐵道史　東亞叢書　㊒　二六四　一、三〇　生活社
小林　宗一　支那の戎克　㊒　三〇三　二、〇〇　揚子江社
丹治　安藏　車掌見習讀本　初任者勤務の心得　㊒　一七二　八〇　交通社
武藏野蛙生　商船十話　㊒　二四四　一、三五　日本船用品協會
東京鐵道局運輸部編　新運輸教本　㊒　二〇二　二、三五　交通展望社
伊藤　斌　新疆の交通　㊒　二八　—　東亞研究所
通信調査會　世界諸國の無線放送機構　㊒　一四七　通信調査會

住田　正一　世界戰爭と船舶問題　㊒　二〇　三〇　朝日新聞社
海務院校閱　戰時海運管理解說　㊒　一六　一、三〇　日本船用品協會
石岡嘉美編　戰時海運と計畫造船　㊒　一三一　二〇　交通研究所
鎭目　榮一　戰時に於ける商船の自衞　㊒　四〇　—　其船舶部
三井物產　加賀山之雄　㊒　一五四　一、七〇　交通研究所
大阪鐵道局工務部編　線路作業員傷害防止讀本　冬期編　㊒　一九七　一、四〇　鐵道技術社
新潟鐵道局工務部編　線路作業員傷害防止讀本　夏期編　㊒　二八　九〇　鐵道技術社
大教社編輯部　旅客規定便覽　㊒　二四〇　一、三〇　大教社
日獨文化振興會譯編　大ドイツの戰時交通　㊒　二五　三五　新紘社
日本經濟聯盟會調査課　大東亞海運研究　㊒　四三五　二、八〇　生活社
飯尾　穰　大東亞共榮圏交通統觀　㊒　三五八　二、八〇　東洋堂
交通每日新聞社　昭和十七年版地方鐵道・軌道一覽　㊒　二五　七〇　鐵道時報局
鐵道時報局編纂　星野　晃　㊒　二一九　九五　ラジオ科學社
井上長太郎　通信地理學　㊒　二四〇　二、三五　神田書房
木村正太郎　手小荷物規定解說　㊒　一九三　二、三〇　鐵道教育會

機關車乘務員會編	鐵道省機關士になるまで	圖	二八	一、三五
三村　登	鐵道通譯	圖	二五五	鐵道教育會
高橋　憲雄	鐵道線路警備	圖	二八	一、三五
倉戸三郎	鐵道防災科學	圖	三〇	二、九〇　四海書房
鈴木軍治	電信と若き技術者	圖	三五	一、三五　オーム社
遞信省	電務年鑑	圖	五三	三、三〇　千歳書房
立花次郎	ドイツ及ソ聯の鐵道運輸に就いて	圖	—	—
大島司朗	獨逸自動車國道	圖	二六三	通信調査會
日本放送協會	ドイツ短波放送	圖	—	三、三〇　日本放送出版協會
齋藤　藏藏	鐵道省	圖	四六	鐵道技術社
鐵道省運輸局編	内地社線運賃算出表	圖	三三	一、三五
鐵道省編纂	内地連絡運輸關係規則	圖	三五	大日本教化圖書株式會社
志鎌　一之	ナチス・ドイツ陸運政策の基調	圖	三〇	一、三五　流線型社
通信調査會	南方共榮圏の電氣通信事業概要	圖	三七	—

鐵道省運輸局編	日滿支連絡旅客手小荷物運賃算出表	圖	三七	一、三五
大島延次郎	日本交通史	圖	四〇	二、九〇　四海書房
篠原　登	鐵道通信技術講習錄	圖	八四	三、三〇　オーム社
山高五郎	日の丸船隊史話	圖	三六	三、三〇　千歳書房
米國の放送無線電話企業		圖	二〇五	—
宮本吉夫	放送と國防國家	圖	三〇	通信調査會
熊本保線事務所編	保線區從事員職制及服務規程解說	圖	二一	三、三〇　日本放送出版協會
下郷市造	ホテルの想ひ出	圖	三三	九〇　鐵道技術社
滿洲交通の展望	東亞研究叢書	圖	一〇〇	—
日本放送協會編	昭和十七年ラジオ年鑑	圖	五三	大阪ホテル
中村美佐雄	旅館研究	圖	三〇	一、三〇　中央公論社
鐵道省編纂	旅客及手荷物運送規則並同取扱細則	圖	四九一	一、三〇　日本放送出版協會
藤野　秀起	旅客運送講義	圖	三六	三、三五　オール旅行社
				一、三五　大日本教化圖書株式會社
				一、八〇　鐵道研究社

六、理學

(1) 自然科學一般

著者	書名	形態	頁数	定価	発行所
ピエルド・ヴェント他々木譯	明日への科學	圖	二四七	一、八〇	モダン日本社
益田吉良	一化學者の手帖	圖	三〇	一、三〇	誠文堂新光社
寺尾新	魚・海・人	圖	三九	一、八〇	春秋社松柏館
田中茂穂	隨筆　魚の眼	圖	三八	三、八〇	櫻井書店
前田陸一	生れ出づる日本科學	圖	九	一、三〇	東亞新秩序研究會
野溝鹽治	海	圖	二二	一、三〇	甲鳥書林
土肥勝由編	海の讀本　第一輯	圖	一四	一、〇〇	日本機動艇協會
土肥　勝由	海の讀本　第二輯	圖	一三	一、〇〇	日本機動艇協會
大村　秀雄	海へ科學の旅	圖	三四	一、三〇	小櫻堂
八野井　實	永遠の科學者	圖	三三	一、八〇	大新社
中村　光	江戸時代の科學政策	圖	一三	三、三〇	日本放送出版協會
堀川豐永編	科學隨筆　香	圖	二四	一、三〇	人文閣

吉岡修一郎	科學逸話史	圖	三八	二、八〇　山雅房
竹内　時男	科學　眼	圖	三五	一、三〇　青年教育協會
高津　博	科學技術年鑑	圖	一〇八	—
テイラー　森島恒雄譯	科學人の世界	圖	三四	科學動員協會
湯淺　明	科學精神の振興	圖	四三	三、八〇　創元社
富塚　清	科學制覇への道	圖	二〇	一、三〇　同文館
加藤與五郎	科學斷想	圖	三四	三〇　目黒書店
竹内　時男	科學千一夜	圖	二四	三、三〇　啟傷書房
關本喜藏	科學的教養	圖	三一	一、八〇　青年書房
小泉　丹	科學と技術	圖	二四	三〇　至玄社
杉靖三郎	科學と社會	圖	二五	三、八〇　大日本出版株式會社
赤木　健介編	科學と傳統	圖	四〇	三、三〇　白揚社
八門百科全書	科學入門	圖	二〇	三、三〇　帝國大學新聞社
チャールス・ブン　佐藤光雄譯	科學に殉じた人々	圖	三四	三、三〇　培風館
百瀬文雄	科學の家	圖	二六	一、八〇　啟傷書房
				二、三〇　那珂書店

伊藤至郎 科學のいとぐち 図 二八
アントン・ヘカー 藤本訳 科學の勝利 全 二六三
モーリス・パレス 日本橋倫會訳 科學の動員 全 二七三
市川 渡 科學の門 図 三七
菅井準一 科學文化の基調 図 三〇二
林 繁 科學への憧憬 図 三〇八
科學主義工業社編 科學メモ 図 四四
岩本龍吉 花色圖鑑 図 三六
安部元章 數とソロバン 図 一九四
神戸包裝協會編 危險性貨物要覽 改訂版 全 三三
藤井眞逸 技術者の思索 図 一六
松前重義 技術人と技術精神 全 二八
相川春喜 技術の理論と政策 全 三五
相川春喜 技術論入門 図 三八
堀川豐水 近代日本の科學者 三 図 三三
堀川豐水編 近代日本の科學者 四 図 三〇二

尾崎喜八 雲 アルス文化讀書
林 繁 研究室秋冬 大東名著選25 図 二九八
東恒人 研究所風景 科學文化叢書10 図 二〇〇
稻村耕男 研究と餘件 生活選書13 図 一六〇
セルゲユ・ダヤコヴン 粉村耕男訳 研究と組織 自水社科學叢書七 図 二六三
ジョゼリ・ダファン 陸井三郎訳 現代の科學精神 教材社選書4 図 三五五
多田證吉編 國防技術 技術選書 図 二一〇
伊藤千代藏 ゴムの知識 図 六四
フアーブル 山田吉彦譯 昆蟲記 岩波文庫 図 二五四
フアーブル 山田吉彦譯 昆蟲記 第十五分冊 はなむぐり・まめぞうむし・その他 岩波文庫 図 一七
フアーブル 山田吉彦譯 昆蟲記 第十六分冊 わたし・はへ・あぶ・他 岩波文庫 図 二九
湯淺明 細胞學 全 一〇二
勝谷稔 山信氣象と防災 図 六八
宮下孝雄譯 色彩科學 全 一四五

興亞書房 一、三〇
大東出版社 三、〇〇
識文堂新光社 一、一〇
生活社 一、二〇
白水社 一、八〇
教材社 一、七〇
白揚社 一、七〇
博開堂 三〇
岩波書店 四〇
岩波書店 四〇
岩波書店 四〇
岩波書店 四〇
高山書院 三、〇〇
大日本出版株式會社 三、三〇
同文館 九、〇〇
大和書店 三、八〇
成武堂 一、三〇

佐藤昌二譯 色彩學通論 全 一四六
スタートワルド 安田春夫 タイラー 安田春夫訳 自然科學史 上卷 図 三八三
科學叢書 自然科學史 下卷 図 四〇〇
青年叢書 自然科學史入門 下卷 全 三三
ダンネマン 山田坂仁譯 自然科學 觀察 図 八四
堀 關夫 自然 市民の科學 上卷 全 五八
ホグベン 石原 純譯 奈宵鳥譯 全 一七
内田清之助 商品の科學知識 図 二七
科學新書 南種 康博 食鹽 図 三三
淺野 晨 食 科學 (醫學、二冊) 全 二八一
左司謙次郎 新聞社編 新體制國民講座 第九輯 科學篇 図 二九五
朝日新聞社編 伊藤 武夫 森林と國土 図 一九四
ヴァン・ルーン 道家一已譯 人類發明史物語 図 二八五
林 巖 青少年自然科學案内 図 三〇八
藤田靜太郎 青少年のための科學 図 三五
ロバート・マクラン 島 靖太郎訳 青少年のための地球誕生物語 図 二九

今日の問題社 今日の問題 三、三五
丸善株式會社 科學主義工業社 六、〇〇
高山書院 白揚社 三、〇〇
紀元社 三笠書房 三、三〇
人文閣 人文閣 二、三五
成武堂 一、三五
河出書房 河出書房 一、三五
櫻井書店 櫻井書店 三、八〇
朝日新聞社 朝日新聞社 一、八〇
新民書房 新民書房 一、三五
協和書房 協和書房 一、三五
鐵美堂 鐵美堂 一、八〇
葛城書店 葛城書店 一、八〇

東條恒雄 日本技術史話 図 一七
ユックスキュル 岩波 北原夫訳 生物から見た世界 図 三〇六
世界對照 日本科學史年表 全 五四七
中根良介 石油・近代戰・内燃機關 図 三〇
戰時商品科學 図 三七
大阪毎日新聞社 經濟部編 相對連續性論 裏から見たる科學 全 一八〇
菊地亨夫 富塚清 總力戰と科學 図 三六
緒方富雄編 組國愛と科學愛 フランス科學者の理は語る 図 一四六
川村貫治 そろばん魂 図 一九三
ダンネマン 安田 德太郎外 大自然科學史 猶約一冊 図 四六
須之内文雄 大東亞の科學的建設 図 三五
松平道夫 大發明家の話 第四輯 図 二七〇
竹内叔雄 隨筆竹の本 図 三六
竹内時男編 誰にもわかる科學辭典 図 六〇
山口力太郎 潮汐と人生 図 二七
野尻抱影 鐵の歴史 全 四六

一、三〇 興亞書房
三、〇〇 三省堂
三、〇〇 日刊工業新聞社
一、三〇 金の星社
一、三〇 海と空社
二、八〇 昭森社
三、〇〇 愛之事業社
一、〇〇 人文閣
一〇、〇〇 慶應書房

統一科學論集（創元科學叢書）　ダーレンシンガー著　原　訳　裏　二九五　三、〇〇　創元社
阿部余四男　動物閑話　裏　二六六　一、八〇　三省堂
桑木彧雄　徳川後期に於ける英文西洋科學　エル・ボールトン著　高橋・喜多川・平野訳　並　二元　一、三五　日本文化中央聯盟
時と時計　裏　二六八　一、三五　河出書房
ハーリー　玉城肇訳　時計の歴史　裏　二六五　一、三五　酣書房
東亜研究所編　ナチス獨逸の技術水準　（人文學科學術研究室報告）　並　六八　一　東亜研究所
南方地理研究資源と開發　（高島・後藤・吉岡・岡田・松崎　共著）　並　三三　三、三五　立命館出版部
三枝博音　日本科學古典全書　金書　六九八　三、〇〇　朝日新聞社
田制佐重　日本科學史物語　（人物叢書）　並　三元　一、八〇　三省堂
寺島柾史　日本科學史話　裏　三一〇　一、八〇　日本文化中央聯盟
恕前重義　日本技術論　裏　三一四　一、八〇　河出書房
山口隆二　日本の時計　裏　四六一　三、三五　日本評論社
瀬戸口寅雄　日本發明科學者傳　並　三元　一、八〇　山海堂
加藤均三　昭和十七年科學年表　（科學叢書32）　ほひ　裏　三二〇　一、三五　河出書房
長澤徹　薄荷と除蟲菊　並　三七　三、〇〇　東洋堂

ヴィーレンシンガー著　原　訳　（創元科學叢書）　蜜蜂の生活　裏　四九九　二、三五　鏡書房
中西悟堂　野鳥を訪ねて　裏　四六六　二、三五　日新書院
中西悟堂　野鳥記　（朝日新聞叢書）　裏　三九九　一、一〇　朝日新聞社
今村明恒　今村英生　（新潮文庫）　裏　三〇八　一、一〇　新潮社
國勢グラフ編輯部編　昭和十七年科學年鑑　裏　四六一　三、三五　國勢社
東京天文臺編　昭和十七年理科年表　裏　四三七　一、三五　丸善株式會社
ハート　加茂儀一譯　科學のレオナルド・ダ・ヴィンチ　（創元科學叢書）　裏　三九八　三、〇〇　金城書房
（ドイツ・ガイステスヴィッセンシャフト叢書）　マルコーニ　ドイツ語で　Deutsche Forschung　獨逸新體制叢書第二卷　並　九五　一、〇〇　南江堂
稻木勝彦編　The Merck Index　（The Merck & Co.）　並　一〇九　一〇、〇〇　學術文獻出版社

(2) 數學

小松醇郎　位　（數學文庫）　裏　一六四　一、三五　弘文堂書房
林桂一　圓及雙曲線函數表　並　一九　四、〇〇　岩波書店
竹内時男　應用微分方程式階程　並　一三三　一、三五　東京開成館
藤原安治郎　數のたしなみ　裏　二六八　一、三五　研究社
中根法納　勤者御伽雙紙　（數學叢書）　裏　三四　一、三五　大鐙閣

ハドスン　町野靜雄譯　博物物語　裏　二〇九　一、三五　大鳥社
（ヴィーレンシンガー著　原　訳　（創元科學叢書）　フェルドハウス　中野研二譯　發明家および技術開發としてのレオナルド・ダ・ヴィンチ　（發明家および技術開發としての）　並　一九三　六、八〇　慶應書房
河崎文珠次郎　發明と科學　裏　二三三　一、三五　高山書院
谷津直秀　母の愛　裏　一六五　一、三五　生活社
西澤勇志智　火　並　四六〇　六、八〇　白水社
渡邊一夫　キュリー夫人傳　（白水社科學叢書7）　ピエール・キュリー傳　裏　二三〇　一、八〇　白水社
顧木喜榮光　四季の花　（自然科學叢書22）　裏　二六四　一、四〇　羽田書店
ルグロ　ファブル傳　下卷　（平野　戸部　カ見　山崎　純平　譯）　裏　四九九　三、八〇　河出書房
（創元科學叢書）　不思議の國のトムキンス　裏　二〇一　一、八〇　創元社
森本彌三八　物象と生活　裏　二五四　一、三五　出來島書店
（エディントン　大澤武譯）　物理學の哲學　裏　二六四　二、三五　創元社
和辻春樹　船と科學技術　裏　三四　二、四〇　天然社
江口芳樹　文明を築いた人々　裏　四三二　三、〇〇　青年書房
高野亙男　北支の自然科學　裏　二六六　一、八〇　第一書房
西川義方　水　（朝日新聞叢書）　（科學文化叢書）　裏　三一一　一、三五　朝日新聞社
藤村與市　水の科學　裏　二一八　一、三〇　文祥堂

（リーマン　ウェーバー　正田譯）　幾何學の基礎をなす假說について　（空間と時間）　裏　一五五　一、〇〇　弘文堂書房
サリヴァン　須藤利一譯　近世數學史　（創元科學叢書12）　裏　二六一　三、〇〇　創元社
高木貞治　近世數學史談　（科學叢書27）　裏　二三〇　一、三五　河出書房
伊藤剛　グアムマ式代數學　裏　二六三　一、三五　有精堂
計算尺使用法竝七桁對數表　（附數學公式）　裏　三五五　一、八〇　知進社
齋藤隆　計算圖表の原理と實際　裏　三五五　三、〇〇　山海堂
松宮隆光　高校生の微分學　並　四一七　三、三五　廣文館書店
小幡孫二　高等數學概論　並　二〇一　三、八〇　前野書店
野村武衛　高等算術　並　三九　三、八〇　文政社
中桐胤長　高等數學（代數・三角篇）　第一卷　並　三九　四、三五　文進堂
橋本吉郎　川端直太郎　實用化學數學　裏　二六五　三、三五　太陽堂
富山國之助　實用高等數學初步　並　二六八　三、三五　昇龍堂
坂井豐　趣味の幾何學　裏　二七七　三、三五　共立出版株式會社
彌永昌吉　純粹數學の世界　並　三六　三、三五　弘文堂書房
小林幹雄　初等幾何學ニ於ケル諸問題　（解析數學叢書）　並　三六　一、八〇　共立出版株式會社
（解析數學叢書）　常微分方程式ノ數値解法　裏　一七三　三、三五　岩波書店

吉江琢兒　數學　岩三八　三・〇〇　三省堂
末綱恕一　數學通論　岩三〇　三・五〇　岩波書店
荒又秀夫　數學茶話　岩四〇　二・〇〇　青年書房
吉岡修一郎　數學の勝利　岩三五　四・八〇　共立出版株式會社
ドエリー　高津慶譯　數學哲學序說　岩三三　三・五〇　弘文堂書房
ラッセル　平野智治譯
清野耕治　積分演習の指導　岩四六　三・〇〇　三省堂
永井富由　大國民の數學　岩三八　一・五〇　修文館
渡邊孫一郎　代數學撰要　岩一四四　一・二〇　裳華房
レグーバゴフト　雨宮綾夫譯　微分方程式の數値解法　岩二六　三・五〇　河出書房
齋谷乘養　微分方程式要論　岩二四四　四・五〇　丸善株式會社
中村茂守　不等式及極大極小　岩二三六　四・五〇　研究社
岡田顯家　宮武正道　標準　マレー語講座　第一卷　岩一八八　横濱商工會議所　一・八〇
杉田元宜　物理數學入門　岩二五五　三・〇〇　培風館
馬場秋次郎　平面幾何畫法の圖法と證明　岩一七　一・八〇　太陽堂
矢野健太郎　未開人の數學　岩一五一　一・三〇　誠文堂新光社
Peter Barlow's Tables of squares, cubes etc.　岩二八　三・五〇　文精社

(3) 天文・氣象

Rnel v. Chinchill　Fourier series and boundary value problems　岩三三　四・〇〇　文精社
田口龍雄　歐米氣象學史話　岩一五一　一・三〇　古今書院
山下一郎　滑空の氣象　岩一四七　一・一〇　光生館
岡田武松　氣象學講話　岩三〇七　三・五〇　岩波書店
藤原咲平　氣象感觸　岩二五三　一・五〇　岩波書店
島山久尙　氣象の四季　岩二五三　三・〇〇　地人書館
加藤藤吉　氣象の話　岩二五四　一・五〇　誠文堂新光社
關根幸雄　航空氣象學　岩二三三　二・五〇　工業圖書株式會社
岡田武松　航空氣象學　岩二一八　二・三〇　岩波書店
近藤芳一　曆に見えた日本氣象の神祕　岩二一一　一・〇〇　日本古曆研究所
荒木俊馬　四季の星座　岩二〇五　二・〇〇　恒星社
山本一清　初等天文學講話　岩二六一　三・八〇　恒星社
關川武　戰時航海學　岩三一〇　一・八〇　興亞日本社
フッセン・ジョルダノフ　廣野太郎譯　續・航空氣象學　岩一八一　三・五〇　海と空社
荒川秀俊　大東亞の氣候　岩三九　八〇　朝日新聞社

村上忠敬　陽　岩一三三　八〇　日本出版社
ダーウィン　平野猿人譯　潮汐　岩二〇〇　二・〇〇　古今書院
山本一清　天體と宇宙　岩三〇五　三・五〇　僧成社
村上忠敬　天文と人生　岩二六七　一・四〇　羽田書店
荒木俊馬　暦　岩二四三　一・四〇　羽田書店
關井英一郎　南方圏の氣候　岩三五　三・五〇　東京堂
鈴木栖關　日本神曆の創建に就いて　岩三一　一　大東亞事情研究所
奧村伊三郎　日本の暴風と避航法　岩一六四　一・五〇　海文堂書店
都田國男編補　風位考資料　岩二三三　三・二〇　明世堂
山本一清　星　岩二六二　三・二〇　晃文社
木島時久　兵用天文　星で方角を知る法　岩一九六　二〇　恒星社
田中宗愛　星と人生　岩二六四　一・五〇　恒星社
藤原寛人　ラジオゾンデ　岩一八五　二・八〇　地人書館
岡田武松　理論氣象學　上卷　岩二六九　三・五〇　岩波書店

(4) 物理學

猪子健夫　宇宙と光　岩二八　三・五〇　岩波書店

田崎秀夫　X線　岩一五五　八〇　日本出版社
栗原嘉名芽　小幡重一　音響實驗及び測定法　岩二六　三・三〇　河出書房
山田幸五郎　幾何光學　岩四三　五・〇〇　共立出版株式會社
湯川秀樹　極微の世界　岩一〇三　一・八〇　岩波書店
飯高一郎　金屬合金の電子廻折的研究　岩一〇四　一・八〇　岩波書店
扇本喜繁　光體　岩二三三　一・三〇　河出書房
小野澄之助　計測論　岩二六九　五・〇〇　河出書房
湯川秀樹　坂田昌一　原子・及び原子核　岩二五五　三・五〇　日本出版社
村岡敬造譯　原子核及宇宙線の理論　岩三三三　三・三〇　岩波書店
原子の人工轉換　岩二五四　一・八〇　白水社
P・ヨルダン　中野廣譯　現代物理學思想入門　岩三〇四　三・三〇　八元社
一瀬正巳　高等物理學問題選講　岩二四五　一・八〇　培風館
兒玉帶刀　物理學理論演習　岩二五〇　二・八〇　養賢堂
レイライヒ　正木修　ザ・セオリー・オヴ・サウンド　一・二卷　岩四六六　各七・五〇　常盤書院
參考物理學　岩二〇五六　一五・〇〇　冨山房
行田三郎　自問自答　物理學入門　岩九一七　三・〇〇　修文館

寺尾寿 仁科芳雄 作 新撰電氣原論 ㊎ 四一〇 三、五〇 オーム社
長田捷二 新編有機化學 ㊎ 六五〇 七、三五 前野書店
長田捷二 新編無機化學 ㊎ 三九六 四、五〇 前野書店
三石巌 生活の物理 ㊎ 二九七 一、七〇 羽田書店
米澤滋 超電子顯微鏡 ㊎ 四三〇 一、八〇 白水社
宇田弘道 超電子顯微鏡 ㊎ 四三〇 一、八〇 白水社
鈴木重夫 電子顯微鏡 ㊎ 三〇八 一、三五 河出書房
津田吉文 電氣及高周波測定實驗法 ㊎ 二九八 三、三〇 昭晃堂
細田悳譯 電子幾何光學 ㊎ 三六三 七、〇〇 コロナ社
眞木昌夫 岩田久吉 中野栗夫 原理と應用 ㊎ 三六三 七、〇〇 コロナ社
岩田久吉 電氣磁氣學 原論篇 ㊎ 三九七 四、八〇 日本出版社
岩田久吉 電氣磁氣學 應用篇 ㊎ 四三五 四、八〇 日本出版社
最上武雄 二次元彈性理論 ㊎ 三九六 五、〇〇 コロナ社
奥村省三 熱力學 ㊎ 四一〇 五、三〇 共立社
杉田元宜 熱力學新講 ㊎ 三八〇 三、五〇 地人書館

ミュラー 本間仁譯 粘性流體の力學 ㊎ 二九七 六、三五 コロナ社
學術研究會議 物理學講演集 2 ㊎ 三三五 三、八〇 丸善株式會社
松永義明 物理學概要 ㊎ 二五二 三、〇〇 廣川書店
物理學講話 ㊎ 二三五 五〇 研究社
岩田久吉 物理學思想史 ㊎ 一八〇 八〇 日本出版社
丸善株式會社 善光堂 ㊎ 三〇〇 一、〇〇 新光社
藤岡由夫 物理學講話 ㊎ 三三五 五〇 研究社
中村清二 物理實驗者の心得 ㊎ 一三五 一、〇〇 河出書房
放射能上巻 ㊎ 二九五 三、五〇 白水社
岩田久吉 放射能 電子 ㊎ 一〇八 八〇 日本出版社
ブラッグ 西脇・奈良・健見 物と何か ㊎ 三三五 一、八〇 創元社
菅繁光 數計力學演習 ㊎ 四四七 四、八〇 文明社
高木純一 歷史的に觀た物理學 ㊎ 三〇六 三、五〇 前野書店
東條四郎 レンズ ㊎ 二九九 一、三五 河出書房
伏見康治 噓 馬 電子 ㊎ 四一〇 一、八〇 創元社
竹内時男 我輩は電氣である ㊎ 三八〇 一、八〇 欽佩書房

A. Coker Photo-Elasticity 英 七四〇 三、〇〇 修教社書院
Treatise on International Series in Physics 英 一三五 五、〇〇 東京文教社
工研社編 Procedures in Experimental Physics ㊎ 一三五 五、〇〇 工研社
北星堂編 Temperature: its Measurement & control in Science & Industry ㊎ 一三六 四、〇〇 北星堂
代表 P. E. Klopsteg The Theory of Sound Vol. 1, 2 ㊎ 四五〇 一八、〇〇 學術文献出版社
常盤書院編 常盤書院 ㊎ 四五〇 一八、〇〇 常盤書院

(5) 化學

化學外論 上 ㊎ 三五五 一四、八〇 共立社
化學技術史 ㊎ 三三〇 一四、〇〇 慶應書房
化學結合論 ㊎ 三五三 一四、八〇 共立出版株式會社
化學實驗學 第一部 ㊎ 二五五 一〇、八〇 河出書房
化學實驗學 第二部 ㊎ 八四 九、三〇 河出書房
化學綜報 第三輯 ㊎ 一〇七 四、五〇 岩波書店
化學綜報 第四輯 ㊎ 二一七 一、七〇 岩波書店
化學發明の驚異 ㊎ 三五三 一、八〇 高山書院
化學理論及計算 ㊎ — 七、五〇 内田老鶴圃
現代の化學 第一輯 ㊎ 二四三 三、五〇 共立出版株式會社

高分子化學基礎講座 I 高分子生成論 ㊎ 四〇七 一、八〇 丸善
國民榮養研究同志會編 國民榮養品分析表 ㊎ 一 一、八〇 丸善
A. オルコット 日と佐々木 譯 常識の化學 ㊎ 三七七 一、八〇 増進社
櫻井芳人 食物と榮養 ㊎ 二八 一、三五 朝倉書店
若杉・河崎・高橋 新興化學の常識 ㊎ 四四一 二、三〇 高山書院
森元八 新無機化學綱要 ㊎ 六六六 七、五〇 内田老鶴圃
山口正二 推考實力化學 ㊎ 五五三 五、五〇 工業圖書株式會社
中澤古六郎 世界化學史要 ㊎ 二四五 二、三五 山雅房
田所哲太郎 纖維型蛋白質の化學 ㊎ 二一〇 三、一〇 紡織雜誌社
田所哲太郎 編 多糖質化學 各論 ㊎ 四五三 六、三五 丸善株式會社
白土萬次郎 定性化學分析 ㊎ 六五三 六、〇〇 内田老鶴圃
加藤與五郎 電氣化學要論 ㊎ 二九九 三、三〇 同文書院
西澤勇志智 爆發の科學 ㊎ 二七七 一、七〇 科學主義工業社
後藤格次 反應有機化學 ㊎ 六六九 七、三五 岩波書店
高山書院 ㊎ 二八〇 一、八〇 白水社
内田老鶴圃 ㊎ 四八 四、五〇 昭晃堂

東　健一　防空の化學　科學新書67　図　一九二　㊒　四一九　一、一〇　河出書房

鈴木梅太郎　ホルモン　日本工學全書　図　四一九　㊒　五一三　五、〇〇　日本評論社

千谷　利三　無機物理化學　上　日本工學全書　図　五一三　㊒　六一三　七、〇〇　工業圖書株式會社

千谷　利三　無機物理化學　下　日本工學全書　図　四四一　㊒　七九九　九、〇〇　工業圖書株式會社

森山剛一郎　有機化學　図　七九九　㊒　六一五　六、〇〇　稻垣書店

小竹無二雄　有機化學實驗法　図　五四三　㊒　四一八　六、五〇　山海堂

石川　清一　有機化學實驗法　改訂版　図　四一八　㊒　四九〇　四、八〇　培風館

小竹無二雄・石川清一郎　監修　有機化學の進歩　五輯　図　四九〇　㊒　六、八〇　共立出版株式會社

日本學術振興會　我國に於ける觸媒作用の研究　第二輯　図　四五六　㊒　六、〇〇　岩波書店

工研社編　Analytical Chemistry　上　図　六一九　㊒　九、〇〇　工研社

工研社編　Analytical Chemistry　下　図　八五八　㊒　一二、〇〇　工研社

學術文獻刊行會　Catalysis　図　一一四〇　㊒　一三、〇〇　學術文獻出版社

E. Berl・H. G. Murrell・G. Egloff　Catalysis Inurganic and Organic　図　一一四一　㊒　一三、〇〇　學術文獻出版社

梅原　貞康　Chemical Spectroscopy　図　—　㊒　—　—　海外工業情報所

A. Lange　Handbook of Chemistry　図　一八五〇　㊒　二五、二五　工業圖書出版社

文眞堂　Introduction of Chemical Physics　図　五一〇　㊒　七一四　一〇、〇〇　文眞堂

G. Egloff　Physical Constants of Hydrocarbons　第1巻　図　一〇一四　㊒　一四二〇　一八、〇〇　學術文獻出版社

清秀書院編　The theory of Organic Chemistry　図　五一三　㊒　七一八　一三、〇〇　清秀書院

(6) 地質・鑛物・地理

太平洋應用鑛物協會編　アルゼンチンの鑛山と鑛物　図　五一一　㊒　八〇　一、一二　金屬社

宗田　克巳　應用地質鑛物　図　七一〇　㊒　九一〇　一二、〇〇　同文館

伊藤　祐一　温泉の科學　図　三一三　㊒　四一七　一、四〇　三省堂

海洋文化新書　野澗　隆治　海洋の科學　図　四一七　㊒　二、八〇　興亞日本社

臺灣南方協會編　華日鑛物名彙　図　三一〇　㊒　三、〇〇　三省堂

石田・一三　鑛山と鑛石の知識　図　三一〇　㊒　二、八〇　昭和圖書株式會社

林田志賀華　鑛物學提要　図　二九一　㊒　三、五〇　叢文閣

總説新書　湖沼調査野帳　図　二三四　㊒　一、一〇　錦城出版社

中村道太郎　中木村初男　鑛物界の學習　図　四二一　㊒　三、五〇　有精堂

柳川　福一　興亞科學　新鑛物界粹　図　三一三　㊒　一、四〇　慶文堂書店

鈴木　好一　故中村正義學士古生物學著作集　図　—　㊒　—　—　故中村正義博士著作集刊行會

中村左衛門太郎　科學新書36　大地震を探る　図　一五六　㊒　一、一〇　河出書房

辻村　太郎　層積地形論考　図　四〇四　㊒　四、〇〇　古今書院

宮部　直巳　地殻の變動　科學文化叢書9　図　二三三　㊒　一、一〇　新光社

吉村　信吉　地下水　科學叢書20　図　二九五　㊒　一、三〇　河出書房

シャンド　中山一三譯　地球と地質學　創元科學叢書22　図　三一〇　㊒　一、八〇　創元社

三野　與吉　地形原論　岩石床底より觀たる地形學原論　図　三二一　㊒　六、〇〇　古今書院

松澤繁子譯　G・ジョンソン　地震と火山の話　図　二一六　㊒　一、二〇　中央公論社

本多　弘吉　地震波動　図　二〇五　㊒　二、二〇　岩波書店

海洋物理學的調査會編　海洋物理學的調査　西太平洋の海洋調査第一部　西太平洋北部海域　其の一　図　二六六　㊒　—　—　東亞研究所

海洋化學的調査會編　海洋化學的調査　西太平洋の海洋調査第一部　西太平洋北部海域　其の二　図　二一四　㊒　—　—　東亞研究所

海洋地質學的調査會編　海洋地質學的調査　西太平洋の海洋調査第一部　西太平洋北部海域　其の三　図　二四四　㊒　—　—　東亞研究所

大塚彌之助　日本の地質構造　図　二九〇　㊒　三、二五　同文書院

藤本治義編　日本地質文獻目錄　図　三五九　㊒　一、五〇　地人書館

大塚彌之助　山はどうして出來たか　図　二一三　㊒　一、一〇　岩波書店

(7) 生物學

佐々木尚友　生きる植物　図　二八八　㊒　一、八〇　竹村書房

コンクリン　湯淺　明譯　遺傳と環境　図　四八二　㊒　二、八〇　創元社

内藤　好文譯　マンハイム　遺傳と優生學　図　一三一　㊒　三〇　入學書林

平岩　米吉　犬と狼　図　二三五　㊒　一、八〇　日新書院

花岡　資　海と生物の動き　自然觀賞叢書　図　二四二　㊒　一、四〇　天然社

岩田正俊編　海の生物　海洋科學叢書3　図　一九四　㊒　一、四〇　文祥堂

高槻　俊一　貝の生活　科學新書49　図　二一七　㊒　一、五〇　河出書房

吉田　忠　解剖生理學知識　図　一九二　㊒　二、五〇　肇書房

相川　廣秋　海洋浮游生物學　図　二一六　㊒　三、五〇　水産社

科學南洋特輯號　科學南洋　第五卷第一號　図　二六六　㊒　八〇　日本學術振興會

石井信太郎　蚊と蠅　図　二四四　㊒　二、〇〇　室戸書房

黒田　長禮編著　雁鴨科鳥類文獻集　図　八五八　㊒　二〇、〇〇　ペタルド社

三浦定之助　魚族　図　二九〇　㊒　一、八〇　冨山房

田中　茂穂　研究室　深海魚　図　二八八　㊒　二、〇〇　山雅房

今關　六也　原色野外の樹木　図　二一〇　㊒　二、三〇　三省堂

本田　正次　原色　きのこの採集と見分け方　図　一八〇　㊒　二、三〇　三省堂

神谷　一男　昆蟲ガイド　図　二五〇　㊒　三、〇〇　科學主義工業社

平野　威馬雄譯　ファーブルの自然科學ニ　昆蟲の本能と習性　図　二九九　㊒　三、五〇　文明社

田瀧　順吾　細菌の驚異　図　二〇六　㊒　二、〇〇　厚生閣

鷹司　信敬　魚の觀察と飼育　図　三六六　一、五〇
石澤　慈鳥　四季の昆蟲　アルス文化叢書23　図　二二三　一、七〇　アルス社
内田清之助　四季の鳥　図　三五二　三、〇〇　大日本出版株式會社
堀内　貴位　狩獵家の見たる鳥獸の習性　図　四八八　三、〇〇　昭森社
三輪　知雄　池田　康　植物學用語新辭典　英和獨和對譯　図　六四四　四、五〇　太陽堂
佐谷　文範　植物動物の採集と標本の製作法　図　一六六　一、〇〇　湯川弘文堂
岩井　友幸　植物の科學　図　三三〇　一、五〇　田中宋榮堂
野原　茂夫　植物の形態と生理　科學叢書　図　三五五　一、八〇　厚生閣
ティーシリー・ゼップ　石井　友幸　共譯　植物の生活　図　三五五　一、五〇　慶應書房
岩井　友幸　植物の世界　図　三四四　一、五〇　フタバ書院　成光館
坂庭清一郎　食用野生植物　図　一三五　一、〇〇　料理の友社
ヘルマン・ヤプス　島地　威雄　共譯　人生　生物學の基礎　創元科學叢書16　図　三三四　三、〇〇　創元社
デュルケン　長廣岸郎譯　全體性と生物學　図　四二一　二、五〇　敎育研究會
高谷　博　生體の素材　図　三三一　二、〇〇　創元社
フレーリッヒ　牟木美喜雄譯　生體の理化學　大學書林文庫　図　一九五　一、〇〇　湯川弘文堂
巴陵　宜祐　生物學史下　図　六〇〇　五、八〇　山雅房

巻尾　安夫　東亞の民族　図　四八八　三、八〇　理想社
東亞研究所　東部ソ領に於ける人畜の寄生蟲綜説　図　四〇　―　東亞研究所
山田　致知　動物生態寫眞集第二輯　創元選書（第一輯）　図　一七五　一、三〇〇　柳原書店
谷口　虎年　東洋民族と體質　図　二三五　一、〇〇　山雅房
内田清之助　鳥　創元選書8　図　三〇三　一、八〇　創元社
堀　闊夫　鷄・蚕・蜂・蜜蜂　野外觀察叢書　図　二八五　一、八〇　日新書院
熊田頭四郎　蒋　魚圖鑑　図　一、〇〇　神奈川日産水産研究所
石井　悌　南方昆蟲紀行　図　三四八　二、二〇　大和書店
三吉　朋十　南洋動物誌　日米文化新書　図　三四五　二、一〇　モダン日本社
澁澤　敬三　日本魚名集覽一　図　四九〇　五、〇〇　アチックミューゼアム
齋藤三郎外　日本動物分類　図　三三〇　三、〇〇　三省堂
駒井　卓　人間の進化　日本人文史（創元選書）　図　三五八　二、〇〇　創元社
長谷川正海　人間のからだ　青年叢書　図　三三五　一、四〇　伊藤書店
イリン　人間の歴史　創元科學叢書17　図　一八三　二、二〇　慶應書房
八住利雄譯　ウォーレス　熱帶の景觀　図　三〇六　二、〇〇　創元社
谷田專治譯　仁部富之助　野の鳥の生態2　野外觀察叢書　図　三五〇　二、〇〇　日新書院

恩地孝四郎　博物誌　隨筆寫眞　図　四三　三、九〇　玄光社
市井　正次　馬學精説　馬事知識普及のために　図　四六八　五、三〇　朝倉書店
栗原　基　バーバンクと植物品種の創造　図　三七七　三、三〇　恒星社
下村　彙史　千潟の生物　図　一〇一　一、三〇　東亞書林
宮路　重嗣　微生物學　図　三九　五、三〇　南山堂書店
微生物の世界　生活科學新書8　図　三三　一、八〇　葛城書店
押鐘　篤　と　細菌　図　二九〇　一、四〇　羽田書店
田中　潮　ホルモンとビタミン　岡長科學文庫5　図　一八三　一、〇〇　日本出版社
牧野富太郎　牧野植物學全集　図　四四四　六、三〇　誠文堂
佐藤　潤平　滿洲水草圖譜　図　一九二　三、〇〇　三省堂
山縣　深雪　滿洲の野生鳥　図　二〇八　一、三〇　詩と歌論社
小清水卓二　萬葉植物寫眞と解説　図　三七七　三、三〇　省堂
ボ・フリッシュ　高橋・万藤太郎譯　蜜蜂の生活より　図　二三五　一、四〇　大化書院
山口倶美衣　珍しき動物　図　二三一　三、〇〇　大新社
（スティングス）内山賢次譯　野生動物記　生活科學新書15　図　四一四　三、〇〇　三笠書房
佐藤　隼夫　わが家の生物學　図　一八八　一、四〇　羽田書店
黒田　長禮　A Bibliography of the Duck Tribe　図　八五三　二、〇〇　ヘラルド社

谷本　冷三　羽島　俊夫　赤木　健介　生物學入門　図　二八六　二、〇〇　白揚社
和田八重造　生物學の基礎　図　―　―　敎育研究會
石田　周二　生物の進化　生活科學新書9　図　二三〇　一、四〇　羽田書店
ヘクオレル　赤木春之譯　生物の世界　生活科學新書18　図　二九〇　三、〇〇　東江堂
藤田　廣　生命とは何か　図　三三　一、四〇　羽田書店
石田　昇　生命の科學　生物進化の證據篇　図　三三　五五　岩波書店
外茂一譯　石川千代松　生命の科學　図　三五　三、〇〇　平凡社
永原芳次郎　中原彦之丞　共著　繊維植物　図　四四一　七、〇〇　共立出版株式會社
常木　勝次　戰線の博物學者　中支那科學叢書5　北支那古蹟　図　四四〇　三、三〇　日本出版社
木田　文夫　體質の科學　図　三八　一、五〇　白水社
谷津　直秀　中等敎育動物圖解　滿洲文化叢書　図　一八四　一、八〇　東京開成館
内田　一　池中の警異　図　一九七　一、〇〇　學術出版社
内田清之助　鳥學講話　図　三四　三、〇〇　大日本出版株式會社
E・メチニコフ　平野　威馬雄譯　長壽の科學的研究　図　五五三　四、〇〇　科學主義工業社
上田　常一　朝鮮産甲殻十脚類の研究　図　二九　―　朝鮮水産會
V・フロー　延島英一譯　電話に答へる魚　図　三八　一、五〇　岡倉書房

七、農學・農業（農業經濟に關するものは「五、(3)」へ）

著者	書名	刊行形態	頁數	定價	發行所
(1) 農學					
大屋貞雄	暗渠排水	國	九〇	七	帝國農會
橋井小郎・本田正吾監修	最新農機具講座	國	三三	一、八〇	新農林新聞社出版部
坪井幸一編	最新農機具講座（作業機篇）	國	三七	二、〇〇	新農林新聞社
谷本保夫	自給肥料增産の研究	國	二二	一、四〇	泰文館
鈴木梅太郎	改訂植物生理化學（農藝化學全書第一冊）	國	三二	八、三〇	朝倉書店
牧隆泰	新農業土木學	國	五二	八、三〇	西ヶ原刊行會
森林立地土壤調査用色名帖		國	一六	三、一〇	秋豐園出版部
小野武夫	日本農業起源論	國	四六	四、三〇	日本評論社
大後美保	農業氣象の知識	國	二四	二、一〇	帝國農會
吉岡金市	農業と技術	國	二九	二、三〇	白揚社
中村猪市	農村コンクリート工	國	二三	三、三〇	西ヶ原刊行會
尾上哲之助	農業分析法	國	二八	二、八〇	朝倉書店
大井上康	葉綠同化作用の研究	國	二〇	一、三〇	東華書房
市川親文	理論實際土壤肥料提要	國	二七	二、三〇	統制會
三須英雄外	農藝化學全書（農藝、園藝、造園等を含む）	國	三四	六、〇〇	昭和書房
(2) 農業					
前田將	空地・宅地の利用法	國	二八	一、〇〇	朋文堂
加藤行作	家庭菜園の手引	國	三二	一、三〇	玉誠書院
藤田清太郎編	空地利用の家庭園藝	國	四二	二、〇〇	新正堂
仲田多香史	空閒地利用綠化促進農藝讀本	國	二六	一、〇〇	八ッ橋出版社
大浦德三郎	朝鮮の栽培	國	二四	二、三〇	地人書館
寺尾博他五氏編	育種研究第一輯	國	二〇	二、〇〇	養賢堂
吉植庄亮	米談義	國	二〇	二、〇〇	日本社
東亞研究所	海南島に於ける農作物の病害蟲	國	二	—	東亞研究所
永澤勝雄	果樹園藝汎論	國	五二	四、〇〇	明文堂
市川實太郎	果樹篇	國	三四	五、〇〇	武藤產業書房
西田一輝	家庭草花の作り方	國	九五	一、三〇	三省堂
松岡喜惣治	家庭蔬菜の栽培法	國	二九	一、五〇	啓々堂

著者	書名	刊行形態	頁數	定價	發行所
宮下之宏	神聞（惠利聞）の檢討	國	九八	一、三〇	三省堂
徐石麟・賈木勝三郎譯	花佈月令	國	三九	一、八〇	創元社
藤田克治	柑橘の作り方	國	九三	一、三〇	博文館
古川賤男	水飴・飴菓子の作り方	國	三六	一、三〇	帝國農會
龍居松之助	近世の庭園	國	三七	二、三〇	三笠書房
末松直次	作物病害	國	二三	一、三〇	成武堂
農業世界編輯局	石榴の作り方	國	一三	四〇	博文館
時局と園藝		國	二〇	一、三〇	博文館
林省三	實驗生松脂採取法	國	一五	一、三〇	丸山舍書店
市川親文	理論實驗實際稻作必携	國	一六	一、三〇	邦文館書店
武田總七郎用	實用特用作物（上卷）（下卷）	國	一六四	一五、〇〇	明文堂
小西千比古	ジャヴアに於ける養蠶の經驗	國	六	五	南方經濟研究所
桑山覺	主要食用作物の害蟲	國	六四	一五	北農講話第6
田中一郎	水稻の病害	國	五八	三五	北農講話第十輯
小池基之	水	國	三〇	二〇	日本評論社
大浦德三郎	セメント統制會編農山漁村文化協會編	國	三五	一、三〇	東華書房
杉盛栽の仕立方	農家の副業精農家の體驗談（其十四）	國	四八	三〇	セメント統制會
	全國增收栽培實技集	國	四〇	二、八〇	昭和書房
五十嵐楷樓	蔬菜上卷	國	二七	二、三〇	成武堂
滿鐵調査部譯	ソ聯に於ける甜菜の輪作	國	一九	二、〇〇	博文館
農業世界編輯局	甜菜の作り方	國	二二	四〇	博文館
農業世界編輯局	農園必携	國	五	三五	博文館
沼田政次	南支の農業・農村	國	三六	三、三〇	東洋社
重森三玲	庭の美	國	一二	一、八〇	第一藝文社
昭屋金昌	熱帶果樹類圖說	國	三七	九、〇〇	臺灣農會
三浦津玖樓	熱帶農業作物篇	國	二四	二、〇〇	西ヶ原刊行會
和田民治	熱帶農業の體驗	國	三〇	一、八〇	講談社
帝國農會編	農業年鑑（昭和十七年版）	國	八六	三、三〇	帝國農會
大阪每日經濟部編	農事指導教室	國	九二	二、八〇	新正堂
古瀨傳藏	農村戰士報告書（指導）	國	三〇	一、〇〇	集文館
板倉喬	畑わさび栽培法	國	四二	三五	農村社

井田　秀明　花の作り方　春の巻　園　二四〇　一、二四〇　泰文館
農業世界編輯部　薔薇の作り方　博文館文庫　園　一五六　豊博文館
野崎　信夫　春時　草花の作り方　秋時　博文館文庫　園　一八〇　一、〇〇〇　遠藤書店
高橋秀三郎　蔥麻讀本　園　一七二　一、二〇　時代社
北條　清一　松脂とその採集法　園　九〇　八　高原社
安田泰次郎　滿洲開拓民農業經營と農家生活　園　四〇四　二、三五　大同印書館
和田　保　北支那の農業　水を中心として見たる　日本學術協會叢書第七　會　二九三　三、八〇　成美堂書店
今田　信一　最上紅花史料　會　三六八　三、三五　日本常民文化研究所
農業世界編輯部　草手帖　博文館文庫　園　三八　四五　博文館
小田川賢司　菜の作り方　博文館文庫　園　一六〇　豊　博文館
船串武　野　菜　園　一六〇　豊　博文館
北尾　春道　露地（蔬菜）　會　三〇八　四、五〇　鈴木書店

(3) 林業

上原　敬二　應用樹木學　上卷　造園樹木　會　三六〇　六、三五　三省堂
中村賢太郎　造林學隨想　會　一九四　三、八〇　西ヶ原刊行會
三浦伊八郎　木炭と科學と常識　科學新書第24　園　一三六　一、二〇　河出書房
林産製造學　會　三五三　六、三五　河出書房

(4) 畜産業（獸醫學畜産學を含む）

長尾　正德　簡明家畜小外科學總論　第一篇　園　九六　一、〇〇　文永堂書店
農業世界編輯部　鶏の飼ひ方　博文館文庫　園　一三六　豊　博文館
白木　正光　軍用犬育成讀本　園　一九〇　一、二〇　犬の研究社
岩科　一治　鼠疫豫防會叢書　鼠疫と鼠の病氣とその豫防法　園　二九〇　二、〇〇　六人社
松本　昇　興亞馬事大會　會　—　—　寫眞協會
C.E.カウレー　水野一郎譯　滿洲羊毛の研究　會　三六六　三、二〇　生活社
西岡　德雄　サラブレッド血統書　會　八三〇　—　日本競馬會
河野　仙吉　實驗　ヌートリヤの飼育指導書　園　四〇　豊　高田書店
山極　三郎　獸疫豫防論　會　二九〇　三、八〇　文永堂
庄司謙次郎　新飼料の知識　園　三九　二、三〇　昭晃堂
富井　佳夫　戰時下の家庭養鶏　園　二九　一、〇〇　統硯社
藤平　武孝　駄鶏淘汰と病鶏治療　園　一七〇　一、三〇　遠鶏之社
淡水獣ヌートリヤの養殖　會　一六〇　二、〇〇　日本畜産組合
三島　康七　河南　慶一　畜産組合叢書　園　二〇四　一、三〇　青虫社　弘道閣
中野　誠一　改訂畜産學　會　五四四　六、三〇　成武堂
明文堂

田村　太郎　畜産學　園　二六四　一、三〇　朝日新聞社
中宮　次郎　動物飼育試驗法　會　一九六　三、〇〇　共立出版株式會社
原田　實　隣組養雞　園　一三六　一、〇〇　雞の研究社
北原名田造　增訂　乳用山羊の實際　會　五四四　五、八〇　朝倉書店
戸松　豐治　養兎三百題　園　一三二　一、三〇　蓬萊出版部
上坂　章次　和牛飼育精説　會　四二九　五、三〇　朝倉書店

(5) 水産業

野村　太郎　海と空の叢書　海と洋漁業の話　園　一三三　一、八〇　海と空社
宮崎　廣　恭雄　海洋科學叢書5　魚類研究室　園　一九〇　一、四〇　天然社
宮城水産學校　秀雄　義雄　老雄　鯨　その科學と捕鯨の實際　會　二四〇　四、〇〇　水産社
東　秀雄　水産副産物の化學的研究　會　二九〇　三、七〇　水産社
馬崎　正夫　淺海養殖三十一種　園　一九九　一、七〇　水産社
小間　芳男　南溟捕鯨記　園　一九八　二、〇〇　那珂書院
市來　三雄　實地指導　養魚の科學　園　一九五　二、〇〇　水産社
大谷武夫外　水産製造工學講座　海洋科學叢書4　會　一三三　二、二〇　厚生閣
農業協會　駒雄　捕鯨　鯨　園　一九四　二、四〇　天然社

養鶏書籍雑誌

専門出版

東京都麹町區丸ビル六階
鶏の研究社
電話丸ノ内四七〇〇番
振替東京七三一六一
日本出版會々員番號
一一三三五二六

八、工學・工業

(工業經濟に關するものは「經」、(3)「…」)

著者	書名	判型 頁数	定價	發行所
	(1) 工學 (工業數、物、力學、コンクリート工學等を含む)			
藤野 清久	糸の機械的性質	菊 四四	一、八〇	紡織雜誌社
谷 安正外	應用數學 (數學叢書四冊)	菊 三四五	五、二〇 七、〇〇	河出書房
江藤 讓	應用力學計算法(上) (土木設計計算例集5)	菊 二八	二、三五	土木雜誌社
江藤 讓	應用力學計算法(下) (土木設計計算例集6)	菊 二九	二、三五	土木雜誌社
ワネッテン(ドイツ) 村野 俠吉譯	應用力學問題集第二卷 (獨工科高等學校教科書)	菊 四三〇	五、〇〇	博聞堂
黒田 靜夫	海中構造物の施工	菊 一六一	一、七〇	常磐書房
由本 洋一	化學機械用材料	菊 三一〇	四、三五	科學主義工業社
久松一兵衛	化學技術者の熱力學	菊 二四二	五、〇〇	共立出版株式會社
小間 登	機械・器具設計便覽	菊 五五〇	四、八〇	太陽閣
大日本工業學會編	機械技術者用三角法	菊 一三六	一、二〇	大日本工業學會
大日本工業學會	機械技術者用微分積分學	菊 一四六	一、二〇	大日本工業學會
岡部三郎 他二氏	機械量の電氣的計測 (ブルドン管)	菊 三〇九	五、二〇	コロナ社
小河 善治	機關車に必要なる材料力學	菊 一八	一、三五	鐵道時報局
伊保内富彌	規矩術及び建築製圖	菊 一二	一、二〇	京北書房
平野 次郎	技術者の數學(上)	四六 一六	三、八〇	裳華房
高見 亘	基本工業數學	菊 一八七	一、八〇	工業圖書株式會社
黒田 正夫	金屬顯微鏡及び工業寫眞	菊 二六三	三、八〇	河出書房
法邑 清藏	工業英語提要 (語學文庫)	菊 一五四	一、〇〇	三省堂
森本 清吾	工業技術者用手輕に解かる高等數學	菊 二五二	二、〇〇	彰文館
材料研究會編	改訂增補工業材料便覽	菊 一七二	二、〇〇	常磐書房
ハツバツハ 和田良造譯	機械製作資料 (機械製作法全書18)	菊 一〇五	一、八〇	機械製作資料社
前原 重秋	工業數學 分	菊 四三	六、九〇	修教社書院
日本工業學會編 相談所	工業百般問答集	菊 四二七	三、〇〇	日本工業新聞社
藤村 義樹	工業材料	菊 四〇一	五、一〇	修教社書院
野口 尚一	工業力學	菊 二六六	二、五〇	共立出版株式會社
E・ホイヤー 原 久米太郎譯	鋼弦コンクリート (土木工學共通用語集)	菊 一四七	二、五〇	コロナ社
鳥居 秀夫	工事事務の研究	菊 三五五	三、五〇	工業雜誌社
野村勝一郎 吉原一雄	工場精密測定 實用	菊 一八三	一、八〇	工業圖書株式會社
小島 清實	用展開畫法	菊 三七	二、五〇	上崎書店
澤野 武人	初級材料力學	菊 一四五	一、五〇	裳文閣
高橋 銀藏	初等工業代數	菊 二六八	一、四五	伊藤文信堂
平松秀三編	新編機械標準用語集 (機械工學共通用語集)	菊 一四七	一、八〇	大日本工業學會
沖 巖水	力學	菊 五四七	七、〇〇	岩波書店
角田 泰助	水力學及び水力機械	菊 二六六	一、五〇	コロナ社
清家 正	製圖論考	菊 六七	八、五〇	パワー社
伊木 貞雄	セメント及びコンクリート化學	四六 四八	四、五〇	誠文堂新光社
	測量學 應用篇 (土木設計計算例集2 鐵筋コンクリート設計計算例(上))	菊 三七七	三、八〇	丸善株式會社
松山 梁	測量の手びき	菊 一九二	一、八〇	鐵道技術社
高良 義郎	耐火物 (鐵道工業材料叢書)	菊 二六九	一、八〇	共立出版株式會社
吉木 文平	耐火物工學 (日本工業全書)	菊 六二四	八、五〇	工業圖書株式會社
中西格吉編	ダイキャスト第一巻第四號 (ダイ鑄物)	菊	七、五〇	ダイカスト研究所
グリュンワルド 關本武男譯	獨乙機械工作法全書16 具(2)	菊 二五五	一、八〇	機械製作資料社
細田 貫一	竹筋コンクリート工 (土木設計計算例集2 鐵筋コンクリート設計計算例(上))	菊 三三五	三、五〇	修教社書院
高見太一編			二、五〇	土木雜誌社
吉原 貫一	工場實用器具及機械製圖法	菊 一〇六	二、五〇	工業圖書株式會社
本間 仁	高等水理學	菊 三四三	四、五〇	工業圖書株式會社
松根新八郎	高等圖學	菊 四九三	五、八〇	三省堂
吉方謙一郎	高等圖學概說	菊 二五七	三、〇〇	裳華房
高橋 武雄	コンクリート及鐵筋コンクリート施工法 (鐵筋コンクリート施工叢書)	菊 五三	三、〇〇	丸善株式會社
吉田徳次郎	糊料 (鐵筋コンクリート施工叢書)	菊 一七三	二、〇〇	共立出版株式會社
一木 保夫	コンクリートの話 (鐵筋コンクリート施工叢書)	菊 二九三	二、〇〇	信友堂書店
石井義雄編	最新金屬材料重量表	菊 一九二	二、〇〇	信友堂書店
古賀 邦夫	新材料と工作	菊 二九〇	一、三〇	昇龍堂書店
菅沼 政雄	最新力學と材料强弱	菊 二六三	一、三〇	昇龍堂書店
矢持 輝治	材料の管理 (豐民講座 第八輯)	菊 八七	五五	マネジメント社
材料研究會編	材料文獻集 (昭和十六年度版)	菊 八五	二、〇〇	常磐書房
大田 富夫	實務基本機械製圖	菊 二八	二、三〇	昭晃堂
小野 城一	實務工業辭典	菊 三七	一、五〇	有精堂
高井 英明	實用水力學及水力機械	菊 三三	六、五〇	共立出版株式會社
田崎 秀夫	實用數學要綱と對數略表	菊 二六	二、三〇	東京開成館

高見　太一　土木設計計算例集8　鐵筋コンクリート設計計算例（中）　技　一四
高見　太一　土木設計計算例集9　鐵筋コンクリート設計計算例　技　六四七
坂　靜雄　日本工業全書　鐵筋コンクリートの設計　技　六四七
鐵鋼報國會編　鐵鋼總覽　昭和十七年度版　技　二三〇〇
三橋鐵太郎　入門金屬材料　技　二六
佐野益太郎　標準規格　青年機械製圖　2　技　一二三
鷹部屋福平　不靜定應力理論と其應用　技　三六
杉部信臣　平板測量　技　三三
巽　純一　最も實用的な材料力學　技　三九
梶原勘三郎　理研科學映畫株式會社　臨時日本標準規格一四九　空中寫眞測量　技　一九
田中重芳　セメント統制會技術部　セメント解說　續度の部　技　一九
伊藤敬二郎　陸地測量學　技　五五
中村梧一郎　陸地測量部編　陸地測量標準規格　陸地測量　技　一五
工業圖書出版社編　Flotation Plant Practice　理　一八四
Heat Transmission　技　三六
Mathematical Methods in Engineering　理　五一七
E. v. Kármán and M. A. Biot

土木學會編　各種土木工事歩掛算出法（上）　技　三〇二
富永　正義　河川　圖　三五三
東亞研究所　含砂率簡易測定法　技　一六
上野　正夫　基礎地盤の力學　技　三七
日本學術振興會編　舊第十四耐震構造委員會報告　第二號　技　一六五
工業圖書出版社編　橋梁工學　木橋篇　技　二七
メラン　山内寬一譯　ロシヤ土木工學の研究二　橋梁振動論　技　二〇七
原田千三編　近代家具裝飾資料四四　工業青年叢書　圖　四四
高梨　勝重　空港とその建築　上卷　圖　二六六
清田　文永　下水試驗法解說　技　一五五
柴田　三郎　現戰時下の土木工法　技　八二
河村　協　建築科學　便所の研究　圖　一九六
大泉博一郎　建築工事要覽　I　技　八三六
野村　辰雄　建築設計資料集成　(1)　技　三五三
建築學會編　建築學會　技　一八九
土井　季正　建築設備　現代建築叢書12　技　一八九
伊東　忠太　建築と學と藝　圖　二六八

鐵道圖書局　二、七〇
岩波書店　三、〇〇
東亞研究所　—
工業圖書株式會社　四、五〇
丸善株式會社　一〇、〇〇
工元社　四、五〇
丸善株式會社　五、〇〇
洪洋社　一、三〇
アルス　一、五〇
水道協會　二、八〇
山海堂　二、〇〇
土木雜誌社　二、五〇
間組　—
丸善株式會社　八、〇〇
共立出版株式會社　二、〇〇
三笠書房　一、八〇

内田　祥文　建築と火災　圖　二四〇
木村幸一郎　建築と生活　生活科學新書14　圖　二五五
厚見　利作　最新坑内通氣論　技　三二
佐藤功一　佐藤功一全集　第三卷　建築綜覽　圖　五九五
埋立工學　技　四八
山口　安友　運河の話　運河はかうして作る　圖　一七一
岡村　雅夫　實用基礎工事　技　二三
伊保内富彌　實用建築　建築構造力學及鐵筋コンクリート構造及鐵骨構造　技　三九
伊保内富彌　實用建築西洋家屋構造　技　九二
伊保内富彌　實用建築材料及施工法　技　三四
藤島亥治郎　支那の風土と建築　圖　二四〇
宇野　義豐　趣味と能率の住宅設計　圖　二三三
廣瀨孝六郎　上下水道　技　二九五
蓮池　勇　上下水道編8　給水　圖　二二三
岩井　四郎　上下水道編7　配水　圖　二二五
堀　紫朗　新建築材料學　技　二九
奥田　教朝　新日本土木叢書　技　二九二

工業圖書出版社編　Mathematical Methods in Engineering　理　五五
Goldstein　Modern Development in Fluid Dynamics (vol. I, II)　理　七三　各八五
Cokerand Filon　Photo Elasticity　理　三一〇〇
Tech nical Dictionary　—　情報所
梅原　貞康　Theory of Plates and Shells　學術文獻出版　理　五四
Timo-shenko　Theory of Plates and shells 1940　理　五〇
Timo-shenko　Theory of Elastic Stability　理　五二
工業圖書出版社編　Therm of dynamics　理　二六四
Timo-shenko　Theory of Elastic Stability　技　五八

百瀨　清一　工業圖書出版社　九、五〇
文精社　三、〇〇
海外工業情報所　—
學術文獻出版　八、五〇
文精社　八、五〇
文精社　一〇、〇〇
工業圖書出版社　九、五〇
文精社　一〇、〇〇

(2) 土木・建築

清水榮三編　電氣建築書7　アパートと集合住宅の設計　技　一二
上田　治雄　家を建てる前に　國民住宅篇　技　三〇
落合　林吉　運河の話　日口文雄　池上彌三郎　共著　アルフレッド・ヤルベリ　挿畫　技　四八
梅田　秀夫　影響線ラーメンの計算　技　二五
大空にとどくまで　技　二八

日本電建出版部　一、九〇
住宅文化研究會　四、五〇
鐵道時報社　五、五〇
僧成社　一、五〇
土木工業社　五、〇〇
日刊土木建築工業新聞社　一、五〇

相模書房　二、〇〇
羽田書店　一、四〇
厚生莊　四、五〇
土木建築工業新聞社　六、〇〇
鐵道圖書局　一、五〇
鐵道圖書局　七、五〇
京北書房　二、一〇
工務學會　二、五〇
工務學會　二、三〇
日本放送出版協會　五〇
國際建築協會　二、〇〇
山海堂出版部　三、〇〇
常磐書房　二、〇〇
常磐書房　二、〇〇
善株式會社　丸　六、〇〇
コロナ社　四、五〇

東京工學研究會　水準測量　圖一〇〇
ルコルビュジエ　古川達雄譯　開明（プレシジョン）　叢四四
稻田隆　鐵道工學講座　鐵道工學下卷　叢三五
藤原孝一　鐵道工學講座　信號保安設備　叢三六
西岡安治　鐵道工學講座　線路土工　叢三三
岡田信次　鐵道工學講座　停車場　叢三五
多賀祐重　鐵道工學講座　鐵道車輛　叢三六
廣田孝一　實用土木叢書　鐵道地質學　叢三八
東京工學研究會　轉轍器號數儀測量　圖一〇五
櫻井盛男　新訂道路　附都市計畫　叢二四
東京工學研究會　特選土木工學　第一期　圖一五一
坂本左馬太　土木工事の步掛　圖二九
田口文雄編　土木設計施工要覽　增補版　圖八三
高橋清藏　隧道工事　圖一五
藤本晟　瓦斯發生爐自動車運轉者讀本　圖八三
幸塚伊作　簡易なる機械の設計及製圖　叢三〇
永澤謙三　簡易齒車便覽　圖一〇三
河本萬造　艦船機關圖示名稱學　圖二五八
平岩庄一　給水の扱ひ方　圖二〇
城戶一俊　機械學精義　叢三三
筑波美夫　機械化自動車　圖二五五
錦織清治外　機械工學　岩波講座　圖三九
橫山武人　機械工學一般　叢三八
窪田實　機械工業海外名著集　第一期　第四回配本　圖一六四
大日本工業學會編　機械工作圖の讀み方　圖一六二
大日本工業學界編輯　機械工作手帳　圖一九三
藤本晟　アセチレン自動車讀本　圖一〇三
吉原鐵夫　一級機械工ハンドブック　圖三六
藤田靜太郎　おはなし機械學　圖四一
工業圖書出版社編　化學・鐵山機械設計資料（2）　叢二九四
藤本晟　瓦斯發生爐自動車運轉者讀本　圖八三
幸塚伊作　簡易なる機械の設計及製圖　叢三〇
永澤謙三　簡易齒車便覽　圖一〇三
河本萬造　艦船機關圖示名稱學　圖二五八
平岩庄一　給水の扱ひ方　圖二〇
城戶一俊　機械學精義　叢三三
筑波美夫　機械化自動車　圖二五五
錦織清治外　機械工學　岩波講座　圖三九
橫山武人　機械工學一般　叢三八
窪田實　機械工業海外名著集　第一期　第四回配本　圖一六四
大日本工業學會編　機械工作圖の讀み方　圖一六二
大日本工業學界編輯　機械工作手帳　圖一九三

伊東忠太　日本建築の研究（上）　叢六四
伊東忠太　日本建築の研究（下）　叢四二
田邊泰　日本建築の性格　圖三六
金森敏夫　ノモグラムに依る桁橋の計算　叢一二
鷹部屋福平　アルス文化叢書　第廿一回　橋の美學　圖九六
橋枕木更換作業基準　軌間整正作業基準　土木設計計算例集　第七　叢四五
馬蹄型水路斷面計算法　叢八五
西村辰次郎　住宅叢書　第一一回　一〇〇平方米までの住宅圖案集（2）　叢一五
藏田周忠　建築新書　ブルーノ・タウト　圖一〇三
鐵道省工務局編　保線作業基本動作　叢一三
土木學會　明治以後　本邦土木と外人　圖二五五
田島治身　土木設計計算例集　第五　木橋の設計計算例上卷　叢一九三
岡村雅夫　ラーメン計算者必携　圖四七四
柴田長一郎　ラーメン理論とその應用　叢二六六
Structural Engineers Handbook　叢一一〇〇
（3）機械
太田正吉　機械材料及工作法　叢三九
兒玉圓二　機械實驗資料　叢一五三
宮部徹　機械實用表　叢一八八
牧田邦雄　伊東乾　機械スケッチ術　叢二三四
古都潔　機械製圖　叢二一四
田中萬次郎　機械製圖要說　叢二八七
賀勢晉　機械製圖要說　叢二六五
糸藤義人　機械設計製圖　叢三一〇
永澤謙三　機械圖面の解說　叢九九
日本大學機械談話會編　機械圖面の讀方　叢四三
奧田薰　機構學　叢三四
木本憲三　機構學　叢三〇
菊地洋四郎　最新圖解自動車　圖一九七
長元龜久男　他三氏　起重機　叢三五八
賀武　軌道貨車制動裝置の概要　叢一〇五
技能材料及工作法　叢三八
龍吟社　上下揃　一五、〇〇
龍吟社　上下揃　一五、〇〇
相模書房　三、二五
鐵道圖書局　三、〇〇
住宅改良會　三、〇〇
相模書房　二、〇〇
鐵道技術社　三〇
土木學會　三、五〇
土木雜誌社　三、五〇
工業圖書株式會社　六、〇〇
土木技術社　三、八〇
工業圖書出版社　二八、二五
共立出版株式會社　四、七
竹原文泉社　一、八〇
科學主義工業社　一、八〇
理化書院　三、三〇
積善館　二、〇〇
新興技術協會　二、〇〇
共立出版株式會社　三、八〇
山海堂出版部　四、〇〇
伊藤文信堂　二、〇〇
パワー社　二、五〇
太陽堂　三、五〇
國防科學知識普及會　一、五〇
丸善株式會社　八、〇〇
鐵道保安會　一、五〇
斯文書院　二、〇〇
機甲青年社　二、八〇
中央工學會　二、七〇
明治書院　二、五〇
工業圖書出版社　—
機甲青年社　四〇
鐵道時報局　四、五〇
伊藤文信堂　一、一〇
日本機關士協會出版部　一、一〇
龍吟社　四、八〇
知進社　二、三〇
岩波書店　三、五〇
共立出版株式會社　一、七〇
コロナ社　三、〇〇
大日本工業學會　二、五〇
大日本工業學會　一、〇〇

稲島 覺一	客貨車の構造と設計	機	三五四	工業圖書株式會社
村上 玉樹 永岡 四郎	漁船用發動機の機構と取扱	機	二一四	機械製作資料社
糸藤 義人	金屬材料學	機	九九	機械製作資料社
ホルレンルー 石森秋好 譯	金屬の鎔解 （職業機械工作法全書14）	機	九三	共立出版株式會社
	輕自動車年鑑 （戰時體制叢書第一輯）	圖	三六六	機械製作資料社
モーダ ファン社 編	ファン社編	機	一〇五	モーダファン社
德山 造一	ゲージ製作法	機	二五八	泰陽堂
熊谷 直次郎	研削砥石の常識	機	一一〇	龍吟社
機械工作技術研究會 編	工作機械の設計資料 （精密機械工作實施階梯三 限界ゲージ方式及び工具）	機	三五四	工業圖書株式會社
三繩 秀松	工作機械重要計算法	機	二九五	工業圖書株式會社
藤本 晟	高壓瓦斯自動車讀本	圖	四五	鐵道時報局
大井上 博	航空ヂーゼル機關	機	二一四	伊藤文信堂
大日本工業學會 編	航空發動機 （ライト・サイクロン）	機	二一四	山海堂
宮本 晃男 編	航空發動機取扱解說	機	二一四	山海堂
ヘルバース 大和久 重雄 譯	工具鋼 （職業機械工作法全書37）	機	一〇二	機械製作資料社
	工作機械の諸計算	機	二三六	山海堂
	自動車工學	機	二五八	タイムス出版社
鈴木 正一	自動車工學	機	二五八	共立出版株式會社
宮本 晃男	自動車と戰車の操縱	圖	一七五	大日本工業學會
岩崎 松義	自動車と部品	機	四〇七	育生社弘道閣
工業日日新聞社 編	自動車年鑑 （昭和十七年版）	圖	三〇〇	工業日日新聞社
菊地 三四	自動車の構造と操法	圖	三九五	建設時代社
ザックセ水村 善太郎 譯	自動盤の構造と取扱法 （職業機械工作法全書25）	機	一〇二	機械製作資料社
ケルレ・ゴールケルレ・ブール 共著 中尾 一郎 譯	自動盤の構造と取扱法 1 （職業機械工作法全書30）	機	九九	機械製作資料社
ケルレ・ゴールケルレ・ブール 著 福地 正 譯	自動盤の構造と取扱法 2 （職業機械工作法全書30）	機	九四	機械製作資料社
	自動盤の構造と取扱法 3	機	九四	機械製作資料社
國民工業學院 編	蒸氣罐	機	一三二	工業圖書株式會社
	水力發電工學	機	五七七	工業圖書株式會社
塙野 一郎	水力發電設備	機	二一四	紡織雜誌社
長坂 孝吉	整經及び整經機	機	二一四	紡織雜誌社

長谷川 一郎	工作機械設計資料	機	三六四	工業圖書株式會社
水村 善太郎	工作機械の製作法 基礎篇	機	三一七	機械製作資料社
ゲルマール 眞野 克己 譯	工作機械の標準機構	機	一四〇	機械製作資料社
砂崎 幸一	鏡山機械	機	二一〇	共立出版株式會社
ライヤー 竹内 登二 譯	硬質合金工具 （職業機械工作法全書）	機	九三	機械製作資料社
W・カム 中澤 造二 譯	高等自動車工學	機	三四	コロナ社
岡 宏隆	小型自動車修繕の仕方	圖	三一七	モーターファン社
自井 太一郎	最新機械工作法 木型及鑄物	機	三六三	パワー社
內田 一美	最新實用治具取付具	機	二五四	日本機關士協會出版部
茂村 喜夫	最新汽罐取扱方法	機	二五四	有象堂
田中 幸三郎	最製纖工作實習法	圖	二九	天泉社
伊藤 千代藏	最新電弧熔接の理論と實際	機	四七七	博閑堂
横井 文義	最新綿絲紡績計算法	機	二六八	紡織雜誌社
田中 幸三郎	最新熔接工作實習法	圖	二九	天泉社
新	繪と標語11作業教本 旋盤篇 （池田きわ豊 教育研究會編）	機	一四七	國民工業學院
門馬 孝吉	作業ヒント百種	機	二六	機械工業新聞社
雨笠 余三郎 編	生産機械大觀 （職業機械工作法全書24 昭和十七年現在機械講座）	機	四五	科學主義工業社
クライン	精密測定法 （旋盤附屬品2 切削刃物の設計と製作）	機	一三五	機械製作資料社
河村 哲雄 譯		圖	一五〇	河出書房
竹谷 勢一	再訂正大增補 船舶用發動機	機	八七	清水出版部
清水 竹藏	旋盤作業入門	圖	二六	三省堂
機械工作技術研究會 編	旋盤作業の實際 上卷	圖	二八	三省堂
大田 富夫	旋盤作業の實際 下卷	圖	二八	昭晃堂
大田 富夫	旋盤の實地作業法 （職業機械工作法全書26）	機	一八一	建設時代社
藤原 秀雄	旋盤の實地作業法 （工業青年叢書 機械講座第二卷）	機	一八一	建設時代社
原 健太郎	送風機及び壓縮機	圖	二五三	アルス
後藤 一雄	送風機工學 （改訂再版）	圖	四七〇	紹文社
後藤 一雄	送風機工學	圖	四六五	紹文社
	測定法・手仕上・ケガキ作業入門	圖	一二九	三省堂
田中 重芳 清水 篤磨	體系工作機械	圖	六五九	共立出版株式會社
フィレンツェルブルク	多軸自動盤の經濟的使用法 （職業機械工作法全書28）	機	八四	機械製作資料社
大島 健吉 譯	ダレット旋盤	機	二六五	太陽閣
增田 祐一	直齒傘齒車齒切盤	機	一九三	機械製作資料社
グリーソン 峯村 功 譯				

小茂鳥豐三郎譯　通俗發動機　㊐　四二九　一、八〇　機械製作資料社
小茂島豐三郎俗　發動機着火裝置　㊐　一九　一、三〇　工學社
工學社編　圖集　水力學及水力機械　㊐　二三　一、八〇　機械製作資料社
橋本三郎　圖面の見方と機械要部の知識　中卷　㊐　二三三　一、八〇　機械製作資料社
熊谷俊男譯　テーラー・內燃機關　㊐　三三六　四、五〇　工元社　鴨打亞一　船用ヂーゼル機關學　㊐　二三一　二、一〇〇　山海堂
齋藤哲夫　電氣熔接の常識と實習法　㊐　三四〇　三、二〇　啓業社　バツキンガム　標準機械製圖及設計　㊐　四二一　七、五〇　機械製作資料社
村松隆一　瓦斯熔接の常識と實習法（最新版）　㊐　三四〇　三、二〇　啓業社　正　商車　㊐　一二〇　共立出版株式會社
グラーフ　電氣工具と空氣工具　㊐　一四八　一、八〇　機械製作資料社　二反田孝　敏速周波による高速旋運轉　㊐　一〇六　一、八〇　機械製作資料社
田村勝平譯　伊藤千代藏　電弧熔接機　㊐　八八　一、〇〇　博開堂　バイネル・セレット　標準機械製圖及設計　㊐　一〇六　一、八〇　機械製作資料社
クロツゼ　電弧熔接法　㊐　一二六　一、八〇　機械製作資料社　田村勝平譯　敏速周波による高速旋運轉　㊐　一〇六　一、八〇　機械製作資料社
鳥井光太郎譯　德山進一　自動車文化研究所編　轉作工具製作法　㊐　三三三　三、〇〇　春陽堂書店　プライトウェグ・ブレードナー共著　竹內登一共譯　フライス作業入門　㊐　一二七　一、〇〇　三省堂
吉和田元資　日本動力協會　昭和十七年版　東亞自動車年鑑　㊐　四一七　三、五〇　自研社　中澤忠藏　プライスシエーバーの實地作業法　㊐　一七〇　一、七〇　建設時代社
星野茂雄譯　動力データ・ブック（索引）　㊐　一六四　一、五〇　國民圖書　クラツペ　海輪利正譯　プレス作業三　㊐　九六　一、八〇　機械製作資料社
北垣豐治　獨修機械學　㊐　三三　一、五〇　アルス　吉田幸平譯　プレス仕事（1）　㊐　一〇三　一、八〇　機械製作資料社
東京製圖工業社編　土木機械設計集第一卷　㊐　二六　二、五〇　發動機關士講習會　古賀邦夫　熱機關　㊐　一二三　一、八〇　機械製作資料社
中島金藤和雄治　星型航空發動機の動力學　㊐　二三　九〇　龍吟社　ホプ切り法　㊐　二五〇　三、八〇　共立社　ミュラー　ねぢ切り仕事　㊐　九三　一、八〇　機械製作資料社
ヘルマン・ブウダー　森川高吉譯　ホプ切り法　㊐　二五〇　三、八〇　共立社　林梓雄譯　ねぢ切り仕事　㊐　九三　一、八〇　機械製作資料社
相良　小谷信市　卷上機及起重機　上卷　㊐　三〇七　二、〇〇　パワー社　古賀邦夫　熱機關　㊐　一二三　一、三〇　工學社
ヘンヒェン　中村三氏譯　卷上機及起重機　上卷　㊐　三四　二、〇〇　出版部　クロスターマン　山本正一譯　銅の實地熱處理法　㊐　一〇四　一、八〇　機械製作資料社
秋山武譯　心無研磨機　㊐　三一〇　二、〇〇　コロナ社　ヘルバース　田中實譯　銅の燒入と燒戻　㊐　一一〇　一、八〇　機械製作資料社
吉原錢夫　獨伊に於ける代用燃料車の研究　㊐　六九　三、〇〇　大觀堂　鴨打亞一　船用ヂーゼル機關學　㊐　二三一　二、一〇〇　山海堂
ドルスタイン　大羽久雄譯　無氣噴射ヂーゼル機關上卷　㊐　三七　二、〇〇　知進社　林佐々木　山本　溫治　火雄　譯　バツキンガム　標準機械製圖及設計　㊐　四二一　七、五〇　機械製作資料社
H. Banmeister　Fana Gas Engineers Handbook　㊐　1015　七、八〇　工業圖書出版社編　二反田孝　敏速周波による高速旋運轉　㊐　一〇六　一、八〇　機械製作資料社
長門雄次　模型飛行機用ガソリン・エンヂン上　㊐　一八四　一、六〇　科學主義工業社　ブライトウェグ・ブレードナー共著　竹內登一共譯　フライス作業入門　㊐　一二七　一、〇〇　三省堂
長門雄次　模型飛行機用ガソリン・エンヂン下　㊐　一八四　一、六〇　科學主義工業社　クラツペ　吉田幸平譯　プレス仕事（2）　㊐　一〇三　一、八〇　機械製作資料社
日本機械學會編　臨時日本標準規格　第一五七・一五三・一七四號　㊐　10　四〇　工業調査會　クラツペ　川副正雄　プレス仕事（2）　㊐　九七　一、八〇　機械製作資料社
岡田實　熔接工學　㊐　四七　二、〇〇　岩波書店　平商車　㊐　一二〇　一、八〇　機械製作資料社
臨時日本標準規格　臨時日本標準規格　第二輯　㊐　三三　四〇　工業調査會　プライスシエーバーの實地作業法　㊐　一七〇　一、七〇　機械製作資料社
日本機械學會編　鎖接法　㊐　九四　一、八〇　機械製作資料社　P. M. Holdt　High-Speed Combustion Engines Design Production Tests　㊐　七四　一、〇〇　學術文獻出版社
P. M. Holdt　Industrial Furnaces　㊐　四〇五　二、八〇　工業圖書出版社　歸山敎正　映寫技術敎科書　別册、附錄つき　㊐　三九　三、〇〇　日刊工業新聞社
工業圖書出版社編　Introduction of quantum mechanics　㊐　四六八　—　文眞堂　宮崎正香　解說電氣通信機器及び電氣磁氣測定　100題集　㊐　三〇七　一、三〇　新光社
Den Harlog　Mechanical Vibrations　㊐　四八八　九、五〇　百瀨清一　勝見正雄　解說有線通信機器及び線路　100題集　㊐　三〇七　一、三〇　新光社
D. L. Thornton　Mechanics applied to Vibrations and Balancing　㊐　五九五　一五、〇〇　學術文獻出版社　岡野寅二　ラジオ科學全書　簡易な無線回路の實驗と測定　㊐　一五　一、五〇　日本放送出版協會
工業圖書出版社編　Practical Treatise of gearing　㊐　一一三　八、五〇　工業圖書出版社　赤野正信　簡易交流理論　㊐　三一〇　二、一〇　白帝社
Vertical Shaft Sinking　㊐　—　三、〇〇　工業圖書出版社　手島剛　基礎電氣工學通論　㊐　一五二　一、七〇　晃文社
(4) 電氣　日本技術敎育協會編　技術者養成テキスト　電機材料　㊐　一五　一、〇〇　技能者養成社
西山覺郎　細見圭翁　強電流實驗法　㊐　三〇　二、五〇　啓業社

イハラレーシン	近代電氣技術發達史	圖	四〇〇	科學主義工業社	七、三五
桑島正夫編	現下に於ける電氣化學工業の諸問題	圖	九四	電氣學會	一、〇〇
電氣試驗所編	高周波變換とイオン解消に關する研究	圖	三〇	電氣試驗所	八〇
本城巖	光電效果とその應用	圖	六二	龍吟社	九〇
赤野正信	交流理論	圖	四九	白帝社	四、〇〇
森兵吾	交流理論	圖	五六	電氣之友社	二、三五
河合賢次	交流理論	圖	二五	工業雜誌社	二、三五
蓮見孝雄	最新電氣機械	圖	二六	パワー社出版部	三、八〇
篠原清忠	最新有線電話學	圖	三〇	有象堂	四、三五
池田邊	實用初等電氣工學 三卷	圖	八六	昭晃堂	三、〇〇
池田隆治	自動制御方式及び自動追尾裝置	圖	一三	オーム社	二、三五
重廣	住宅・學校・工場の照明	圖	一三	厚生閣	一、八〇
松本進	受信機の設計と工作法	圖	三〇	ラジオ科學社	九五
池田陽男	初級電氣工學	圖	二二	日本放送出版協會	二、三五
靜央	初步のラジオ數學	圖	二二	（鐵道工學會）	一、八五
宮城精吉	眞空管材料學	圖	二一四	四七	二、三五
船曳春吉	眞空管及び電球に於けるガラスと金屬との關係	圖	四五	同盟通信社	四〇、〇〇
同盟通信社編	昭和十六年版 年鑑	圖	八九	大石堂出版部	五〇、〇〇
清水勤	新選電氣工學	圖	一八〇	養賢堂	一、八〇
安宅彥三郎	新撰電氣磁氣工學	圖	二九三	有象堂	三、三〇
春日屋關男	新電氣工學教程	圖	三四	科學社	三、三五
ラジオ科學社編	新編 ラジオ早わかり	圖	二七	ラジオ科學社	一、八〇
國友常藏編	眞空管とその回路	圖	一五	電氣學會	一、三五
電氣試驗所	超高壓送電線用碍子の孤光放電施設	圖	六六	電氣試驗所	一、三五
新宮行太	無線通信機器一〇〇題集	圖	三〇	誠文堂新光社	一、三五
谷村功	新撰電氣機械	圖	三七	オーム社	二、三五
高田勇次郎	新撰電力汎論	圖	二三	オーム社	二、三五
今野喜一郎	超高壓送電線用碍子の孤光放電施設	圖	六六	電氣試驗所	一、三五
石黒美種	電氣	圖	八二	新興技術協會	二、〇〇
原田久	電氣應動裝置	圖	六四	修教社書院	七、八〇
電氣化學協會編	電氣化學の進歩	圖	一〇四	電氣化學協會	八〇
中富葆造	電氣機器試驗並に實驗法	圖	二四八	叢文閣	二、三五

武田孟	電氣工學一般	圖	二〇三	前田彥三	一、九〇
桑島正夫編	昭和十七年版 電氣工學年報	圖	三六	工學書院	二、三五
松元竹三	電氣工業大辭典（漸約一册）	圖	六四	電氣學會	二、三五
上條喜三郎	電氣工事人全書	圖	五七	非凡閣	五、三五
木下立安編	電氣工作物規程	圖	八三	鐵道時報局	四、〇〇
根本忠次郎	電氣材料の大要	圖	一七三	日本放送出版協會	公五
青木武	電氣磁氣及電子函數に就て	圖	一九三	工學書院	一、七〇
山内二郎		圖	八八	電氣試驗所	二、三五
布施壽夫	電氣通信基礎論	圖	三四九	有象堂	四、五〇
濱崎榮	無線工學の基礎知識	圖	四八七	誠文堂新光社	四、三五
原淵二	電氣要領	圖	三九	博報堂	二、三五
大河内治	電燈照明及び電熱	圖	一六〇	アルス	一、五〇
谷村功	改訂 無線工學概論	圖	二〇九	オーム社	一、九〇
菱逸信一	電力工學に於ける電子裝置の應用	圖	三六	オーム社	二、六〇
山田武雄	電力增幅器	圖	二五	ラジオ科學社	七
亀川一榮	電力用蓄電器	圖	二四	オーム社	三、二〇
遠山榮	發電水力大意	圖	一五四	土木會計實例講義	一、七〇
月岡正三	發電水力編	圖	三三	土木工業社	四、〇〇
國友常藏編	無線電信電話概論 其の二	圖	一〇	電氣通信學會	九〇
苫米地貢	標準ラヂオ技術講義（中）	圖	二六	誠文堂新光社	一、八〇
苫米地貢	標準ラヂオ技術講義（下）	圖	三五	誠文堂新光社	一、八〇
清岡修一郎	ブラウン管及陰極線オシログラフ	圖	三〇	共立社	三、八〇
永井肇	無線技術教科書	圖	一六六	電氣通信學會	二、〇〇
藤崎榮	理論と實地無線受信機回路集	圖	二四七	誠文堂新光社	二、八〇
谷村功	無線工學の基礎知識	圖	四八七	誠文堂新光社	四、三五
國友常藏編	無線送信機	圖	二四	電氣通信學會	二〇
淺井豐數	無線通信士受驗指針	圖	三九	アルス	一、八〇
永井肇	無線電信電話實驗及筆記（增補改訂）	圖	二四三	電氣試驗所	三、〇〇
溝上杉本	燒鹽電離箱に關する基礎的研究	圖	六八	電氣試驗所	一、三五
鉦哲	ラジオ技術新講	圖	二八	ラジオ科學社	一、三〇
ラジオ科學社編	ラジオ受信機の解剖	圖	一九〇	日本放送出版協會	一、〇〇

吉川政二郎　ラジオ受信機の科學と實際　ラジオ科學社　圖　二六二
生駒正吉　ラジオ用計器の解剖　ラジオ科學社　圖　二六三
深梅登世司　ラジオ用計器の解剖　ラジオ科學社　圖　二六三
高橋銀藏　例題解說　工場用電氣工學（基礎篇）　實　二三四
國際無電協會　無線練習用、無線電信機類の作り方　實　九四
宮本誠已・金井寧一・タクエ博士原著・岡田幸雄・井上清譯　臨時誘導電動機の直流制動時に於ける現象とその應用　實　五四
Electrical Handling of Materials　圖14表　實　二六一　三、〇〇
Electric winders　實　二六三　三、〇〇
G. Glockler, Ed. D. C. Lind　The Electrochemistry of Gases and Other Dielectrics　實　二六三　八、〇〇

(5) 船舶・航空（航海術、航空術を含む）

（航空局職員養成）大空の教室　圖　三一一　一、〇〇
藤村　燎　初級滑空叢書　滑空機の工作　圖　一四六　一、一〇
白石　襄治　滑空機の取扱と操縱法　圖　一二一　一、一〇
吉林　忠一　初級滑空叢書　滑空原理と滑空機の操縱　圖　一三三　一、一〇
白石　襄治　清水六之助　滑空訓練教本　圖　一三四　一、一〇
温美　武六　航空朝日編　滑空讀本　圖　一三七　一、一〇

昭和十七年版　世界滑空機年報　圖　一七　二、一〇
南波辰夫編　酒井　重藏　新航空發動機教程　實　一四三　一、八〇
船舶試驗所編　船舶試驗所研究報告　第四號　實　一九六　三、五〇
倉田　音吉　船舶屬具　實　四七　九、〇〇
立川　泰重　船舶の理論と實際　實　五八　六、八〇
神馬新七郎　造船物語　圖　三八　一、二五
岸本　精三　タンカー　油槽船の經營と運航　實　六八　五、〇〇
手塚敬夫譯　軸流送風機　實　三一〇　三、七〇
村尾力太郎　圖解・英日航空技術用語便覽　圖　三二六　一、八〇
ロタール・レンツ編　日獨伊英佛西　航空用語辭典　圖　六六六　五、〇〇
宮本晃男譯　清水六之助　日本の滑空飛行　實　四四一　二、八〇
昭和十七年　南波辰夫編　日本飛行機全輯　實　一三三　一、八〇
佐々木民部　發動機設計の基本計算法　實　一三三　二、八〇
溝口宗彦　飛行機性能試驗解說　實　二五六　四、二〇
竹内順三郎　飛行機操縱讀本　實　三二〇　二、八〇
村上勇次郎　（傳統社科學技術選書）　風洞の話　圖　二九三　一、二五
鈴木　正五　模型滑空機工作法　圖　一六四　一、四〇
宮本　晃男　航空技術叢書七　落下傘・取扱解說　實　九九　三、五〇
H. E. Pritchard　The Element of Aerofoil and Airscrew Theory　實　三八四　八、〇〇
H. G. Glanert　Aeroplane Structures　實　三二一　四、七〇

(6) 造兵

西澤勇志智　火藥化學　實　四六七　五、五〇
大井上　博　魚雷　實　二六八　三、五〇

(7) 採鑛・冶金

宮津　壽雄　アルミニウムと其分析　實　三二九　四、五〇
大塚　識之　鑄物　檢査法　實　一〇三　一、四〇
久富　茂直　日本學術振興會編　鑄物砂標準試驗法　共一　實　一六　三、〇〇
畑中　健三　鑄物　岩石掘鑿法　實　一八〇　二、五〇
寺尾信吾・山田邦三郎　增補訂　木型と鑄造　實　二三八　三、三〇
川崎正之外　金屬工業叢書（鑄鐵）（三冊）　實　二〇八　三、〇〇
日本鑛山採鑛課編　金屬鎖床ノ採掘方法　實　二五〇　三、五〇
日本學術振興會編　第二回委員會報告18　金屬合金の結び　代に就て　實　三　一、〇〇

滕田不二雄　現代航空工業　實　二一〇　一、三〇　朝日新聞社
松本　和幸　原理と實際　グライダーの研究　實　二六六　一、三五　湯川弘文社
E・K・ガン　齋藤貞郎譯　航空　實　三一〇　一、八〇　明治書房
駒林榮太郎　航空機工學　航空機・航空港・航空法規　實　三九八　三、三五　森北書店
松浦　四郎　航空機工學　航空機・航空港・航空史・航空路・航空法規　實　三九八　三、三五　森北書店
宮本　晃男　航空機航法　實　一五一　一、三五　工業圖書株式會社
大日本工業學會編　航空機大意　實　二三〇　二、〇〇　大日本工業學會
宮本晃男編　航空機大辭典　航空機識別用　實　九一〇　四、八〇　育生社弘道閣
武田晋一郎・吉田得郎編　航空計測器取扱法　實　二四四　三、〇〇　山海堂
新谷　春水　航空戰の技術　實　三六六　三、八〇　改造社
中　正夫　航空知識事典　改訂增補　實　二四三　一、三五　六人社
湯川　念三　青少年叢書　航空の知識　實　二五二　一、三五　增進堂
糸川　英夫　航空力學の基礎と應用　實　二九二　三、〇〇　共立出版株式會社
井關　貢　航用測器學　（附圖）改訂版　實　二五二　三、二〇　海文堂
貫洞　守良　自動車運轉教育の指針　知らねば　なりぬ　自動車の實際知識　實　二三四　一、三五　機甲青年社
小田三都雄　青年滑空訓練　實　二三五　一、三五　越後屋書房
昭和十六年版　世界飛行機構造圖集　圖　一〇七　三、三五　朝日新聞社

齋藤　大吉　金屬材料及其加工法　炭素鋼篇　㊧　三五〇
三島　徳七　金屬材料及び其熱處理　改訂增補版　㊧　四〇三
斯波　忠三郎　金屬材料分析法　㊧　四二〇
道野　鶴松　金屬組織學　㊧　二六六
三井太佶譯　ミール　金屬知識叢書　金屬の結晶組織　㊨　三九
清水　要藏　金屬　㊨　三九
小野　健二　輕金屬と輕合金　㊨　一八六
飯高一郎　海江田弘也　輕合金の熔接法　㊨　二七〇
星野茂雄譯　パヴロフ　石山一郎譯　高爐の設計　㊧　二二
齋藤　武幸　現場及事務用　鐵業技術便覽　㊨　二七〇
E.C.ベール　川田雄三　三橋鐵太郎譯
門田　重行　螢石及螢石鑛床　㊧　二九四
清水　要藏　金屬知識叢書　合金狀態圖の解說　㊨　一〇四
鐵と鋼　㊧　四一三
石井　義雄　電氣爐鑄鐵及び製鋼法　㊧　三五四
廣一郎　松井　編　獨英和對譯　鑛業用術語辭典　㊨　三〇五
永澤　清　技術者用　特殊鋼の理論と實際　㊨　九四
石川登喜治　加山延太郎　特殊青銅の研究　㊨　一九
小野　健二　鉛及鉛合金　㊨　二六六
ニッケル冶金法概說　㊧　六四八
中山　正夫　鑄物作業全書　熱料及耐火材料　㊧　一四四
田口　由三　鑄物作業全書　銅熔解及び銅鍛錬　㊨　三九
鹿取　一男　美術鑄物　㊧　三三
ヒンツマン　橋本正一譯　鑄造機械工作法全書第十二卷　非鐵金屬　2　㊧　九三
谷　昌德　標準金屬切削便覽　㊧　四五二
三野英彦譯　ラーボン　浮選操業法　㊧　三八
二宮　力譯　ロール孔型設計　下卷　㊧　六九
工業圖書出版社編　A Glossary of the Mining and Mineral Industry　㊨　七四
中村格一郎　Handbook of Ore Dressing　㊧　一六七八
松井光太郎　鐵と鋼　㊧　四一三
石井　義雄　電氣爐鑄鐵及び製鋼法　㊧　三五四
廣一郎　松編　獨英和對譯　鑛業用術語辭典　㊨　三〇五
永澤　清　特殊鋼の理論と實際　㊨　九四
石川登喜治　加山延太郎　特殊青銅の研究　㊨　一九
小野　健二　鉛及鉛合金　㊨　二六六
ニッケル冶金法概說　㊧　六四八
中山　正夫　鑄物作業全書　熱料及耐火材料　㊧　一四四
田口　由三　鑄物作業全書　銅熔解及び銅鍛錬　㊨　三九
鹿取　一男　美術鑄物　㊧　三三
ヒンツマン　橋本正一譯　鑄造機械工作法全書第十二卷　非鐵金屬　2　㊧　九三
谷　昌德　標準金屬切削便覽　㊧　四五二
三野英彦譯　ラーボン　浮選操業法　㊧　三八
二宮　力譯　ロール孔型設計　下卷　㊧　六九
工業圖書出版社編　A Glossary of the Mining and Mineral Industry　㊨　七四
中村格一郎　Handbook of Ore Dressing　㊧　一六七八

丸善株式會社　㊧　五、五〇
太陽堂　㊨　四、五〇
共立出版株式會社　㊨　二、五〇
日本學術振興會　㊨　三〇
河出書房　㊨　一、三〇
山海堂　㊨　三、〇〇
太陽閣　㊧　七、八〇
三省堂　㊧　一、三〇
金屬社　㊧　七、〇〇
機械製作資料社　㊧　一、八〇
機械製作資料社　㊧　五、五〇
工元社　㊧　三、五〇
有象堂　㊧　三、八〇
工業圖書出版社　㊧　七、五〇
工業圖書出版社　㊧　二六、〇〇

丸善株式會社　㊧　七、五〇
共立社　㊨　四、五〇
河出書房　㊨　五、五〇
科學主義工業社　㊨　一、五〇
山海堂　㊨　五、五〇
誠文堂新光社　㊨　一、五〇
工業資料刊行會　㊨　八、〇〇
寶文堂　㊨　二、五〇
帝國輕金屬統制　㊨　—
金屬社　㊧　一、〇〇
科學主義工業社　㊨　一、五〇
日本學術振興會　㊨　三〇
工元社　㊧　六、五〇
科學主義工業社　㊨　五、〇〇
日本學術振興會　㊨　三〇
山海堂　㊨　三、〇〇
太陽閣　㊧　七、八〇
金屬社　㊧　一、〇〇
機械製作資料社　㊧　一、八〇
機械製作資料社　㊧　五、五〇
工元社　㊧　三、五〇
有象堂　㊧　三、八〇
工業圖書出版社　㊧　七、五〇
工業圖書出版社　㊧　二六、〇〇

本多光太郎外　最新金屬大系　㊧　二四
久保山雄三　最新炭礦工學（改訂版）　㊨　三六一
岩瀨　慶三　砂鐵の研究　㊧　七九
栗津　秀幸　實用工業鑛物學　㊧　二〇三
ロベルトソウアア　鐵二郎　忠臣譯　製鐵製鋼概論　㊧　一九六
橋本　亨銑　鋼・加工　㊧　六四四
兒玉　八郎　洗炭理論　㊧　一三二
小林　久平　草　炭　㊧　四五二
中西榕吉編　ダイキャスト（ダイ鑄物）第一卷（第六號）　㊨　四四
パーネーヴィツツ　上田健洋譯　探鑛者必携　㊨　三四
O.G.グンドサー　小西善治譯　探鑛提要　㊧　三六六
渡邊　貫　彈性波探鑛　㊨　三八
吉田　丑夫　鑄造機械・器具　㊧　一九五
田崎　正浩　鑄鐵の耐摩擦性及耐摩耗性研究　㊧　六
渡邊　貫　地下資源の物理探鑛　㊨　三二
鐵鋼學總論　㊧　三六
本多光太郎外　最新金屬大系　㊧　二四
久保山雄三　最新炭礦工學（改訂版）　㊨　三六一
岩瀨　慶三　砂鐵の研究　㊧　七九
栗津　秀幸　實用工業鑛物學　㊧　二〇三
ロベルトソウアア　鐵二郎　忠臣譯　製鐵製鋼概論　㊧　一九六
橋本　亨銑　鋼・加工　㊧　六四四
兒玉　八郎　洗炭理論　㊧　一三二
小林　久平　草　炭　㊧　四五二
中西榕吉編　ダイキャスト（ダイ鑄物）第一卷（第六號）　㊨　四四
パーネーヴィツツ　上田健洋譯　探鑛者必携　㊨　三四
O.G.グンドサー　小西善治譯　探鑛提要　㊧　三六六
渡邊　貫　彈性波探鑛　㊨　三八
吉田　丑夫　鑄造機械・器具　㊧　一九五
田崎　正浩　鑄鐵の耐摩擦性及耐摩耗性研究　㊧　六
渡邊　貫　地下資源の物理探鑛　㊨　三二
鐵鋼學總論　㊧　三六

誠文堂新光社　㊧　一、八〇
公論社　㊨　四、五〇
科學主義工業社　㊧　七、五〇
中央工學會　㊧　二、八〇
科學主義工業社　㊧　二、三〇
修教社書院　㊧　七、四〇
共立出版株式會社　㊧　二、三〇
修教社書院　㊧　五、六〇
ダイカスト研究所　㊧　四四
工元社　㊧　三、八〇
今日の問題社　㊧　四、五〇
日本電報通信社　㊧　二、三〇
百瀨清一家　㊧　八、五〇
省堂　㊧　一、三〇
日本學術振興會　㊧　七、五〇
海外工業情報所　㊧　—
河出書房　㊧　一、三〇
誠文堂新光社　㊧　一、八〇
公論社　㊨　四、五〇
科學主義工業社　㊧　七、五〇
中央工學會　㊧　二、八〇
共立社　㊧　三、八〇
同文書院　㊨　四、五〇
東京藥品日報社　㊧　七、〇〇

(8) 化學工業

科學新書4　アルコールの話　㊨　三〇九
一酸化炭素　㊧　四三
應用有機化學　最近の諸問題　2　㊧　一八〇
化學工業大辭典（索引）　㊧　六〇五
昭和十七年版　化學工業年鑑　㊨　七一〇
柳川鐵之助　寒　天　㊧　三六五
桑原　利秀　實用化學工業叢書五　類料製法・應用及試驗法　㊧　五〇一
佐藤巳之吉　金屬及本材着色　防錆仕上塗裝法　㊧　一三七
小栗　捨藏　工業化學總論　㊧　二九四
友田　宜孝　工業化學要論　㊧　三三
昭和十七年版　工業藥品年鑑　㊨　七九
工業圖書出版社編　Forging Handbook　㊧　六三〇
中村格一郎　The Cleaning of Coal　㊧　六〇
百瀨清一編　Theory of Plates and Shells　㊧　四九三
海外工業情報所編　The Welding Encyclopedia　㊧　四六八
科學新書3　地下資源の物理探鑛　㊨　三〇九
一酸化炭素　㊧　四三
應用有機化學　最近の諸問題　2　㊧　一八〇
化學工業大辭典（索引）　㊧　六〇五
昭和十七年版　化學工業年鑑　㊨　七一〇
柳川鐵之助　寒　天　㊧　三六五
桑原　利秀　實用化學工業叢書五　類料製法・應用及試驗法　㊧　五〇一
佐藤巳之吉　金屬及本材着色　防錆仕上塗裝法　㊧　一三七
小栗　捨藏　工業化學總論　㊧　二九四
友田　宜孝　工業化學要論　㊧　三三
昭和十七年版　工業藥品年鑑　㊨　七九

工業圖書出版社　㊧　一一、〇〇
工業圖書出版社　㊧　三、〇〇
百瀨清一家　㊧　八、五〇
海外工業情報所　㊧　—
河出書房　㊨　一、一〇
昭光社　㊨　二、〇〇
發賢堂　㊨　五、五〇
非凡閣　㊨　五、五〇
化學工業時報社　㊧　三、〇〇
工業圖書株式會社　㊧　五、三〇
太陽閣　㊨　五、五〇
中央工學會　㊧　一、八〇
共立社　㊧　三、八〇
同文書院　㊨　四、五〇
東京藥品日報社　㊧　七、〇〇
工業圖書出版社　㊧　一一、〇〇
工業圖書出版社　㊧　三、〇〇
百瀨清一家　㊧　八、五〇
海外工業情報所　㊧　—
河出書房　㊨　一、一〇
昭光社　㊨　二、〇〇
發賢堂　㊨　五、五〇
非凡閣　㊨　五、五〇
化學工業時報社　㊧　三、〇〇
工業圖書株式會社　㊧　五、三〇
太陽閣　㊨　五、五〇
中央工學會　㊧　一、八〇
共立社　㊧　三、八〇
同文書院　㊨　四、五〇
東京藥品日報社　㊧　七、〇〇

山口文之助	航空燃料及び潤滑油	日本工學會叢書	圖	一九五	二、三五	工業圖書株式會社	
大塚　博	航空燃料の合成		圖	二九六	四、三〇	修教社書院	
中村文雄 中島　靜	合成清酒工業の目標		圖	二五四	四、三〇	ダイヤモンド社	
西村貴治他	酵素化學工業全集	工業化學講義叢書	圖	二四五	三、三〇	厚生閣	
大澤　源治	酵素工業實驗法		圖	二六四	二、三五	共立出版株式會社	
板垣　宰	國合成染料總覽		圖	三九	三、〇〇	丸善株式會社	
堀口　博	ジャスミンと麝香の化學	ザ・ハウス・オブ・ヤマサ・久原躬弦	圖	九五	一、三五	龍吟社	
永木駿三郎	食酢釀造法		圖	八四四	三、八五	明文堂	
鳥居　嘉夫	食料品工業		圖	六七	八、〇〇	今野商店出版部	
川村信一郎	新洗濯劑の發達		圖	二四	一、三五	龍吟社	
常岡　俊三	人造石油講話		圖	四五五	四、三五	科學主義工業社	
增野　實	世界の大豆と工業	科學新書(30)	圖	二三五	一、三五	河出書房	
宮崎安太郎	石炭の溶解と膠質燃料	日本工學會叢書	圖	三三	三、三五	工業圖書株式會社	
宇野征夫 眞鹽達男譯	石油工業に於ける接觸反應	接觸反應叢書1	圖	二六六	二、三五	共立出版株式會社	
	石油コンヴアーション	ザ・ハウス・オブ・ヤマサ・久原躬弦	圖	九五	一、三五	龍吟社	
上野幸作	石油の採掘		圖	四六	三、〇〇	共立出版株式會社	
神原　泰	戰爭する石油		圖	二九	三、〇〇	皇國青年教育協會	
大島　重義	船底塗料		圖	二六四	四、二〇	修教社書院	
	染料年報　昭和十五年度	日本學術振興會第一小委員會編	圖	五七	七、三五	共立出版株式會社	
庄司　秒	曹達と工業	科學新書(31)	圖	二一〇	一、七〇	河出書房	
山本　茂	大東亞化學工業論		圖	三一	二、三五	國際日本協會	
辻元誠之助	燃料燃燒論文集		圖	二九三	—	日本學術振興會第一小委員會編	
伊木　貞雄	天然石油と人造石油	日本の美と技叢書	圖	四三	六〇〇	共立社	
林　春隆	日本の酒		圖	二三	二、〇〇	河原書店	
三浦伊八郎 高原　末基	熱ガスによる木材乾溜		圖	四六	一、〇〇	大日本木炭協會	
香坂要三郎	發生爐ガス及水性ガス		圖	五七三	七、〇〇	工業圖書株式會社	
內田川村信一郎 宗義成田　晃一	ペントナイト粘土とその性質		圖	九四	二、三五	工業通信社	
梅原　貞康	マグネサイト工業		圖	三八	—	海外工業情報所編	
	American Petroleum Refining		圖	—	—	海外工業情報所編	
	A.S.T.M. Standards of Petroleum Products and Lubricants		圖	三五四	—	海外工業情報所	
	Carburation and Carburettors		圖	三六	一、〇〇	工業技術研究會編	
	Chemical Engineering Flow Sheets		圖	二四〇	—	海外工業情報所編	

	Chemical Engineering Handbook		圖	五四〇	三、〇〇	工業圖書株式會社	
	Chemical Engineering Series		圖	九九	三、〇〇	工業圖書株式會社	
	Conversion of Petroleum		圖	四三	四、〇〇	工業圖書株式會社	
	Elements of Chemical Engineering		圖	六〇	七、〇〇	工業圖書株式會社	
	Handbook Butane-propane gases		圖	三五三	四、〇〇	工業圖書株式會社	
	Hetrobarum Refining Equipment		圖	三五	—	海外工業情報所	
	Industrial Chemical Calculations		圖	四七	六、〇〇	工業圖書株式會社	
	Industrial Solvents		圖	四〇	五、〇〇	工業圖書株式會社	
	Lange's Handbook of Chemic		圖	一五四	三、三〇	工業圖書株式會社	
	On the Edeleanu Process		圖	三六	三、〇〇	工業圖書株式會社	
	Synthetic Resins. (Volume, 1.2)		圖	—	—	海外工業情報所	
	The Chemistry of Petroleum Derivatives		圖	二六五	三、三〇	學術文獻刊行會	
	The Design and Construction of Hire pressure Chemical plant		圖	三一〇	—	海外工業情報所	
	The Elements of fractional Distillation		圖	二六七	三、〇〇	工業圖書株式會社	
	The Science of Petroleum		圖	二六八	三、〇〇	工業圖書株式會社	
	The Science of Petroleum (Vol, 4)		圖	三九三	四五、〇〇	工業圖書株式會社	
梅原　貞康	The Science of Petroleum		圖	—	—	海外工業情報所編	

(9) 雜工業

神谷國太郎	廐類と雜纖維の精練法		圖	三五	一、〇〇	纖維雜誌社	
鄂山　幸男	印刷讀本		圖	一九九	二、〇〇	印刷雜誌社	
西井　俊藏	越前鐵		圖	一〇四	三、〇〇	新農新聞社	
西嶋東洲編	紙漉重寶記	日本經濟叢書第三輯	圖	三五	三、〇〇	紙業出版社	
堀越　登吉	改訂　紙の知識		圖	二九五	三、四〇	產業經濟社	
吉川　速男	附人絹スフ		圖	一九五	三、〇〇	玄光社	
森山藤吉郎	カメラの工作		圖	一〇五	四、三〇	森山東光社	
撰	革（凝固編）		圖	一〇五	四、三〇	日本學術振興會	
	合成ゴム文獻集第六輯	東京商科大學叢書九	圖	二五一	六、〇〇	日本學術振興會	
愛智・岩田共譯 近藤・信夫譯	鄉村絲布工業の一研究		圖	七〇	三、〇〇	岩波書店	
フライシュリッヒ著 鈴井　實之助譯	白水社科學叢書 の化學		圖	二六六	一、一〇	白水社	
近藤良男編	最近に於ける纖維研究の諸問題		圖	三三	一、五〇	日本纖維研究聯盟	
織維雜誌社編	雜纖維と其利用		圖	一六六	三、〇〇	纖維雜誌社	
澤山　智	工業化學實驗法叢書 釋製工業實驗法		圖	三三	三、〇〇	共立出版株式會社	
吉本重洋編	昭和十七年版 纖維年鑑		圖	一八三	二〇、〇〇	日本纖維研究會	

堀越 登吉	戰爭と紙	新潮叢書	裏	三六	一五	産業經濟社
中村 緒	日本ガラ紡史話	裏	三二	一、八〇	慶應出版社
大住 吾八	力織機構學(全訂改版)	全	四一〇	七、五〇	丸善株式會社
國際觀光協會	日本の手漉紙 Hand-made paper of Japan	裏	一〇五	五〇	教文館

重要産業機械設計集(鑛山機械設計集 土木機械設計集)

圖南閣

東京都日本橋區江戸橋二丁目三番地
電話日本橋四九一一番
振替貯金口座東京一八七・四九二番
會員番號二一〇一七八號

九、醫學・藥學

著者	書名	判形	頁數	定價	發行所
	(1) 醫學				
東京帝大臨時傳染病研究所學友會	アレルギー一九一〇年	菊	九六	四、〇〇	南江堂
中村 敬三	補習叢書第一講座 アレルギーとアナフイツキシー	裏	二〇	五〇	金原書店
木下良順編	醫學の進歩 第一輯	全	七二	一、〇〇	共立出版株式會社
藤井尚久編	醫學文化年表	全	四八	一、〇〇	日新書院
林 巍	醫學講座第一講座 臨床篇	裏	三五四	一、八〇	萬里閣
若林 勳編	醫科實用數理略說	全	二四二	三、八〇	富倉書房
賀川 哲夫	醫文獨譯軌範	裏	四八〇	五、〇〇	南山堂書店
日・ボールスバーク 筋師	ヴイタミン、ABC	裏	二二三	一、五〇	朝日新聞社
井上 豪雄	朝日新講座12 榮養學	裏	三一三	一、三〇	朝日新聞社
田村 榮	補習叢書第一講座 X線による臟層撮影法と間接撮影法	裏	六八	五〇	金原書店
骨村 文祥	海外治療醫學總覽	裏	六四三	六、三〇	東西醫學社
伊藤 行男	海洋文化叢書 洋醫學	裏	二八一	一、八〇	興亞日本社
石川眞琴編	掛軸用 急手當法	裏	二	四、〇〇	東京村教社出版
大谷 保編	カード式診療實函	函	一五五	一、五〇	東西醫學社
小沼 宗俊譯	カード式診療實函 第五四號	函	一八八	一、五〇	東西醫學社
白木 正博 齋藤 孝俊	エレクトロカルジオグラムの産婦人科領域に於ける應用	全	七〇	一、五〇	南山堂書店
中村 文平	補習叢書第一講座 眼科領域に於けるアレルギー性疾患	裏	七二	五〇	金原書店
橫山 憲史	看護婦口答試問の回答集	裏	二四四	二、五〇	南山堂書店
中村 康	補習叢書第一講座 眼疾患に對する線治療	裏	九二	五〇	金原書店
大村 清二	健康新書 癌の知識	裏	二九九	二、八〇	聚書房
土井 保一	急性腹膜炎下	裏	九二	五〇	金原商店
竹村 文祥	綜合醫學新書 近代戰と醫學	全	二八二	二、五〇	山雅房
服部彌二郎	空襲に依る災害の治療法	全	一六六	三、〇〇	敬文社
鮎川 靜	經驗漢方治療學	全	四三五	五、八〇	春陽堂
茂木藏之助 劉兆楓譯	外科學各論下卷	菊	四三二	八、〇〇	同仁會
市田 實治	外科輯覽 總論	全	—	三、〇〇	敬文社
杉山 繁輝	日本病理學叢書2 血液及組織の新研究と其方法	菊	三三五	八、〇〇	南江堂
富田 精	結核を治せ	裏	三一〇	一、八〇	丁子屋書房

結核菌檢査の實際	金原書店	圖	二五	三、三五	南江堂
結核集團檢診について	金原書店	圖	三三	一、四〇	羽田書店
結核の科學	金原書店	圖	三八	—	化學療法研究會
結核の化學療法に關する研究	金原書店	圖	九三五	二、〇〇	肇書房
結核の食餌療法	金原書店	圖	三六二	一、三五	肇書房
結核の精神療法	金原書店	圖	二九二	一、〇〇	國民圖書協會
結核の療法	金原書店	圖	二六二	三、〇〇	創元社
現代家庭醫學精典	金原書店	圖	九七九	一、三〇	南山堂書店
帝大航研航空と人間	金原書店	圖	三四八	一、〇〇	大日本教化圖書株式會社
航空の生理及衛生	金原書店	圖	九二	三、三五	南山堂
更生期障碍	金原書店	圖	三六	三、〇〇	國民圖書協會
國民榮養操典	金原書店	圖	三〇二	二、八〇	科學主義工業社
産婆學講義全	金原書店	圖	六四六	三、〇〇	良國民社
産婦人科に於けるアレルギー疾患並現象	金原書店	圖	五	—	齒科醫學會
齒科醫學會會誌	金原書店	圖	四八	三、三五	南山堂

八木日出雄	字宮頸癌の診斷と治療	金原書店	圖	五五	金原書店
猿渡二郎	耳鼻咽喉科領域にアレルギー	金原書店	圖	三三	金原書店
醫學叢説研究會	主訴と其診斷上	—	圖	—	敬文社
シュルツェ＝ルボシュ	局所及應用解剖學	丸善株式會社	圖	三七七	丸善株式會社
西成甫譯	食事で病氣を治す健康食療法全書	萬里閣	圖	三七七	萬里閣
佐藤美實	職業婦人の醫學	主婦之友社	圖	二六六	主婦之友社
栗山毅一	健康食療法全書	南山堂	圖	三七七	南山堂
白木正博	白木産科學	鳳鳴堂	圖	三五九	鳳鳴堂
白木正博	新眼科學全	鳳間書房	圖	六六六	鳳間書房
畑文平	新看護學全	金原商店	圖	五三七	金原商店
木村仁	心筋梗塞症	金原商店	圖	五八〇	金原商店
美甘美夫	E.M.オーミストン式場麻三郎譯	金原商店	圖	三六	金原商店
塚原伊勢松	新産科學上	金原商店	圖	四六六	金原商店
原徹一	人生と榮養	河出書房	圖	三三	河出書房
櫻澤如一	新しい榮養學	無双原理療法研究所	圖	五八	無双原理療法研究所
國島貫八郎	自然良能	春陽堂	圖	三五	春陽堂
田邊操	人體寄生蟲病の實際	南山堂	圖	二六九	南山堂

今村荒男	人と結核	岩波書店	圖	三六八	岩波書店
今村義次	ズルフオンアミド劑の應用	金原書店	圖	七	金原書店
瓦木不如丘	生活を醫學する	健康日本社	圖	二九〇	健康日本社
長谷川秀治	精神醫學とその治驗例	集文館	圖	三八	集文館
戸山量雄	精神衛生講話	岩波書店	圖	四九	岩波書店
戸山量雄	精神病者の看護と治療法	二見書房	圖	三四	二見書房
戸山量雄	攝護腺肥大症と其治療法	金原商店	圖	三五	金原商店
芳賀榮次郎監	戰傷治療法	金原書店	圖	四五	金原書店
帝大航研航空心理部編	泰國の疾病と其の診療	金原商店	圖	二四八	金原商店
鳥居惠二	附最近の衛生狀況	山雅房	圖	二六八	山雅房
南田一夫	胎兒をめぐつて受胎から出産まで	藤井書店	圖	六三	藤井書店
濱川規矩	體力測定計算表	金原商店	圖	六三	金原商店
澤方驗監修	男性ホルモンと女性ホルモン	河合商店	圖	三五	河合商店
眞柄正直	蟲垂炎と其の療法	南江堂	圖	二八	南江堂
馬嶋徹	蟲垂炎の臨牀上	丸善株式會社	圖	三九	丸善株式會社
齒科醫學會會誌	東亞の傳染病・風土病	厚生閣	圖	二六	厚生閣
近藤宏二	東亞の熱帶病	大日本出版株式會社	圖	二九四	大日本出版株式會社
柴田經一郎	內科疾患の症候學及診斷學	オスカー・ロータックケル	圖	二六	オスカー・ロータックケル
倉上一由	內科疾患の症候學及診斷學	南山堂	圖	二六	南山堂
脇田政孝	內科疾患の症候學及診斷學	南山堂	圖	二六	南山堂
下田光造	內科疾患の症候學及診斷學	南山堂	圖	二六	南山堂
高橋林助	內科疾患の症候學及診斷學	南山堂	圖	二六	南山堂
根岸博	內科疾患の症候學及診斷學	南山堂	圖	二六	南山堂
瀬尾英一	內科疾患の症候學及診斷學	南山堂	圖	二六	南山堂
岩井誠四郎北村精一編	內科疾患の症候學及診斷學	南山堂	圖	二六	南山堂
鈴木義一	內科疾患の症候學及診斷學	南山堂	圖	二六	南山堂
吉田章信和田眞利	內科疾患の症候學及診斷學	南山堂	圖	二六	南山堂
稚居龍太	內科疾患の症候學及診斷學	南山堂	圖	二六	南山堂
青木甲午郎	內科疾患の症候學及診斷學	南山堂	圖	二六	南山堂
外雜誌社編	內科疾患の症候學及診斷學	南山堂	圖	二六	南山堂
栗田三四二	內科疾患の症候學及診斷學	南山堂	圖	二六	南山堂
石井信太郎	內科疾患の症候學及診斷學	南山堂	圖	二六	南山堂
ホーラー	內科疾患の症候學及診斷學	南山堂	圖	二六	南山堂

ホーラー	內科疾患の症候學及診斷學	南山堂	圖	二六	南山堂
太平洋協會編	南方醫學論叢	南江堂	圖	六二	南江堂
藤浪剛一	日本衛生史	日新書院	圖	三三	日新書院
久保猪之吉久保護躬編	日本耳鼻咽喉科學全書 第二卷ノ五	克誠堂	圖	八五	克誠堂
緒方知三郎	日本病理學會會誌	日本病理學會	圖	七八	日本病理學會
渡邊薫	熱帶醫學とフイリツピンの全貌	拓南社	圖	三五	拓南社
荒木千里	腦外傷の經驗	金原書店	圖	七	金原書店
高橋角次郎	腦血管撮影法	南山堂書店	圖	二六	南山堂書店
岡田保	毒症	金原商店	圖	七	金原商店
坂本秀夫	肺結核早期檢診法	東西醫學社	圖	三七	東西醫學社
青木秀次郎	肺結核の新療法	主婦之友社	圖	二八〇	主婦之友社
額田晉	肺結核の特殊變調療法	金原書店	圖	七	金原書店
鹽谷不二雄大槻菊男編	鏡近治療界の趨勢	診斷と治療社出版部	圖	四八	診斷と治療社出版部
高橋明市川篤二	泌尿器科學教科書	南江堂	圖	三六	南江堂
佐野次郎	病因と體質	山雅房	圖	三九	山雅房
有馬玄	風土病	積善館	圖	二六	積善館

醫學・藥學（衛生）　五七一

小澤鹿雄編　月明會　健康談叢　圓　八〇
橫尾　秋夫　健康を創る力　圓　三三
東　治　健康訓　圓　八四
二木　謙三　健康への道（完全正食の醫學）　圓　三七
西川　義方　健康讀本　圓　三四
伏見　韶望　現代語譯益軒養生訓　圓　三〇
小松　雄吉　工場醫の記錄（勤勞青年文化叢書）　圓　一五
正木不如丘　抗病教室　圓　三七
大政翼贊會文化部編　保健教本　國民と保健　圓　四五
大政翼贊會文化部編　保健教本　國民と榮養　圓　四五
高良　武久　最新家庭醫學（骨粗鬆症第五編）　圓　三六
大日本聯合婦人會編　子供の精神衛生　圓　三七
茂野吉之助　結核豫防文庫　サナトリアム　六講　圓　一三
村島　歸之　結核豫防文庫　健康と結核豫防　圓　一三
養野　均一　結核豫防文庫　産業と結核豫防　圓　一三
青木　茂　宗教的療養道　圓　一九
鴻上慶治郎　新食物療法（榮養問題叢書）　圓　三六
秩本　鐵蘭　訂　青年書房　一、二五
岡田　道一　女性の生理と衛生　圓　二六
岡田　强　神經と生活（補習學校學術講座）　圓　二五
中島鎌太郎　人口問題と醫學の使命　圓　八
山口　正義　生產工學　圓　三〇
近藤　政義　健康管理　圓　一九
青少年體育會出版部　青少年體育（三則）　圓　一九
高田　隣德　正食・正眠・正排　圓　三三
長濱　繁　青年期の神經衰弱及生理異常と其療法　圓　一〇
岡田　道一　青年期の生理と保健　圓　二一
中島鎌太郎　青年のための健康問答　圓　二三
安部　義雄　絕對健康法　細胞賦活論　圓　三〇
大河內隆光　治療・健康の秘訣　食養の道しるべ　圓　二八
倉上　由一　早老を防ぐ條件　圓　二二
竹廣　登　體位向上とビタミンの科學（ラヂオ叢書）　圓　一七
小澤　修造　東西醫術と厚生訓　圓　一七
丹澤　美助　鬪病から長壽へ　圓　二二
佐藤　正　南方圈の生活醫學　圓　二二
泰山　弘道　南方生活と衛生上の對策　圓　二八
日本公衆保健協會編　南方に於ける傳染病疾患の蔓延狀況　圓　二〇
鶴書房　一、〇〇
青山出版社　一、八〇
金原書店　一、〇〇
金原書店　三、八〇
河出書房　三、八〇
刀江書院　一、〇〇
日本電報通信社　二、〇〇
河合商店　一、一〇
歐文社　一、〇〇
健康日本社　一、七〇
福村書店　二、〇〇
日本食養研究所　一、一〇
健康日本社　一、七〇
文晃書院　一、三〇
日本放送出版協會　一、三〇
博文館　一、八〇
東京堂　二、〇〇
大同印書館　二、三〇
日本公衆保健協會　一

寺田文次郎・野生栽培　藥用植物掛圖（補習學校學術講座）　圓　一七　八、〇〇　日本教圖株式會社
後藤　脩編　藥用植物と其の實際的應用治療　圓　二七　一、三〇　新教社
村越三千男

(3) 衛生（豫防醫學、健康法等を含む）

增田　靜夫　新睡眠法（安眠の研究三十年）　圓　二九　一、三〇　增進堂
南崎　雄七　醫學と衛生　南方生活必携　圓　三七　二、三〇　教材社
平野　啓司　胃腸强健法百話　圓　五、六　三、〇〇　白揚社
橫尾　秋夫　榮養と食餌療法　圓　二八　一、六〇　清水書房
妻木　新平　おき上り小法師　圓　二四　一、三〇　興亞文化協會
岡田彌一郎　害蟲と家庭衛生　圓　二五　二、三〇　河合商店
大坪　佑二　家庭と結核豫防（結核豫防叢書三）　圓　一三　一、〇〇　大日本教化圖書株式會社
井上善十郎　近世衛生學　圓　五、二　九、〇〇　南山堂
橫田　忠郎　結核對策の根本問題　圓　三五　一、八〇　刀江書院
中田　稔　結核と闘ふ　圓　二六　一、三〇　日本通俗醫學社
大政翼贊會文化部編　保健教本　結核の征服　圓　二九　三〇　翼贊圖書刊行會
藤田靈齋述　結核病、神經病、胃腸病、血壓病根絕對策　圓　八　三五　調和堂協會
大林　容二　結核豫防叢書一　圓　一三　一、〇〇　大日本教化圖書株式會社
隈部　英雄　結核の本態　圓　一三　一、〇〇　大日本教化圖書株式會社
中井卓次郎　結婚の醫學　圓　三　一、三〇　大新社

西 勝造	増補 西式保健治病寶典	圖	一六九	一、一〇	中庸出版社
小倉清太郎 加藤 道雄	日本人と熱帶衛生	全	四一八	三、八〇	啟傍書房
宮本 忍	日本の結核 その現狀と對策について	全	三三	二、〇〇	朝日新聞社
石原 忍	日本人の眼	圖	三七	一、八〇	啟傍書房
由本 廣裕	乳幼兒の醫學（國民醫學叢書）	圖	三六四	二、一〇	昭和書房
岡部庸三郎	熱帶衛生	圖	四七	三、三〇	河出書房
宮島幹之助	改訂増補 熱帶生活の常識	圖	三三	一、三〇	人文書院
大內 恒	熱帶の生活事典	圖	五一四	三、三〇	南方出版社
近藤とし子	働く女性の食生活	圖	一九九	一、三〇	協和書房
由崎 清商 高須 令三	民族文化と美容醫學（綜合醫學新書）	圖	四八	二、三〇	天佑書房
杉山 勇吉	皮膚と美容醫學	全	一六三	一、八〇	山雅房
高田義一郎	徹妙式健康術	圖	一九三	三五	成史書院
飯村 保三	百歲突破作戰	圖	三八	一、八〇	霞ケ關書房
長谷川 基	病害昆蟲記	圖	一六五	一、一〇	榮養の日本社
	病氣豫防健康法	圖	二四二	一、一〇	博開堂
山縣 正明	病林道	圖	二六	一、九〇	弘文堂書房

吉田 章信	保健大則	全	八	一、〇〇	中文館
	保健婦教本 第二卷（中央社會事業協會愛育會）	全	四六三	一、〇〇	刀江書院
小宮山新一	保健婦讀本 續篇	全	三九	一、三〇	協同公社
大政翼贊會文化部編	保健教本 母性の保護（大學新書）	圖	一〇七	三五	翼贊圖書刊行會
杉田 直樹	民族の科學	圖	三三	一、六〇	三州閣
岸田 軒造	増訂 無病强健六則（教養文庫）	圖	二七八	一、〇〇	武內洗心堂
山縣 正明	病と療道	圖	一八〇	三五	弘文堂
	補習學校講座 梁防醫學上から見た皮膚病患者に於ける結核の代謝に就いて	圖	一四	三五	金原書店
村山 實	豫防醫學としての皮膚科學	全	二三	三、〇〇	金原醫店
高野 六郎	豫防醫學ノート	圖	四一四	三、三〇	河出書房
小林 專一	療養の眞髓	圖	三三	一、三〇	婦女界社
鯉沼 茂吾	勞務者と家族の健康法	圖	九一	三五	日本保健協會
藤野 文子	わかりやすい病人の榮養と食餌	圖	四五五	二、八〇	紙硯社

(4) 通俗療法

鵜野 慮照	灸のすえ方 鍼灸醫學叢書	圖	二五四	二、〇〇	日本通俗社
青山 道醇	鍼灸備要全	圖	九三	三、〇〇	醫道日本社
前澤 淵月	一茶の面影	圖	二	一、三〇	法學書院
保田與重郎 和泉式部 私抄		圖	七二	二、三〇	育英書院
齋藤 茂吉 伊藤 左千夫	定信（岩波文庫）	全	五四三	四、三〇	中央公論社
松平 定光 松下 宇下言人・修行錄		圖	二五	四〇	岩波書店
中河 與一	歌ごころ	圖	三七	一、七〇	文圃社
青木 三二	歌の建設	圖	四三四	二、三〇	四方木書房
嗣井 久藏	歌の道	圖	四六〇	三、〇〇	青梧堂
相馬 御風	歌話	圖	三九七	二、三〇	輝文堂書房
古谷 綱武	美しき日本（紙型限定版）	圖	二六六	二、〇〇	愛宕書房
京都帝國大學	影印 車倫	全	二六	二五、〇〇	岩波書店
齋藤 勇	英詩鑑賞 新版	圖	七八八	五、八〇	研究社
大和 資雄	英文學の話（英語叢書）	圖	四三	二、八〇	健文社
石田憲次外	英米文學語學講座（全十卷）	全	三五〇	二、七〇	研究社
齋藤 勇編	英米文豪著作目錄	圖	八〇	五〇	研究社
田邊 武松	越中萬葉かたかごの花	全	—	—	田邊武松
谷崎精二譯	エドガア・ポオ小說全集第四卷 ゴオドン・ピムの物語	圖	二六八	二、三〇	春陽堂書店

十、文學

著者	書名	別	頁數	定價	發行所

(1) 文學研究（個人の文學全集を含む）

高須芳次郎	愛國志士の詩歌（ラヂオ新書）	圖	二五	三五	日本放送協會
高須芳次郎	愛國詩文二千六百年	圖	四二	二、〇〇	非凡閣
鷲尾 溫軒	愛國詩吟 物語	圖	二〇四	一、三〇	牧書房
金田一京助	アイヌ敍事詩 ユーカラ 概說	全	四二四	五、三〇	青磁社
大正文學研究會編	芥川龍之介研究	圖	三六四	二、三〇	河出書房
小川 未明	新しき兒童文庫の道	圖	二七二	一、八〇	フタバ書院
五島 茂	新しき 短歌論	圖	二五四	一、三〇	第一書房
大塚幸男譯	ジャン・セルヴイヤンの願ひ（アナトオルフランス長篇小說全集）	圖	二三〇	一、三〇	白水社
岡田眞吉譯	小さなピエール（米國講座叢書五）	圖	二九三	一、三〇	白水社
齋藤 勇	アメリカの國民性及び文學	全	二三	一、三〇	有斐閣
アーノルド・ベネット 大塚博人譯	日下部書店	圖	三三	二、〇〇	日下部書店
飄原退藏編	生玉 萬句和露文庫	圖	九〇	六、〇〇	靖文社

穎原　退藏	江戸文藝	岩波文庫	二六	二、三〇	岩吉　爽雨
大隈言道　佐々木信綱校訂	大隈言道集	改造文庫	二四八	七〇	改造社
花山信勝	往生要集	岩波文庫	五六五	一、〇〇	岩波書店
眞鍋廣濟	王朝文學の代表的女性	學生文化叢書	二八三	一、三〇	湯川弘文社
谷　鼎	新講日記	附錄名家繪畫	一八三	四〇	學生の友社
尾崎紅葉	尾崎紅葉全集（第一卷）	春陽堂	七六	二、八〇	中央公論社
尾崎士郎	尾崎士郎選集（第五卷）	春陽堂	二九四	一、八〇	平凡社
堀川寬一	小山内薫	現代日本文學全集	四〇八	二、三〇	桃蹊書房
勝峯晋風	評釋おらが春	有光名作選集	二五四	二、八〇	十字屋書店
吉原敏雄	概觀短歌史	有光名作選集	二六二	一、八〇	大日本出版社
青野季吉	回心の文學	有光名作選集	二六六	一、三〇	有光社
柳田　泉	海洋文學と南進思想	ラジオ新書	一七三	五〇	日本放送出版協會
川島つゆ	加賀の千代女	文藝世紀叢書	二七	一、四〇	小學館
森本　忠	匿れた人達	文藝世紀叢書	一九四	二、〇〇	冨士書店
小牧健夫	影ぼふし	岩波文庫	二九五	二、〇〇	白水社
喜多義勇　校訂	芭蕉句集	岩波文庫	三三四	八〇	岩波書店

泉　鏡花	鏡花全集（第十五卷）	大衆名著選集	六三七	二、八〇	岩波書店
三田村鳶魚	教化と江戸文學		二五九	一、八〇	大東出版社
京都帝國大學文學部編	京都帝國大學文學部印舊鈔（第九）		—	—	京都帝國大學文學部
京都帝國大學文學部編	京都帝國大學文學部印舊鈔（第十）		—	—	京都帝國大學文學部
武藤　直治	教養としての文學概論		三三	一、三〇	弘文社
田中美和太郎	ギリシャ人の智慧		三五〇	二、三〇	古今書院
松本　宗吉	基督教短歌鑑賞		三五五	一、三〇	教文館
守隨　憲治	近世國文學　第一輯		三五四	五、〇〇	千歲書房
高木斐川編	名著鑑賞近世國民文學　上卷		六六五	三、六〇	國民圖書協會出版部
關儀一郎編	近世儒家史料　上		四一四	四、三〇	井田書店
實藤惠秀編	近代漢文選		七四	八〇	前野書店
吹田順助	近代獨逸思潮史		四九	三、八〇	大東出版社
松田武夫	勤皇歌	秀文鎌倉吉野時代篇	三五	二、三〇	聖紀書房
武田祐吉	勤皇歌	秀文高氏時代篇	三七二	二、三〇	聖紀書房
佐藤春夫編	國木田獨歩傑作選　4		三六〇	二、〇〇	小學館
軍事保護院	軍人援護文藝作品第一輯		三五五	—	軍事保護院

富永　次郎	評論集 藝術と現實		二九	一、八〇	無何有書房
後藤　末雄	藝術の支那科學の支那		三八	三、〇〇	第一書房
富澤有爲男	藝術論		三五四	一、八〇	平凡社
雪山俊夫外	ゲーテ全集（第十一卷）		七九	三、八〇	大東出版社
ゲーテとシラー　ハイーシリンヒ　シンタイン　郡山千冬譯			三八	一、三〇	大觀堂
ゲーテと共に在りし十年　フレデリック・レー　小原慶正譯			三七	五〇	弘文堂書房
ゲーテとベートーヴェン　マン・ローラン　新庄嘉章譯			三四	三、〇〇	二見書房
逸見　廣	ゲーテの書		三三	一、三〇	金星堂
中島　清	ゲーテの生涯		五七	二、三〇	紙硯社
ゲーテ　シルレル　附ゲーテの書簡集　シルレル　小栗孝則譯			二七	一、八〇	長崎書店
吉澤　義則	源氏隨攷		二八	二、三〇	晃文社
窪田空穗譯	源氏物語（七）	改造文庫　現代語譯	三〇	五〇	改造社
村井　順	源氏物語評論		三七	二、三〇	明治書院
久會神　昇	顯昭・寂蓮		三七	二、三〇	三省堂
岡山巖　岡野直七郎　藤原　定	現代歌人論		四四	二、八〇	昭森社
	現代作家の人間探究		二八	一、三〇	圖書研究社

井原西鶴外	稀書複製會（第一期）			五、〇〇	米山堂
松本たかし	鐵輪（かなわ）	ラジオ新書　鎌倉室町文學と日本國民性　日本文學者部會長	三四	二、〇〇	丸岡出版社
齋藤　清衛			一四〇	五〇	日本放送出版協會
冨倉德次郎	歌謠詩の作り方詩人への道		三六	八〇	東和出版社
松村　又一	カラマーゾフの世界ドストエーフスキイ研究	A・L・ウオリン　道本清一郎譯	三七	二、〇〇	興風館
貴重圖書複製會	嘉祿本古語拾遺		三一	三、〇〇	貴重圖書複製會
古谷　綱武	川端康成	現代長篇選集	二二	一、三〇	三笠書房
岩垂　憲德	漢詩綱要		三九	二、八〇	清水書店
佐々木　久	作詩と鑑賞		三六	一、八〇	古明地書店
吉典保存會編	漢詩の新研究		—	—	古典保存會
古典保存會編	漢書紙背文書		—	—	古典保存會
伊藤　整	文藝と生活感動の再建		三三	二、三〇	四海書房
大久保莊太郎	漢文の正統的解釋法		九〇	一、三〇	文進堂
志村　陸城	記紀の歌		二八	一、三〇	平凡社

カール・ブレーメル	小林珍雄譯	現代宗教作家論	昭三三	一、八〇
龜井勝一郎	現代人の救ひ	改三〇二	二、〇〇	
鹽田良平	現代日本文藝史（日本現代現代叢書13）	昭三七	一、八〇	
唐澤清一郎監修 藏山福一郎校訂	現代の俳句（新文庫）	昭二一〇	五〇	
福田清人	現代の文學者	昭二九七	二、三〇	
板垣直子	現代の文藝評論	昭二一七	一、五〇	
窪川鶴次郎	現代文學思潮	昭四二三	二、〇〇	
保坂弘司	現代文の綜合的研究	昭五一〇	三、〇〇	
田部隆次編	小泉八雲讀本	昭二六三	一、五〇	
芳賀博士記念會編	校異源氏物語（研究社學生文庫）	改三〇七	一〇八、〇〇	
小和田武紀	孝經	昭一五八	五〇	
金子薫園	皇國百人一首	昭二〇六	一、五〇	
土岐善麿	青邱高原（東洋思想叢書）	昭二三五	一、八〇	
柳田泉	幸田露伴	昭八八	二、八〇	
矢野玄道	皇典講義 第二卷	改五八	一、五〇	
落合重信	神戸和歌史	昭二八〇	一、五〇	

山崎敏夫	古今和歌集新釋	昭一四六	八〇	正文館書店
淺野晃	國學綱要	改二三三	二、五〇	大同印書館
藤田德太郎	日本古典（現代譯國學者論集）	改三八	二、五〇	小學館
平林治德他三氏編	大綱近古散文篇（國文）	改一〇〇	一、〇〇	明治書院
平林治德他三名編	大綱近世散文篇（國文）	改一三〇	一、一〇	明治書院
平林治德他三名篇	大綱俳諧篇（國文）	改一八八	一、一〇	明治書院
平林治德他三名篇	大綱平安散文篇（國文）	改二三六	一、〇〇	明治書院
岩城準太郎	國文學群像	改二四五	三、五〇	修文館
廣島文理大學國語國文學會編	文學第五卷第九輯（攷）	改二三六	八〇	中文館書店
吉村貞司	國文學史（第一分冊）	昭二五三	二、五〇	須磨書房
井本農一	國文學の再建（理論と方法）	昭二一〇	二、〇〇	育英書院
野村八良	國文學論考	改四四	三、八〇	八木書店
保坂弘司	國文の綜合的研究	昭六四五	二、〇〇	歐文社
戸川貞雄	國防文學論（新興代叢書）	昭一九八	八〇	育生社弘道閣
湯澤天眞	國民吟詠讀本	昭二五六	一、一〇	麹町酒井書店
照井環三	國民詩と朗讀法	昭二九五	二、〇〇	第一公論社

神原義文	國民詩朗讀のために	昭三三四	一、八〇	日本出版社
加藤武雄外五氏	國民文學の構想	昭二九四	二、〇〇	聖紀書房
谷川徹三	心の世界	昭三九	二、二〇	創元社
片山敏彥	心の遍歷	昭五三	二、二〇	中央公論社
村林孫四郎	古事記辭典	昭八八	六、五〇	錦正社
星川清躬	古典詩鈔	昭五五	二、〇〇	言靈書房
淺野晃	古典と純粹物語的評論集（日本文化新書）	昭二七四	一、八〇	小學館
藤田德太郎	古典と日本精神（東洋思想叢書）	昭三三三	二、〇〇	モダン日本社
武田祐吉	古典の精神（創元選書93）	昭三五三	二、〇〇	創元社
鹽田良平	古典の傳統	昭三一一	三、〇〇	育英書院
館岡俊之助	古典文學入門	昭三三三	二、二〇	青磁社
保田與重郎	古典論	昭二九六	二、四〇	講談社
保田與重郎	後鳥羽院（增補新版）	昭四九九	二、八〇	萬里閣
綿谷雪	ことばの民俗學（全）	二九〇	二、八〇	都書房
與田準一	子供への構想	昭三六一	二、〇〇	帝國教育會出版部
伊藤正雄	小林一茶	昭四四三	二、五〇	三省堂

和田傳	現代譯日本古典 今昔物語（全）	三七五	二、五〇	小學館
綾田作之助	西鶴新論	昭二九〇	二、〇〇	修文館
宍戸義一	西行法師	昭二三三	二、〇〇	道統社
精神科學會編	最近の日本學藝（全）	一八八	一、五〇	目黒書店
眞下喜太郎	歲時記脚註	昭二〇八	一、八〇	六興商會出版部
中野重治 齋藤茂吉ノオト		昭四九八	二、五〇	筑摩書房
齋藤瀏	防人の歌	昭二七〇	一、六〇	東京堂
中村鳥堂	新さきもりの歌（日月文庫）	九〇	五〇	日月明會出版部
吉田六郎	作家以前の漱石	昭二五八	一、九〇	弘文堂書房
伊藤信吉	作家論（創元選書83）	昭二四〇	二、五〇	利根書房
正宗白鳥	作家論（二）（新文庫）	昭二六〇	一、八〇	創元社
清水文雄校訂	更級日記	昭一八八	五〇	春陽堂書店
矢崎彈	三代の女性	昭三九六	二、二〇	若い人社
水原秋櫻子	三代俳句鑑賞（現代叢書31）	春夏の卷	三、〇〇	第一書房
志賀直哉	志賀直哉の作品 上	昭三九八	一、五〇	三笠書房
谷川徹三編	志賀直哉の作品 下	昭三二一	一、五〇	三笠書房